

平成 21 年度青森県産品ベンチマーク調査

報 告 書

平成 22 年 3 月

青森県農林水産部総合販売戦略課

【目次】

I. 調査概要	3
I-1. 調査目的.....	3
I-2. 調査項目	3
I-3. 調査方法.....	3
I-4. 調査実施内容	4
II. 対象者分析－消費者構造	20
III. 回答者プロフィール	24
III-1. 回答者の年代.....	24
III-2. 回答者の職業.....	25
III-3. 回答者の世帯年収.....	26
III-4. 回答者との同居者.....	27
IV. 調査結果.....	28
IV-1. 青森県産品について.....	28
IV-2. 特定テーマ「あおもりの食」について.....	77
IV-3. 自由回答結果.....	160

調査概要

I-1. 調査目的

本調査は、お客様の視点に立ったマーケティングを展開するために、「消費者」からみた青森県のイメージ、県産品の評価、消費者の意識・行動などを明らかにして、県産品販売を推進するための計画立案の参考資料を収集することを目的とした。

なお、今年度は平成 22 年 12 月の東北新幹線全線開業（東京～新青森）に向けて、「あおもりの食」（県産品や郷土料理）の魅力を発信するため、特定テーマとして「あおもりの食」（県産品や郷土料理）を取り上げた。

I-2. 調査項目

(1) 回答者属性

- ・ 年齢
- ・ 居住地域
- ・ 職業
- ・ 同居家族
- ・ 世帯年収

(2) 青森県産品について

- ・ 普段食料品を購入する場所、購入する際の重視点
- ・ 青森県産品のイメージ、総合的な魅力度
- ・ 青森県産品の認知度、購入意向
- ・ 青森県産品の販売場所の認知度

(3) 特定テーマ「あおもりの食」について

- ・ 「あおもりの食」の認知度、情報源
- ・ 「あおもりの食」への興味、関心
- ・ 「あおもりの食」を食す際の重視点

I-3. 調査方法

WEB 調査を実施

調査実施内容

(1) 対象地域

- ・ 東北（岩手県・秋田県・宮城県・山形県）
- ・ 関東（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）
- ・ 関西（大阪府・京都府・兵庫県）
- ・ 九州（福岡県・長崎県・佐賀県）

(2) 性別・年齢

- ・ 20代～60代の有職主婦および専業主婦

(3) 対象条件

- ・ 小売店で週1回以上買物をする人

(4) 対象者選定方法

- ・ インターネットモニターから適格者を抽出

(5) 実施期間

- ・ 平成22年1月

(6) 回収数

図表 II-1 全体回収数

エリア	調査数	20代	30代	40代	50代	60代
全体	1000	34	347	356	193	70
	100.0	3.4	34.7	35.6	19.3	7.0
東北	250	13	88	83	51	15
	100.0	5.2	35.2	33.2	20.4	6.0
関東	250	8	78	95	47	22
	100.0	3.2	31.2	38.0	18.8	8.8
関西	250	5	93	95	42	15
	100.0	2.0	37.2	38.0	16.8	6.0
九州	250	8	88	83	53	18
	100.0	3.2	35.2	33.2	21.2	7.2

(上段:実数,下段:%)

(7) 調査票

平成 21 年度青森県産品ベンチマーク調査

◎◎◎あなた様についてお伺いします。◎◎◎

Q1：(入力必須)

あなたの年齢をお知らせください。

1	20～24歳	6	45～49歳
2	25～29歳	7	50～54歳
3	30～34歳	8	55～59歳
4	35～39歳	9	60～64歳
5	40～44歳	10	65～69歳

Q2：(入力必須)

あなたの居住地域をお知らせください。

1	北海道	25	滋賀県
2	青森県	26	京都府
3	岩手県	27	大阪府
4	宮城県	28	兵庫県
5	秋田県	29	奈良県
6	山形県	30	和歌山県
7	福島県	31	鳥取県
8	茨城県	32	島根県
9	栃木県	33	岡山県
10	群馬県	34	広島県
11	埼玉県	35	山口県
12	千葉県	36	徳島県
13	東京都	37	香川県
14	神奈川県	38	愛媛県
15	山梨県	39	高知県
16	長野県	40	福岡県
17	新潟県	41	佐賀県
18	富山県	42	長崎県

19	石川県	43	熊本県
20	福井県	44	大分県
21	岐阜県	45	宮崎県
22	静岡県	46	鹿児島県
23	愛知県	47	沖縄県
24	三重県		

Q3：(入力必須)

あなたの職業をお知らせください。

1	会社員	6	農林漁業
2	公務員・団体職員	7	パート・アルバイト
3	派遣・契約社員	8	専業主婦
4	自営業	9	無職
5	自由業	10	その他（ ）

Q4：(入力必須)

あなたと同居している方について当てはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

1	配偶者	5	祖父母
2	息子・娘	6	孫
3	親	7	友人
4	兄弟・姉妹	8	一人暮らし

Q5：(入力必須)

あなたの世帯年収について当てはまるものをお選びください。

1	200万円未満	4	800万円以上～1000万円未満
2	200万円以上～500万円未満	5	1000万円以上～1500万円未満
3	500万円以上～800万円未満	6	1500万円以上

◎◎◎ここから先は青森県産品についてお伺いします。◎◎◎

Q6：(入力必須)

あなたは普段食料品の買物をする時どちらに行かれますか。

以下の中から当てはまるものをすべてお選び下さい。(いくつでも)

1	デパート
2	総合スーパー(衣料品や家電も売っている店)
3	食品スーパー
4	専門店(魚屋、肉屋、八百屋等)
5	生協、ＡＣＯ－ＯＰ
6	コンビニエンスストア
7	通信販売(インターネット通販・カタログ販売)
8	道の駅等産地直売所
9	都道府県のアンテナショップ(自治体などが地元の生産品・加工品を取り揃えて販売する店舗)
10	その他()

Q7：(横入力必須)

あなたの買物をするときの意識について項目ごとに当てはまるものを1つずつお選びください。(それぞれ1つだけ)

	非常に重視する	重視する	どちらとも言えない	重視しない	全く重視しない
添加物、着色料が入っていない	1	2	3	4	5
国産品である(輸入品でない)	1	2	3	4	5
地元産である	1	2	3	4	5
遺伝子組み換え作物ではない	1	2	3	4	5
有機、無農薬、減農薬である	1	2	3	4	5
健康に良い食品である	1	2	3	4	5
商品情報(カロリー・糖度・成分・調理方法)	1	2	3	4	5
信頼できるマーク(認証)が付いている	1	2	3	4	5
産地や生産者情報が付いている	1	2	3	4	5
アレルギー物質の表示がある	1	2	3	4	5
味がよい	1	2	3	4	5
品質がよい	1	2	3	4	5
製造日や賞味期限が新しい(新鮮である)	1	2	3	4	5
見た目(色、形、デザイン等)が良い	1	2	3	4	5
ブランド・有名産地である	1	2	3	4	5
季節感がある(旬のものである)	1	2	3	4	5
値頃感がある	1	2	3	4	5

小分け包装である	1	2	3	4	5
テレビ番組や雑誌等で紹介されていた	1	2	3	4	5
買う店が信頼できる	1	2	3	4	5
食べなれたものである	1	2	3	4	5
調理しやすい	1	2	3	4	5

Q8：(入力必須)

あなたは青森県へ行ったことがありますか。

1	行ったことはない
2	1～2回行ったことがある
3	3～5回行ったことがある
4	6回以上行ったことがある

Q9：(横入力必須)

「青森県の県産品」について、以下の項目ごとに当てはまると思うものを1つずつお選びください。

※あまりご存知でない方はそれぞれイメージでお答えください。(それぞれひとつだけ)

	非常に 当てはまる	当てはまる	どちらとも 言えない	当てはまら ない	全く 当てはまら ない
味がよい	1	2	3	4	5
新鮮である	1	2	3	4	5
品質が良い	1	2	3	4	5
デザイン・センスが良い	1	2	3	4	5
個性的である（特色がある）	1	2	3	4	5
素朴である	1	2	3	4	5
表示などの商品情報が充分である	1	2	3	4	5
PRされている	1	2	3	4	5
価格が安い	1	2	3	4	5
手に入りやすい（流通している）	1	2	3	4	5
ブランド品がある	1	2	3	4	5
安心して食べられる	1	2	3	4	5

Q10：(入力必須)

Q9の「安心して食べられる」において、そのようにお選びになった理由をお書きください。

Q11 : (入力必須)

「青森県の県産品」の総合的な魅力度について、当てはまると思うものを1つお選びください。

1	非常に魅力的である
2	魅力的である
3	どちらとも言えない
4	魅力的ではない
5	全く魅力的ではない

Q12：(横入力必須)

青森県の県産品で、項目ごとに当てはまると思うものを1つずつお選びください。(それぞれ1つだけ)

	食べたことがある	知っているが食べたことはない	知らない
米	1	2	3
にんにく	1	2	3
ながいも	1	2	3
ごぼう	1	2	3
にんじん	1	2	3
りんご	1	2	3
ぶどう	1	2	3
さくらんぼ	1	2	3
なし	1	2	3
メロン	1	2	3
山菜	1	2	3
きのこ	1	2	3
牛肉	1	2	3
豚肉	1	2	3
鶏肉	1	2	3
卵	1	2	3
ほたて	1	2	3
まぐろ	1	2	3
たら	1	2	3
しじみ	1	2	3
なまこ	1	2	3
いか	1	2	3
ひらめ	1	2	3
りんごジュース等りんご加工品	1	2	3
果物加工品（りんご以外）	1	2	3
にんにく加工品	1	2	3
ほたて加工品	1	2	3
いか加工品	1	2	3
ねぶた漬け・つがる漬け	1	2	3
いちご煮	1	2	3

漬物	1	2	3
みそ・しょうゆ	1	2	3
南部せんべい	1	2	3
ラーメン	1	2	3
乳製品	1	2	3
清酒	1	2	3

Q13：(入力必須)

以下の青森県の県産品の中で、食べてみたいものはありますか。

以下の中から当てはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

1	米	20	しじみ
2	にんにく	21	なまこ
3	ながいも	22	いか
4	ごぼう	23	ひらめ
5	にんじん	24	りんごジュース等りんご加工品
6	りんご	25	果物加工品(りんご以外)
7	ぶどう	26	にんにく加工品
8	さくらんぼ	27	ほたて加工品
9	なし	28	いか加工品
10	メロン	29	ねぶた漬け・つがる漬け
11	山菜	30	いちご煮
12	きのこ	31	漬物
13	牛肉	32	みそ・しょうゆ
14	豚肉	33	南部せんべい
15	鶏肉	34	ラーメン
16	卵	35	乳製品
17	ほたて	36	清酒
18	まぐろ	37	特にない
19	たら	38	その他()

Q14：(入力必須)

身近で何か青森県の県産品を販売しているところを知っていますか。

以下の中から当てはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

1	デパート
2	総合スーパー(衣料品や家電も売っている店)
3	食品スーパー
4	専門店(魚屋、肉屋、八百屋等)
5	生協、ＡＣＯ－ＯＰ
6	コンビニエンスストア
7	通信販売(インターネット通販・カタログ通販)
8	道の駅等産地直売所
9	青森県のアンテナショップ(県が地元の生産物・加工品を取り揃えて販売する店舗)
10	生産者から直接購入
11	知らない
12	その他()

◎◎◎ ここから先は「あおもりの食」についてお伺いします。◎◎◎

Q17：(横入力必須)

あなたは、次に掲げる「あおもりの食」を知っていますか。(それぞれ1つだけ)

	食べたことがあり知っている	食べたことはないが知っている	知らない
「じゃっぱ汁」 たらを「じゃっぱ(ケラ)」ご焼; 大根にんじんといっしょに煮た汁物	1	2	3
「けの汁」 大根 にんじん ごぼう、わかめなどを細く刻んだみそ味(又はしょう油味)の汁物	1	2	3
「せんべい汁」 汁専用で作られた薄皮のパンを汁の中割って食べる料理	1	2	3
「みそ貝焼」(みそかやき) 大きなタラの貝を鍋で煮、だし汁のみそ味を掛けて自家産料理 地域によっては、白身魚のホタテも入ります。	1	2	3
「黒石やきそば」 太くて平らな腰のある独特の麺 つけそばがあります。	1	2	3
「十和田バラ焼き」 刺し身(クランプ)で焼いたB級グルメ。カレー風味のソースを大量に使用します。	1	2	3
「赤いりんご」 皮をむいて中身が赤いりんご。	1	2	3
「味噌カレー牛乳ラーメン」 味噌ベースに、カレー粉、牛乳を入れたラーメンにチャーシューをトッピングします。	1	2	3
「生姜味噌おでん」 細竹、かまぼこなどを串刺しにして生姜をすりおろした味噌汁をたっぷりかけたとろみ。	1	2	3
「ひつつみ」 鶏肉野菜をたっぷり入れた汁の小麦粉の衣をまとって焼く料理	1	2	3
「いちご煮」 高級食材とアワビを使った、磯香りのお吸い物	1	2	3
「十三湖のしじみ」 津軽十三湖の産物大しじみ	1	2	3
「三沢のほっき丼」 地域特産品ホッキ貝を使用した丼。煮る、焼く、生などのメニューがあります。	1	2	3
「八戸前沖さば」 八戸前沖で獲れた新鮮な鯖の刺身	1	2	3
「青森シャモロック」 青森県20年の歳月をかけて開発した地鶏で、肉質・食味が優れています。	1	2	3
「大間の本マグロ」 津軽海峡で本釣りで獲れた、大間産のマグロ	1	2	3
「大鰐温泉もやし」 青森県大鰐の温泉熱を使用して栽培した長もやし。	1	2	3
「嶽きみ」(だけきみ) 朝晩の寒暖差が大きい岩手・盛岡地区で栽培されている甘みの強いトウモロコシ。	1	2	3
「倉石牛」 青森県倉石地区の黒毛和牛	1	2	3
「深浦雪にんじん」 秋まで収穫できるように育てたニンジン。糖度が旨みが増した状態で冬期間に雪の中からはびます。	1	2	3

Q18：(横入力必須)

■ Q17 で「食べたことがあり知っている」及び「食べたことはないが知っている」を選択した方にお伺いします。 ■

どのようなきっかけで知りましたか。(それぞれ1つだけ)

	テレビ・新聞・雑誌	知人からの紹介	店頭で見かけた	その他
「じゃっぱ汁」 たらを「じゃっぱ(ケラ)」ごし使、大根にんじんといっしょ煮た汁物	1	2	3	4
「けの汁」 大根 にんじん ごぼう、わらびなどを細く刻んだ味(又まじょう味)の汁物	1	2	3	4
「せんべい汁」 汁専用で作られた薄切のせんべいの中割つてれる汁	1	2	3	4
「みそ貝焼」(みそかやき) 大きなタラの貝を鍋煮して、だし汁のせと味噌で焼く(家庭料理 地域によっては、白身魚のホタテも入ります)	1	2	3	4
「黒石やきそば」 太くて平ら腰のある独特の麺 つゆが豊富あります。	1	2	3	4
「十和田バラ焼き」 刺し身(クランプ)で焼いたB級グルメ。フコイキ風味のねぎを大量使用します。	1	2	3	4
「赤いりんご」 皮をいでも中身が赤い りんご。	1	2	3	4
「味噌カレー牛乳ラーメン」 味噌ベースに、カレー粉、牛乳を入れたラーメンにタネをトッピングします。	1	2	3	4
「生姜味噌おでん」 細竹、かまぼこなどを串刺しにして生姜をすりおろした味噌汁をたっぷりかけおひたし。	1	2	3	4
「ひつつみ」 鶏肉野菜をたっぷり入れた汁の味噌汁の汁ものをちぎって入れる料理	1	2	3	4
「いちご煮」 高級食材とアワビを使った、磯の香りの吸物	1	2	3	4
「十三湖のしじみ」 津軽島十三湖の豊産大のしじみ	1	2	3	4
「三沢のほっき丼」 地域特産品ホッキ貝を使用した丼、煮る、焼く、生などのメニューがあります。	1	2	3	4
「八戸前沖さば」 八戸沖で獲れた新鮮なさば	1	2	3	4
「青森シャモロック」 青森県20年の歳月をかけて開発した地鶏で、肉質・食味が優れています。	1	2	3	4
「大間の本マグロ」 津軽海峡で本釣りで獲れた、大間産のマグロ	1	2	3	4
「大鰐温泉もやし」 青森県大鰐の温泉を使用して栽培した長もやし。	1	2	3	4
「嶽きみ」(だけきみ) 朝の寒露がたき、岩木麓地区で栽培されている甘みの強いトウモロコシ。	1	2	3	4
「倉石牛」 青森県倉石地区の黒頭牛。	1	2	3	4
「深浦雪にんじん」 秋まで収穫できるように育てたニンジン糖度が高く増したためして冬期間雪の中からは穫れます。	1	2	3	4

Q19：(横入力必須)

■ Q17で「食べたことはないが知っている」を選択した方にお伺いします。 ■

以下の「あおもりの食」を食べてみたいと思いますか。(それぞれ1つだけ)

	食べてみたい	食べてみたいとは思わない
「じゃっば汁」 たらを「じゃっば(アヲ)」ご使用；大根はにんじんといっしょ煮た汁物	1	2
「けの汁」 大根 にんじん ごぼう わらびなどを細く刻みみそ味(又はしょう油味)の汁物	1	2
「せんべい汁」 汁専用で作った薄切のせんべいを汁の中割って食べる料理	1	2
「みそ貝焼」(みそかやき) 大きなホタテの貝殻を鍋として、だし汁のみそ味をいれて作家調理。地域によっては白身魚やホタテも入ります。	1	2
「黒石やきそば」 太くて平たい麺の独特な風味、つゆが長いです。	1	2
「十和田バラ焼き」 東北B1グランプリで優勝したB級グルメ。フロンテックのまきを大量に使用します。	1	2
「赤いりんご」 皮を剥いて汁身が赤いりんご	1	2
「味噌カレー牛乳ラーメン」 味噌をベースに、カレー粉、牛乳を入れたラーメンのタレをトッピングします。	1	2
「生姜味噌おでん」 細切りのこんにゃくを味噌汁にして生姜をすりおろした味噌汁をたっぷりかけおひん。	1	2
「ひつつみ」 鶏肉を野菜とたっぷり入れた汁の煮物のことをちぎって食べる料理	1	2
「いちご煮」 高級食材とアヒルを使用した、磯香りの魚料理	1	2
「十三湖のしじみ」 津軽島十三湖の獲れたしじみ	1	2
「三沢のほっき丼」 地産の産品ホッキ貝を使用した丼。煮る、焼く、生などのメニューがあります。	1	2
「八戸前沖さば」 八戸沖で獲れたさばの刺身	1	2
「青森シャモロック」 青森県が20年の歳月をかけて開発した地鶏で、肉質・食味が優れています。	1	2
「大間の本マグロ」 津軽海峡で1本刺で獲れた、大間黒潮の揚子刺の本マグロ。	1	2
「大鰐温泉もやし」 青森県大鰐の温泉熱を使用して栽培した長もやし。	1	2
「嶽きみ」(だけきみ) 朝の寒風が吹き、岩木山麓で栽培されている甘みの強いトウモロコシ。	1	2
「倉石牛」 青森県倉石地区の黒毛牛。	1	2
「深浦雪にんじん」 秋まで収穫できるように育てたニンジン。糖度が上がった状態で冬期間、雪の中からはじけます。	1	2

Q20 : (入力必須)

■ Q17で「知らない」を選択した方にお伺いします。 ■

以下の「あおもりの食」に興味はありますか。(それぞれ1つだけ)

	興味がある	興味はない
「じゃっぱ汁」 たらを「じゃっぱ(アヲ)」ご使用; 大根はにんじんといっしょ煮た物	1	2
「けの汁」 大根 にんじん ごぼう わらびなどを細く刻みみそ味 (又はしょう油味) の汁物	1	2
「せんべい汁」 汁専用で作られた薄切のせんべいを汁の中割って食べる料理	1	2
「みそ貝焼」(みそかやき) 大きなホタテの貝殻を鍋として、だし汁のみそ味噌をいって作家調理。地域によっては、白魚やホタテも入れます。	1	2
「黒石やきそば」 太くて平たい麺がある独特な麺。つゆは長いです。	1	2
「十和田バラ焼き」 東北B1グランプリで優勝したB級グルメ。フロンテ風のまぜを少量で使用します。	1	2
「赤いりんご」 皮をむいて身が赤いりんご	1	2
「味噌カレー牛乳ラーメン」 味噌をベースに、カレー粉、牛乳を入れたラーメンのタレをトッピングします。	1	2
「生姜味噌おでん」 細い、かまぼこなどを串刺しにして生姜をすりおろした味噌汁をたっぷりかけおひん。	1	2
「ひつつみ」 鶏や野菜をたっぷり入れた汁の煮物のことをちぎって食べる料理	1	2
「いちご煮」 高級食材とアヒルを使った、磯香りの高級物	1	2
「十三湖のしじみ」 津軽島十三湖で獲れたしじみ	1	2
「三沢のほっき丼」 地域の産品ホッキ貝を使用した丼。煮る、焼く、生などのメニューがあります。	1	2
「八戸前沖さば」 八戸沖で獲れたさばのたたき	1	2
「青森シャモロック」 青森県20年の歳月をかけて開発した鶏で、肉質・食味優れています。	1	2
「大間の本マグロ」 津軽海峡で1本刺しで獲れた、大間産のマグロ	1	2
「大鰐温泉もやし」 青森県大鰐の温泉熱を使用して栽培した長もやし	1	2
「嶽きみ」(だけきみ) 朝の寒露がたき、岩木麓地区で栽培されている甘みの強いトウモロコシ	1	2
「倉石牛」 青森県倉石地区の黒毛牛	1	2
「深浦雪にんじん」 秋まで収穫できるように育てたニンジン。糖度旨味が増した状態で冬期間、雪中から収穫します。	1	2

Q21 : (入力必須)

「あおもりの食」を選ぶ(食べる)としたら、どんなことを重視しますか。

以下の中から当てはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

1	地域性（希少性）
2	経済性（お得感）
3	高品質（新鮮，美味しい）
4	安全性（栽培履歴，食品表示）
5	その他（ ）

11. 対象者分析－消費者構造

●青森県産品のターゲットとすべき消費者

- ① 食べることが出来れば何でも良いというわけではなく、食品に関しある程度意識の高い消費者
- ② あえて青森の県産品を食べてくれるという、ある程度青森県産品に対し愛着を有する消費者

以上の2点から青森県に対するロイヤリティ（親和度）と、食品に対する意識の高低で回答者を4分類し、ターゲットとすべき消費者としての視点で調査結果を分析する。

●対象者の分類

本調査における対象者の分類方法について以下に示す。

- ① 「Q7：買い物をする時の意識」および「Q9：青森県産品イメージ」の各設問ごとに加重平均を算出する。
- ② Q7の全22設問およびQ9の全12設問それぞれの加重平均値をさらに平均する。

【加重平均の算出方法】

Q7の全22設問およびQ9の全12設問において、各評価項目をポイント化し、各項目ごとの合計ポイントの平均値を算出。

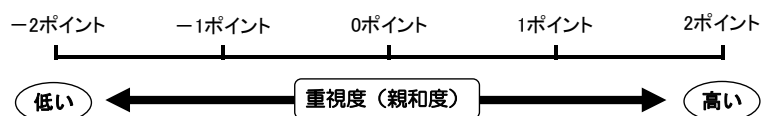
<ポイントの付加方法>

Q2	評価項目	非常に重視する	重視する	どちらとも言えない	重視しない	全く重視しない
	ポイント	2ポイント	1ポイント	0ポイント	-1ポイント	-2ポイント
Q4	評価項目	非常に当てはまる	当てはまる	どちらとも言えない	当てはまらない	全く当てはまらない
	ポイント	2ポイント	1ポイント	0ポイント	-1ポイント	-2ポイント

<加重平均の算出>

各設問の合計ポイント÷回答者総数＝各設問の加重平均

※ 加重平均が最高評価である2ポイントに近いほど重視度（親和度）が高く、マイナス2ポイントに近いほど重視度（親和度）の低さが判定できる。



●各回答者毎の加重平均の算出例

■「Q7：買い物をする時の意識」－全 22 項目

	ポイント					各項目の ポイント ①	
	2	1	0	-1	-2		
	非常に 重視する	重視する	どちらとも 言えない	重視しない	全く 重視しない		
1 添加物，着色料が入っていない	○					2	
2 国産品である（輸入品でない）		○				1	
3 地元産である		○				1	
4 遺伝子組み換え作物ではない			○			0	
}							
21 食べなれたものである		○				1	
22 調理しやすい		○				1	
						各ポイントの 合計	19
						①/22	0.86

■「Q9：青森県の県産品のイメージ」－全 12 項目

	ポイント					各項目の ポイント ①	
	2	1	0	-1	-2		
	非常に 当てはまる	当てはまる	どちらとも 言えない	当て はまらない	全く当て はまらない		
1 味がよい		○				1	
2 新鮮である	○					2	
3 品質が良い	○					2	
4 デザイン・センスが良い		○				1	
}							
11 ブランド品がある	○					2	
12 安心して食べられる	○					2	
						各ポイントの 合計	17
						①/12	1.42

● 全加重平均の平均値の算出方法

■ 「Q7：買い物をする時の意識」－全 22 項目

回答総数(N値)=1,000 上段:回答数 下段:回答数×評価項目のポイント	ポイント					各項目の ポイント ①	①/回答総数 =加重平均
	2	1	0	-1	-2		
	非常に 重視する	重視する	どちらとも 言えない	重視しない	全く 重視しない		
1 添加物、着色料が入っていない	130	427	343	82	18	569	0.57
	260	427	0	-82	-36		
2 国産品である（輸入品でない）	232	470	217	68	13	840	0.84
	464	470	0	-68	-26		
22 調理しやすい	195	569	211	21	4	930	0.93
	390	569	0	-21	-8		

全項目の加重平均を合計

<全 22 項目－加重平均の平均値の算出方法>

全加重平均の平均値＝

各設問の加重平均の合計／22（項目数）

全加重平均の合計	13.49
全加重平均の平均値	0.61295

■ 「Q9：青森県の県産品のイメージ」－全 12 項目

回答総数(N値)=1,000 上段:回答数 下段:回答数×評価項目のポイント	ポイント					各項目の ポイント ①	①/回答総数 =加重平均
	2	1	0	-1	-2		
	非常に 当てはまる	当てはまる	どちらとも 言えない	当て はまらない	全く当て はまらない		
1 味がよい	65	468	461	2	4	588	0.59
	130	468	0	-2	-8		
2 新鮮である	86	427	472	12	3	581	0.58
	172	427	0	-12	-6		
12 安心して食べられる	74	388	528	5	5	521	0.521
	148	388	0	-5	-10		

全項目の加重平均の合計

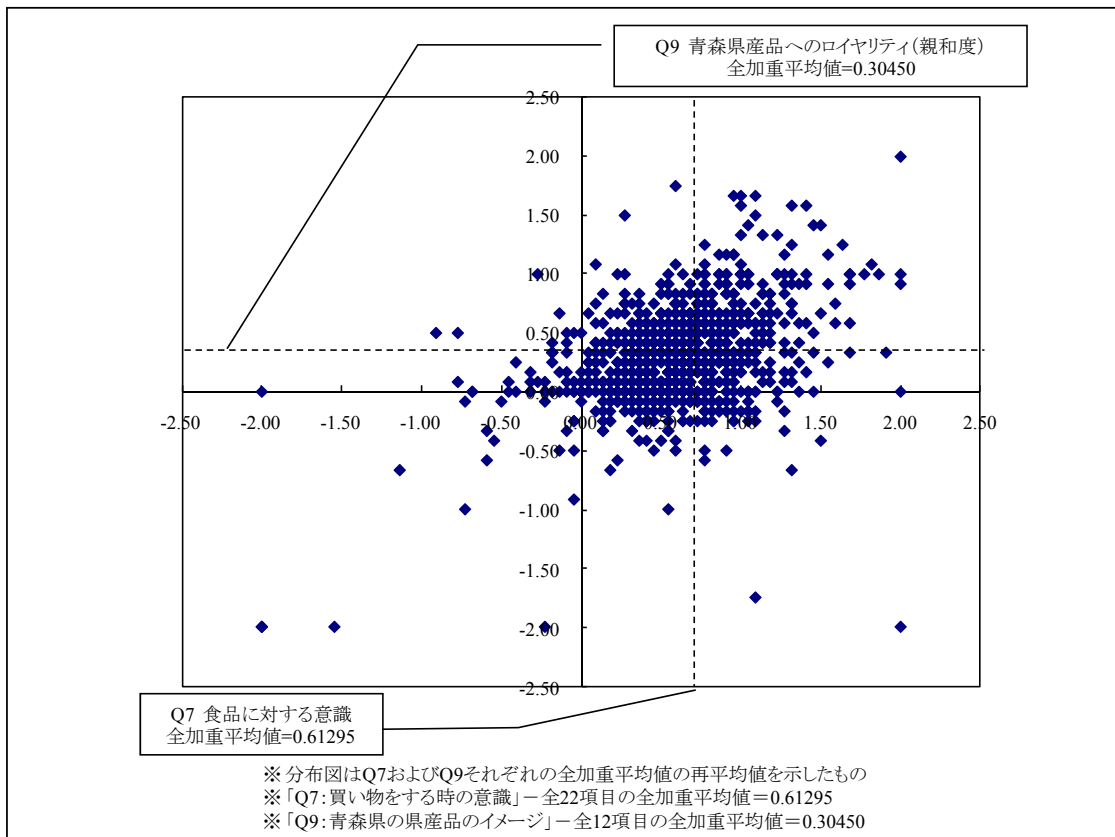
<全 12 項目－加重平均の平均値の算出方法>

全加重平均の平均値＝

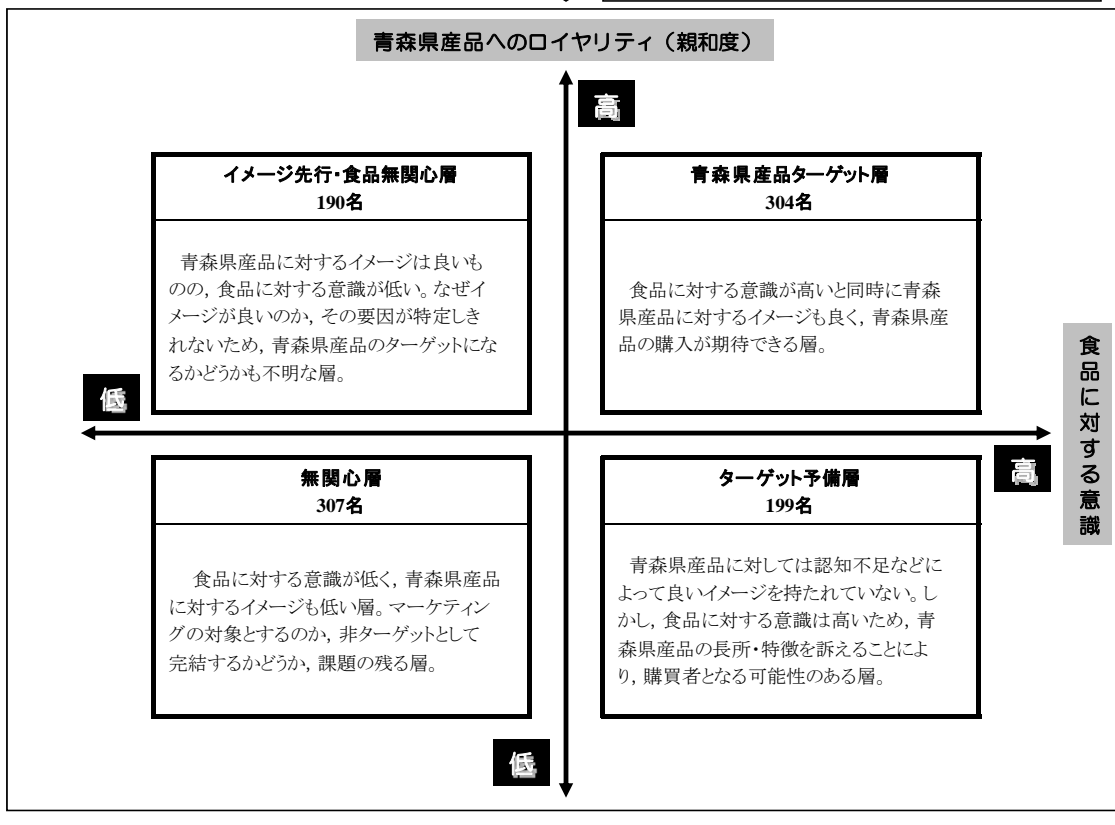
各設問の加重平均の合計／12（項目数）

全加重平均の合計	3.65
全加重平均の平均値	0.30450

●全加重平均の再平均値を基準にして対象者の分類—消費者構造



上記の分布図の結果より、以下の形に対象者を分類



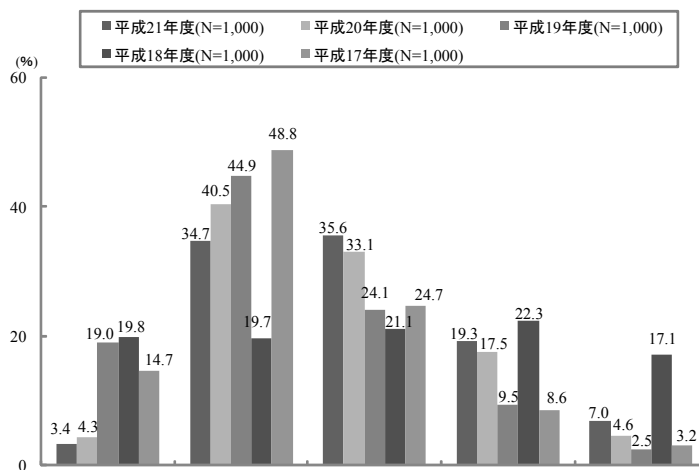
III. 回答者プロフィール

III-1. 回答者の年代

Point

- ・ 全体では、40代が35.6%と最も多く、次いで30代が34.7%、50代が19.3%
- ・ 消費者構造別では、イメージ先行・食品無関心層で30代が比較的多い

図表 III-1 回答者の年代



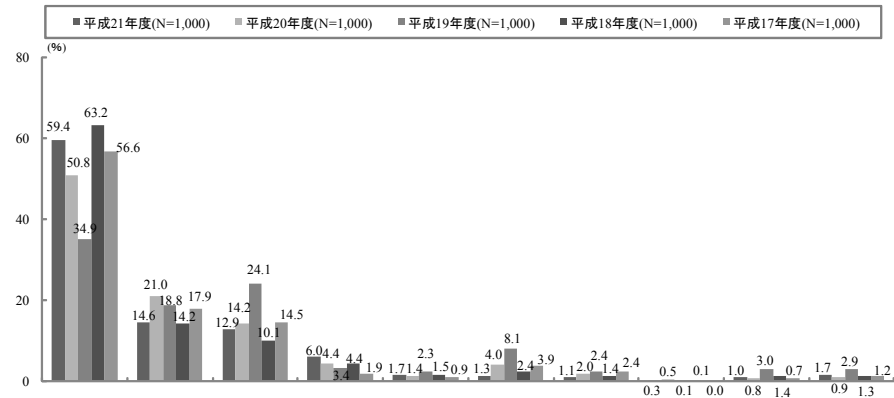
		N	20代	30代	40代	50代	60代
平成21年度		1,000	3.4	34.7	35.6	19.3	7.0
平成20年度		1,000	4.3	40.5	33.1	17.5	4.6
平成19年度		1,000	19.0	44.9	24.1	9.5	2.5
平成18年度		1,000	19.8	19.7	21.1	22.3	17.1
平成17年度		1,000	14.7	48.8	24.7	8.6	3.2
2009年度 各属性	地域別						
	東北	250	5.2	35.2	33.2	20.4	6.0
	関東	250	3.2	31.2	38.0	18.8	8.8
	関西	250	2.0	37.2	38.0	16.8	6.0
	九州	250	3.2	35.2	33.2	21.2	7.2
	年代別						
	20代	34	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	347	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40代	356	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	50代	193	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	60代	70	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	消費者構造別						
	ターゲット層	304	3.6	28.3	35.2	22.0	10.9
ターゲット予備層	199	2.5	31.2	38.7	18.6	9.0	
イメージ先行・食品無関心層	190	5.3	43.2	25.8	20.0	5.8	
無関心層	307	2.6	38.1	40.1	16.6	2.6	

III-2. 回答者の職業

Point

- ・ 全体では、「専業主婦」が59.4%と最も多く、「パート・アルバイト」が14.6%、「会社員」が12.9%
- ・ 年代別にみると、60代の8割が「専業主婦」

図表 III-2 回答者の職業



		N	専業主婦	パート・アルバイト	会社員	自営業	自由業	派遣・契約社員	公務員・団体職員	農林漁業	無職	その他	
平成21年度		1,000	59.4	14.6	12.9	6.0	1.7	1.3	1.1	0.3	1.0	1.7	
平成20年度		1,000	50.8	21.0	14.2	4.4	1.4	4.0	2.0	0.5	0.8	0.9	
平成19年度		1,000	34.9	18.8	24.1	3.4	2.3	8.1	2.4	0.1	3.0	2.9	
平成18年度		1,000	63.2	14.2	10.1	4.4	1.5	2.4	1.4	0.1	1.4	1.3	
平成17年度		1,000	56.6	17.9	14.5	1.9	0.9	3.9	2.4	0.0	0.7	1.2	
2009年度各属性	地域別												
	東北	250	56.8	14.8	16.0	5.6	0.4	1.2	2.0	0.8	1.2	1.2	
	関東	250	62.0	11.6	12.8	5.6	2.0	2.4	0.0	0.0	1.2	2.4	
	関西	250	60.4	16.4	8.4	6.0	3.6	0.4	1.2	0.4	1.2	2.0	
	九州	250	58.4	15.6	14.4	6.8	0.8	1.2	1.2	0.0	0.4	1.2	
	年代別												
	20代	34	64.7	11.8	14.7	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	5.9	
	30代	347	61.4	13.3	14.7	4.6	1.4	1.2	1.7	0.3	0.0	1.4	
	40代	356	56.5	17.1	12.9	5.9	2.5	1.7	0.6	0.0	1.7	1.1	
	50代	193	52.8	16.6	14.0	8.8	1.6	1.0	0.5	1.0	1.0	2.6	
	60代	70	80.0	4.3	0.0	8.6	0.0	1.4	1.4	0.0	2.9	1.4	
	消費者意識別												
	ターゲット層	304	64.1	11.2	11.8	4.9	1.0	1.6	1.3	1.0	1.3	1.6	
ターゲット予備層	199	57.8	14.1	12.6	8.0	3.0	1.0	2.0	0.0	0.0	1.5		
イメージ先行・食品無関心層	190	61.1	14.7	12.1	5.8	1.6	1.1	1.1	0.0	0.5	2.1		
無関心層	307	54.7	18.2	14.7	5.9	1.6	1.3	0.3	0.0	1.6	1.6		

その他(N=17)

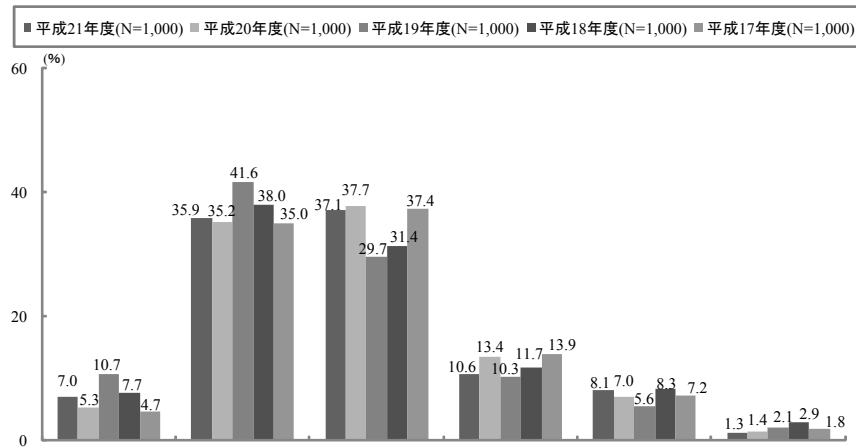
その他の内容	件数	その他の内容	件数
自営手伝い	3	教師	1
SOHO	1	芸術関連専門職	1
イラストレーター	1	在宅ワーカー	1
ピアノ教師	1	自営事務	1
フリーの講師	1	専従者	1
フルタイム有職主婦	1	大学院生	1
介護職	1	無回答	1
看護師	1		

III-3. 回答者の世帯年収

Point

- ・ 全体では、「500 万円以上～800 万円未満」の世帯が 37.1%と最も多く、次いで「200 万円以上～500 万円未満」の世帯が 35.9%
- ・ 地域別にみると、関東では 800 万円以上の世帯が比較的多い
- ・ 年代別にみると、20 代と 60 代では 500 万円未満の世帯が多い
- ・ 消費者構造別にみると、ターゲット層やターゲット予備層では 800 万円以上の世帯がやや多い

図表 III-3 回答者の世帯年収



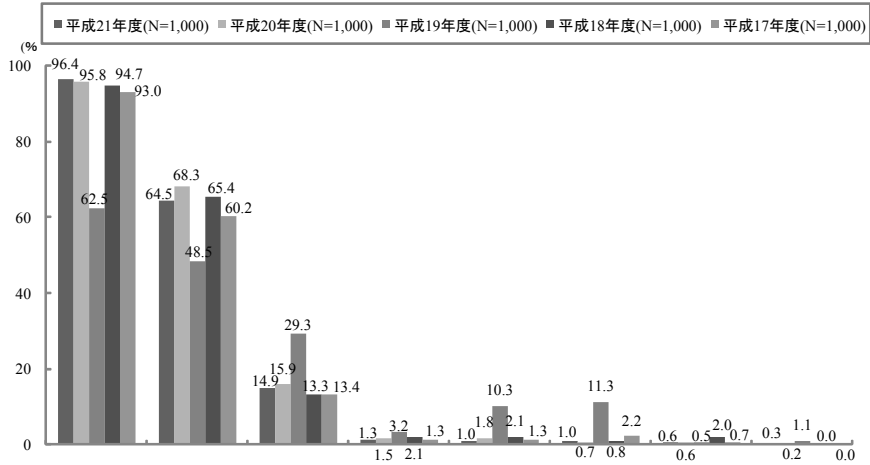
		N	200万円未満	200万円以上～500万円未満	500万円以上～800万円未満	800万円以上～1000万円未満	1000万円以上～1500万円未満	1500万円以上	
平成21年度		1,000	7.0	35.9	37.1	10.6	8.1	1.3	
平成20年度		1,000	5.3	35.2	37.7	13.4	7.0	1.4	
平成19年度		1,000	10.7	41.6	29.7	10.3	5.6	2.1	
平成18年度		1,000	7.7	38.0	31.4	11.7	8.3	2.9	
平成17年度		1,000	4.7	35.0	37.4	13.9	7.2	1.8	
2009年度各属性	地域別								
	東北	250	7.2	39.2	38.4	9.6	4.4	1.2	
	関東	250	5.2	28.4	38.0	11.2	15.2	2.0	
	関西	250	6.8	36.8	35.6	11.2	8.8	0.8	
	九州	250	8.8	39.2	36.4	10.4	4.0	1.2	
	年代別								
	20代	34	5.9	70.6	17.6	0.0	2.9	2.9	
	30代	347	7.8	39.2	43.2	6.6	2.9	0.3	
	40代	356	5.3	30.1	38.5	13.8	10.7	1.7	
	50代	193	9.8	29.0	31.1	13.0	14.5	2.6	
	60代	70	4.3	51.4	25.7	12.9	5.7	0.0	
	消費者構造別								
	ターゲット層	304	4.6	37.8	36.5	11.8	8.2	1.0	
ターゲット予備層	199	5.0	29.1	39.2	14.6	11.1	1.0		
イメージ先行・食品無関心層	190	8.4	42.1	32.1	9.5	6.3	1.6		
無関心層	307	9.8	34.5	39.4	7.5	7.2	1.6		

III-4. 回答者との同居者

Point

- ・ 全体では、「配偶者」が96.4%と最も多く、次いで「息子・娘」が64.5%
- ・ 地域別にみると、東北では「親」が29.2%と多い
- ・ 年代別にみると、30代および40代では「息子・娘」が70%以上と多い

図表 III-4 回答者との同居者



		N	配偶者	息子・娘	親	祖父母	兄弟・姉妹	一人暮らし	孫	友人	
平成21年度		1,000	96.4	64.5	14.9	1.3	1.0	1.0	0.6	0.3	
平成20年度		1,000	95.8	68.3	15.9	1.5	1.8	0.7	0.6	0.2	
平成19年度		1,000	62.5	48.5	29.3	3.2	10.3	11.3	0.5	1.1	
平成18年度		1,000	94.7	65.4	13.3	2.1	2.1	0.8	2.0	0.0	
平成17年度		1,000	93.0	60.2	13.4	1.3	1.3	2.2	0.7	0.0	
2009年度 各属性	地域別	東北	250	96.0	68.4	29.2	4.0	3.2	0.8	0.8	0.4
		関東	250	96.4	64.8	10.0	0.0	0.4	1.2	0.8	0.0
		関西	250	96.0	60.8	9.2	0.4	0.4	1.2	0.0	0.8
		九州	250	97.2	64.0	11.2	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0
	年代別	20代	34	100.0	58.8	5.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0
		30代	347	98.8	70.0	12.7	2.9	1.4	0.3	0.0	0.3
		40代	356	95.8	71.6	17.1	0.3	0.8	1.1	0.0	0.6
		50代	193	91.7	54.9	17.6	0.5	0.5	2.6	1.6	0.0
		60代	70	98.6	30.0	11.4	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	消費者構造別	ターゲット層	304	97.0	63.2	16.4	1.0	1.3	0.3	0.7	0.0
		ターゲット予備層	199	95.5	63.8	10.1	1.0	0.5	1.5	0.5	0.5
		イメージ先行・食品無関心層	190	96.3	72.6	16.8	2.6	1.6	1.1	0.5	0.0
		無関心層	307	96.4	61.2	15.3	1.0	0.7	1.3	0.7	0.7

IV. 調査結果

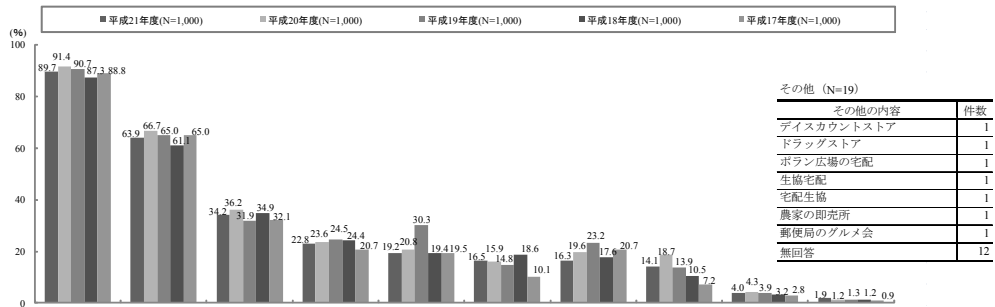
IV-1. 青森県産品について

(1) Q6：普段の食料品の買物先（複数回答）

Point

- ・ 全体では、「食品スーパー」が89.7%と最も多く、次いで「総合スーパー」が63.9%、「生協・ACO-OP」が34.2%、「専門店」が22.8%と昨年度までと同様の傾向
- ・ 地域別にみると、関東では「専門店」が多いこと、東北および九州では「道の駅等産地直売所」が多いこと等が特徴的
- ・ 年齢別にみると、20代では「総合スーパー」が少ないこと、年齢が高くなるに従い「通信販売」「デパート」「道の駅等産地直売所」の利用者が多くなること等が特徴的
- ・ 消費者構造別にみると、ターゲット層では「総合スーパー」の利用者が多いことが特徴的

図表 IV-1 普段の食料品の買物先

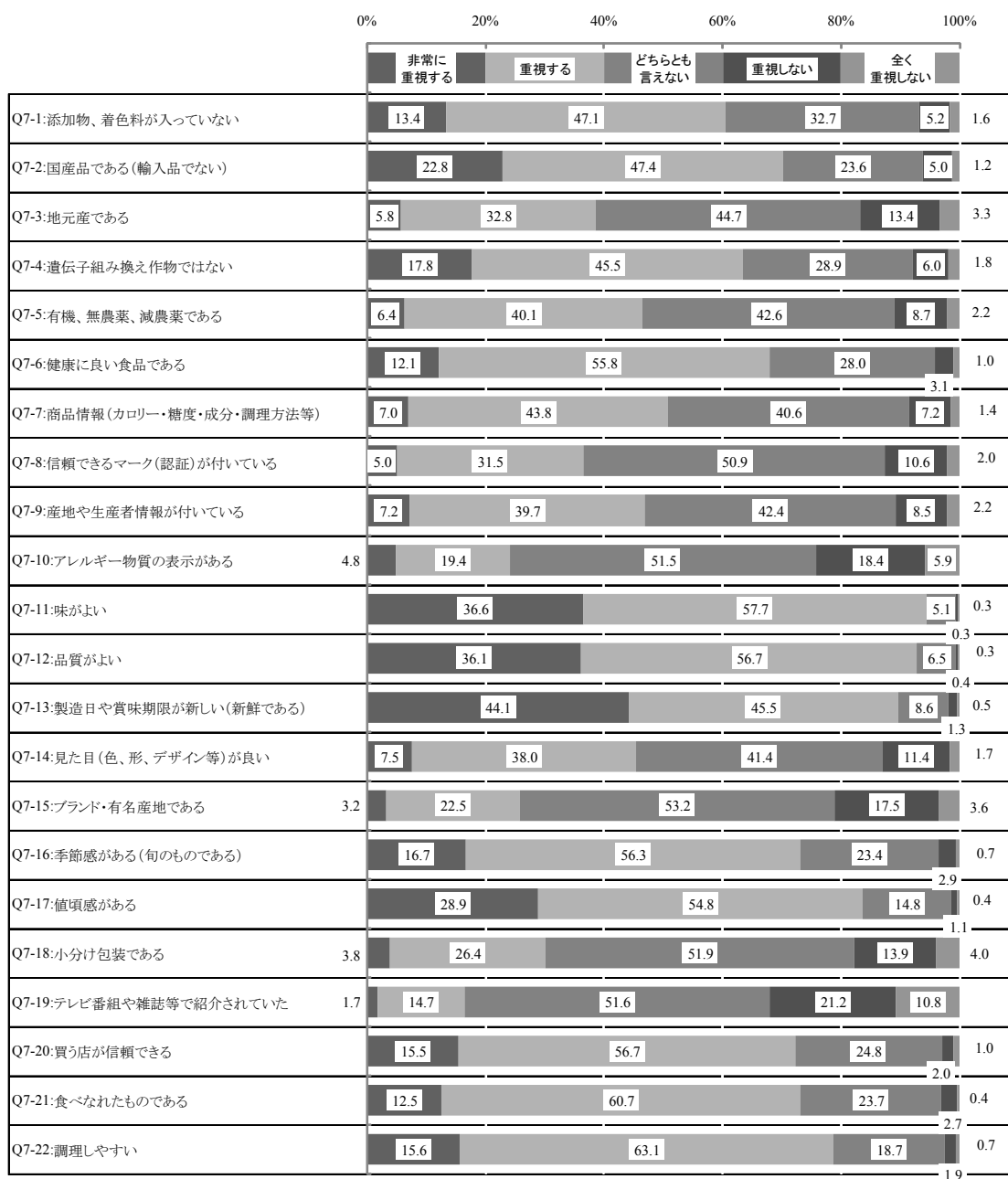


	N	食品スーパー	総合スーパー (衣料品や家電も 売っている店)	生協・ACO-OP	（魚屋・肉屋・八百屋等） 専門店	コンビニエンスストア	（インターネット販売・ カタログ販売） 通信販売	デパート	道の駅等産地直売所	都道府県のアンテナショップ (自治体などが地元産品の 取り揃えて販売する店舗)	その他
平成21年度	1,000	89.7	63.9	34.2	22.8	19.2	16.5	16.3	14.1	4.0	1.9
平成20年度	1,000	91.4	66.7	36.2	23.6	20.8	15.9	19.6	18.7	4.3	1.2
平成19年度	1,000	90.7	65.0	31.9	24.5	30.3	14.8	23.2	13.9	3.9	1.3
平成18年度	1,000	87.3	61.1	34.9	24.4	19.4	18.6	17.6	10.5	3.2	1.2
平成17年度	1,000	88.8	65.0	32.1	20.7	19.5	10.1	20.7	7.2	2.8	0.9
地域別											
東北	250	91.2	60.0	38.0	20.4	21.6	15.6	12.0	22.8	3.6	1.2
関東	250	87.2	64.8	28.0	28.4	18.8	14.4	22.0	6.0	4.8	2.8
関西	250	90.0	63.6	37.2	20.0	17.2	18.8	17.2	7.2	1.6	1.6
九州	250	90.4	67.2	33.6	22.4	19.2	17.2	14.0	20.4	6.0	2.0
年代別											
20代	34	94.1	47.1	35.3	23.5	17.6	11.8	8.8	5.9	5.9	0.0
30代	347	89.9	59.4	29.4	20.2	19.6	13.3	13.3	13.5	4.3	2.0
40代	356	89.9	66.3	39.9	23.0	18.5	16.9	16.9	11.5	3.4	2.2
50代	193	90.7	68.9	31.1	24.9	21.2	19.7	17.6	19.2	3.6	1.0
60代	70	82.9	68.6	37.1	28.6	15.7	24.3	28.6	20.0	5.7	2.9
消費者構造別											
ターゲット層	304	87.8	70.1	38.8	27.0	22.7	21.1	21.1	23.7	7.6	3.0
ターゲット未満層	199	88.9	61.3	39.2	22.1	20.6	17.6	19.6	12.1	2.5	2.0
ターゲット外・無回答層	190	93.7	60.0	32.1	20.0	18.4	11.6	9.5	10.5	2.1	0.5
無関心層	307	89.6	61.9	27.7	20.8	15.3	14.3	13.7	8.1	2.6	1.6

(2) Q7：買物をする際の重視点（単一回答）

Point	・ 「味がよい」「品質がよい」「製造日や賞味期限が新しい（新鮮である）」は特に重要視
	・ このほか、「値頃感がある」「買う店が信頼できる」「食べなれたものである」「調理しやすい」等も多くの消費者が重要視
	・ 一方、「国産品である」の重視度が低下傾向

図表 IV-2 買物をする際の重視点



図表 IV-3 買物をする際の重視点の加重平均の推移

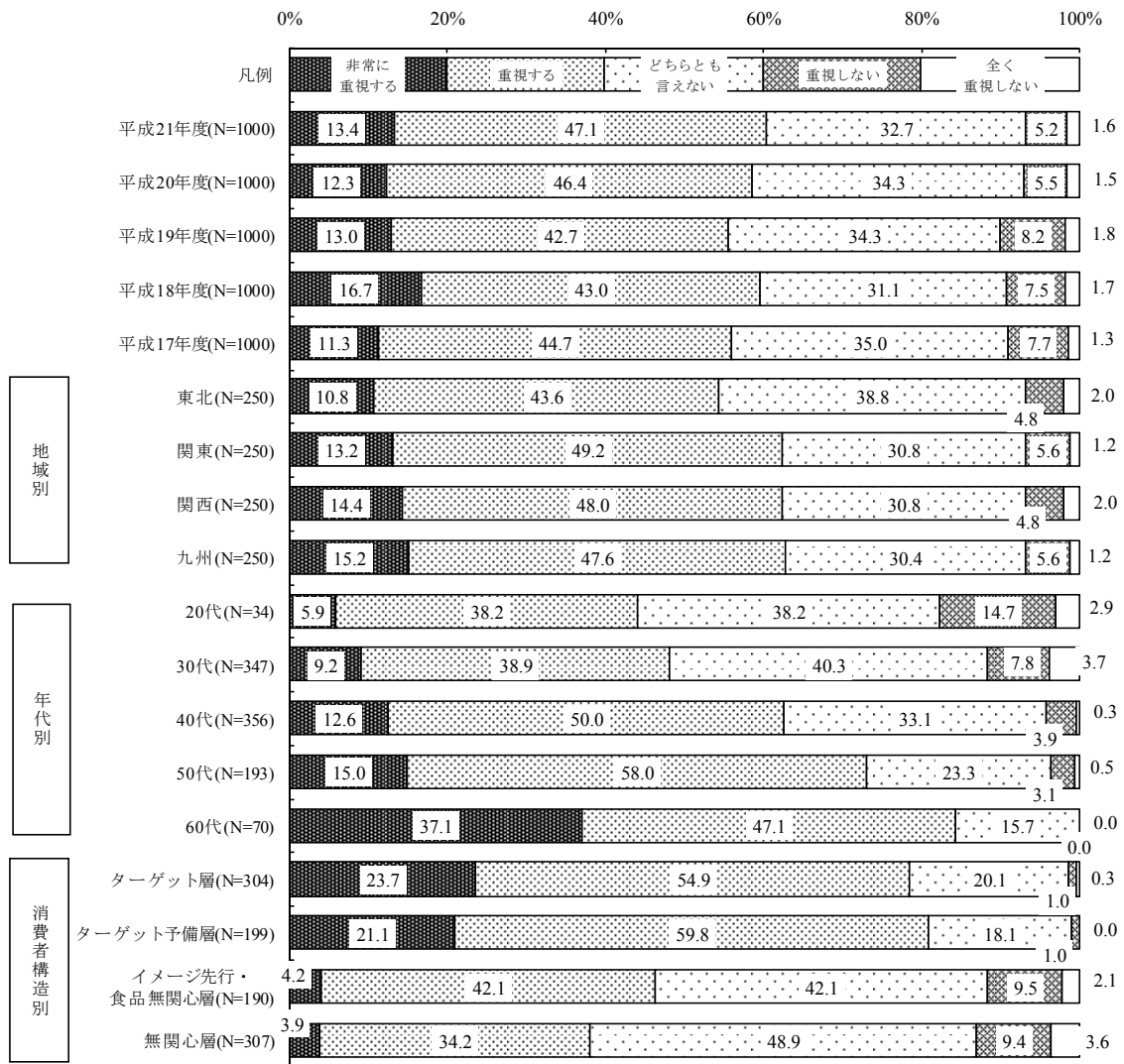
	加重平均					各項目のポイント差			
	平成21年度加重平均	平成20年度加重平均	平成19年度加重平均	平成18年度加重平均	平成17年度加重平均	H18年度からH17年度の加重平均をマイナス	H19年度からH18年度の加重平均をマイナス	H20年度からH19年度の加重平均をマイナス	H21年度からH20年度の加重平均をマイナス
Q7-1.添加物、着色料が入っていない	0.66	0.63	0.57	0.66	0.57	0.09	▲0.09	0.06	0.03
Q7-2.国産品である(輸入品でない)	0.86	0.93	0.84	0.79	0.68	0.11	0.05	0.09	▲0.08
Q7-3.地元産である	0.24	0.28	0.11	0.13	0.00	0.13	▲0.02	0.17	▲0.03
Q7-4.遺伝子組み換え作物ではない	0.72	0.75	0.75	0.77	0.67	0.10	▲0.02	▲0.01	▲0.03
Q7-5.有機、無農薬、減農薬である	0.40	0.43	0.47	0.44	0.35	0.09	0.03	▲0.04	▲0.03
Q7-6.健康に良い食品である	0.75	0.73	0.79	0.84	0.75	0.09	▲0.05	▲0.07	0.02
Q7-7.商品情報 (カロリー・糖度・成分・調理方法等)	0.48	0.42	0.50	0.39	0.30	0.09	0.11	▲0.07	0.05
Q7-8.信頼できるマーク(認証)が付いている	0.27	0.33	0.32	0.39	0.26	0.13	▲0.07	0.01	▲0.06
Q7-9.産地や生産者情報が付いている	0.41	0.44	0.44	0.45	0.33	0.12	▲0.01	▲0.01	▲0.03
Q7-10.アレルギー物質の表示がある	-0.01	-0.03	-0.02		-0.09	0.12	▲0.05	▲0.02	0.02
Q7-11.味がよい	1.30	1.23	1.28	1.3	1.25	0.05	▲0.02	▲0.05	0.07
Q7-12.品質がよい	1.28	1.24	1.29	1.32	1.25	0.07	▲0.03	▲0.05	0.04
Q7-13.製造日や賞味期限が新しい (新鮮である)	1.31	1.31	1.36	1.48	1.42	0.06	▲0.12	▲0.06	0.01
Q7-14.見た目(色、形、デザイン等)が良い	0.38	0.32	0.42	0.38	0.43	▲0.05	0.04	▲0.10	0.06
Q7-15.ブランド・有名産地である	0.04		0.03	0.07		0.11	▲0.04	▲0.05	0.06
Q7-16.季節感がある(旬のものである)	0.85	0.87	0.85	0.89	0.78	0.11	▲0.04	0.03	▲0.02
Q7-17.価値感がある	1.11	1.08	1.02	1.11	1.12	▲0.01	▲0.09	0.06	0.03
Q7-18.小分け包装である	0.12	0.09	0.17	0.21	0.17	0.04	▲0.04	▲0.08	0.03
Q7-19.テレビ番組や雑誌等で 紹介されていた	-0.25	-0.30	-0.22	-0.21	-0.18	▲0.03	▲0.01	▲0.08	0.05
Q7-20.買う店が信頼できる	0.84	0.85	0.82	0.97	0.87	0.10	▲0.15	0.03	▲0.01
Q7-21.食べなれたものである	0.82	0.83	0.81	0.87	0.95	▲0.08	▲0.06	0.02	▲0.01
Q7-22.調理しやすい	0.91	0.92	0.93	0.88	0.98	▲0.10	0.05	▲0.01	▲0.01

Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて60.5%
- ・ 地域別にみると、東北では若干重視度が低い
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が78.6%、ターゲット予備層では同じく80.9%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-4 買物をする際の重視点

Q7_1：添加物，着色料が入っていない

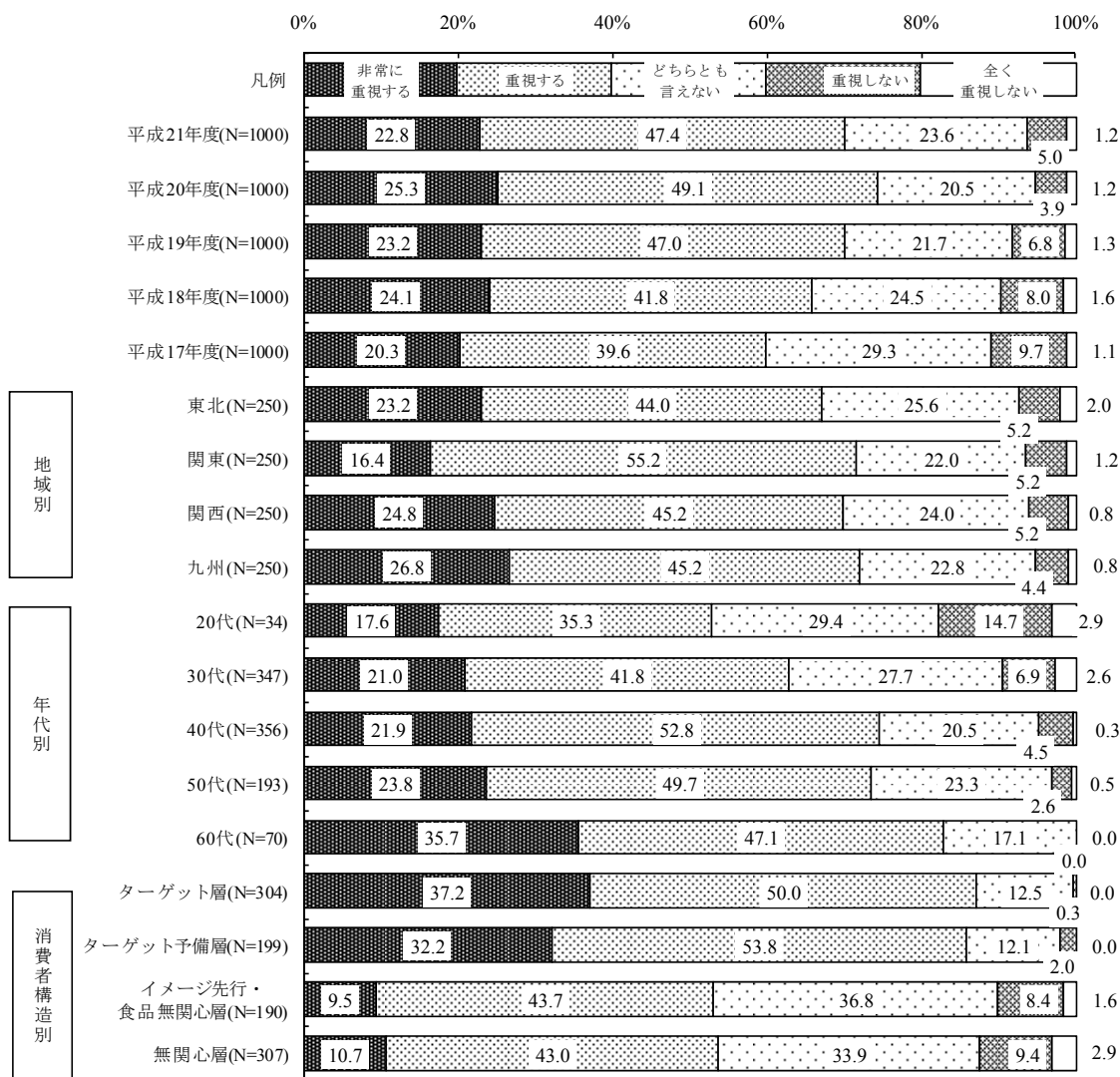


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて70.2%
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が87.2%、ターゲット予備層では同じく86.0%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-5 買物をする際の重視点

Q7_2：国産品である（輸入品でない）

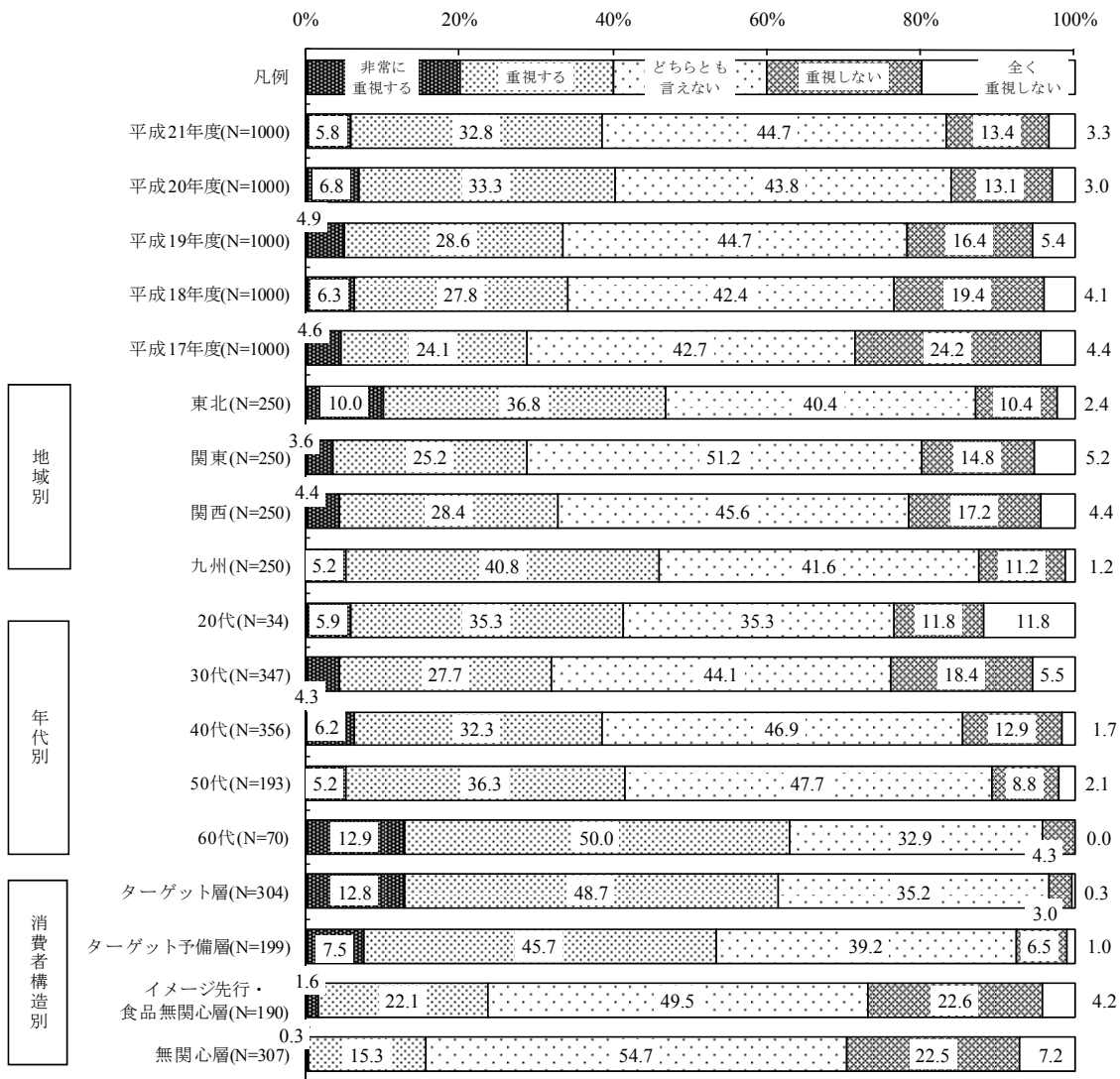


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 38.6%
- ・ 地域別にみると、東北や九州では重視度が高い
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 61.5%、ターゲット予備層では同じく 53.2%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-6 買物をする際の重視点

Q7_3：地元産である

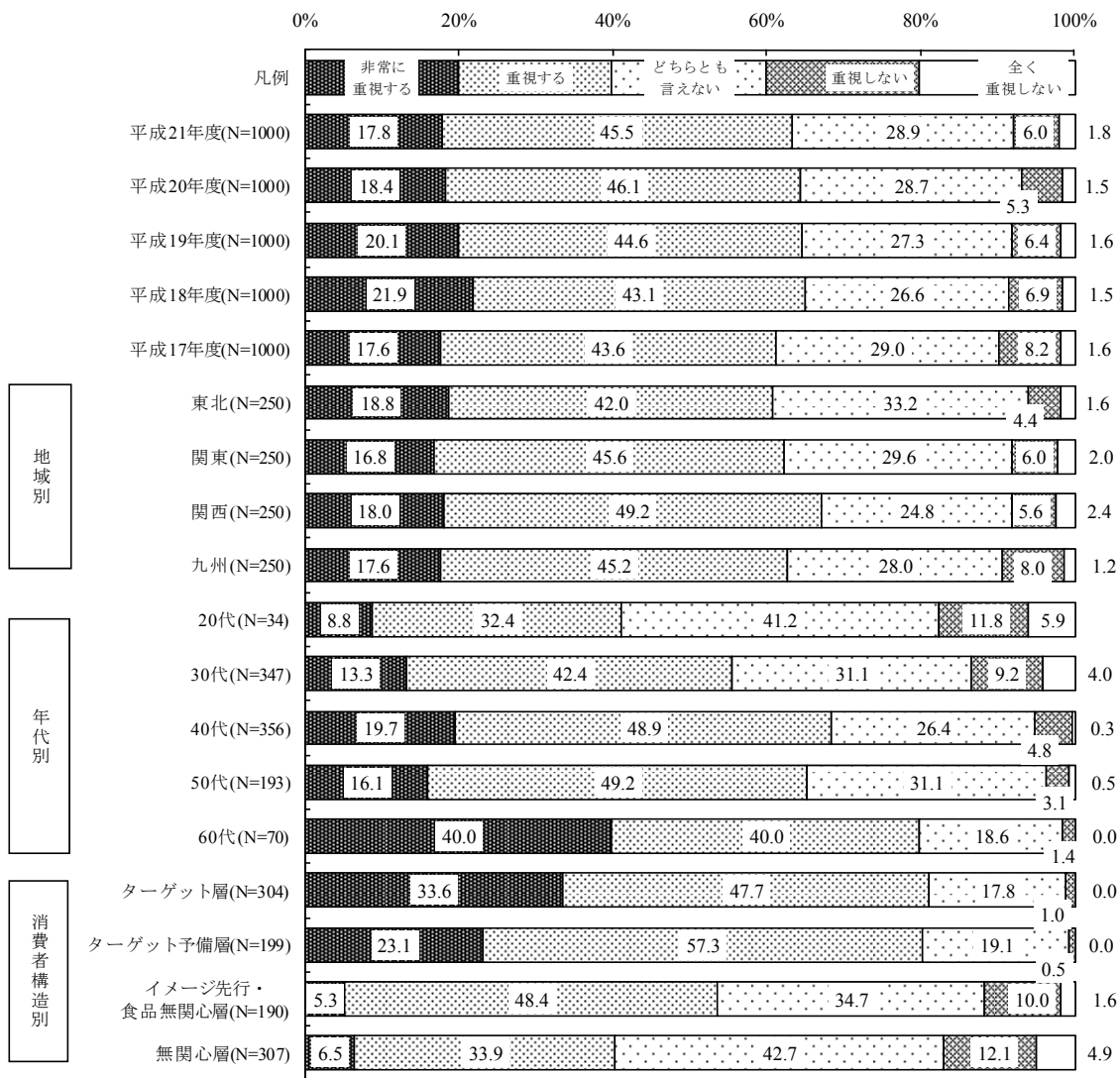


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 63.3%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 81.3%、ターゲット予備層では同じく 80.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-7 買物をする際の重視点

Q7_4：遺伝子組み換え作物ではない

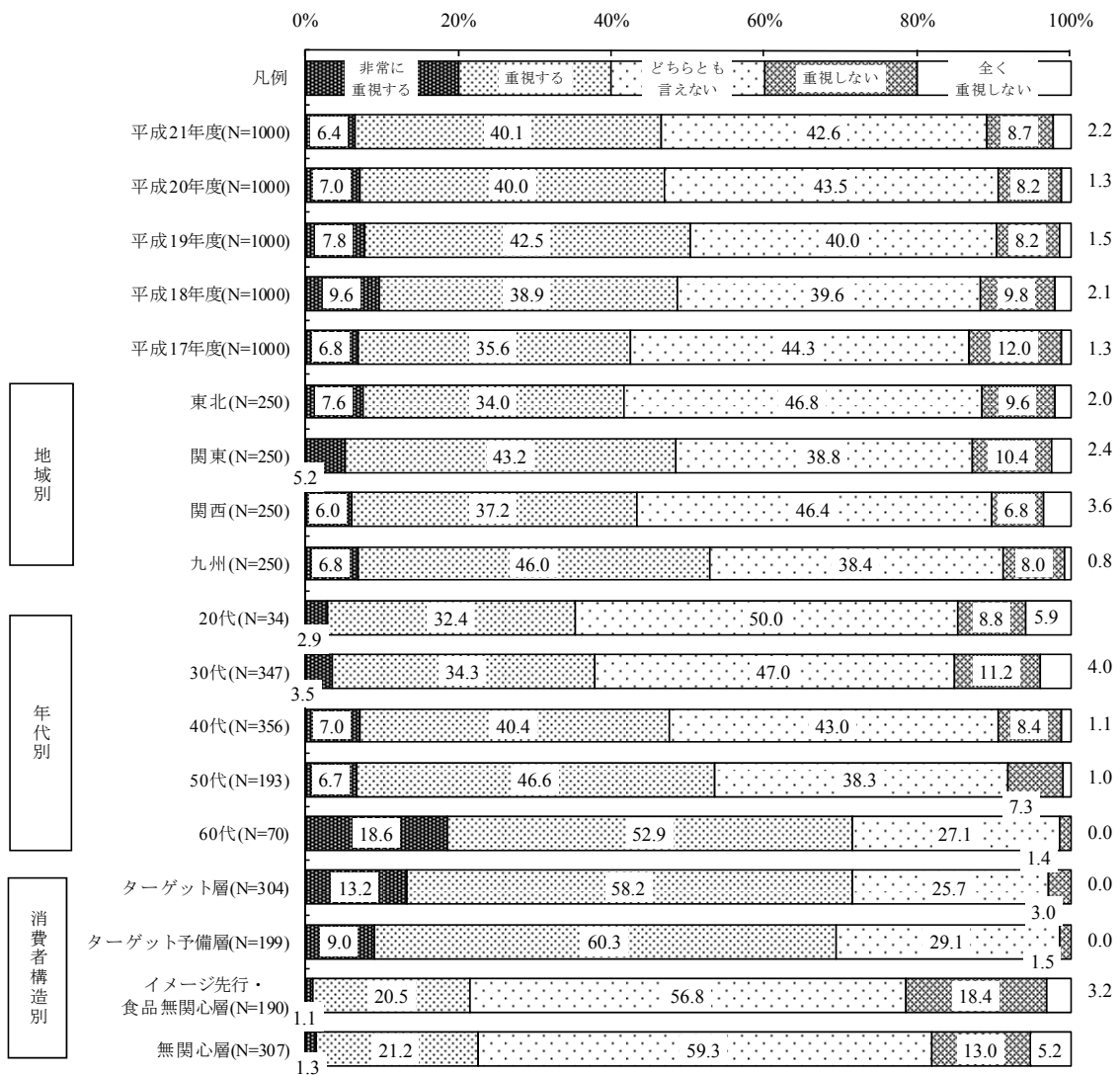


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて46.5%
- ・ 地域別にみると、特に九州では過半数以上が重要視
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が71.4%、ターゲット予備層では同じく69.3%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-8 買物をする際の重視点

Q7_5：有機，無農薬，減農薬である

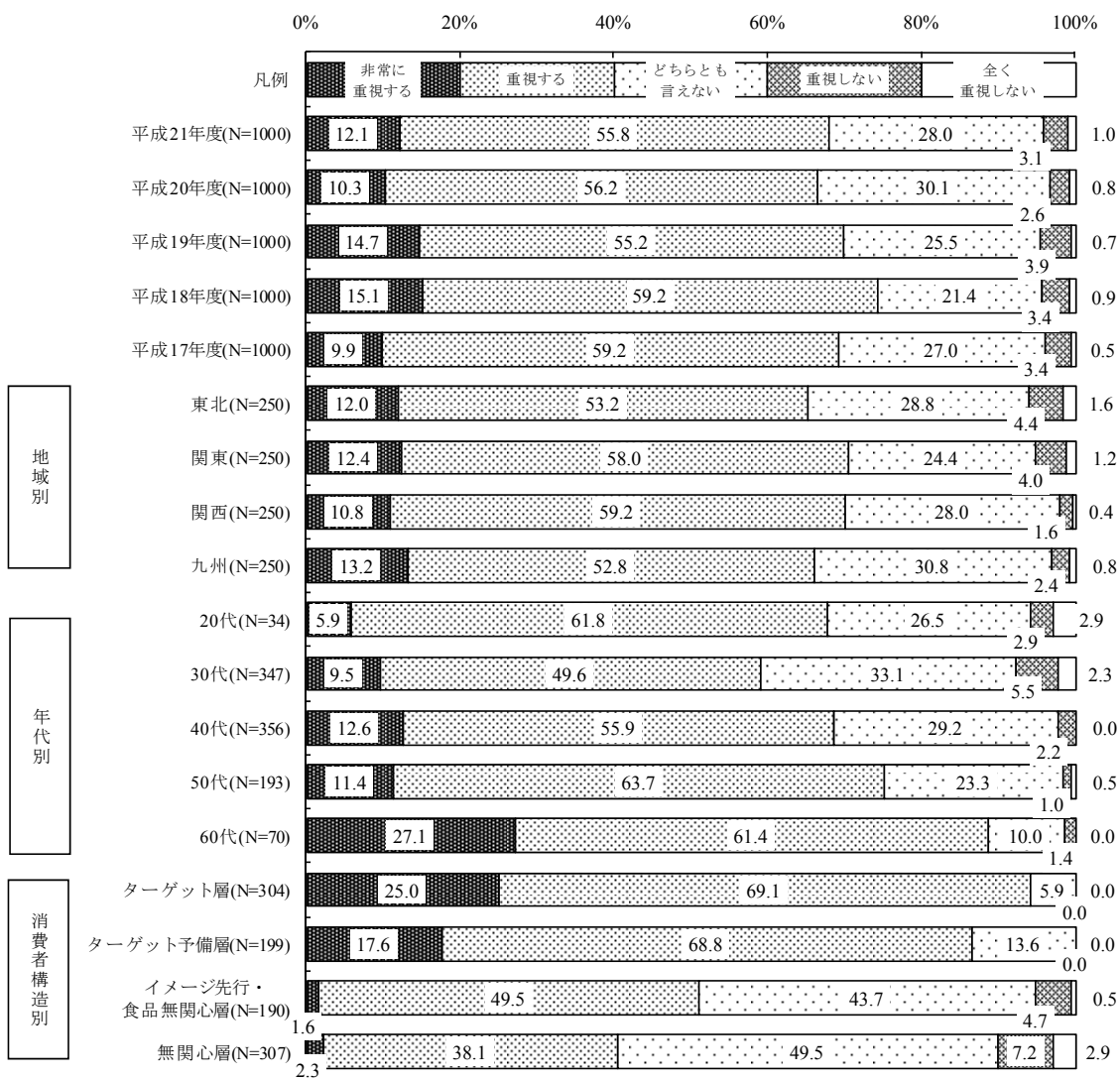


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 67.9%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 94.1%、ターゲット予備層では同じく 86.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-9 買物をする際の重視点

Q7_6：健康に良い食品である

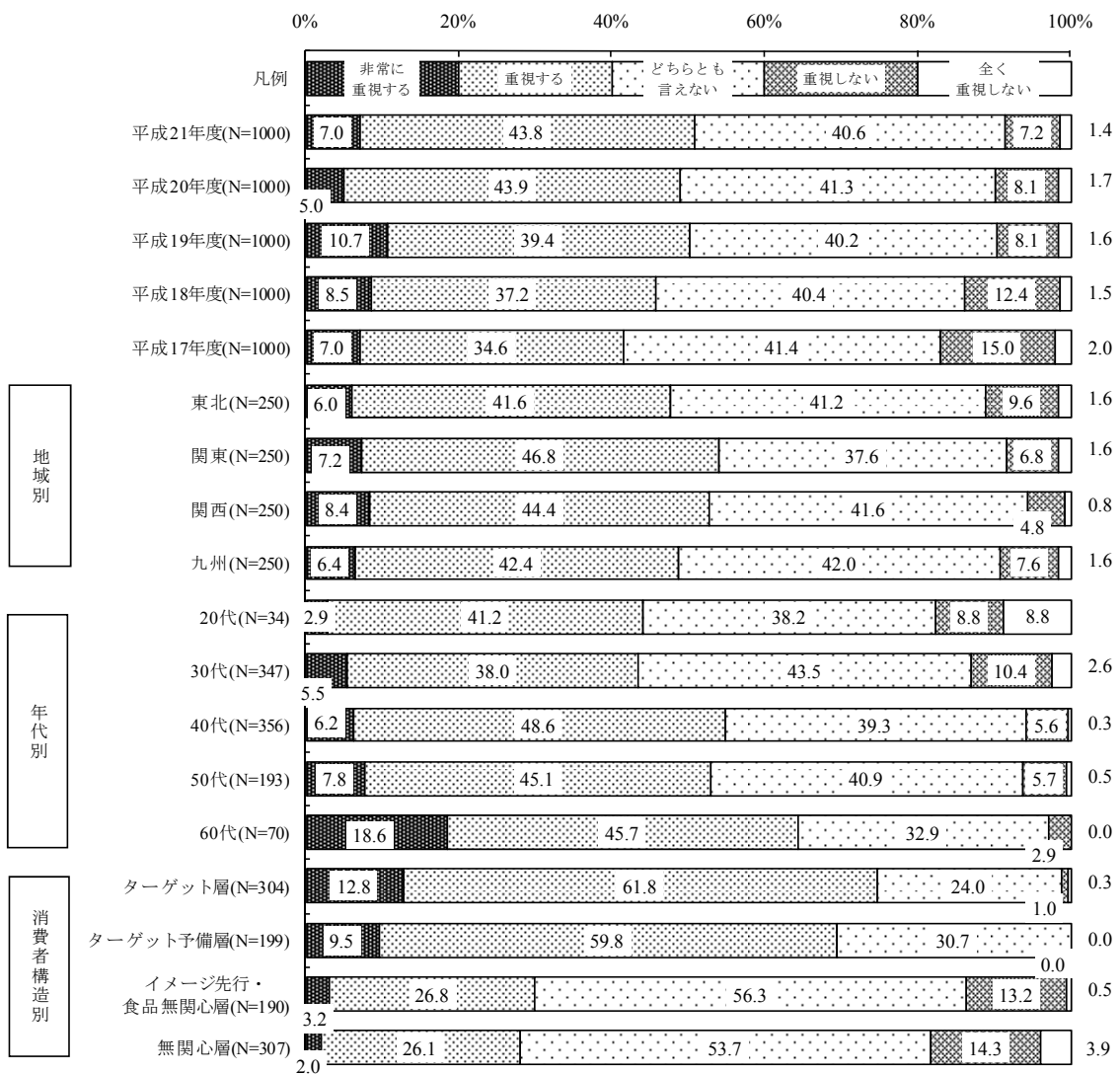


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 50.8%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 74.6%、ターゲット予備層では同じく 69.3%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-10 買物をする際の重視点

Q7_7: 商品情報 (カロリー・糖度・成分・調理方法等)

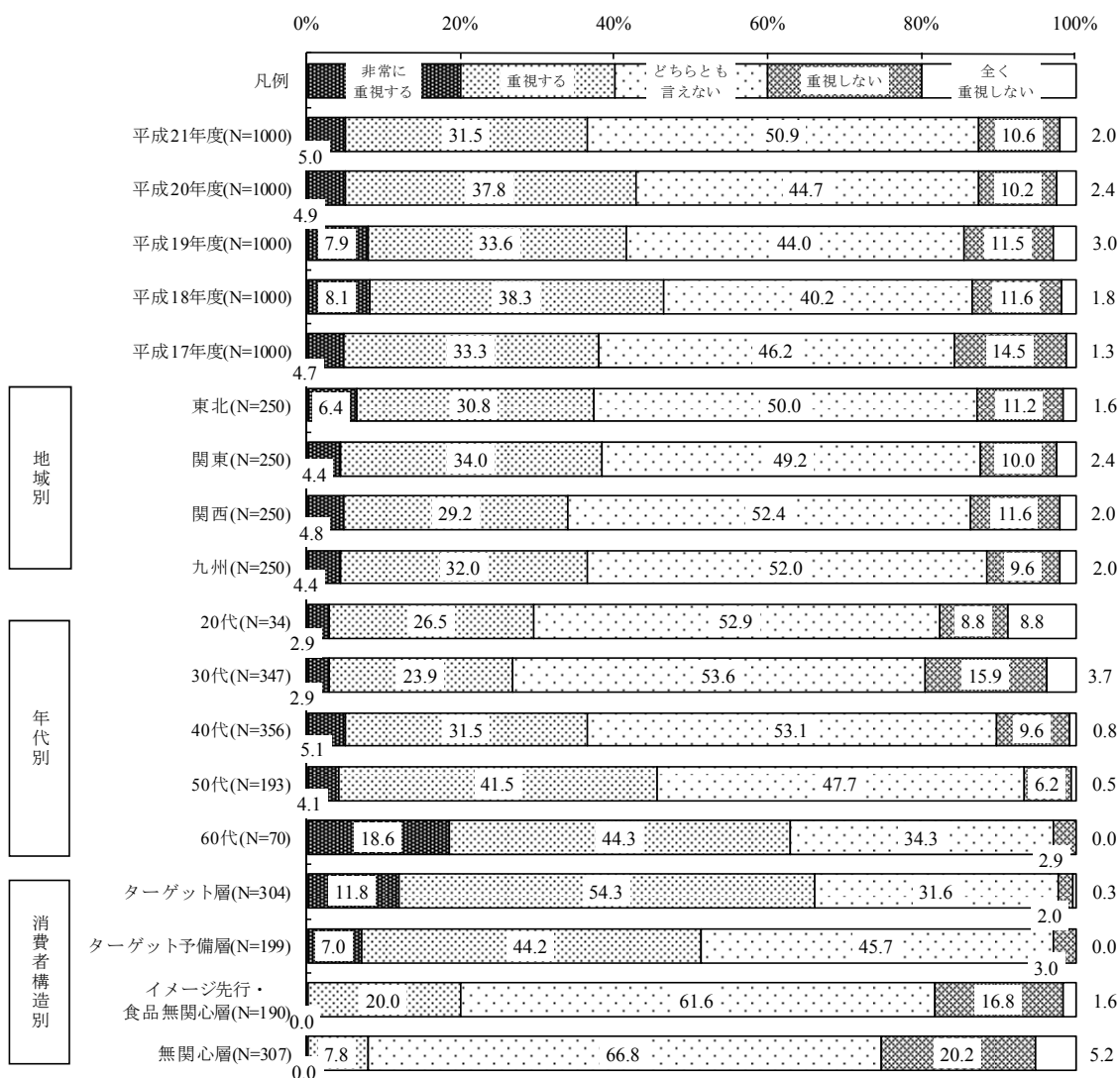


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 36.5%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 66.1%、ターゲット予備層では同じく 51.2%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-11 買物をする際の重視点

Q7_8 : 信頼できるマーク（認証）が付いている

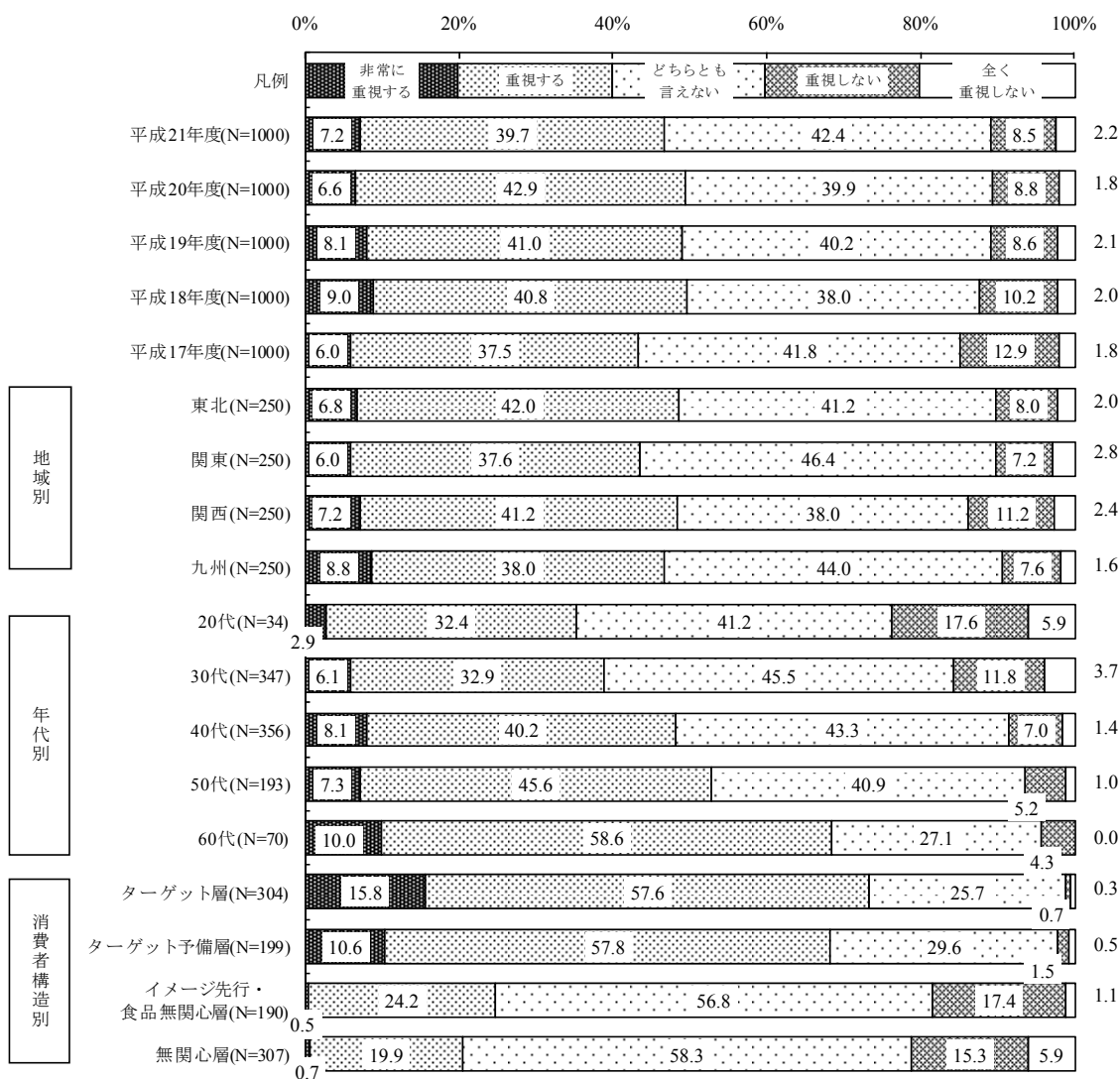


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて46.9%
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が73.4%、ターゲット予備層では同じく68.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-12 買物をする際の重視点

Q7_9：産地や生産者情報が付いている

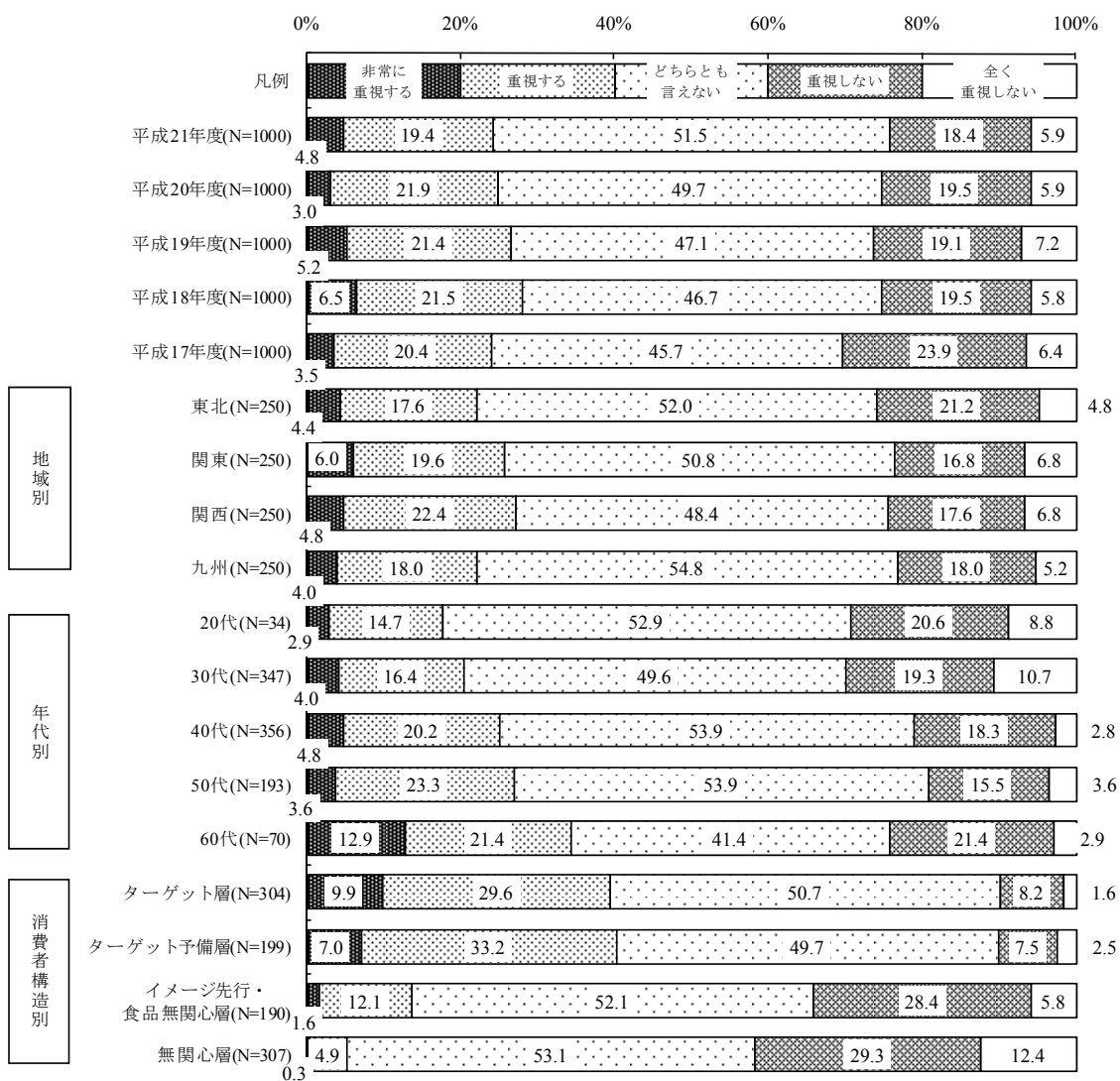


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて24.2%
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が39.5%、ターゲット予備層では同じく40.2%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-13 買物をする際の重視点

Q7_10：アレルギー物質の表示がある

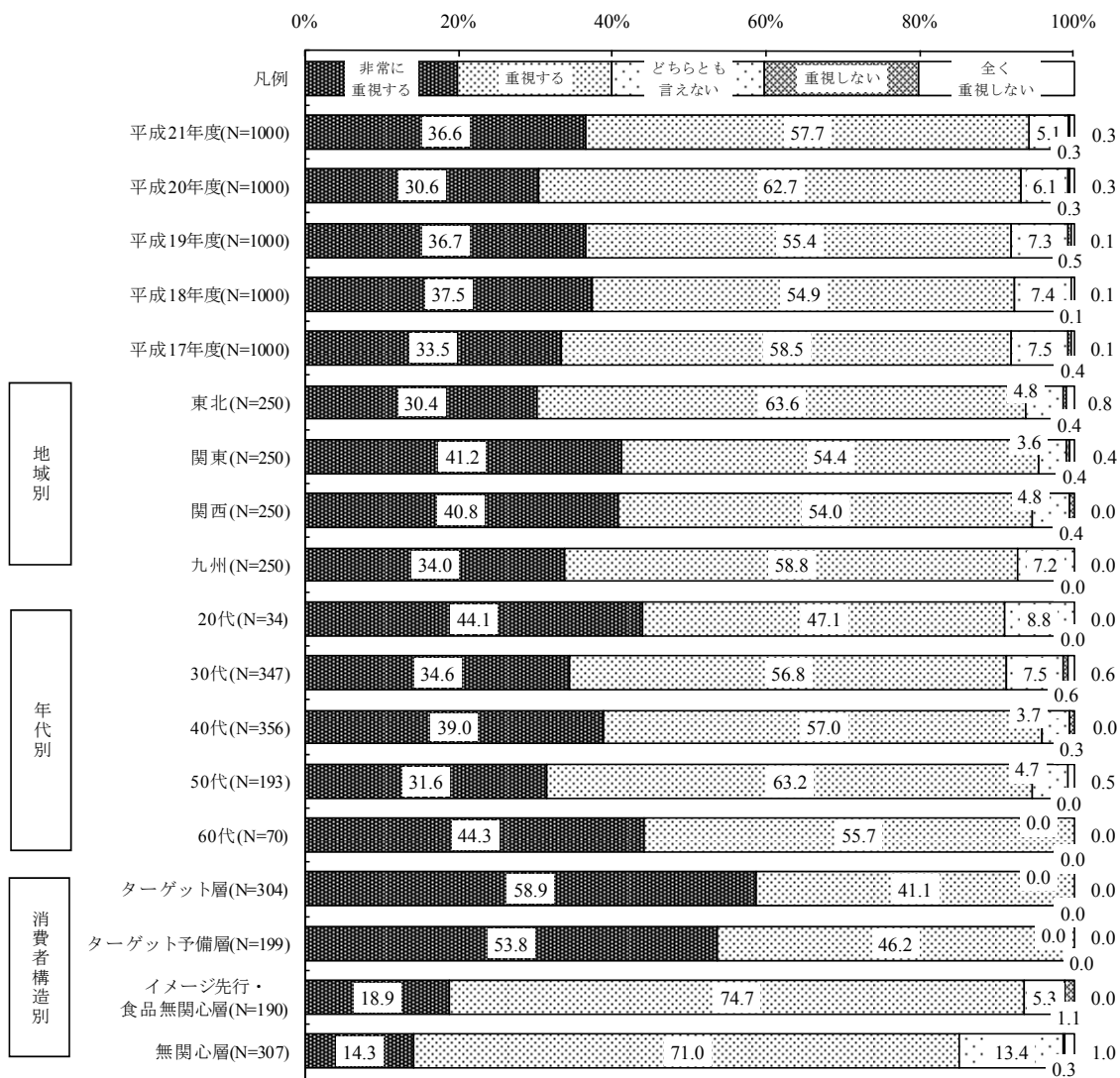


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 94.3%
- ・ 消費者構造別にみると、ターゲット層およびターゲット予備層では、「非常に重視する」が多い

図表 IV-14 買物をする際の重視点

Q7_11：味がよい

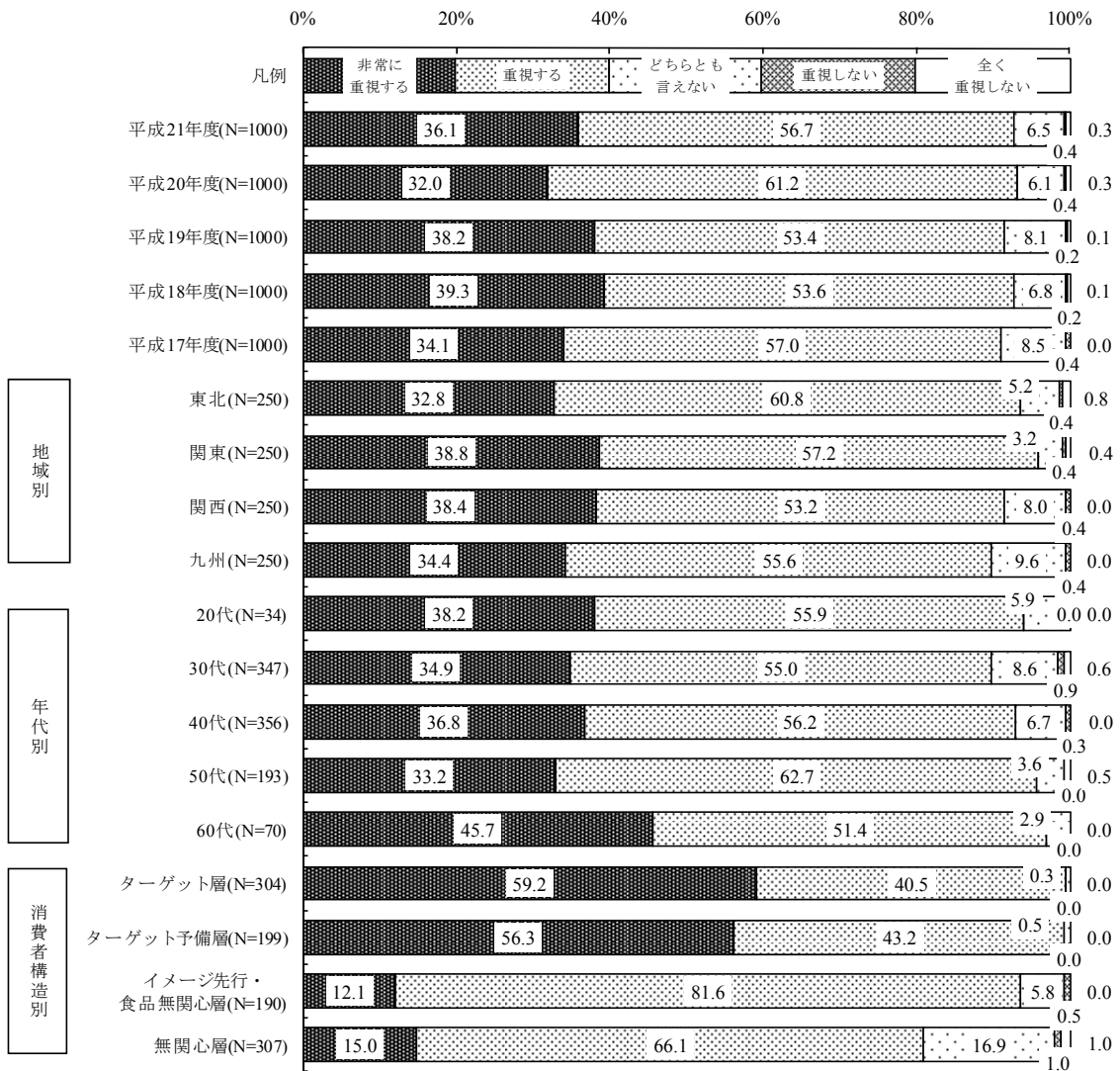


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 92.8%
- ・ 消費者構造別にみると、ターゲット層およびターゲット予備層では、「非常に重視する」が多い

図表 IV-15 買物をする際の重視点

Q7_12：品質がよい

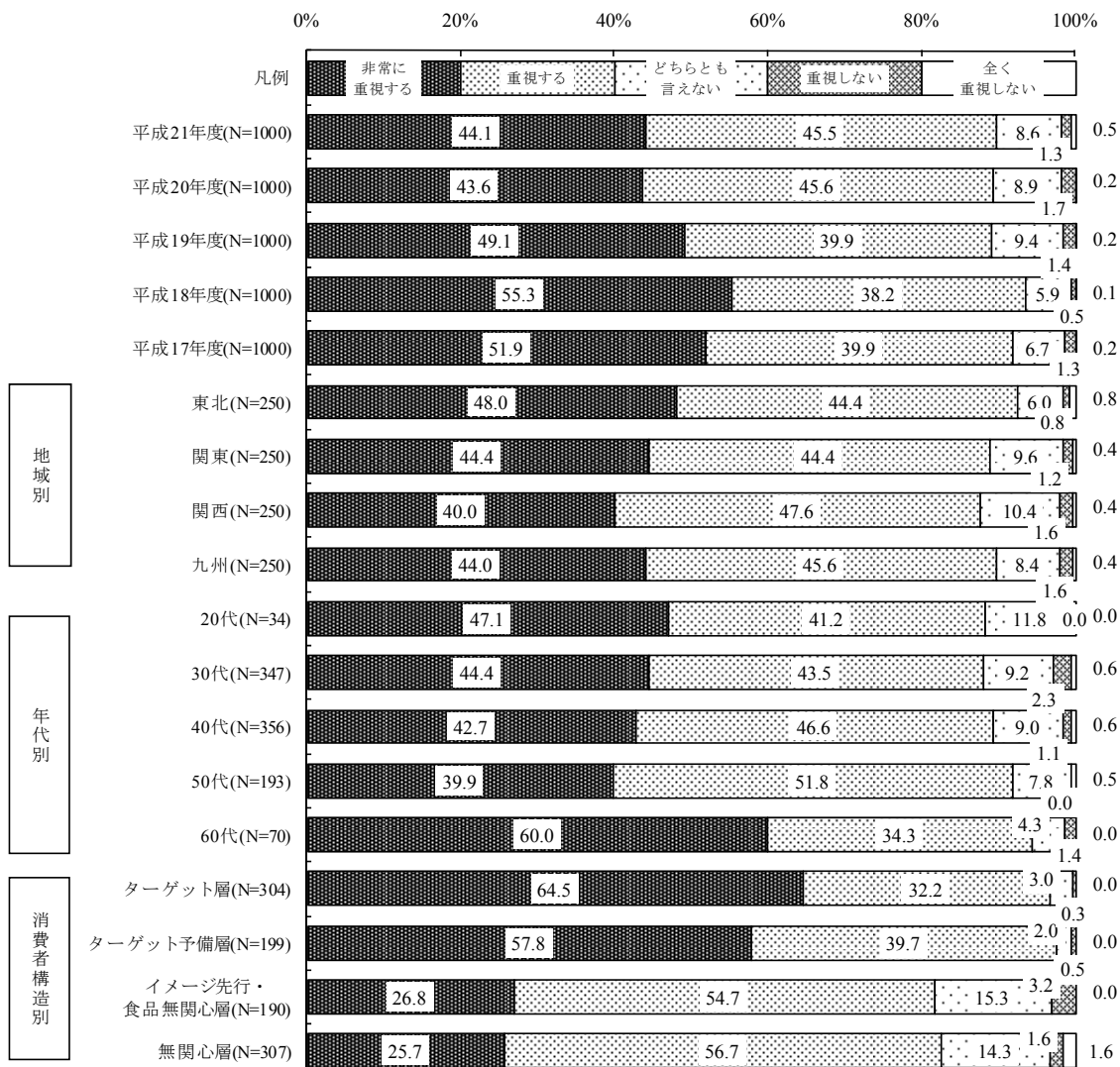


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 89.6%
- ・ 消費者構造別にみると、ターゲット層およびターゲット予備層では、「非常に重視する」が多い

図表 IV-16 買物をする際の重視点

Q7_13：製造日や賞味期限が新しい（新鮮である）

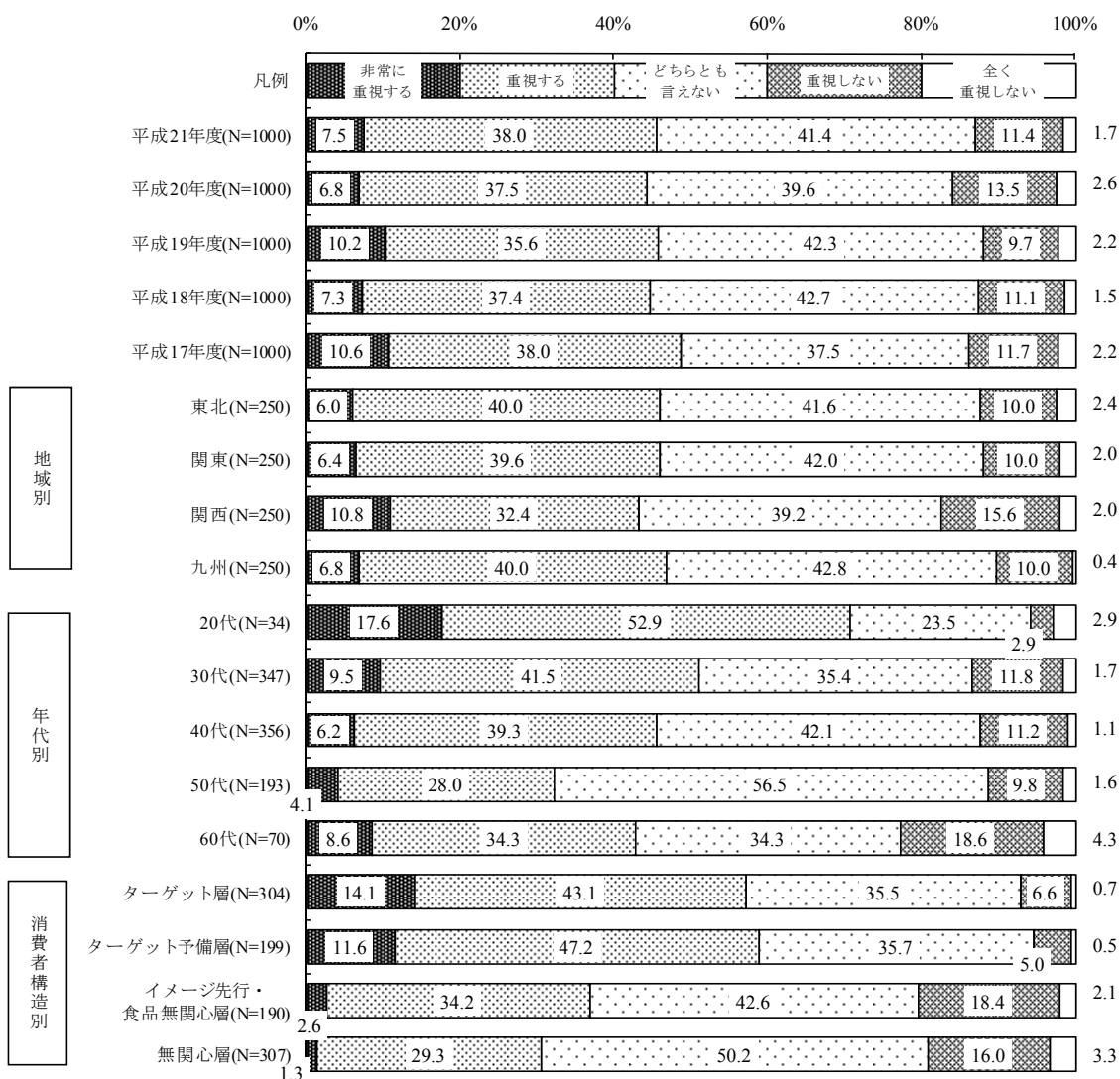


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて45.5%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が若いほど重視度が高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が57.2%、ターゲット予備層では同じく58.8%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-17 買物をする際の重視点

Q7_14：見た目（色，形，デザイン等）が良い

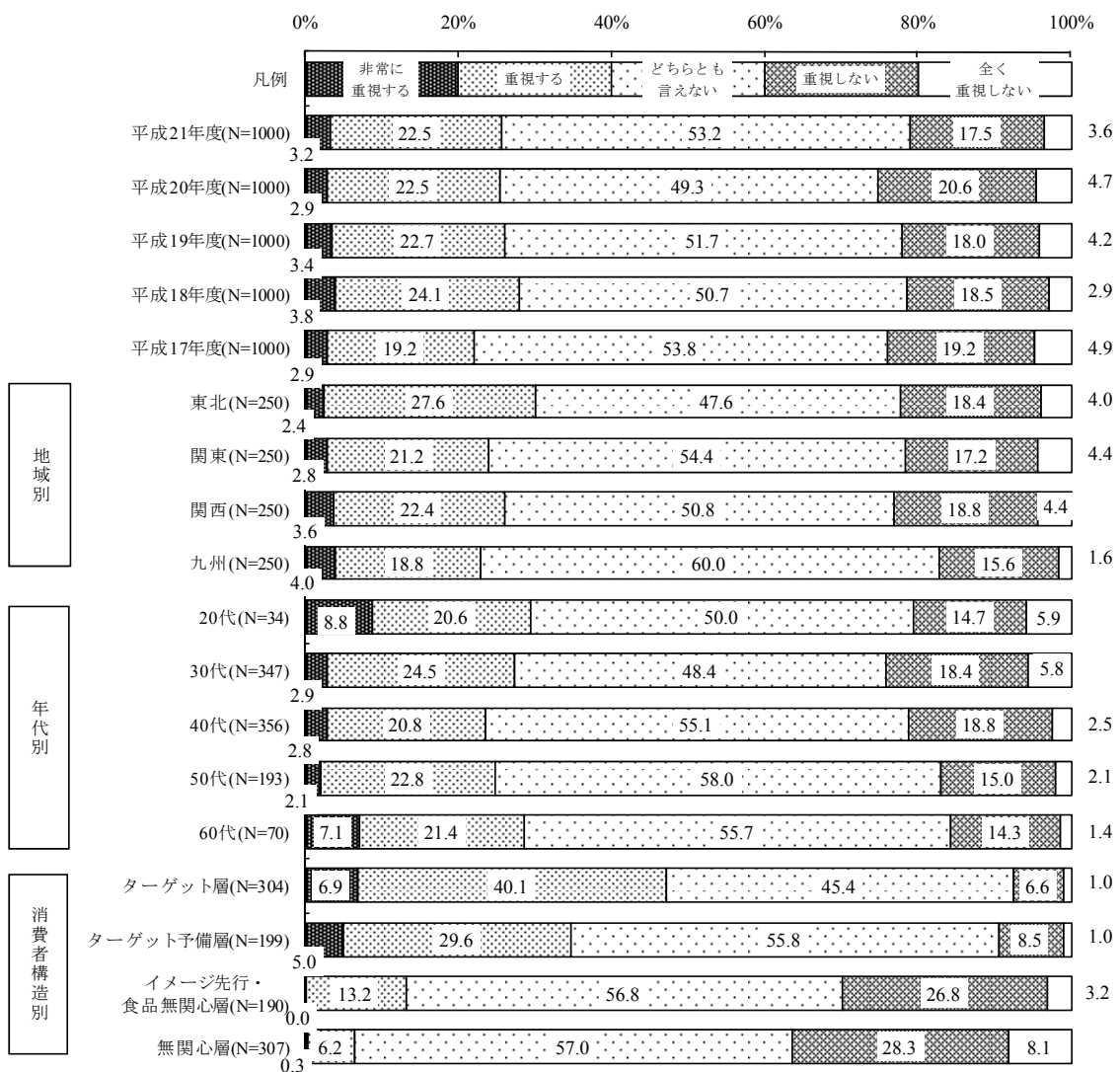


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 25.7%
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 47.0%、ターゲット予備層では同じく 34.6%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-18 買物をする際の重視点

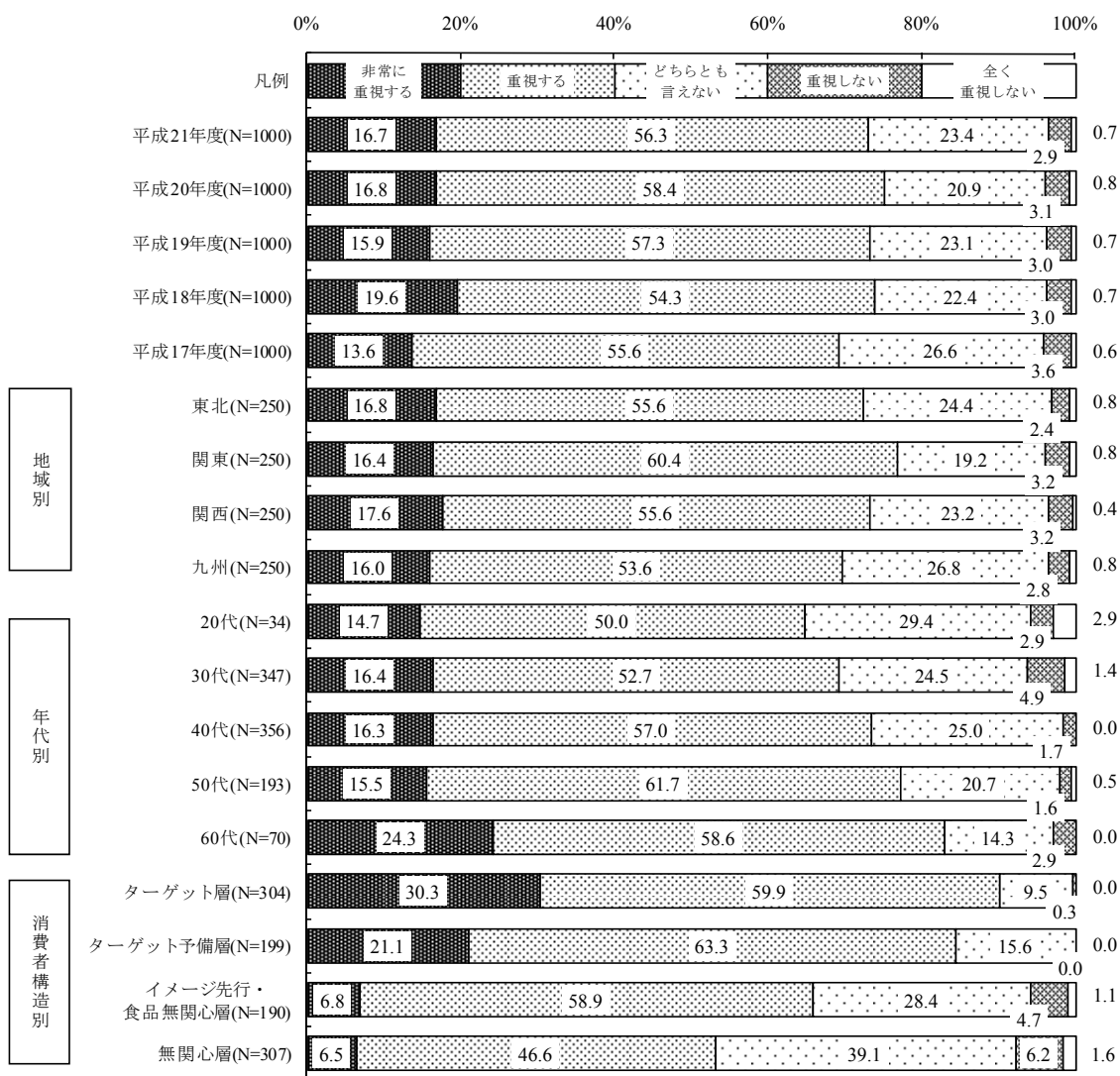
Q7_15：ブランド・有名産地である



Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて73.0%
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が90.2%、ターゲット予備層では同じく84.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-19 買物をする際の重視点
Q7_16：季節感がある（旬のものである）

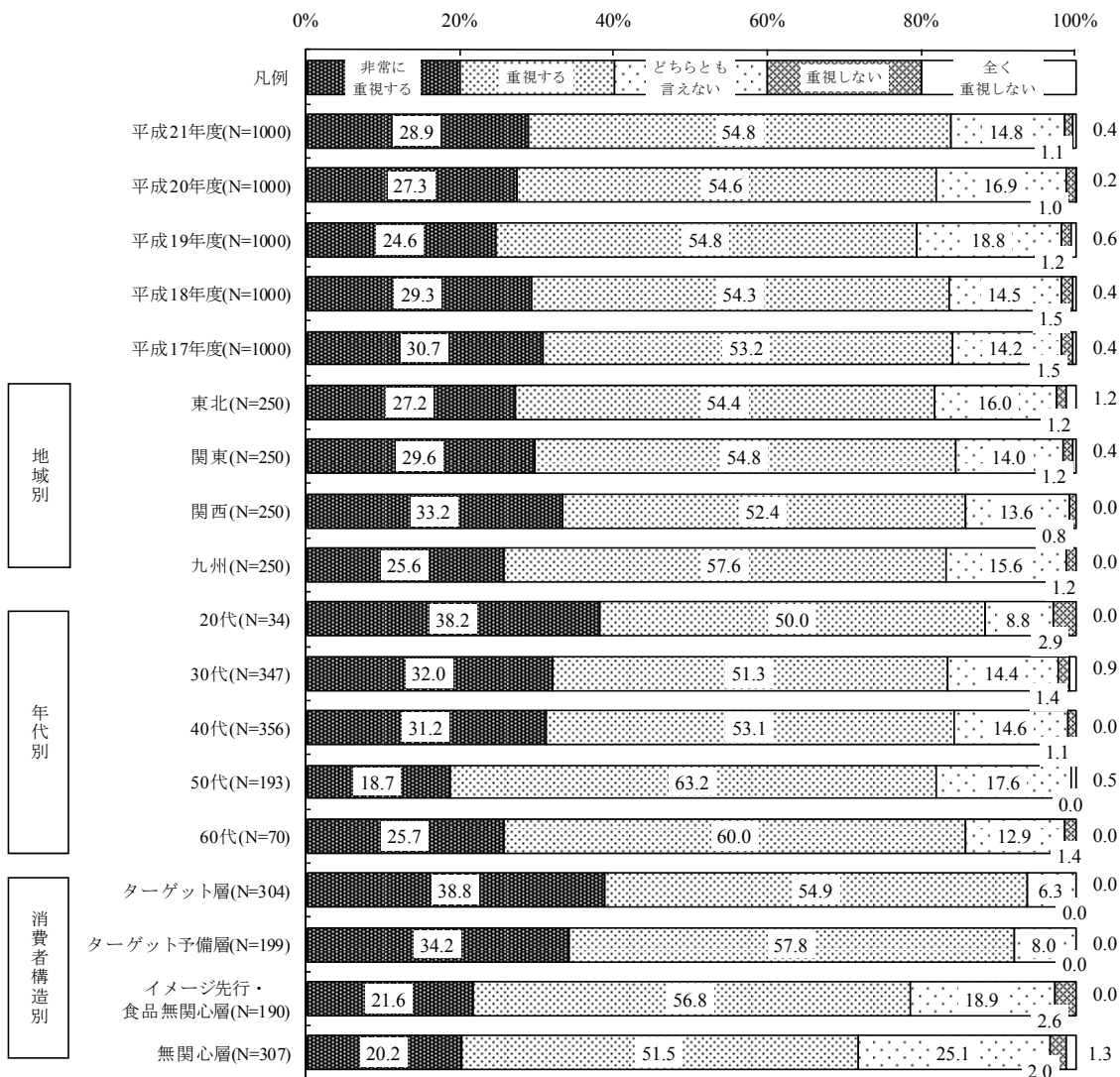


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて83.7%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が若いほど重視度が高まる傾向

図表 IV-20 買物をする際の重視点

Q7_17：値頃感がある

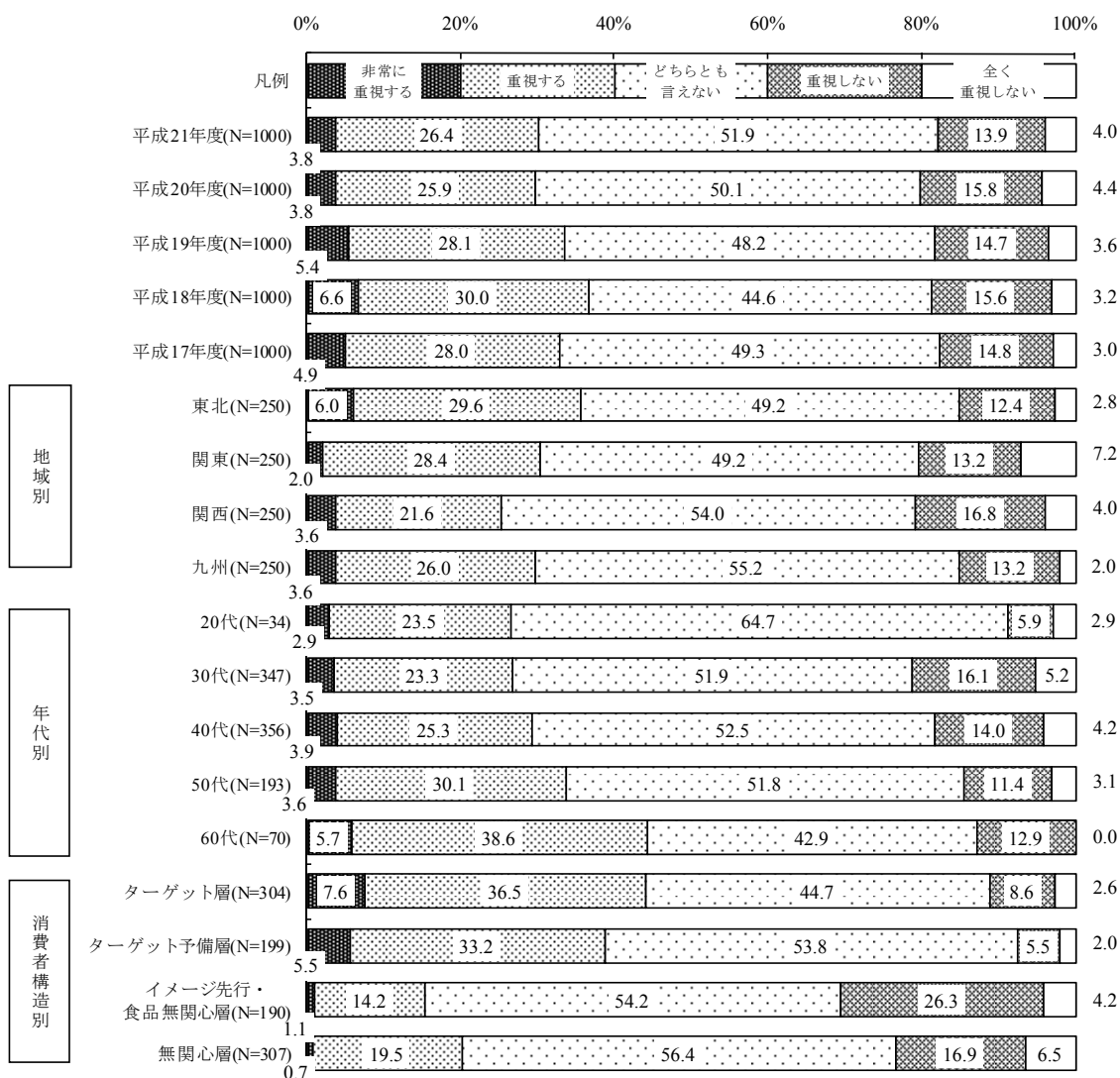


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 30.2%
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が 44.1%、ターゲット予備層では同じく 38.7%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-21 買物をする際の重視点

Q7_18：小分け包装である

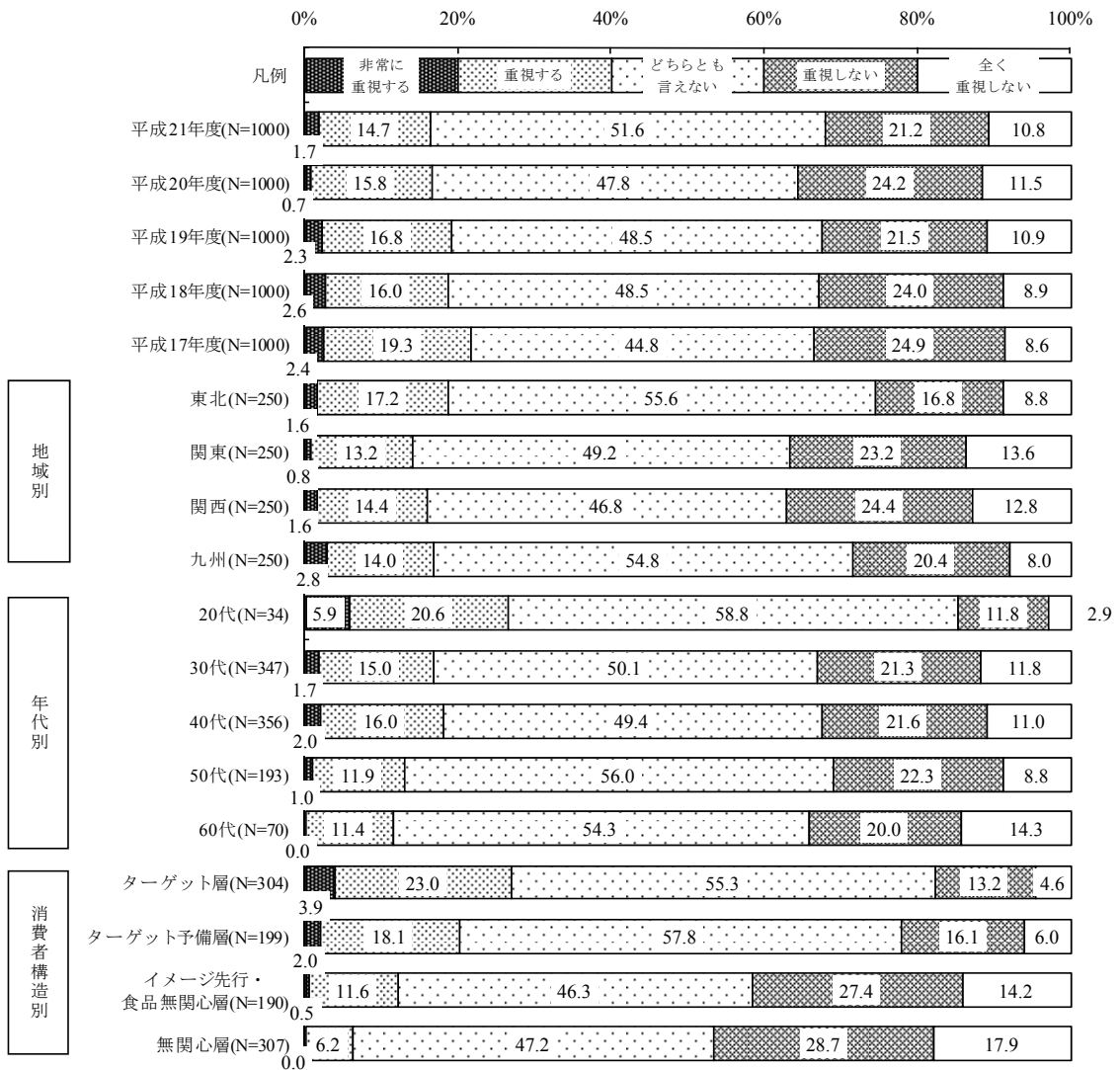


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて16.4%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が若いほど重視度が高まる傾向

図表 IV-22 買物をする際の重視点

Q7_19：テレビ番組や雑誌等で紹介されていた

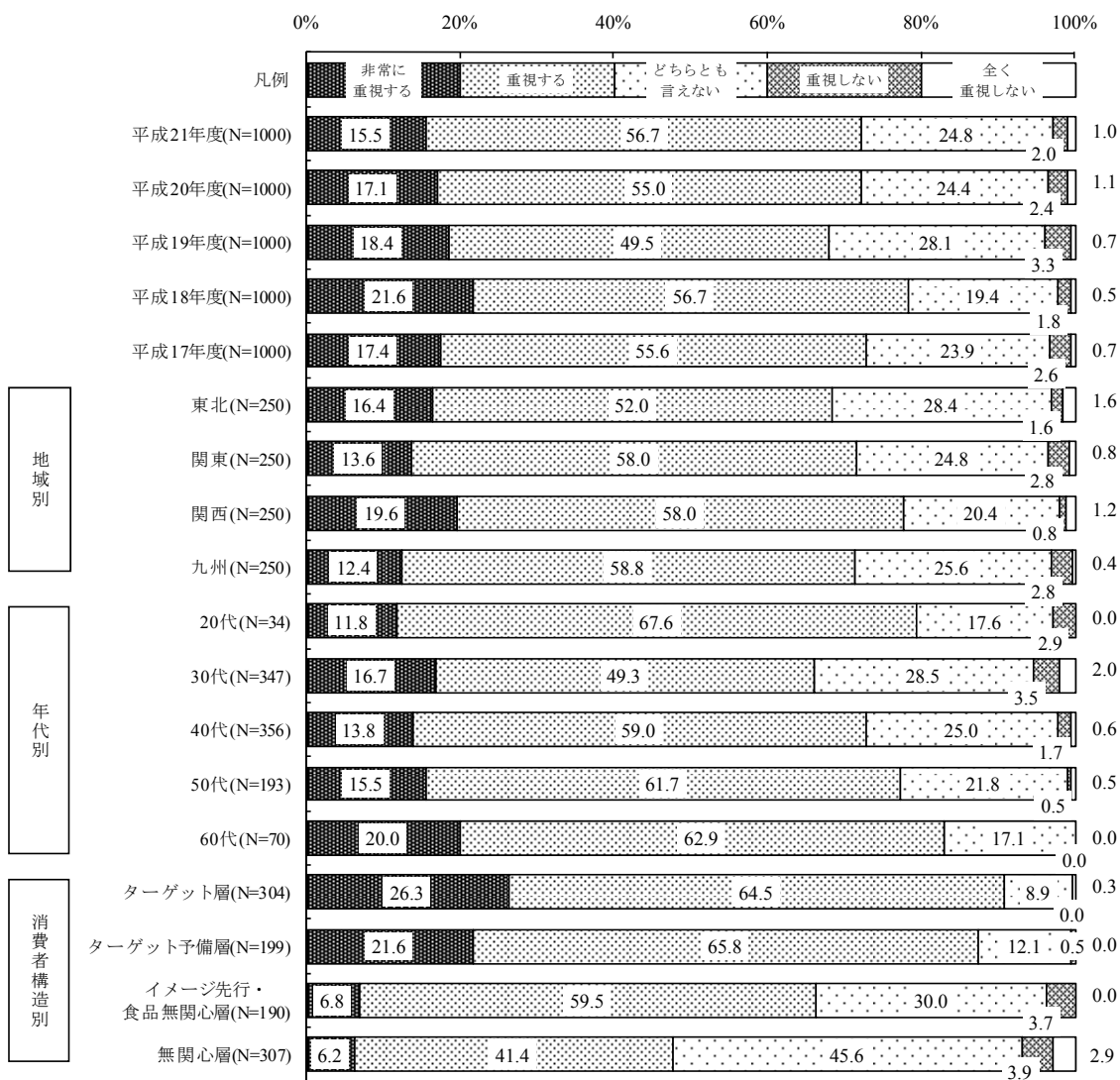


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて72.2%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に重視する」「重視する」の合計が90.8%、ターゲット予備層では同じく87.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-23 買物をする際の重視点

Q7_20：買う店が信頼できる

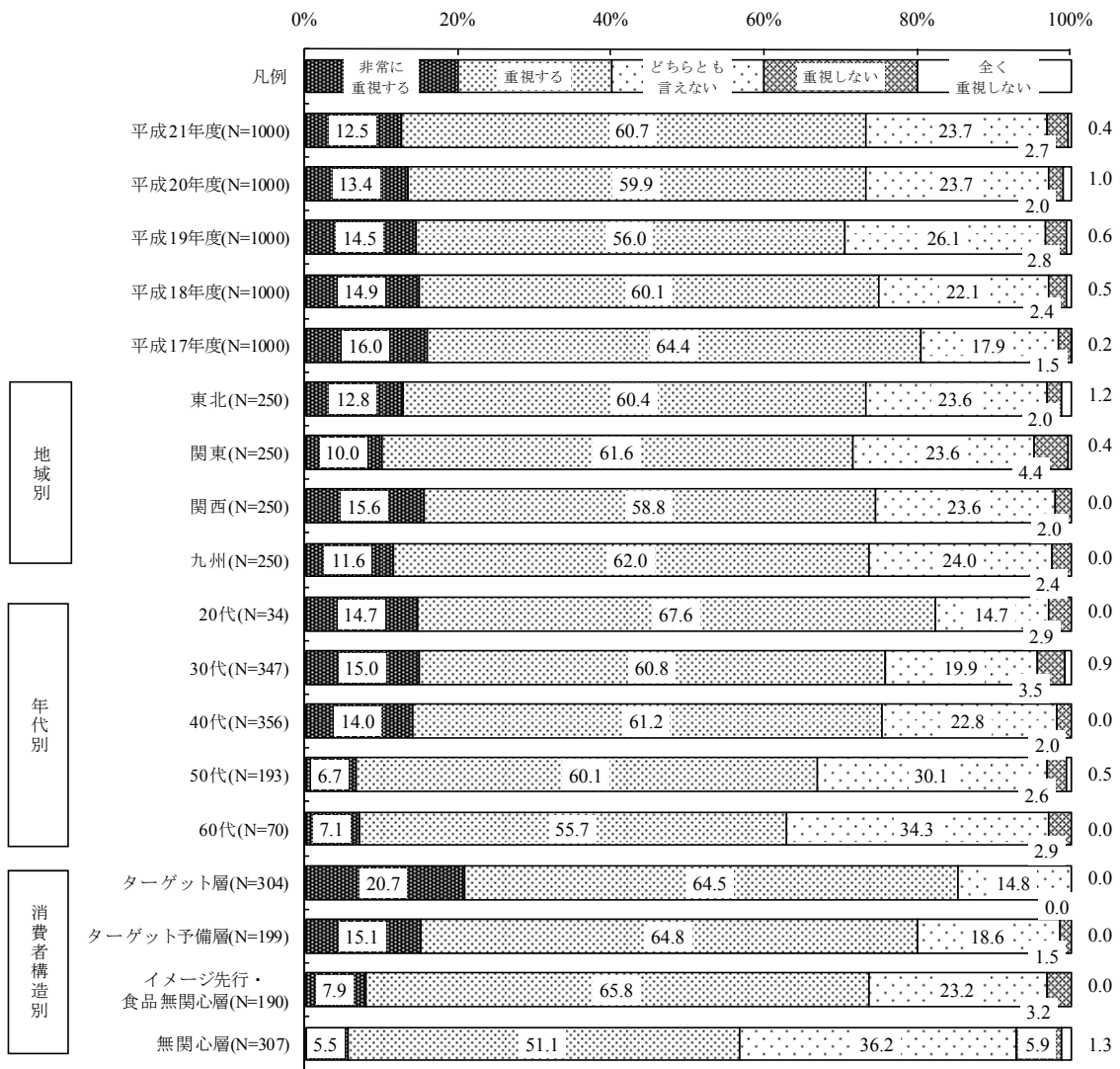


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて 73.2%
- ・ 年代別にみると、年齢が若いほど重視度が高まる傾向

図表 IV-24 買物をする際の重視点

Q7_21：食べなれたものである

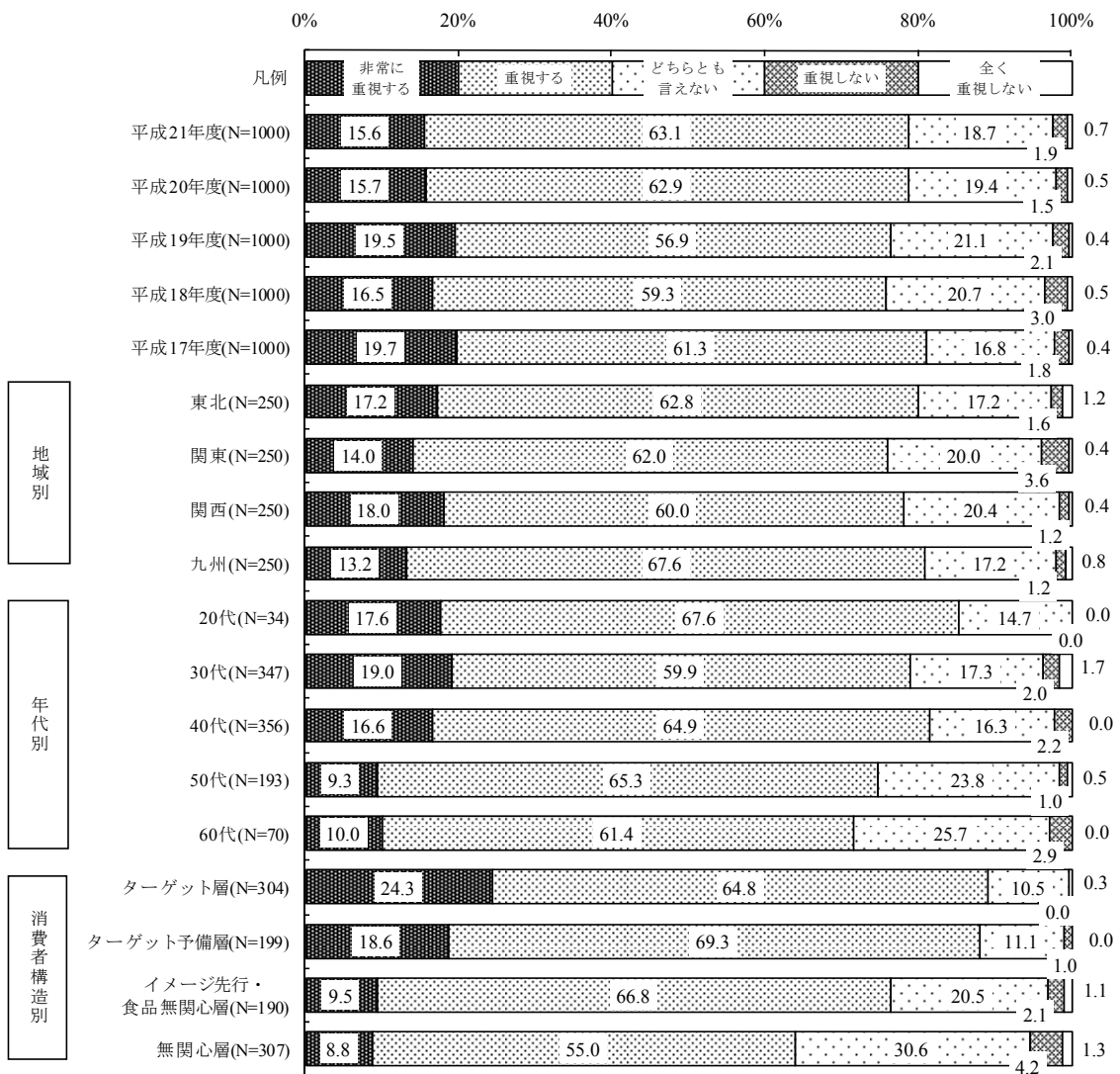


Point

- ・ 全体では、「非常に重視する」「重視する」をあわせて78.7%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が若いほど重視度が高まる傾向

図表 IV-25 買物をする際の重視点

Q7_22：調理しやすい

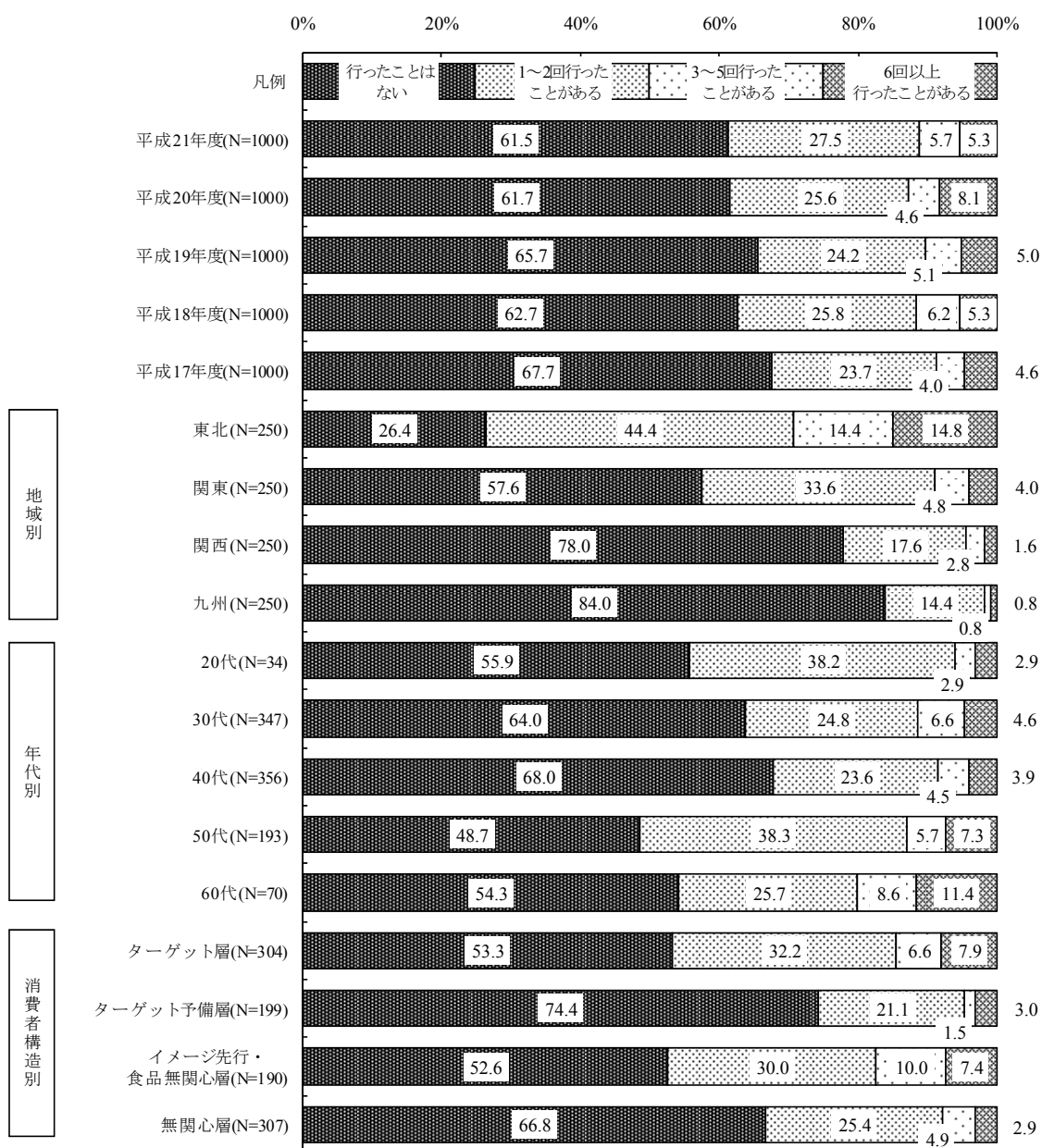


(3) Q8：青森県への訪問経験（単一回答）

Point

- ・ 全体では、「行ったことはない」が61.5%と最も多く、次いで「1～2回行ったことがある」が27.5%
- ・ 地域別にみると、青森から遠い地域ほど訪問経験が無い消費者が多くなる傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が若いほど訪問経験が無い消費者が多い傾向

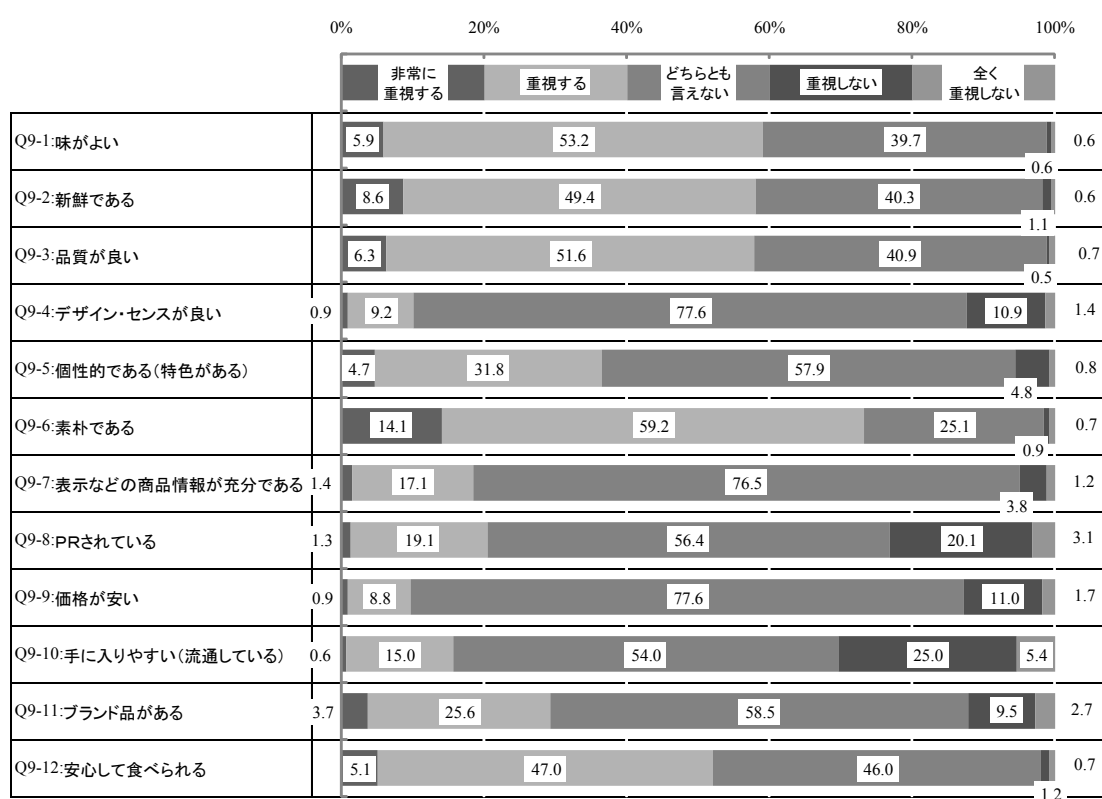
図表 IV-26 青森県への訪問経験



(4) Q9：青森県産品のイメージ（単一回答）

Point	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせると、「素朴である」が73.3%と最も多く、次いで「味がよい」が59.1%、「新鮮である」が58.0%、「品質が良い」が57.9%、「安心して食べられる」が52.1% ・ 平成17年度以降、青森県産品のイメージに大きな変化は無い
-------	--

図表 IV-27 青森県産品のイメージ



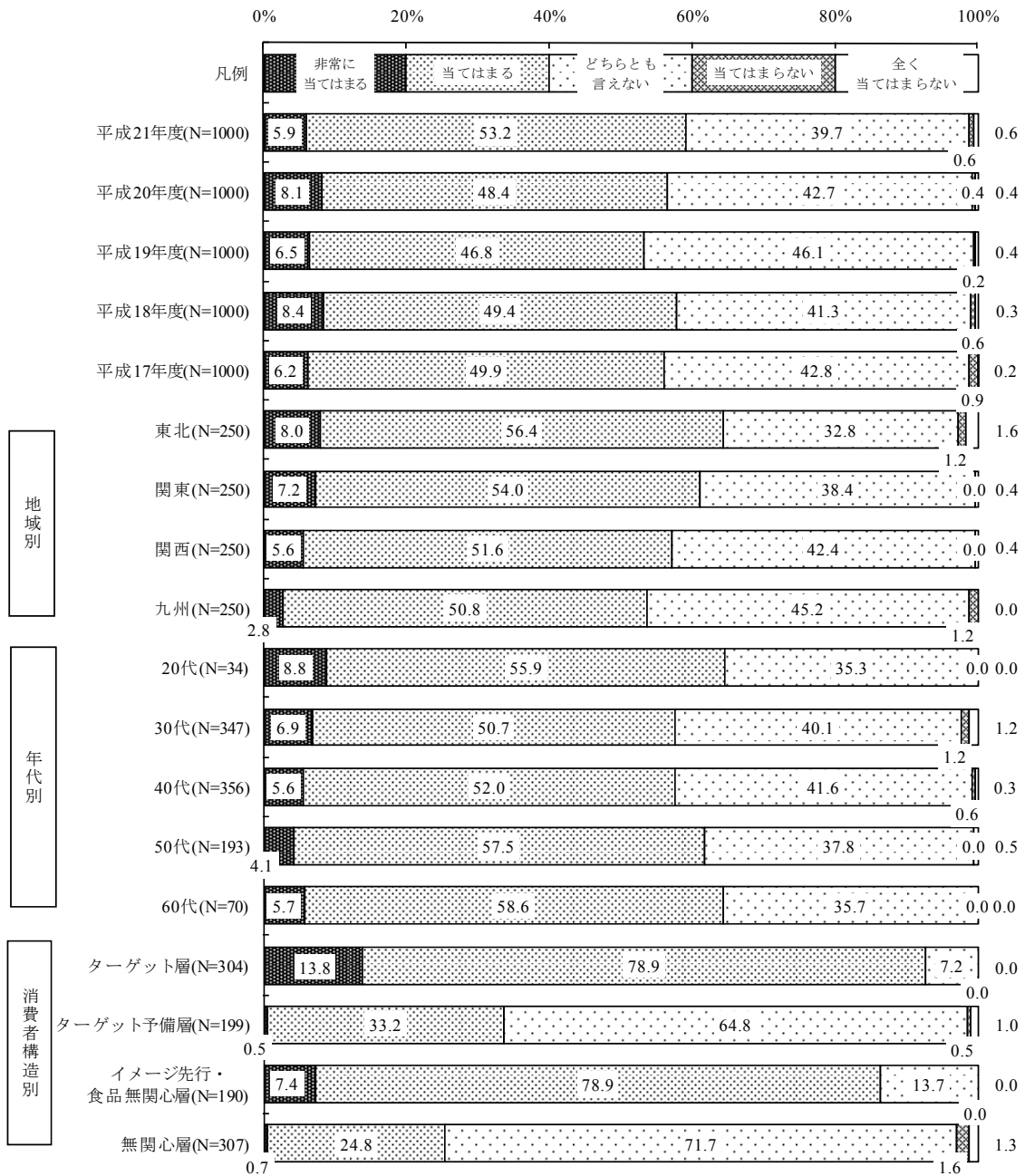
図表 IV-28 青森県産品のイメージの加重平均の推移

	加重平均				各項目のポイント差			
	平成21年度加重平均	平成20年度加重平均	平成19年度加重平均	平成18年度加重平均	H18年度からH17年度の加重平均をマイナス	H19年度からH18年度の加重平均をマイナス	H20年度からH19年度の加重平均をマイナス	H21年度からH20年度の加重平均をマイナス
Q9-1味がよい	0.63	0.63	0.59	0.65	0.04	▲0.06	0.05	0.00
Q9-2新鮮である	0.64	0.66	0.58	0.68	0.02	▲0.10	0.08	▲0.02
Q9-3品質が良い	0.62	0.63	0.55	0.61	0.00	▲0.06	0.08	▲0.01
Q9-4デザイン・センスが良い	-0.03	-0.03	-0.05	-0.06	0.06	0.01	0.02	0.01
Q9-5個性的である（特色がある）	0.35	0.33	0.26	0.25	0.04	0.01	0.08	0.02
Q9-6素材である	0.85	0.87	0.86	0.89	▲0.03	▲0.01	0.01	▲0.02
Q9-7表示などの商品情報が充分である	0.14	0.13	0.12	0.17	0.07	▲0.05	0.01	0.01
Q9-8PRされている	-0.05	-0.06	-0.09	-0.06	0.02	▲0.03	0.03	0.02
Q9-9価格が安い	-0.04	0.04	-0.03	0.01	▲0.01	▲0.04	0.07	▲0.08
Q9-10手に入りやすい（流通している）	-0.20	-0.15	-0.17	-0.09	0.03	▲0.08	0.02	▲0.05
Q9-11ブランド品がある	0.18	0.20	0.20	0.19	0.04	0.01	0.00	▲0.02
Q9-12安心して食べられる	0.55	0.52	0.44	0.43	0.01	0.08	▲0.50	0.53

Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 59.1%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い重視度も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 92.7%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 86.3%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-29 青森県産品のイメージ
Q9_1：味がよい

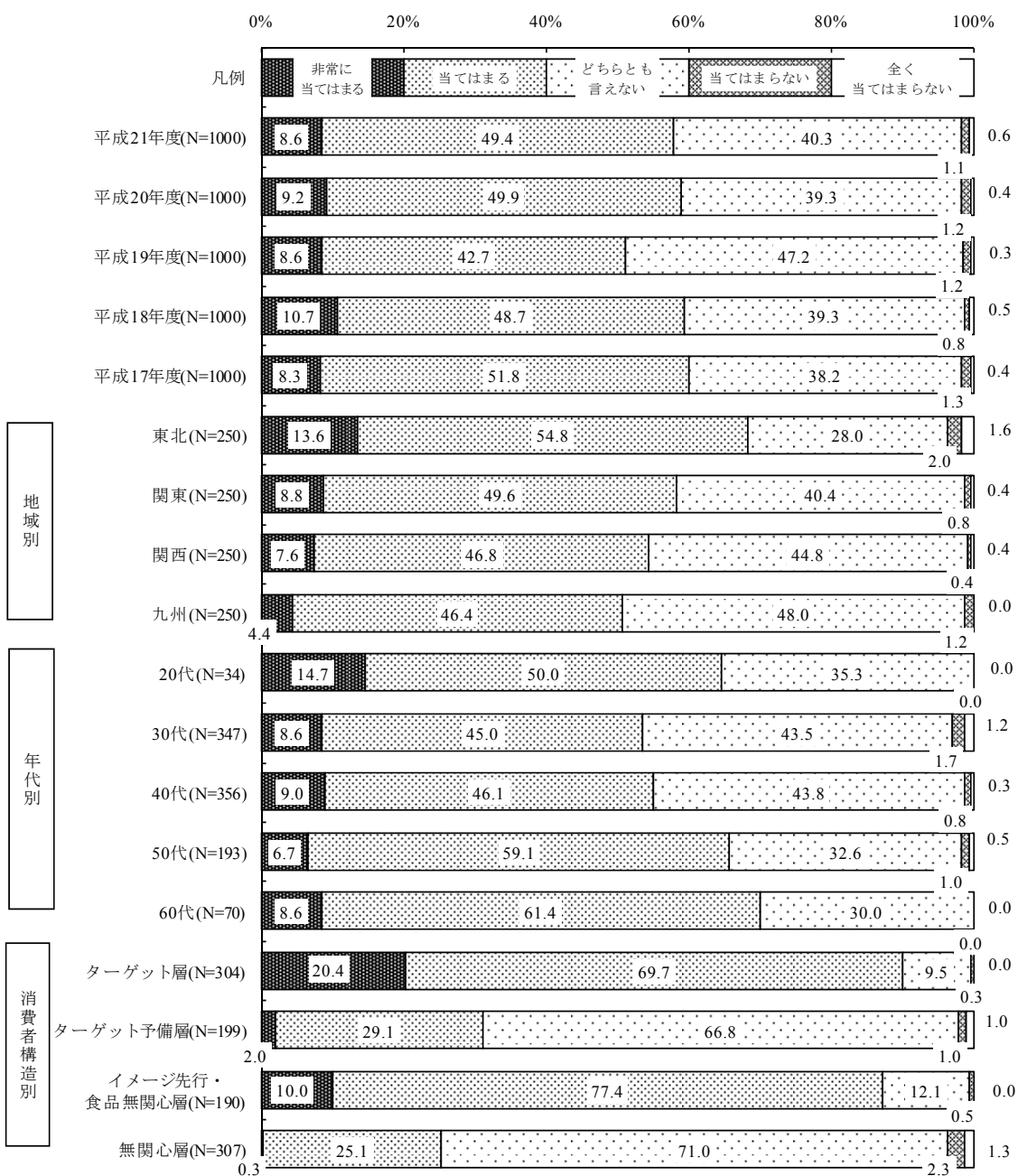


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 58.0%
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従いイメージも高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 90.1%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 87.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-30 青森県産品のイメージ

Q9_2：新鮮である

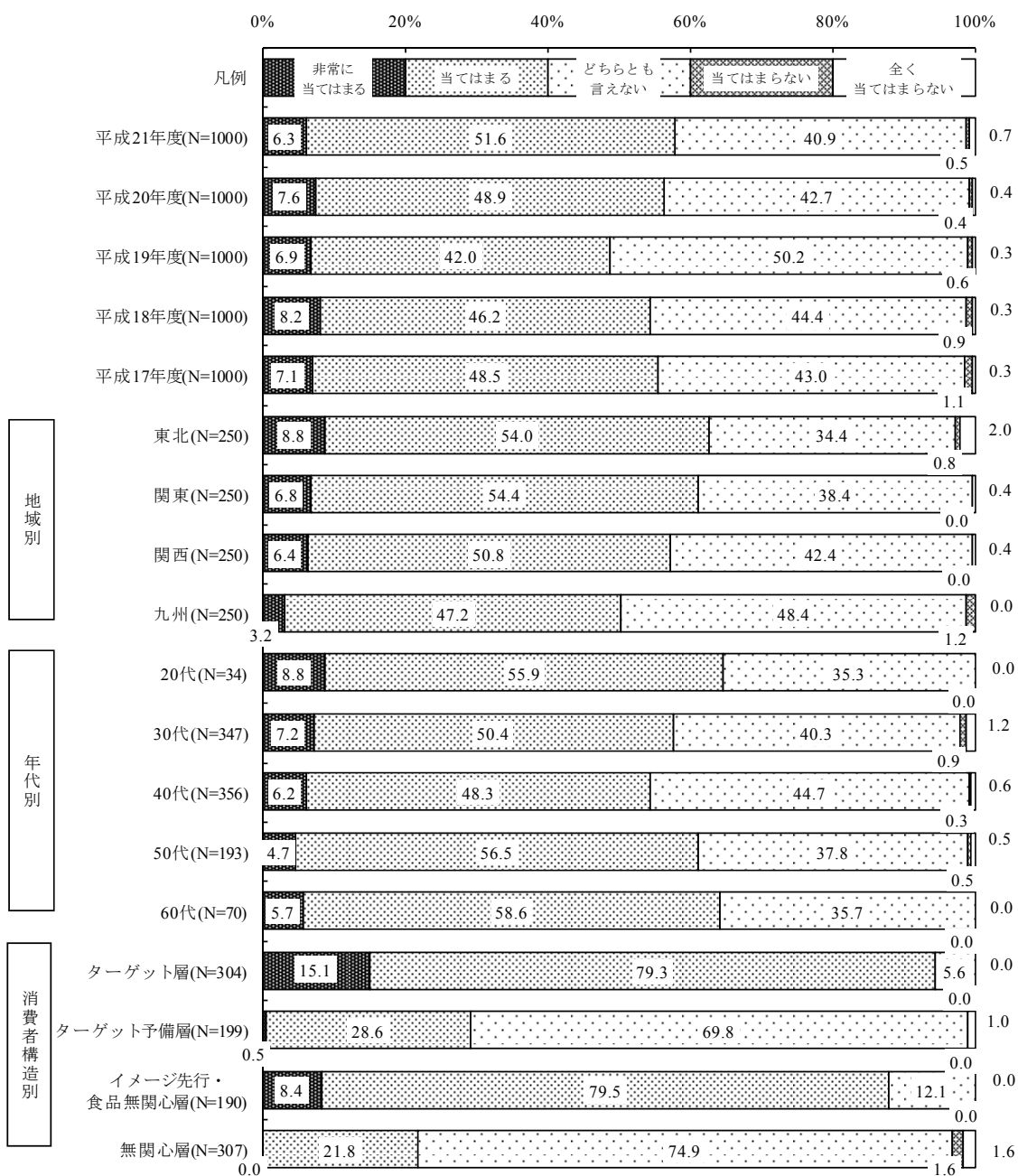


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 57.9%
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 94.4%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 87.9%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-31 青森県産品のイメージ

Q9_3：品質が良い

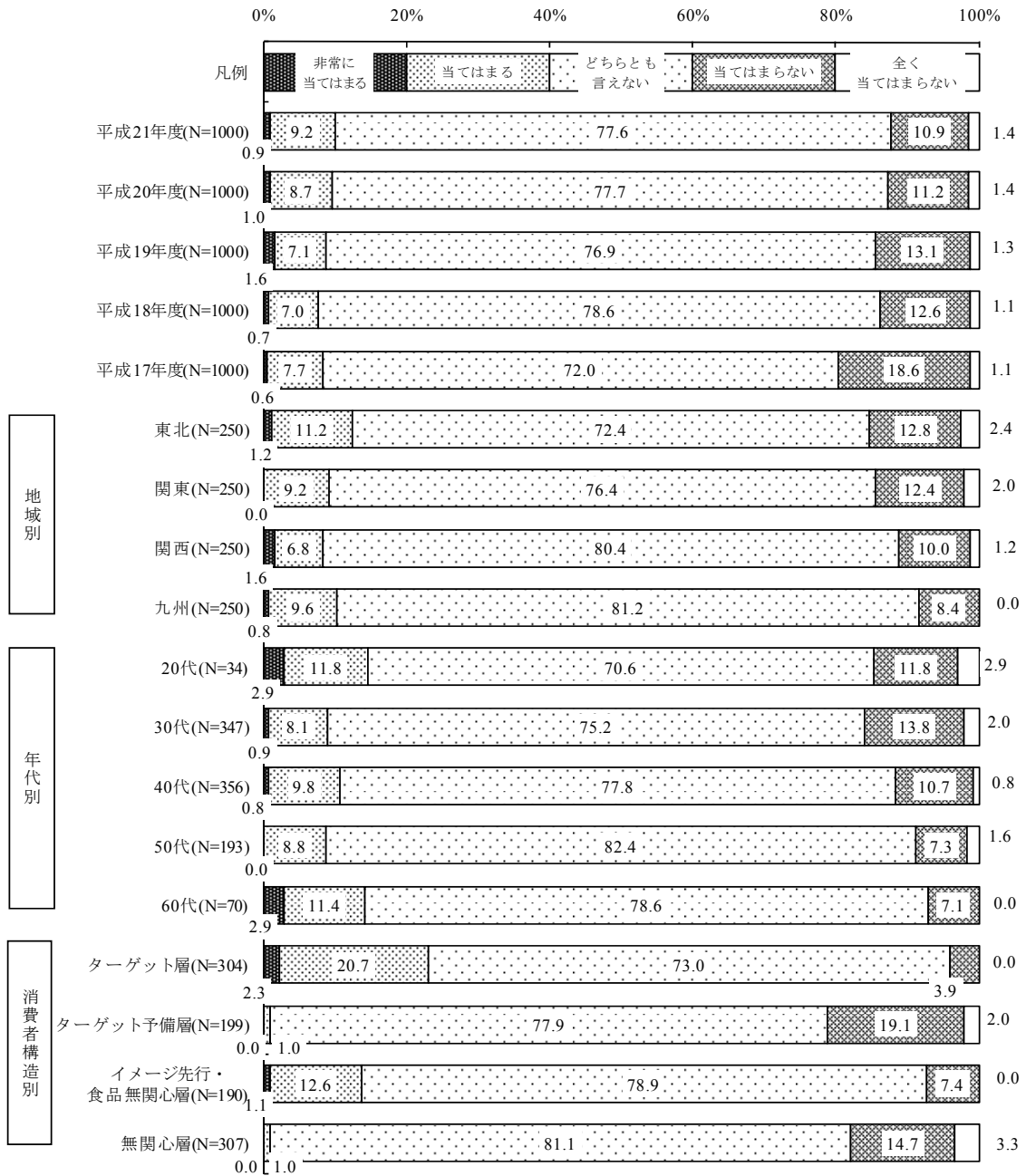


Point

・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて10.1%

図表 IV-32 青森県産品のイメージ

Q9_4: デザイン・センスが良い

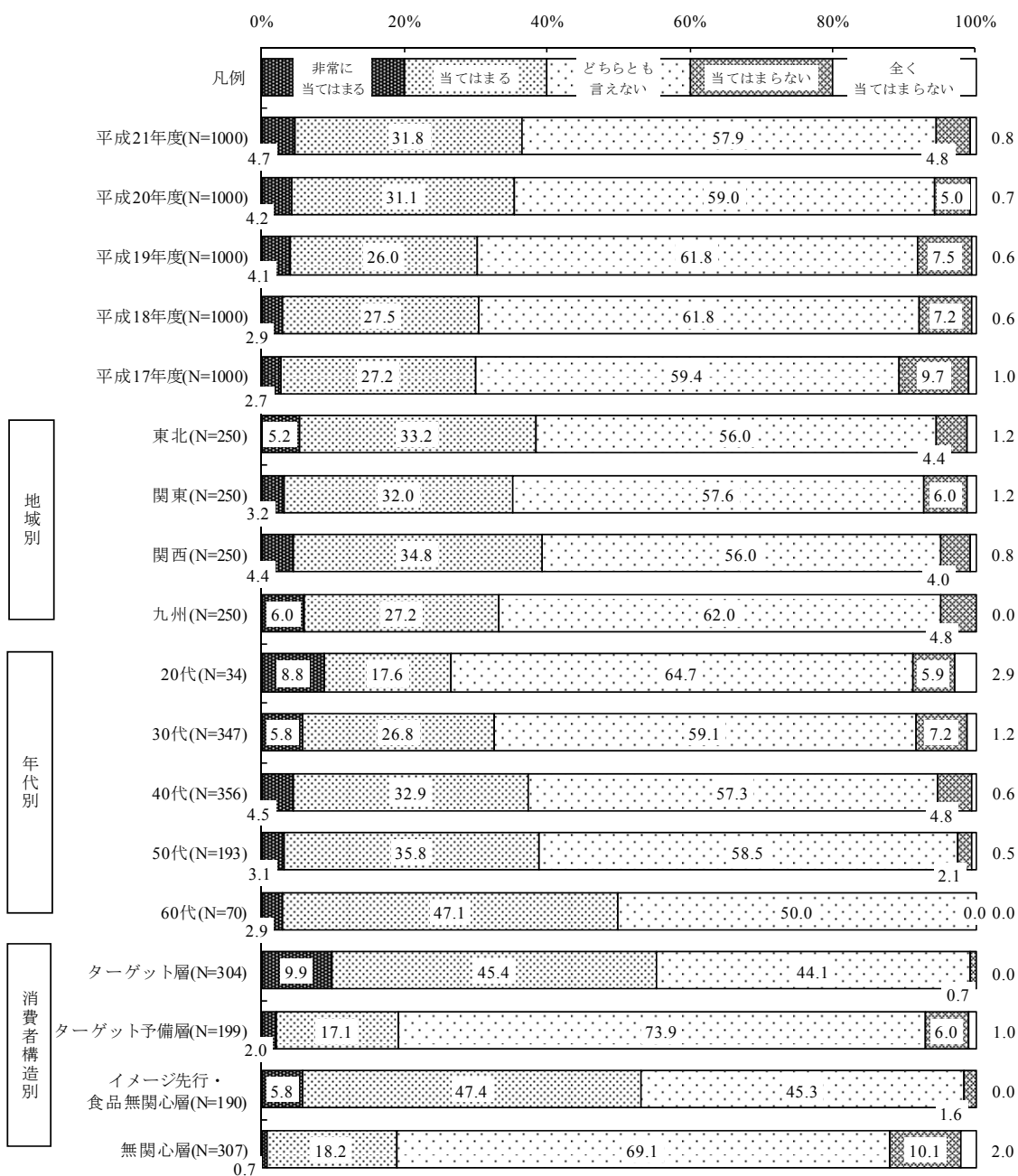


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 45.5%
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従いイメージも高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 55.3%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 53.2%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-33 青森県産品のイメージ

Q9_5：個性的である（特色がある）

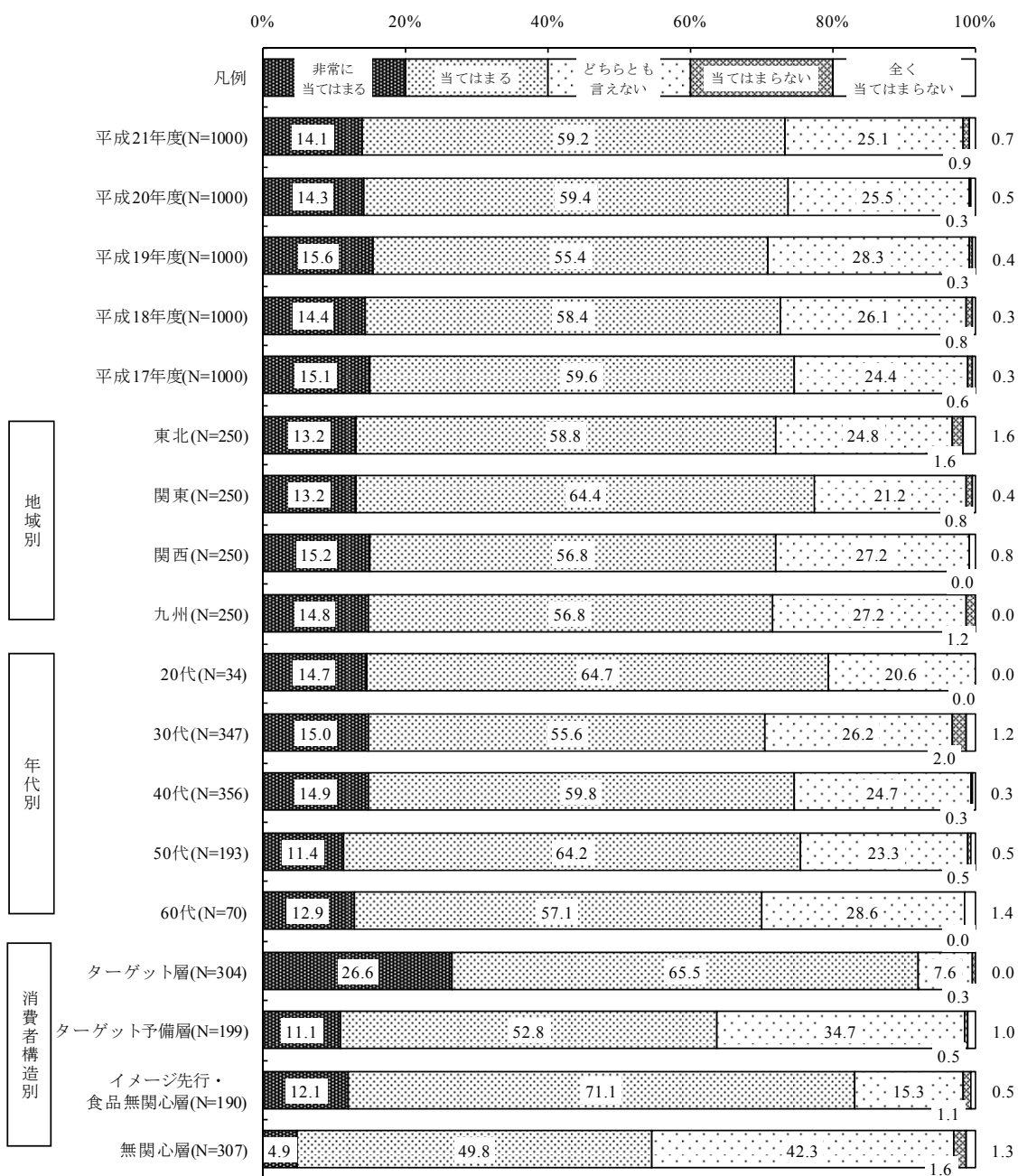


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 73.3%
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 92.1%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 83.2%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-34 青森県産品のイメージ

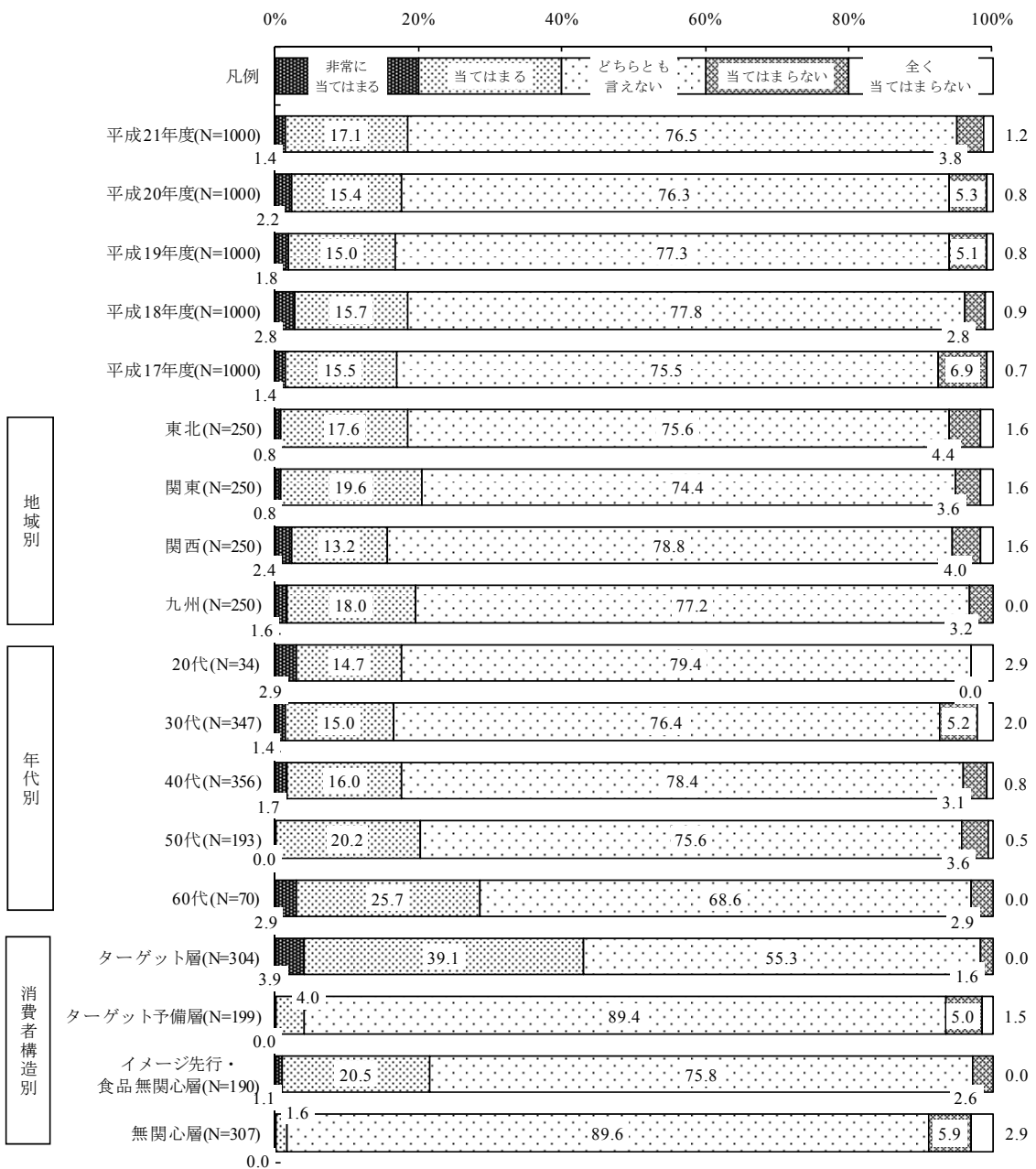
Q9_6：素朴である



Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて18.5%
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が43.0%、イメージ先行・食品無関心層では同じく21.6%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-35 青森県産品のイメージ
Q9_7：表示などの商品情報が充分である

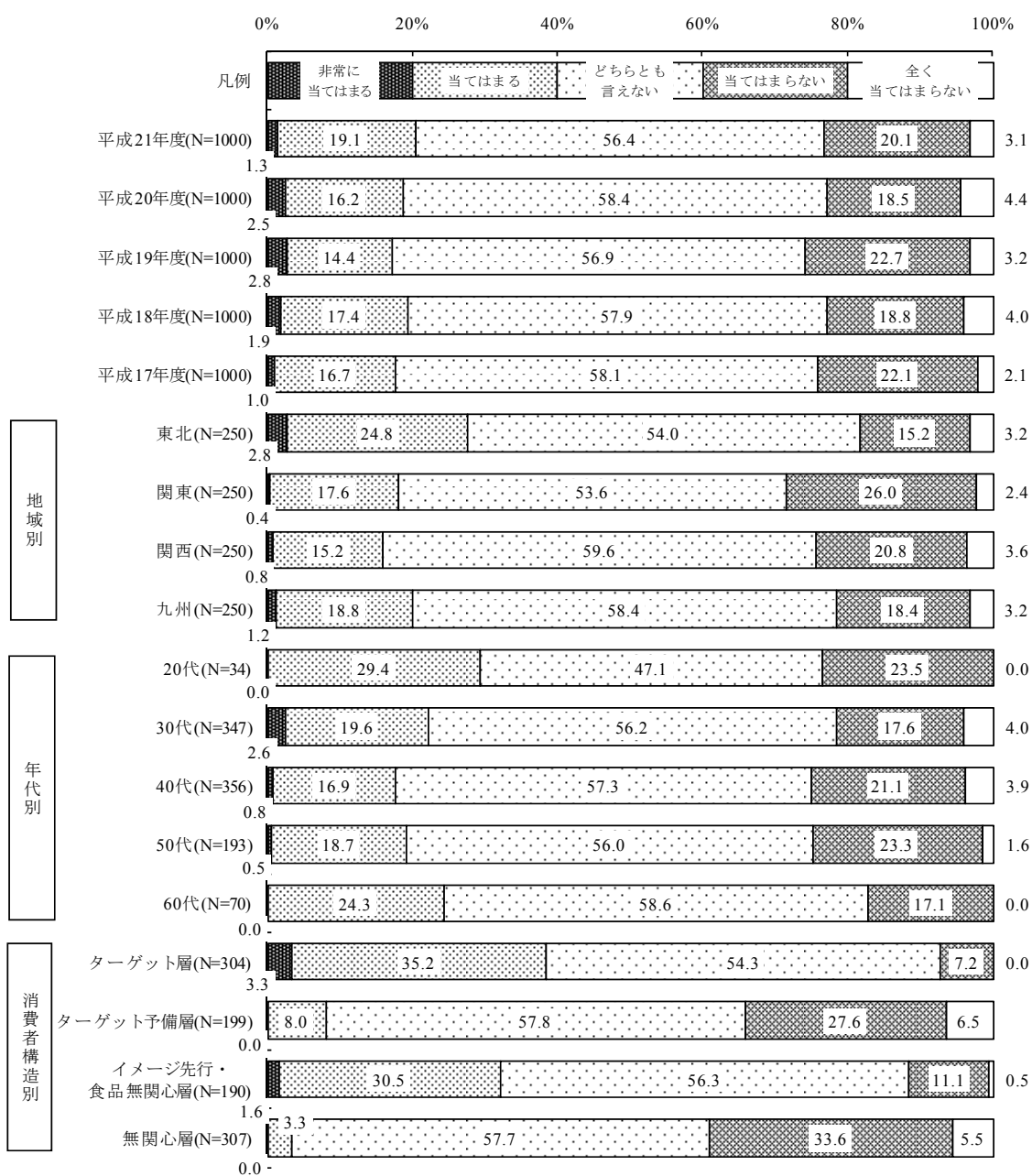


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 20.4%
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 38.5%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 32.1%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-36 青森県産品のイメージ

Q9_8 : PR されている

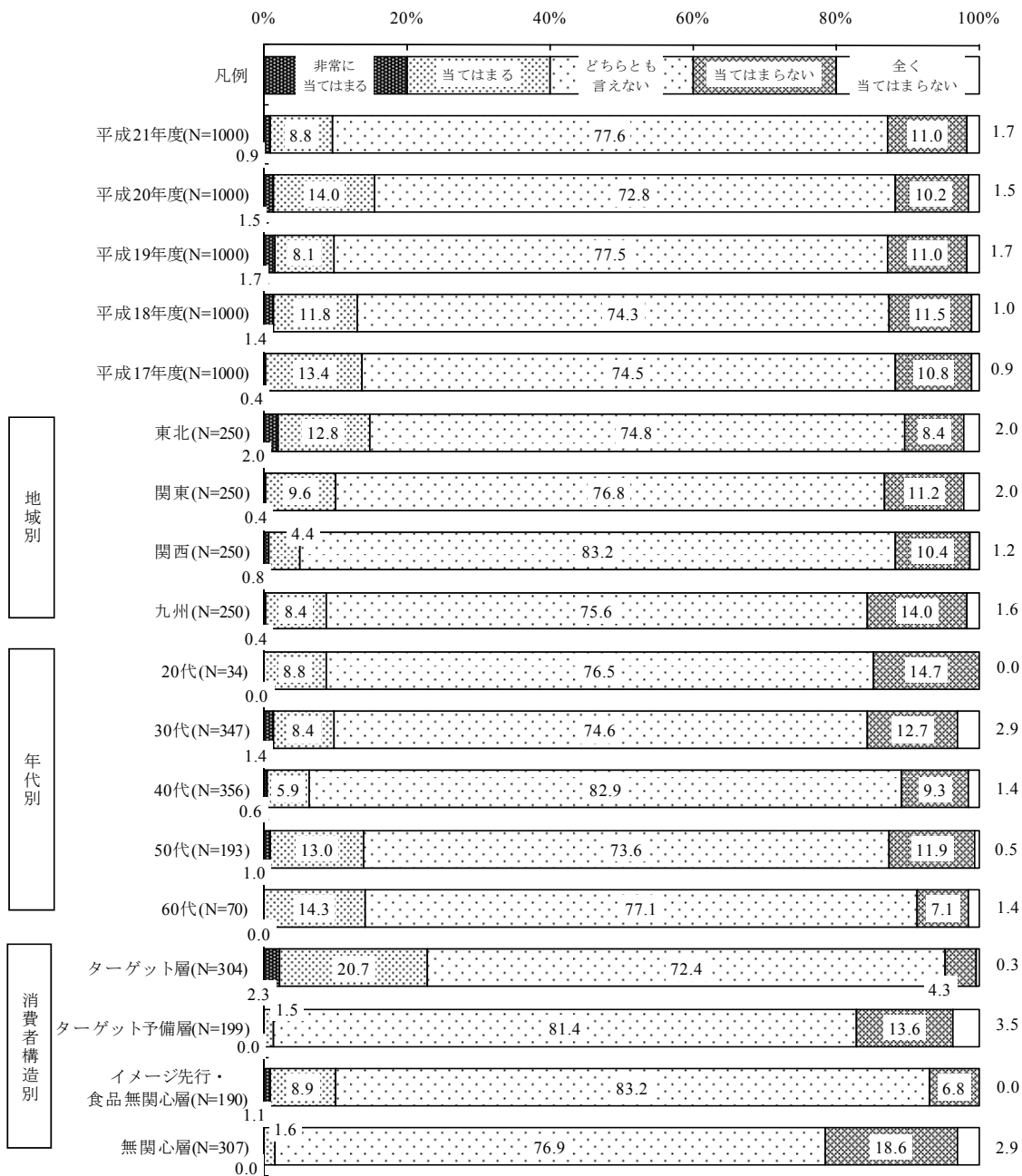


Point

・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて9.7%

図表 IV-37 青森県産品のイメージ

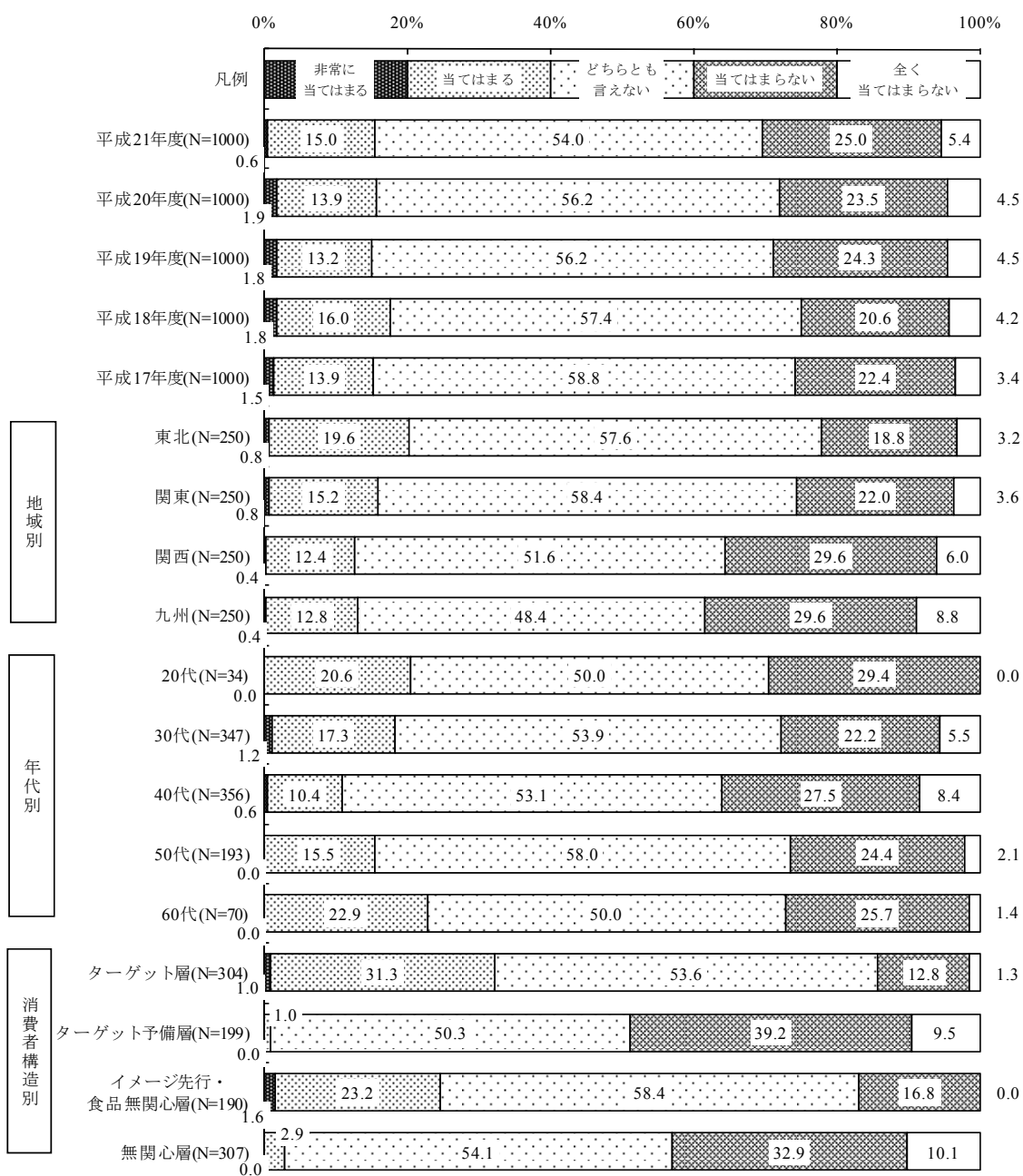
Q9_9：価格が安い



Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて15.6%
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が32.3%、イメージ先行・食品無関心層では同じく24.8%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-38 青森県産品のイメージ
Q9_10：手に入りやすい（流通している）

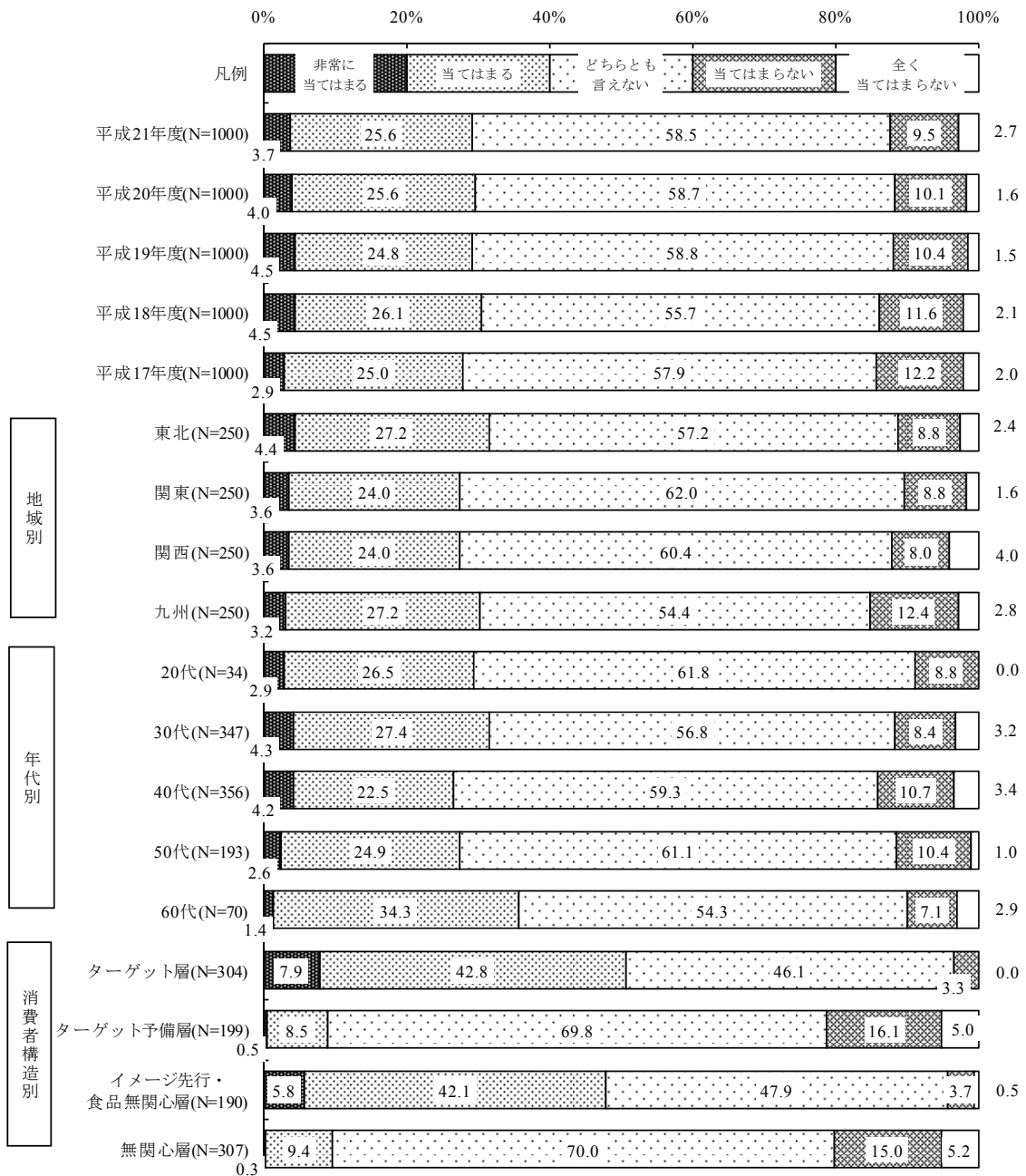


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 29.3%
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 50.7%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 47.9%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-39 青森県産品のイメージ

Q9_11：ブランド品がある

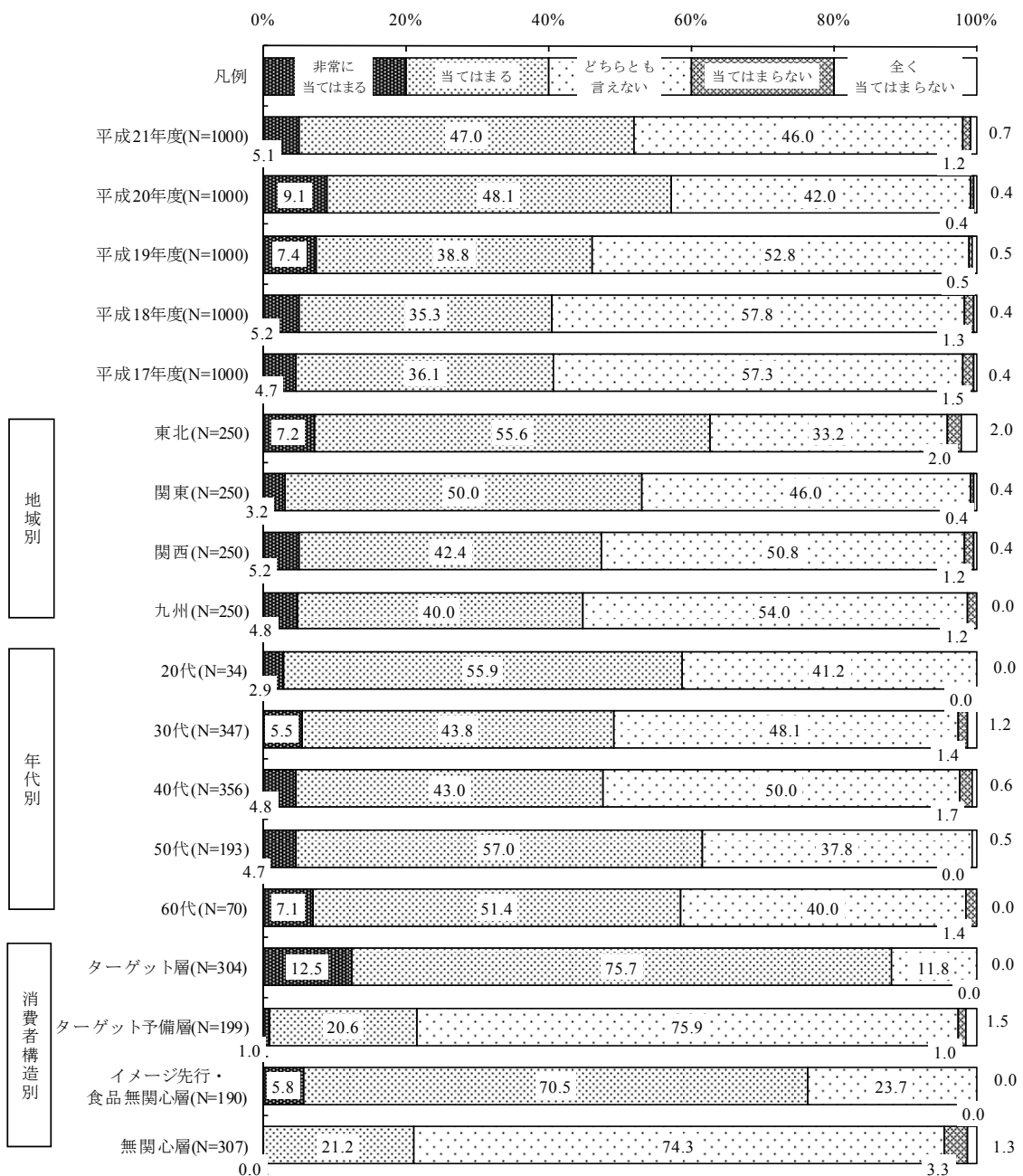


Point

- ・ 全体では、「非常に当てはまる」「当てはまる」をあわせて 52.1%
- ・ 地域別にみると、東北では比較的高いイメージ
- ・ ターゲット層では「非常に当てはまる」「当てはまる」の合計が 88.2%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 76.3%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-40 青森県産品のイメージ

Q9_12：安心して食べられる

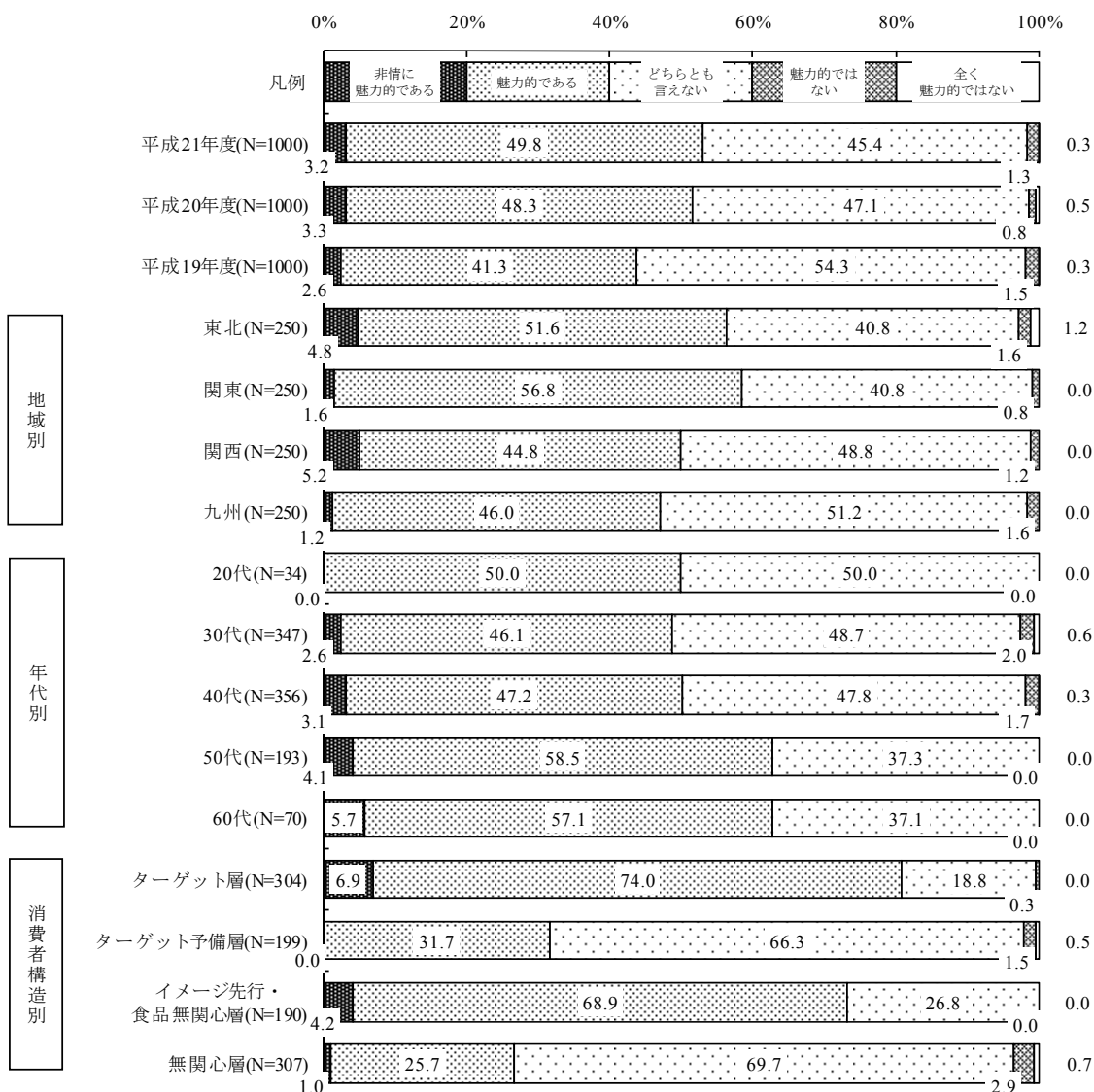


(5) Q11：青森県産品の魅力度（単一回答）

Point

- ・ 青森県産品の総合的な魅力度は、全体では「非常に魅力的である」「魅力的である」をあわせて53.0%と、年々高まる傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い評価も高まる傾向
- ・ ターゲット層では「非常に魅力的である」「魅力的である」の合計が80.9%、イメージ先行・食品無関心層では同じく73.1%と、その他の層と比べて高い

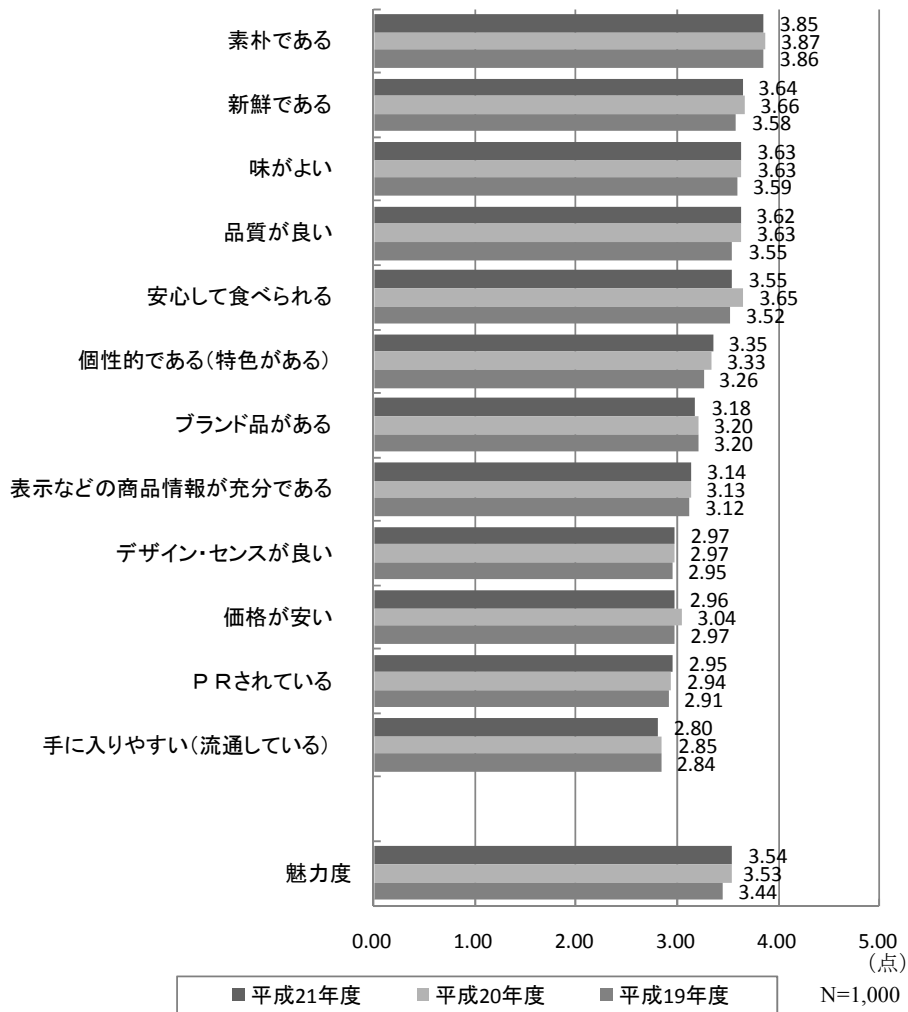
図表 IV-41 青森県産品の魅力度



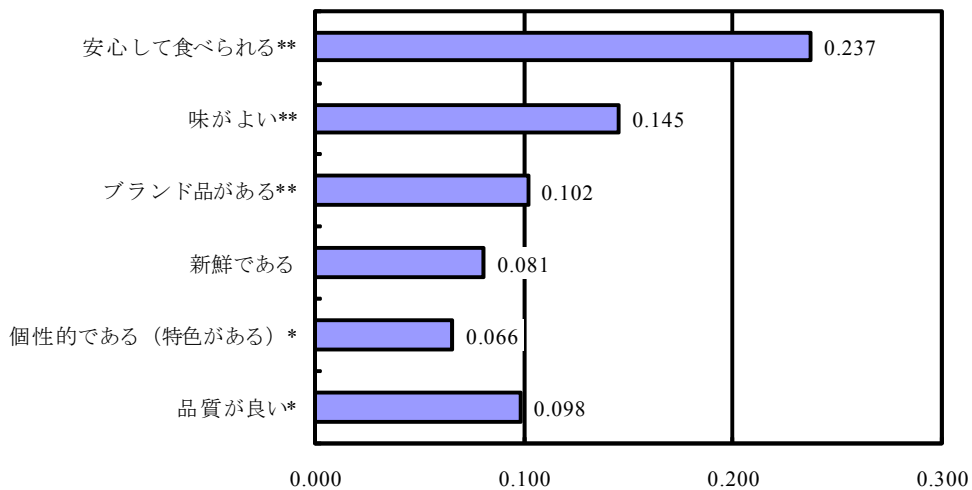
Point

- ・ Q11 の青森県産品の総合的な魅力度を平均得点化すると 3.54
- ・ Q9 の青森県産品のイメージに関する各項目を平均得点化すると、「素朴である」が 3.85 と最も高く、次いで「新鮮である」(3.64)、「味がよい」(3.63)、「品質が良い」(3.62)、「安心して食べられる」(3.55)
- ・ 次に、総合的な魅力度を目的変数、項目別イメージを説明変数として重回帰分析を実施し、総合的な魅力度への影響要因として「安心して食べられる」「味がよい」「ブランド品がある」「新鮮である」「個性的である」「品質が良い」の 6 要因を抽出
- ・ 「安心して食べられる」は、イメージの浸透度が比較的高く、魅力度への影響も大きいので、現状のイメージを維持することが重要
- ・ 「味がよい」は、イメージの浸透度が高く、魅力度への影響も大きいので、現状のイメージを維持することが重要
- ・ 「ブランド品がある」は、イメージの浸透度は比較的低いが、魅力度への影響は認められるので、今後、充実させることが必要
- ・ 「新鮮である」は、イメージの浸透度が高く、魅力度への影響もあるので、現状のイメージを維持することが重要
- ・ 「個性的である」は、イメージの浸透度が比較的高く、魅力度への影響もあるので、現状のイメージを維持することが重要
- ・ 「品質が良い」は、イメージの浸透度が高く、魅力度への影響もあるので、現状のイメージを維持することが重要
- ・ 「素朴である」のイメージは浸透しているものの、青森県産品としての魅力度には影響していない
- ・ 一方、「ブランド品がある」のイメージは浸透していないが、青森県産品としての魅力度を高めるうえでは重要な要因
- ・ 中でも、「安心して食べられる」「味がよい」は、3年連続で影響要因として抽出されており、青森県産品の魅力を構成する重要な要因

図表 IV-42 青森県産品のイメージおよび魅力度の平均得点



図表 IV-43 青森県産品の魅力度への影響要因 (平成 21 年度)

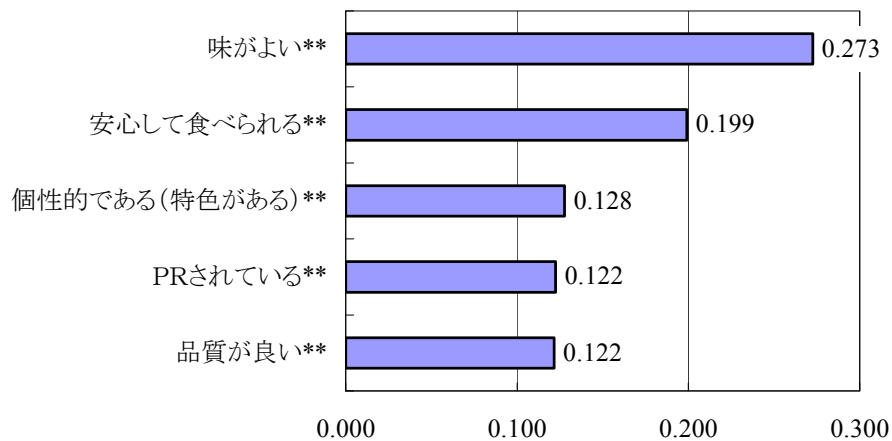


注1) グラフの値は重回帰分析の標準偏回帰係数

注2) 重回帰分析の修正済み決定係数は0.3157

注3) **:1%有意, *:5%有意

図表 IV-44 青森県産品の魅力度への影響要因（平成 20 年度）

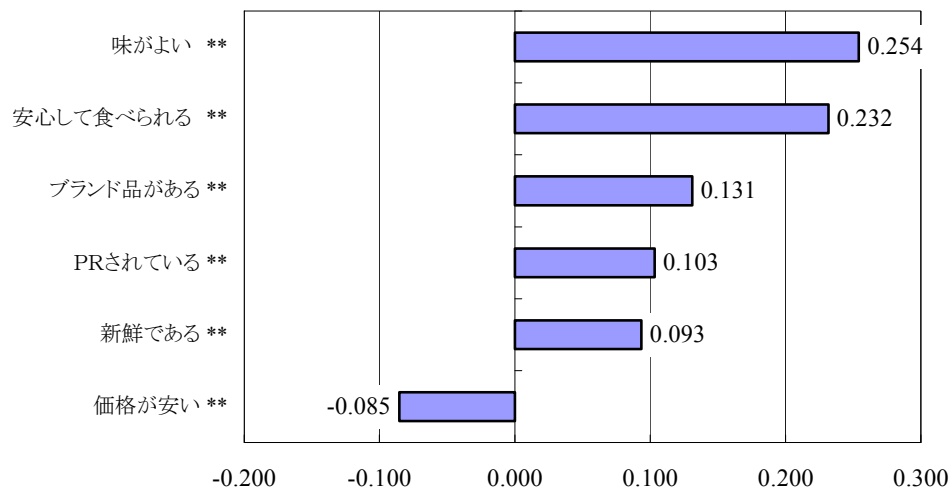


注1) グラフの値は重回帰分析の標準偏回帰係数

注2) 重回帰分析の修正済み決定係数は0.3878

注3) **:1%有意, *:5%有意

図表 IV-45 青森県産品の魅力度への影響要因（平成 19 年度）



注1) グラフの値は重回帰分析の標準偏回帰係数

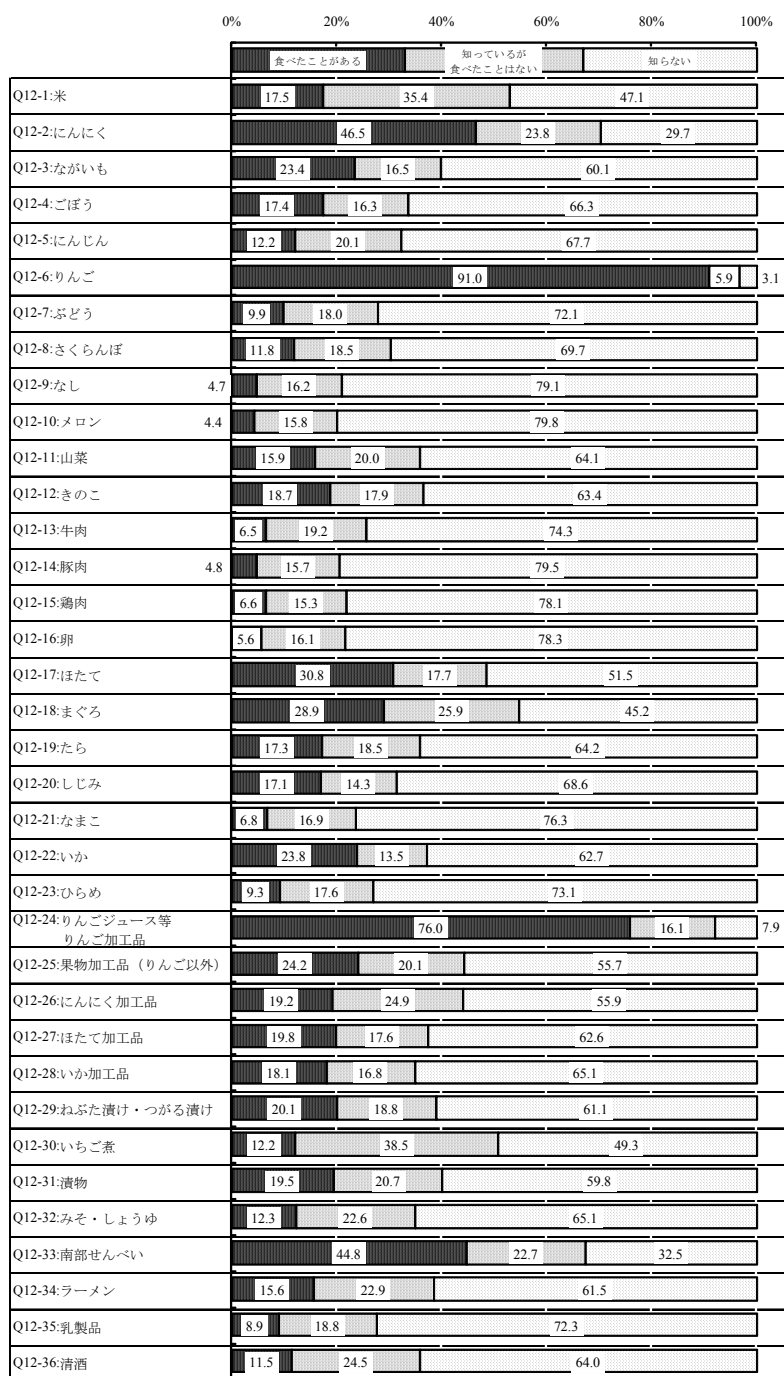
注2) 重回帰分析の修正済み決定係数は0.3471

注3) **:1%有意, *:5%有意

(6) Q12：青森県産品の認知度（単一回答）

Point	<ul style="list-style-type: none"> 「食べたことがある」県産品としては、「りんご」(91.0%) および「りんご加工品」(76.0%) が圧倒的に多く、次いで「にんにく」(46.5%)、「南部せんべい」(44.8%)、「ほたて」(30.8%)、「まぐろ」(28.9%)、「果物加工品(りんご以外)」(24.2)、「いか」(23.8%)、「ながいも」(23.4%) 一方、「メロン」「なし」「豚肉」「牛肉」「鶏肉」「卵」等の認知度は低い
-------	--

図表 IV-46 青森県産品の認知度

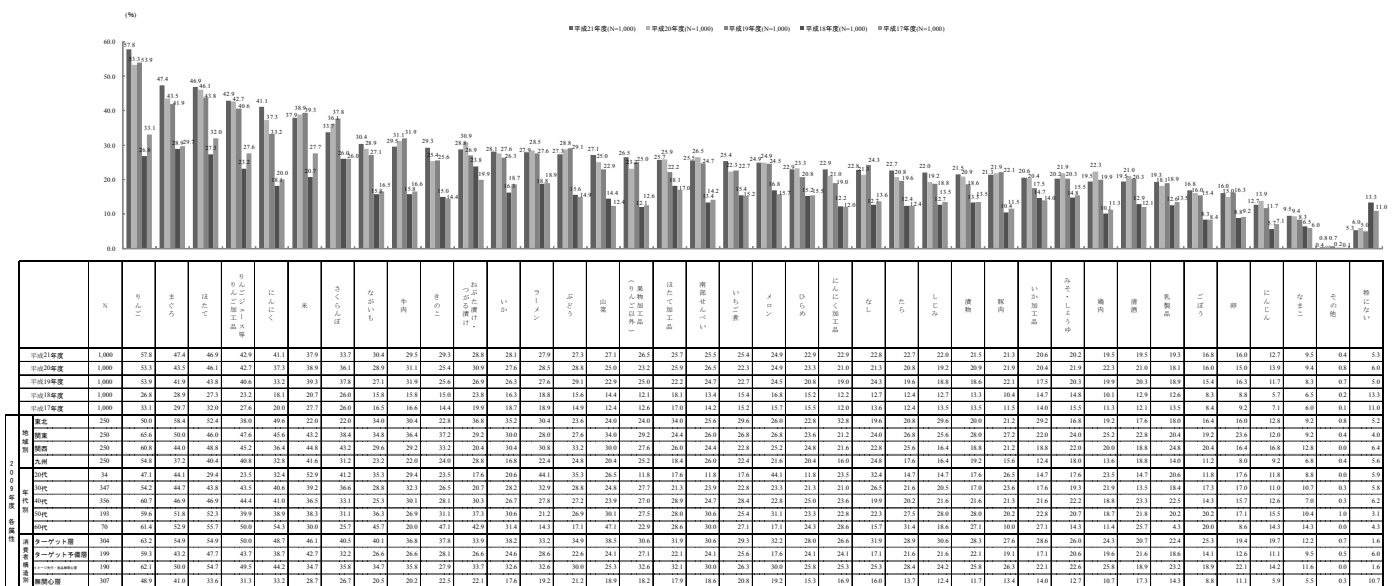


(7) Q13：食してみたい青森県産品（複数回答）

Point

- 「りんご」が 57.8%と最も多く、次いで「まぐろ」(47.4%)、「ほたて」(46.9%)、「りんご加工品」(42.9%)、「にんにく」(41.1%)
- 地域別にみると、「りんご」は関東と関西、「まぐろ」「にんにく」は東北と関東、「ほたて」は東北で高く、「りんご加工品」「米」は東北で低い
- 年代別にみると、「ほたて」「りんご加工品」は20代で低く、「にんにく」は60代で高い

図表 IV-47 食してみたい青森県産品



その他 (N=4)

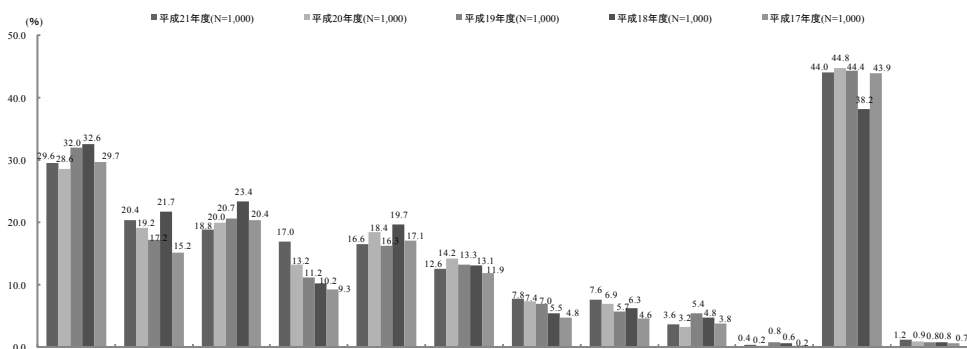
その他の内容	件数
黄菊の加工品	1
青森でしか栽培されていない野菜	1
地ビール	1
無回答	1

(8) Q14：青森県産品の販売場所の認知度（複数回答）

Point

- ・ 全体では、「知らない」が44.0%と最も多く、次いで「デパート」(29.6%)、「通信販売」(20.4%)、「食品スーパー」(18.8%)、「青森県のアンテナショップ」(17.0%)
- ・ 昨年度と上位に大きな変化はない
- ・ 地域別にみると、関西や九州では「知らない」が5割を超えること、九州では「デパート」の認知度が低いこと、東北では「食品スーパー」「通信販売」「道の駅等産地直売所」の認知度が高いこと、関東と九州では「アンテナショップ」の認知度が高いこと等が特徴的
- ・ 年代別にみると、年齢が高いほど認知度は高まる傾向にあるが、中でも「デパート」「通信販売」「アンテナショップ」では、その傾向が顕著
- ・ 消費者構造別にみると、全体的にターゲット層およびイメージ先行・食品無関心層での認知度が高い

図表 IV-48 青森県産品の販売場所の認知度



	N	販売場所											
		デパート	通信販売 (インターネット通販・ カタログ通販)	食品スーパー	青森県のアンテナショップ (県が元々の生産物・ 加工品を販売する店舗等)	総合スーパー (衣料品や家電も 売っている店)	生協 A C O O P	道の駅等産地直売所	生産者から直接購入	八戸産専売店 (八戸産専売店)	コンビニエンス ストア	知らない	その他
平成21年度	1,000	29.6	20.4	18.8	17.0	16.6	12.6	7.8	7.6	3.6	0.4	44.0	1.2
平成20年度	1,000	28.6	19.2	20.0	13.2	18.4	14.2	7.4	6.9	3.2	0.2	44.8	0.9
平成19年度	1,000	32.0	17.2	20.7	11.2	16.3	13.3	7.0	5.7	5.4	0.8	44.4	0.8
平成18年度	1,000	32.6	21.7	23.4	10.2	19.7	13.1	5.5	6.3	4.8	0.6	38.2	0.8
平成17年度	1,000	29.7	15.2	20.4	9.3	17.1	11.9	4.8	4.6	3.8	0.2	43.9	0.7
地域別													
東北	250	26.4	24.8	26.4	10.8	18.8	14.4	16.8	7.2	4.0	1.2	37.2	2.0
関東	250	37.2	19.2	17.2	27.2	20.4	12.8	9.2	8.4	6.8	0.0	37.6	1.6
関西	250	35.2	19.2	16.0	8.8	14.8	14.0	3.2	8.8	3.2	0.0	50.8	0.8
九州	250	19.6	18.4	15.6	21.2	12.4	9.2	2.0	6.0	0.4	0.4	50.4	0.4
年代別													
20代	34	26.5	14.7	20.6	11.8	20.6	14.7	5.9	2.9	2.9	0.0	47.1	0.0
30代	347	30.3	17.6	19.6	15.0	19.6	9.5	8.9	6.1	3.7	0.6	44.1	0.6
40代	356	28.4	19.9	16.3	17.7	12.6	13.5	7.0	6.2	3.9	0.6	48.3	1.7
50代	193	30.6	26.9	21.2	18.7	16.6	13.5	7.3	11.9	3.1	0.0	37.8	2.1
60代	70	31.4	21.4	20.0	21.4	20.0	20.0	8.6	12.9	2.9	0.0	37.1	0.0
消費者構造別													
ターゲット層	304	40.1	27.0	21.7	21.7	23.7	16.8	10.2	10.5	4.6	0.3	28.0	2.6
ターゲット外層	199	25.1	16.1	16.6	16.6	10.6	12.6	3.0	6.5	1.5	0.0	55.3	0.5
イメージ先行・食品無関心層	190	32.6	27.4	25.8	16.8	20.0	12.6	12.1	9.5	4.7	1.6	36.3	0.5
無関心層	307	20.2	12.4	13.0	12.7	11.4	8.5	5.9	4.2	3.3	0.0	57.3	0.7

その他 (N=12)

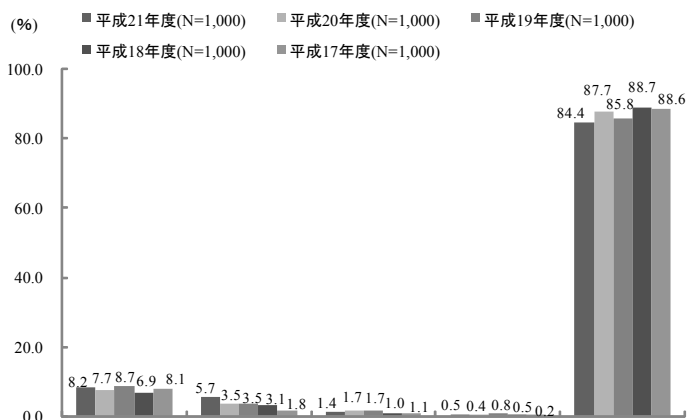
その他の内容	件数
アウトレットパークのお土産屋さん	1
いところで購入し送ってもらう	1
期間限定で販売している時がある	1
自然食品のお店や宅配業者	1
新聞の広告	1
仙台駅	1
知人を通して	1
物産展	1
無回答	4

(9) Q15：青森県のアンテナショップの認知度（複数回答）

Point

- ・ 全体では、「知らない」が84.4%と最も多く、次いで「みちのく夢プラザ」が8.2%であり、昨年度と大きな傾向の変化はない
- ・ 地域別にみると、九州における「みちのく夢プラザ」の認知度が高いことが特徴的
- ・ 消費者構造別にみると、「みちのく夢プラザ」はターゲット層とターゲット予備層の認知度が若干高い

図表 IV-49 青森県のアンテナショップの認知度



		N	みちのく夢プラザ (福岡市天神)	あおもり北彩館 (東京都飯田橋)	きた東北発見 (大阪市心齋橋)	その他	知らない
平成21年度		1,000	8.2	5.7	1.4	0.5	84.4
平成20年度		1,000	7.7	3.5	1.7	0.4	87.7
平成19年度		1,000	8.7	3.5	1.7	0.8	85.8
平成18年度		1,000	6.9	3.1	1.0	0.5	88.7
平成17年度		1,000	8.1	1.8	1.1	0.2	88.6
2009年度 各属性	地域別						
	東北	250	0.0	6.0	0.0	0.0	94.0
	関東	250	0.8	14.4	0.8	0.8	83.2
	関西	250	0.8	1.2	4.4	0.0	94.0
	九州	250	31.2	1.2	0.4	1.2	66.4
	年代別						
	20代	34	8.8	8.8	2.9	0.0	79.4
	30代	347	7.5	4.0	2.0	0.3	86.2
	40代	356	7.3	6.7	1.1	0.8	84.6
	50代	193	10.9	4.7	0.5	0.5	83.4
60代	70	8.6	10.0	1.4	0.0	80.0	
消費者構造別							
ターゲット層	304	10.5	10.2	1.6	0.3	78.0	
ターゲット予備層	199	11.6	2.0	2.0	0.5	83.9	
ターゲット外(非ターゲット層)	190	2.6	6.3	1.1	0.0	90.0	
無関心層	307	7.2	3.3	1.0	1.0	87.6	

その他(N=5)

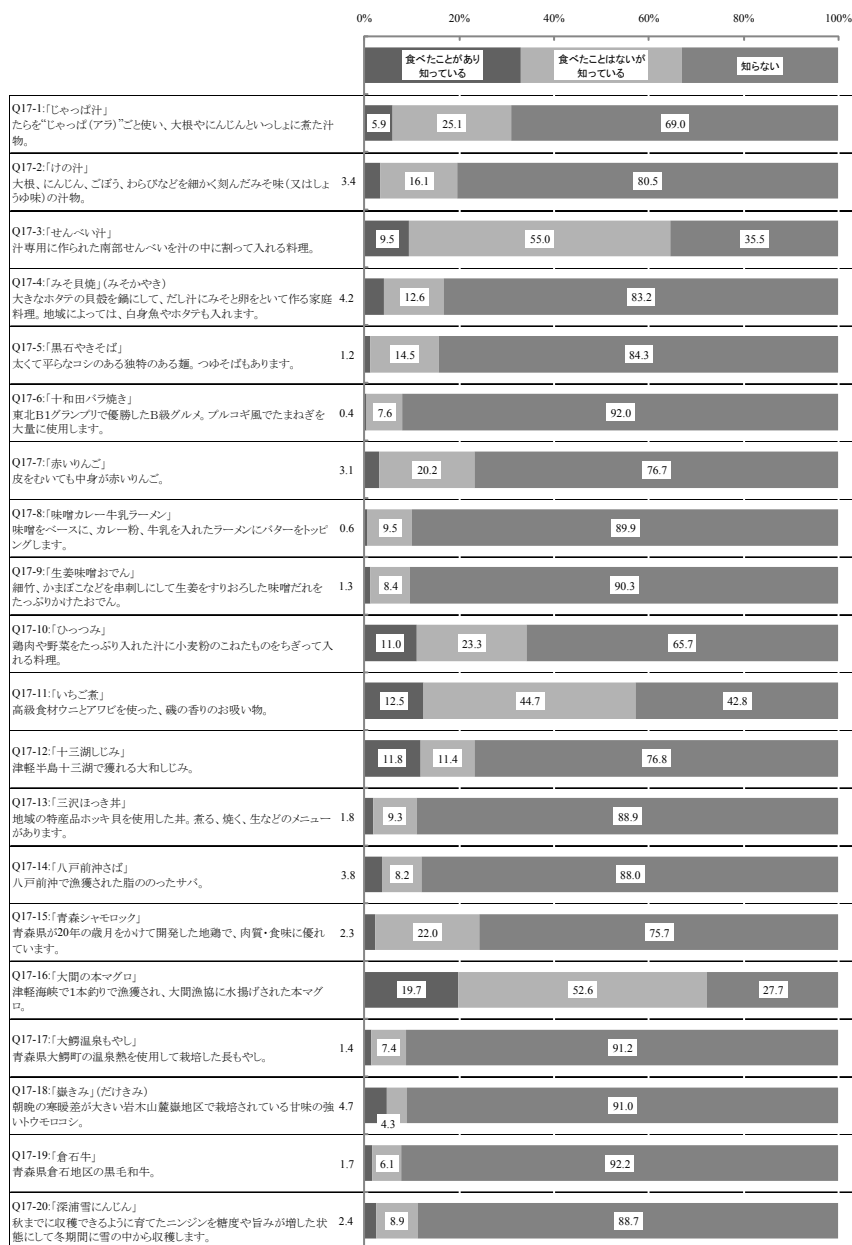
その他の内容	件数
福岡 天神	1
無回答	4

IV-2. 特定テーマ「あおもりの食」について

(1) Q17:「あおもりの食」の認知度（単一回答）

Point	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「食べたことがあり知っている」では「大間の本マグロ」が19.7%と最も多い ・ 「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計では、「大間の本マグロ」が72.3%と最も多く、次いで「せんべい汁」(64.5%)、「いちご煮」(57.2%)
--------------	--

図表 IV-50 「あおもりの食」の認知度

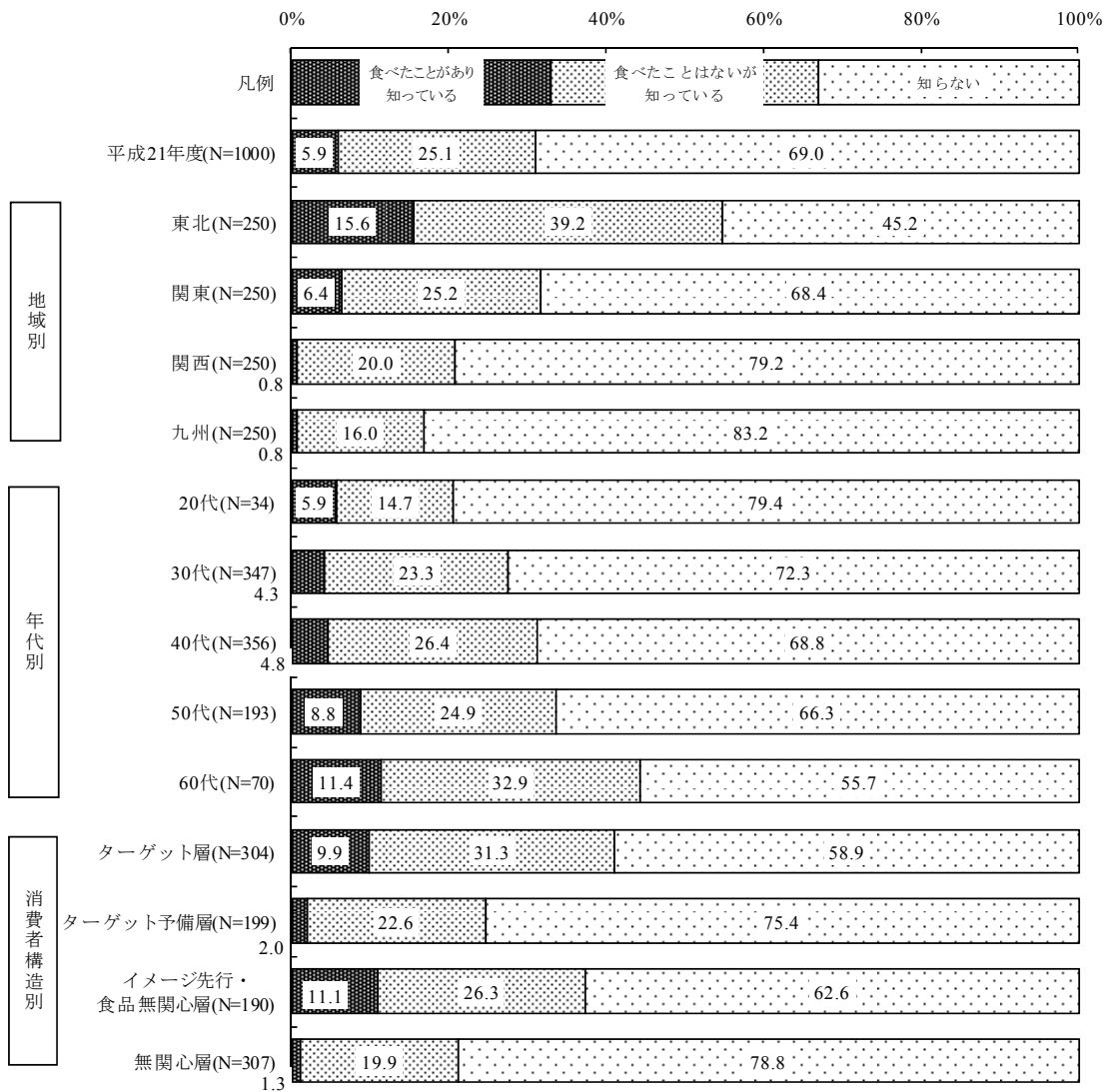


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 31.0%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 54.8%と高いが、距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 41.2%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 37.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-51 「あもりの食」の認知度

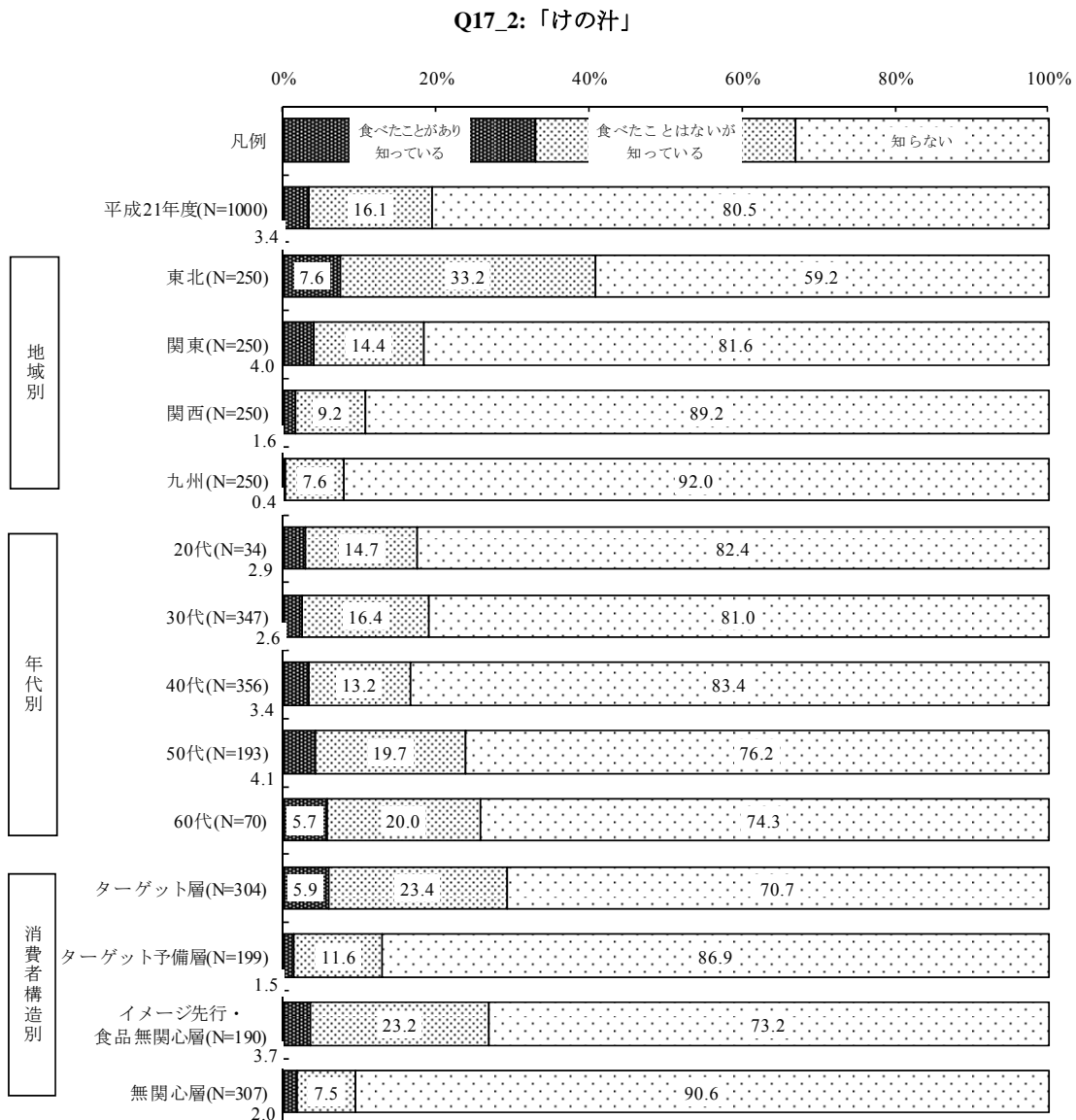
Q17_1:「じゃっぱ汁」



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 19.5%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 41.8%と高いが、距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 29.3%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 26.9%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-52 「あおもりの食」の認知度

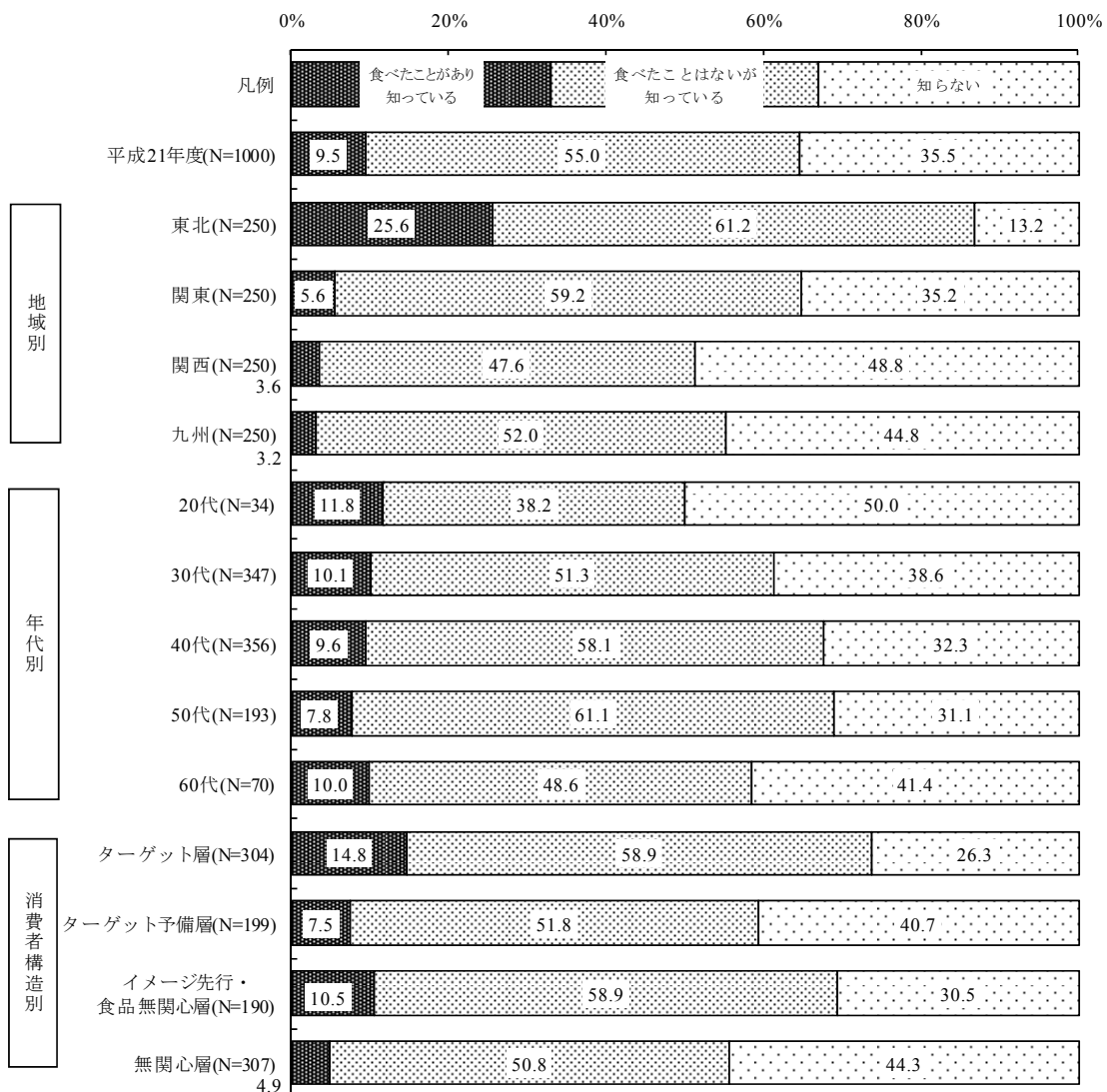


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 64.5%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 86.8%と高いが、概ね距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 73.7%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 69.4%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-53 「あもりの食」の認知度

Q17_3: 「せんべい汁」

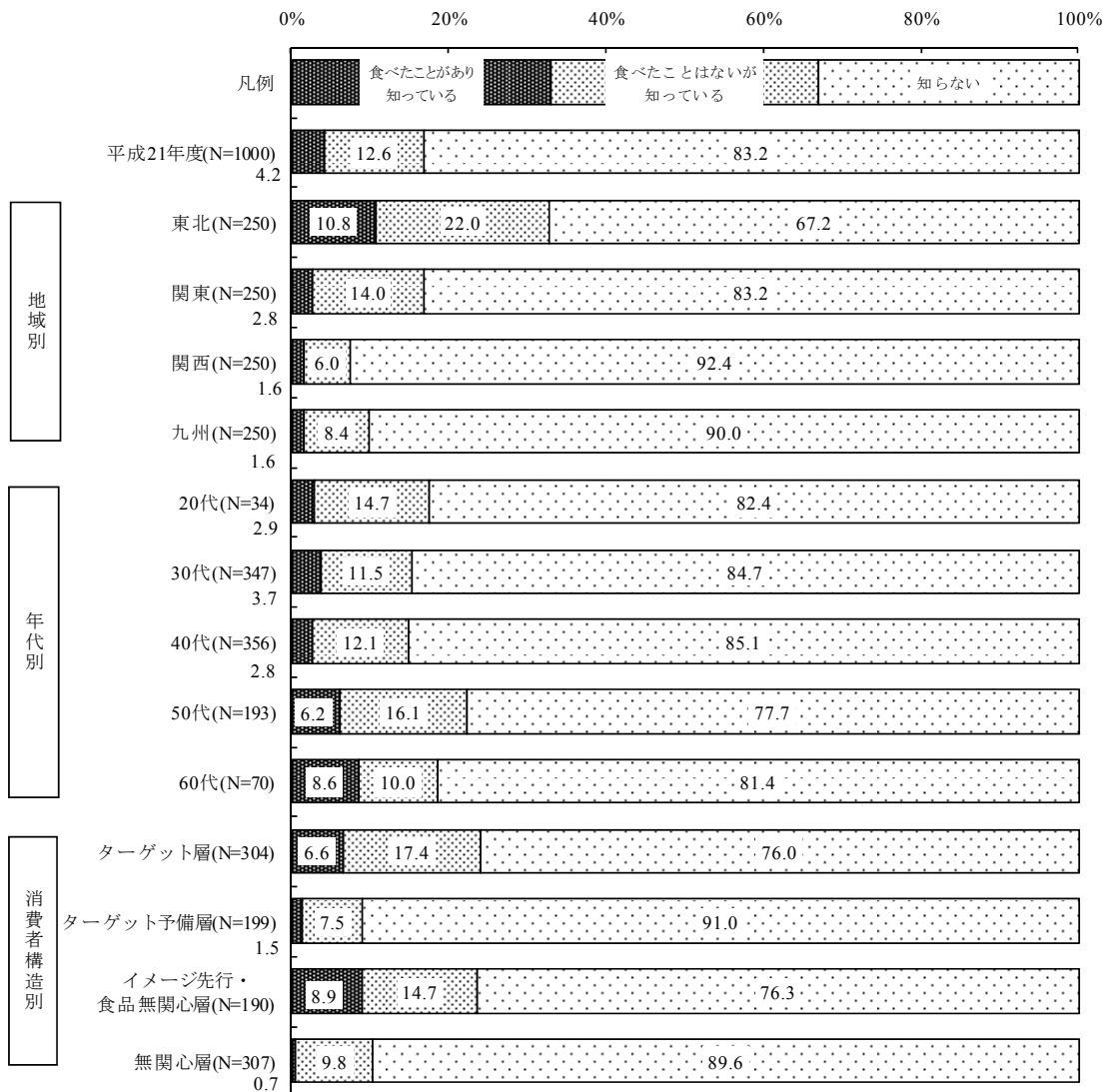


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 16.8%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 32.8%と高いが、概ね距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 24.0%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 23.6と、その他の層と比べて高い

図表 IV-54 「あおもりの食」の認知度

Q17_4: 「みそ貝焼」

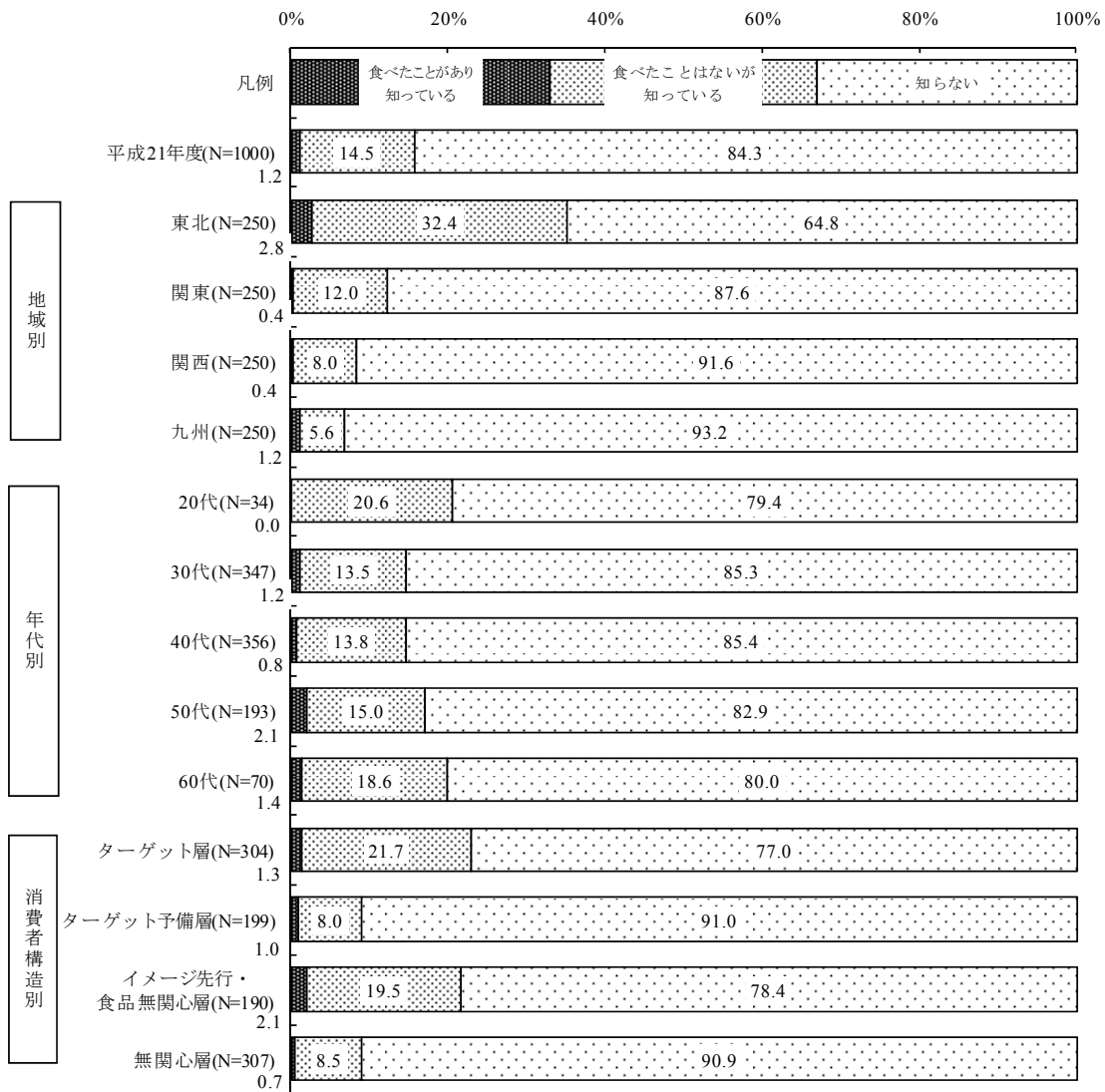


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 15.7%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 35.2%と高いが、距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 23.0%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 21.6%と、その他の層と比べて高い

図表 IV-55 「あおもりの食」の認知度

Q17_5: 「黒石やきそば」

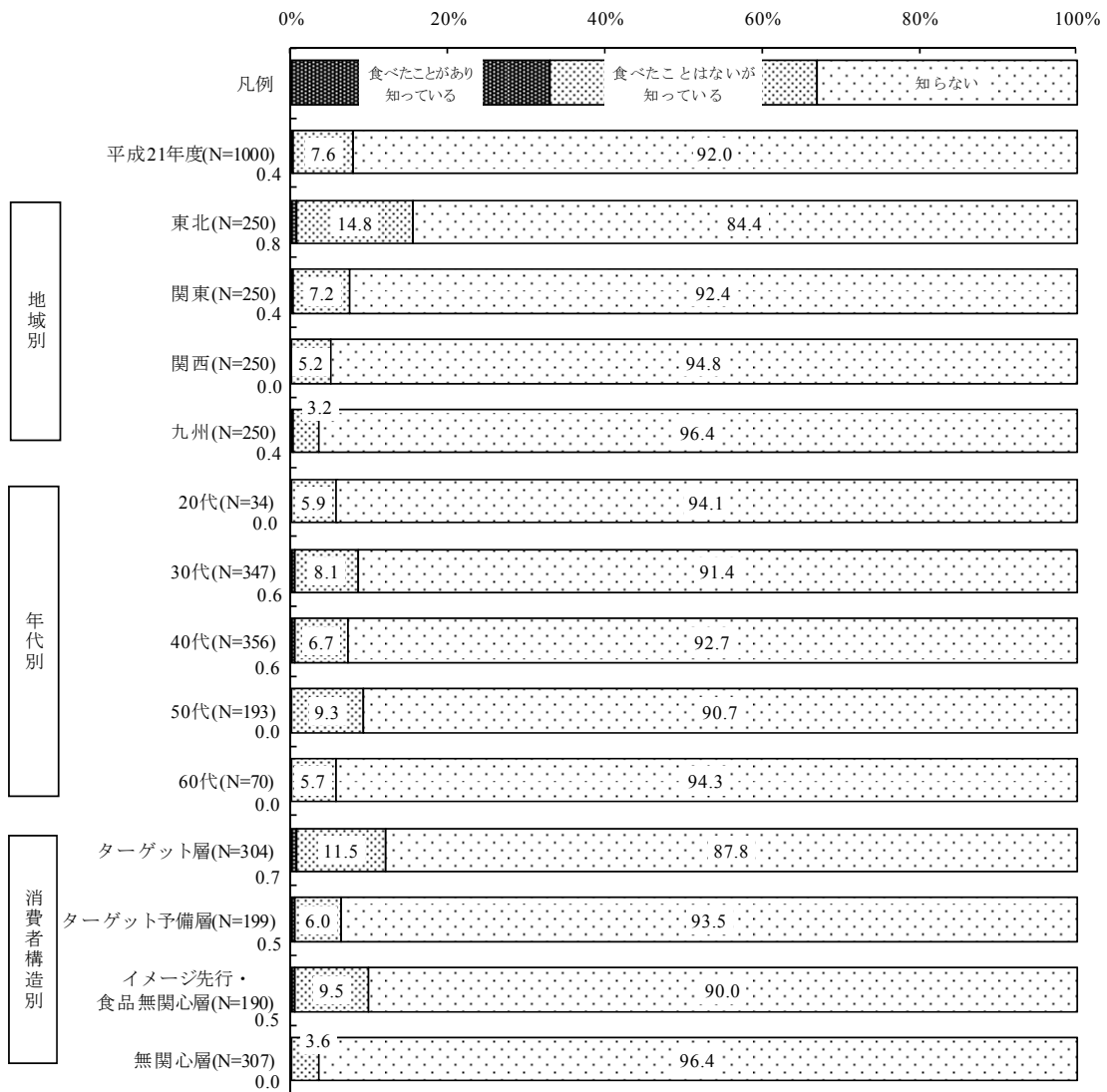


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 8.0%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 15.6%と高い

図表 IV-56 「あおもりの食」の認知度

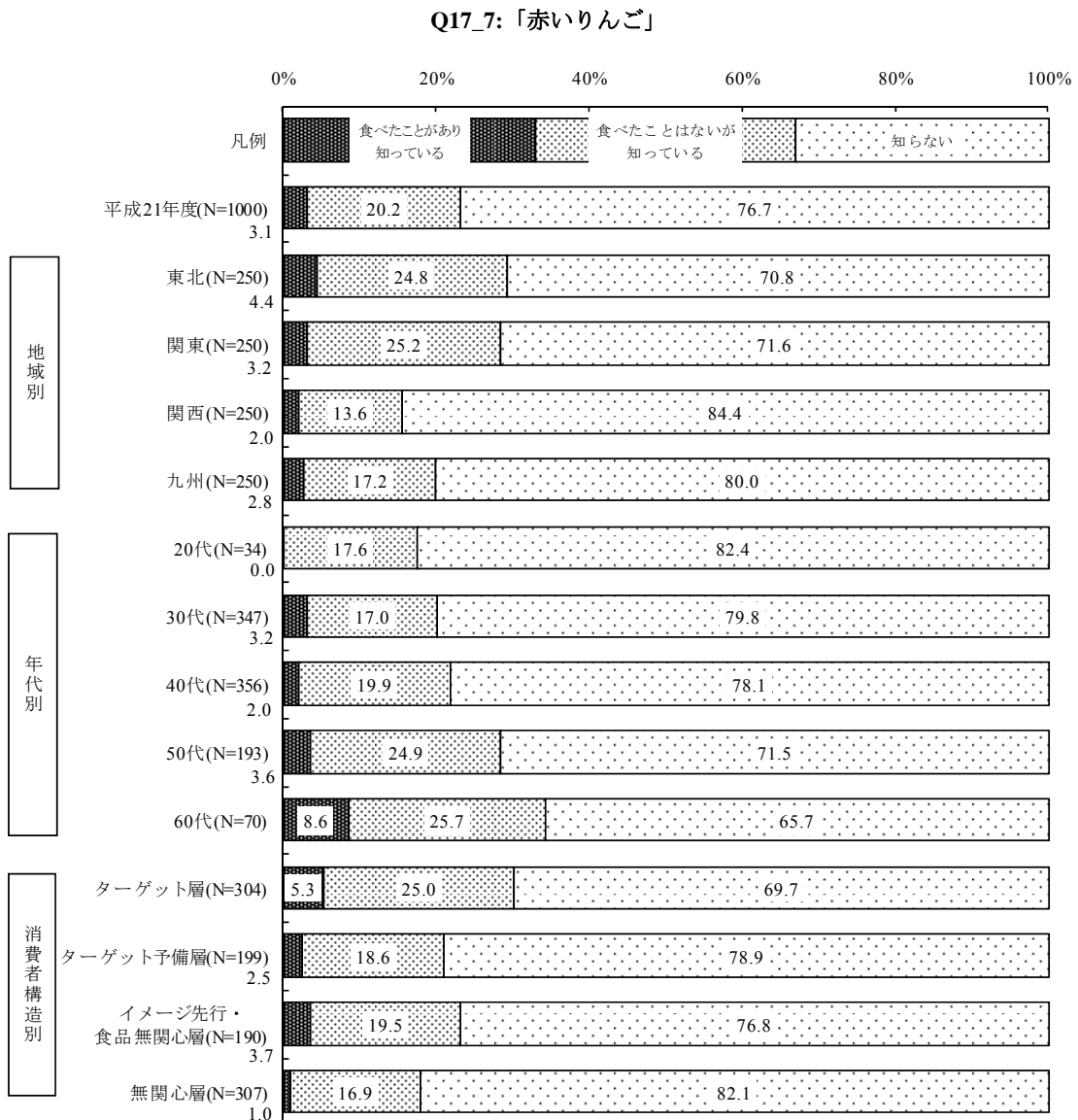
Q17_6: 「十和田バラ焼き」



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 23.3%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 29.2%と高いが、概ね距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向

図表 IV-57 「あおもりの食」の認知度

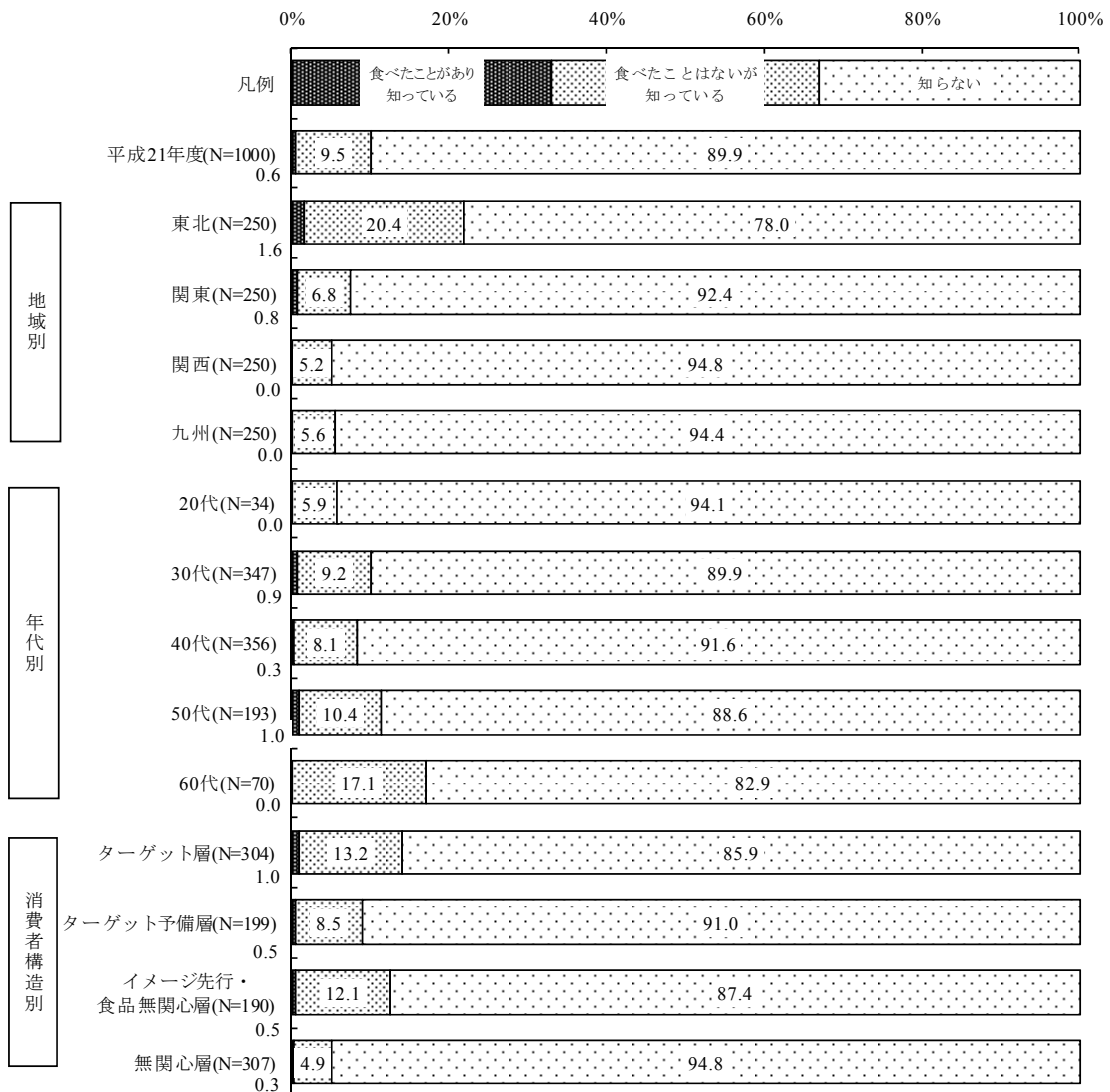


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 10.1%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 22.0 と高い

図表 IV-58 「あおもりの食」の認知度

Q17_8: 「味噌カレー牛乳ラーメン」

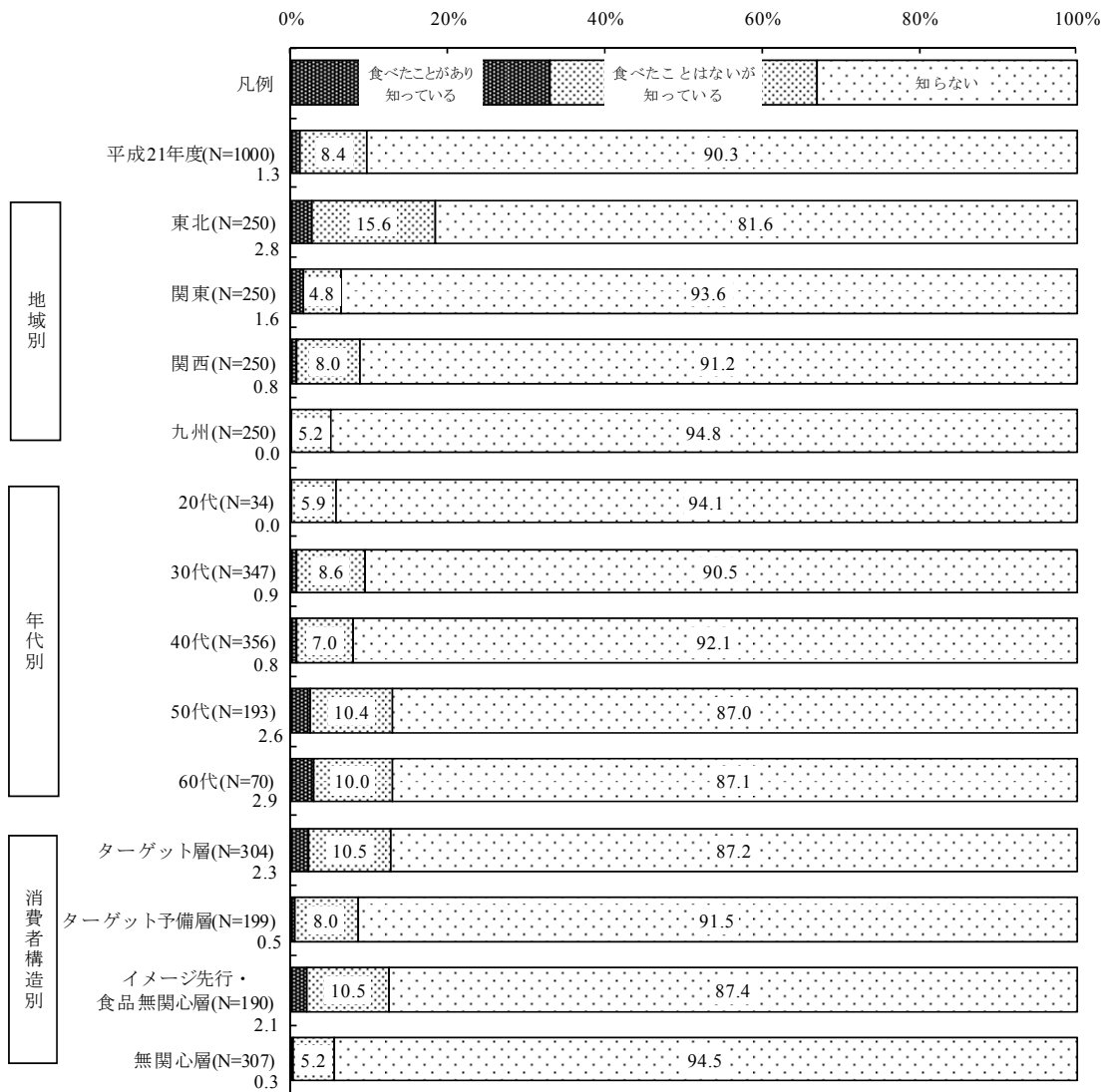


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 9.7%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 18.4%と高い

図表 IV-59 「あおもりの食」の認知度

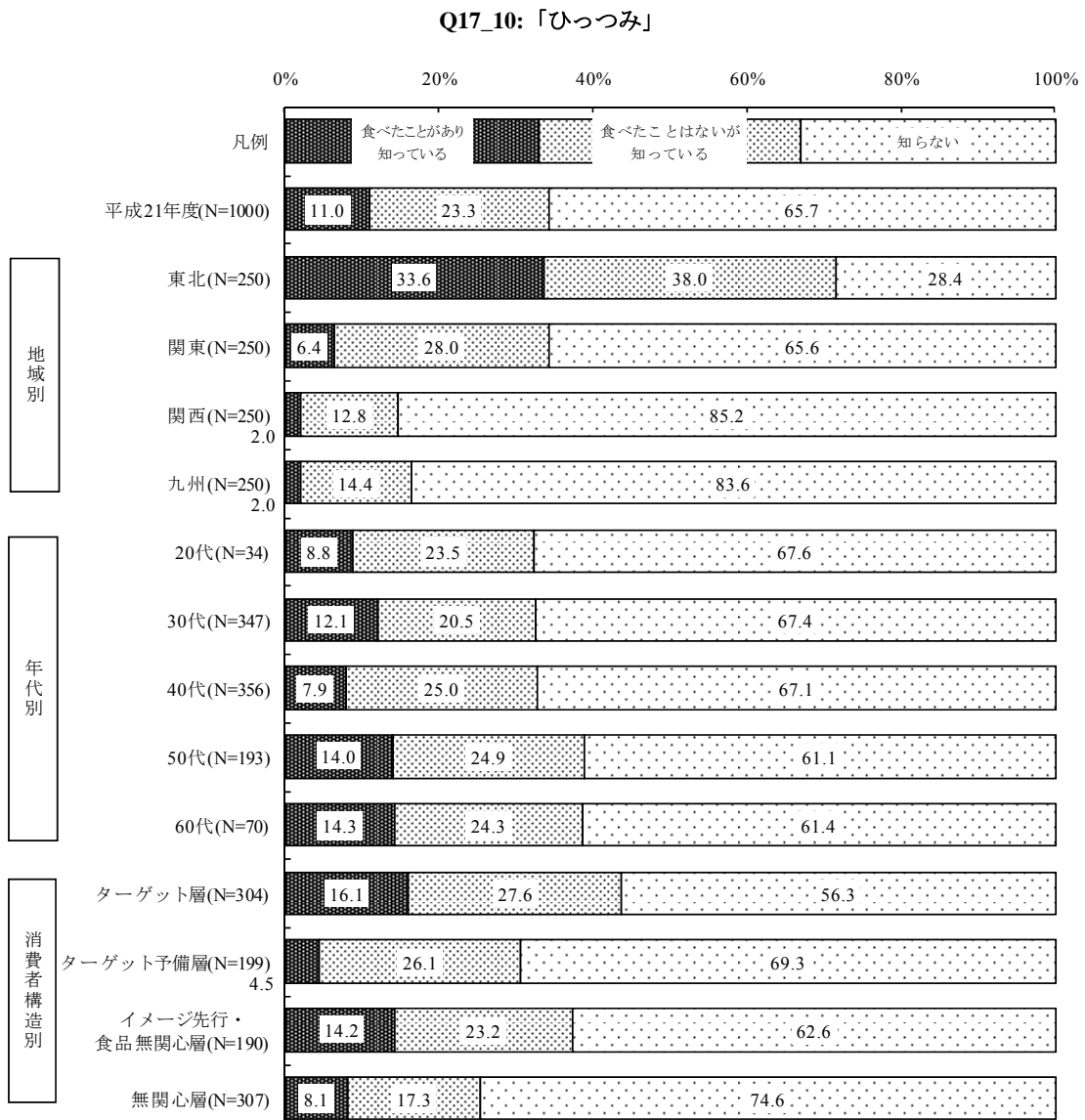
Q17_9: 「生姜味噌おでん」



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 34.3%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 71.6%と高いが、概ね距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 43.7%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 37.4%と、その他の層と比べて高い

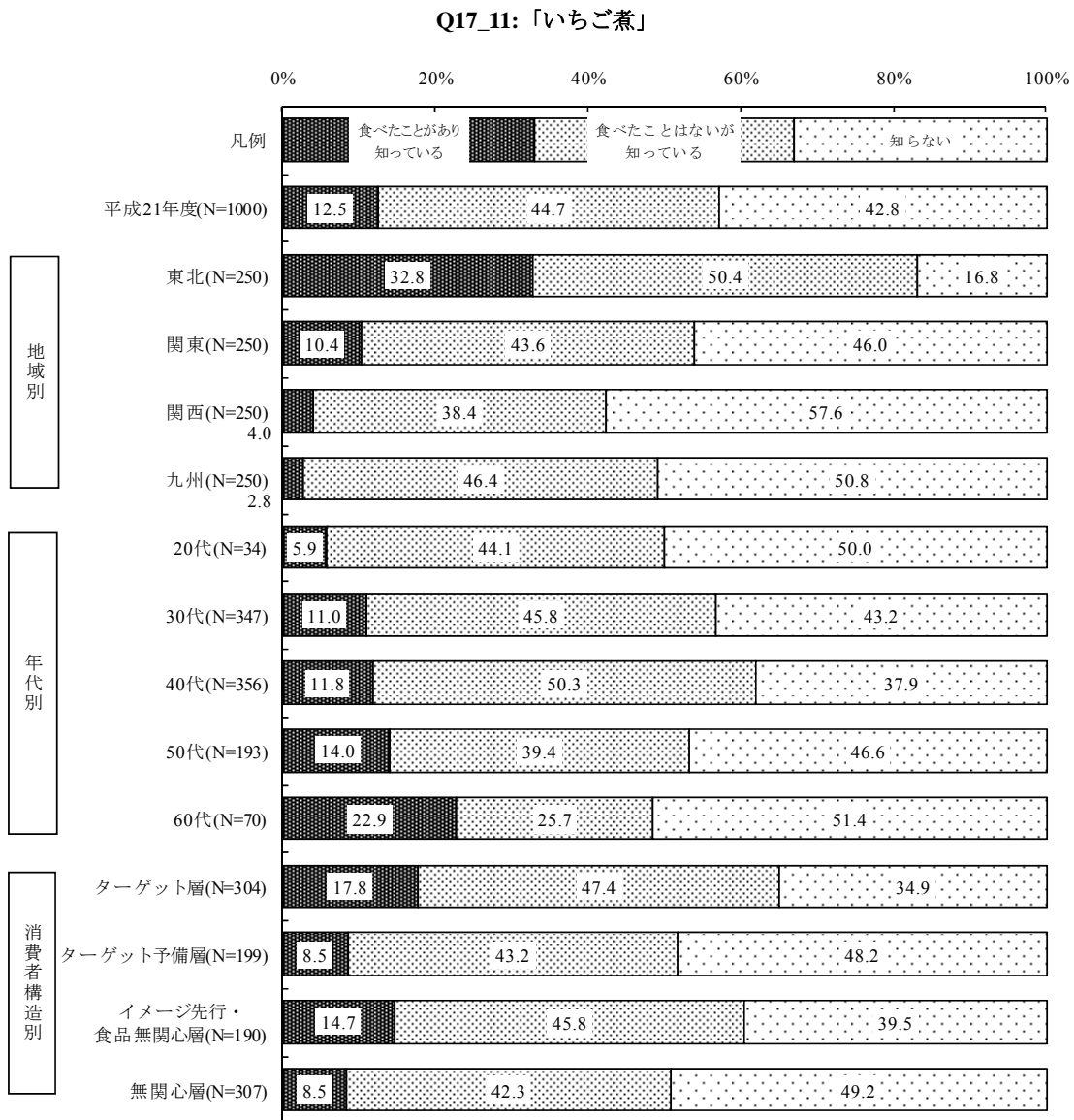
図表 IV-60 「あおもりの食」の認知度



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 83.2%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 41.8%と高い
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 65.2%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 60.5%と、その他の層と比べて高い

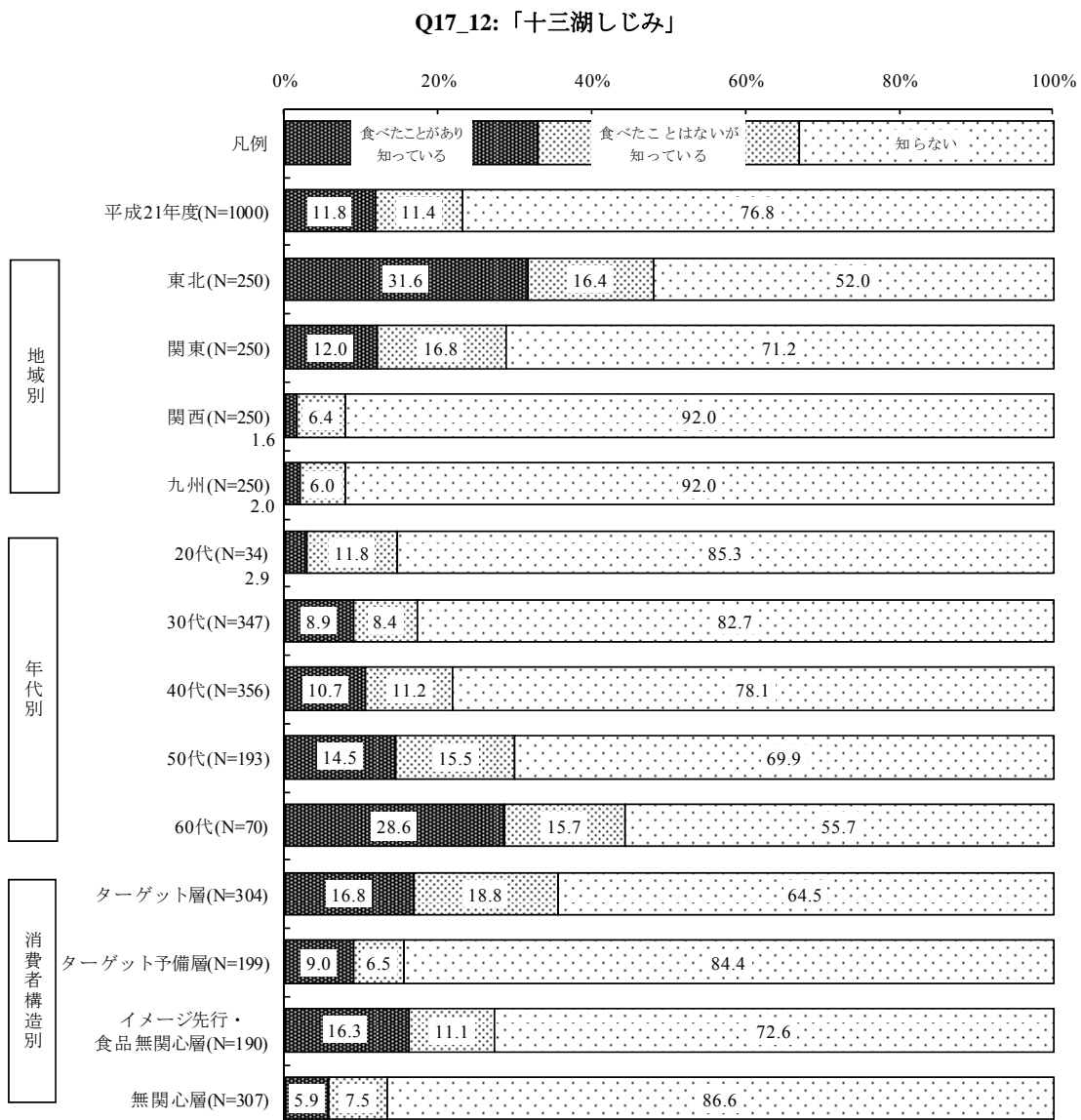
図表 IV-61 「あおもりの食」の認知度



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 23.2%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 48.0%と高いが、距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 35.6%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 27.4%と、その他の層と比べて高い

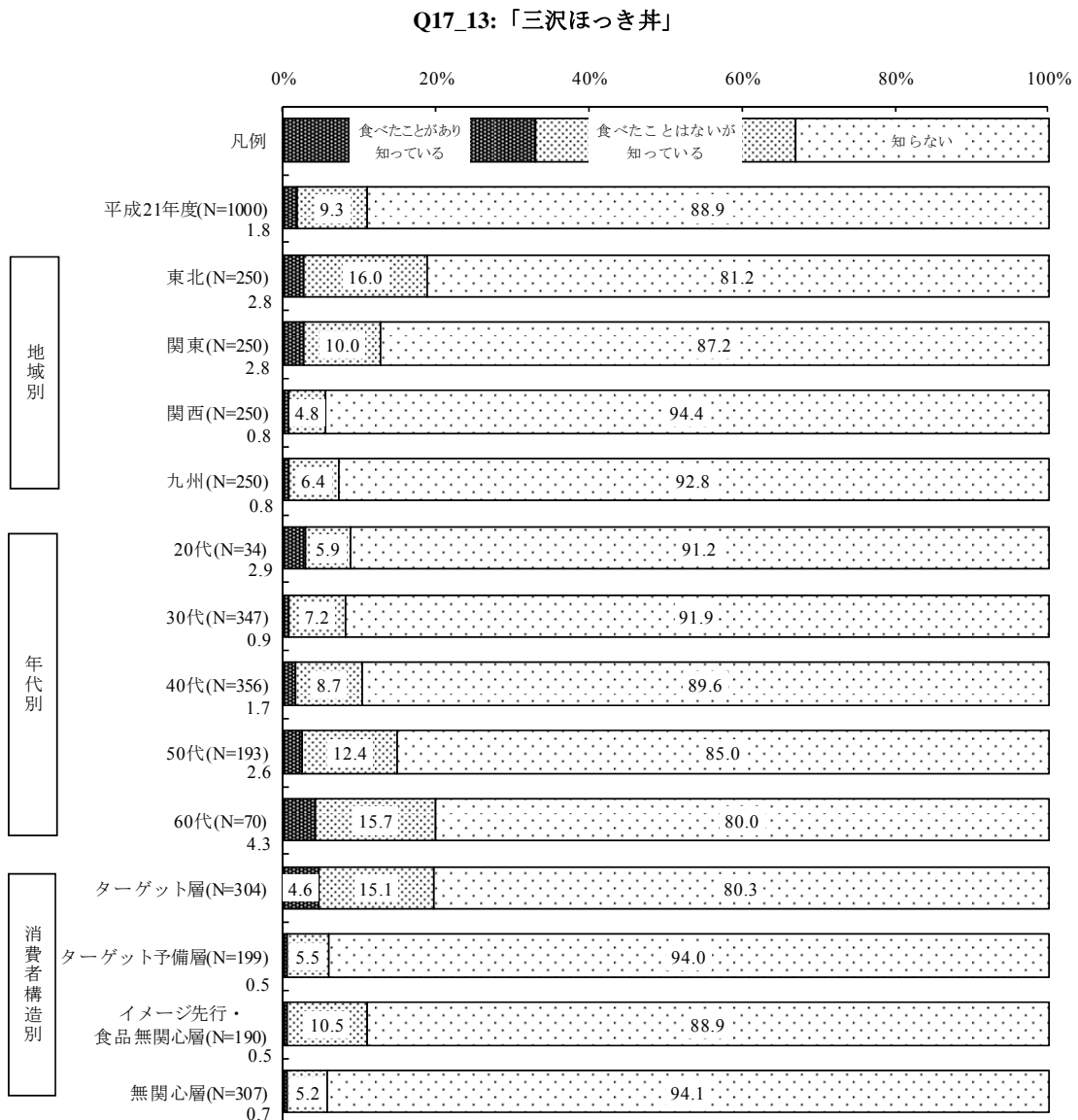
図表 IV-62 「あおもりの食」の認知度



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 11.1%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 18.8%と高い
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向

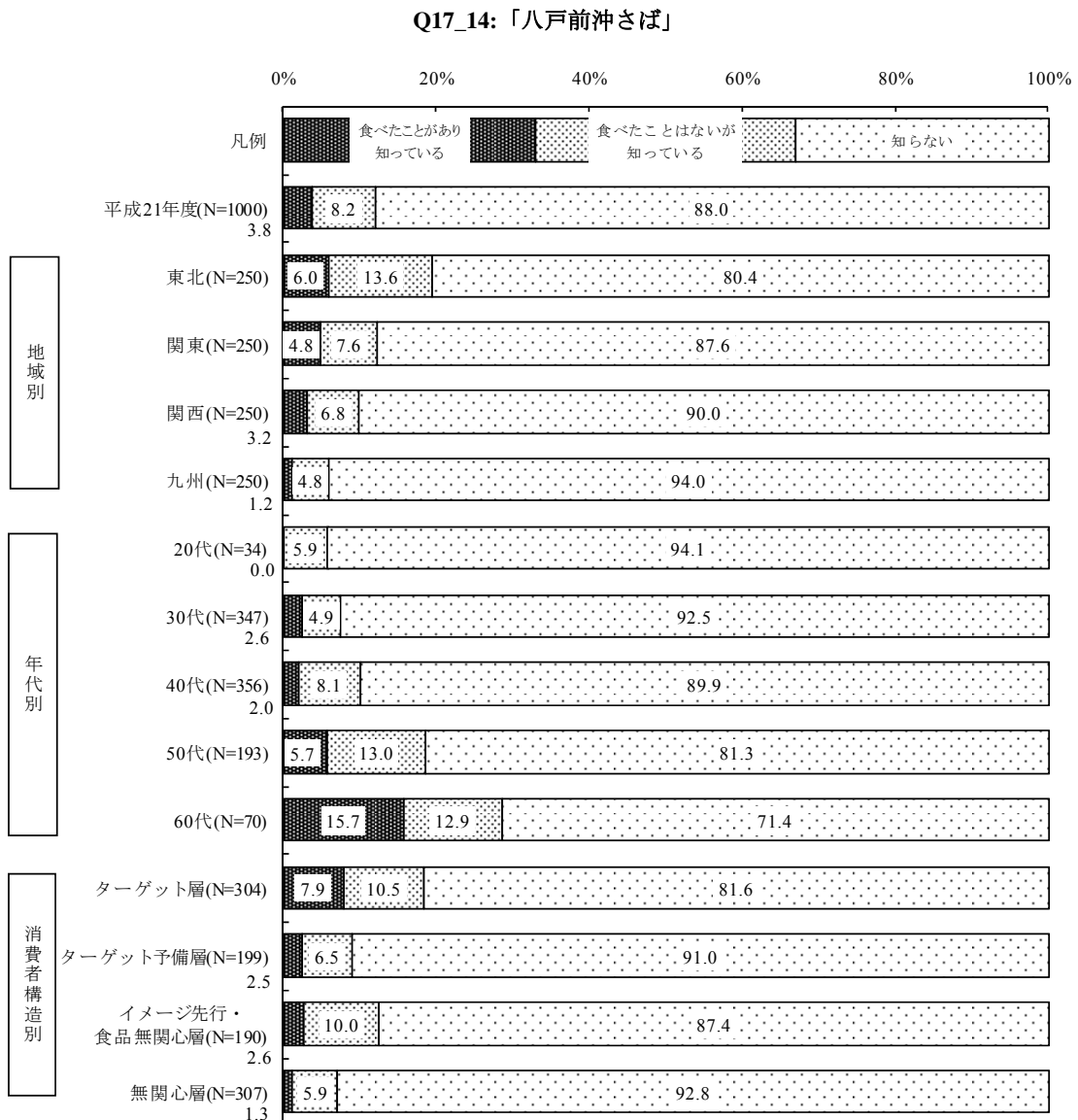
図表 IV-63 「あおもりの食」の認知度



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 11.5%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 19.6%と高い
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向

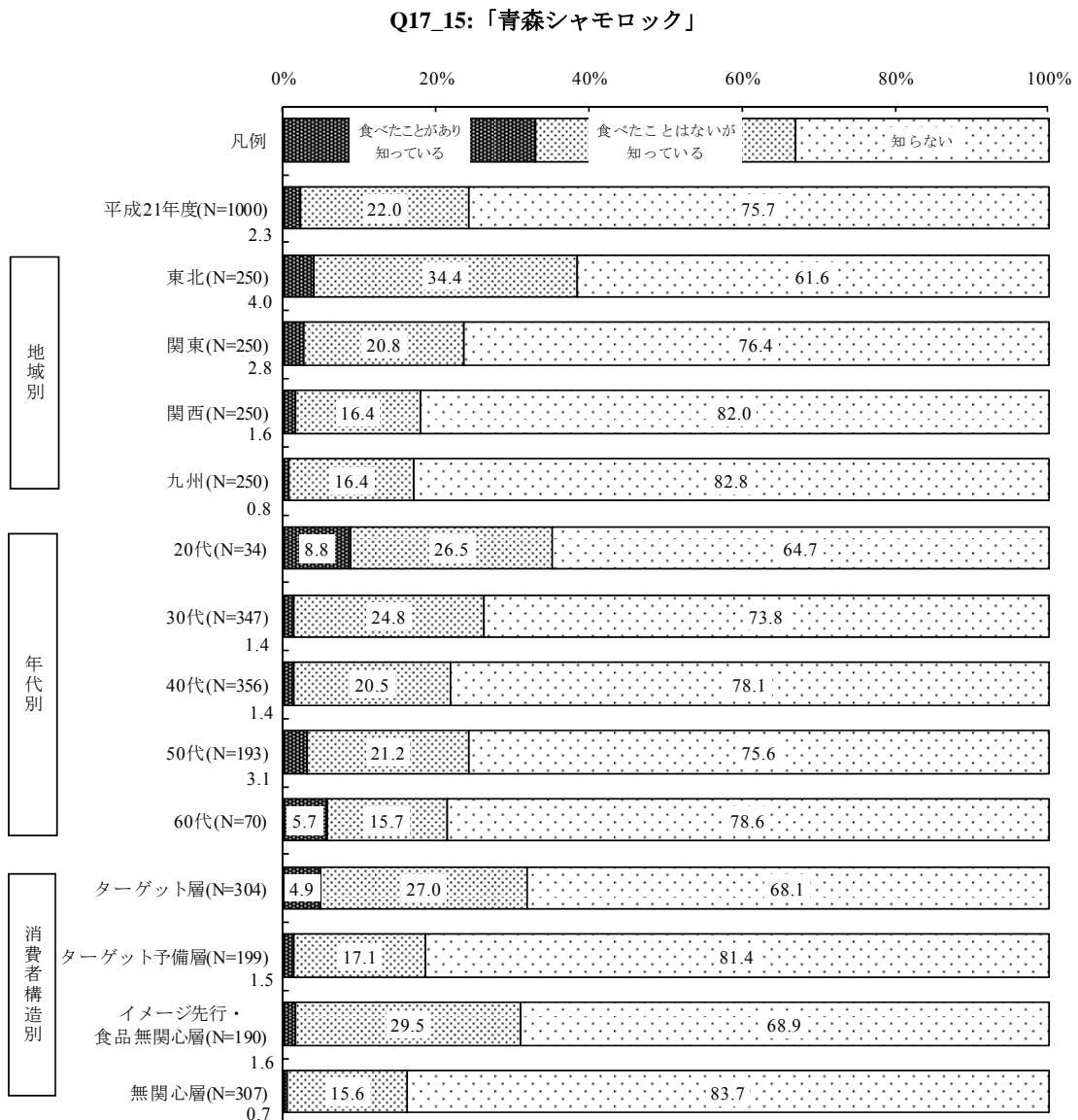
図表 IV-64 「あもりの食」の認知度



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 24.3%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 38.4%と高いが、距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が若くなるに従い認知度は高まる傾向
- ・ ターゲット層では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 31.9%、イメージ先行・食品無関心層では同じく 31.1%と、その他の層と比べて高い

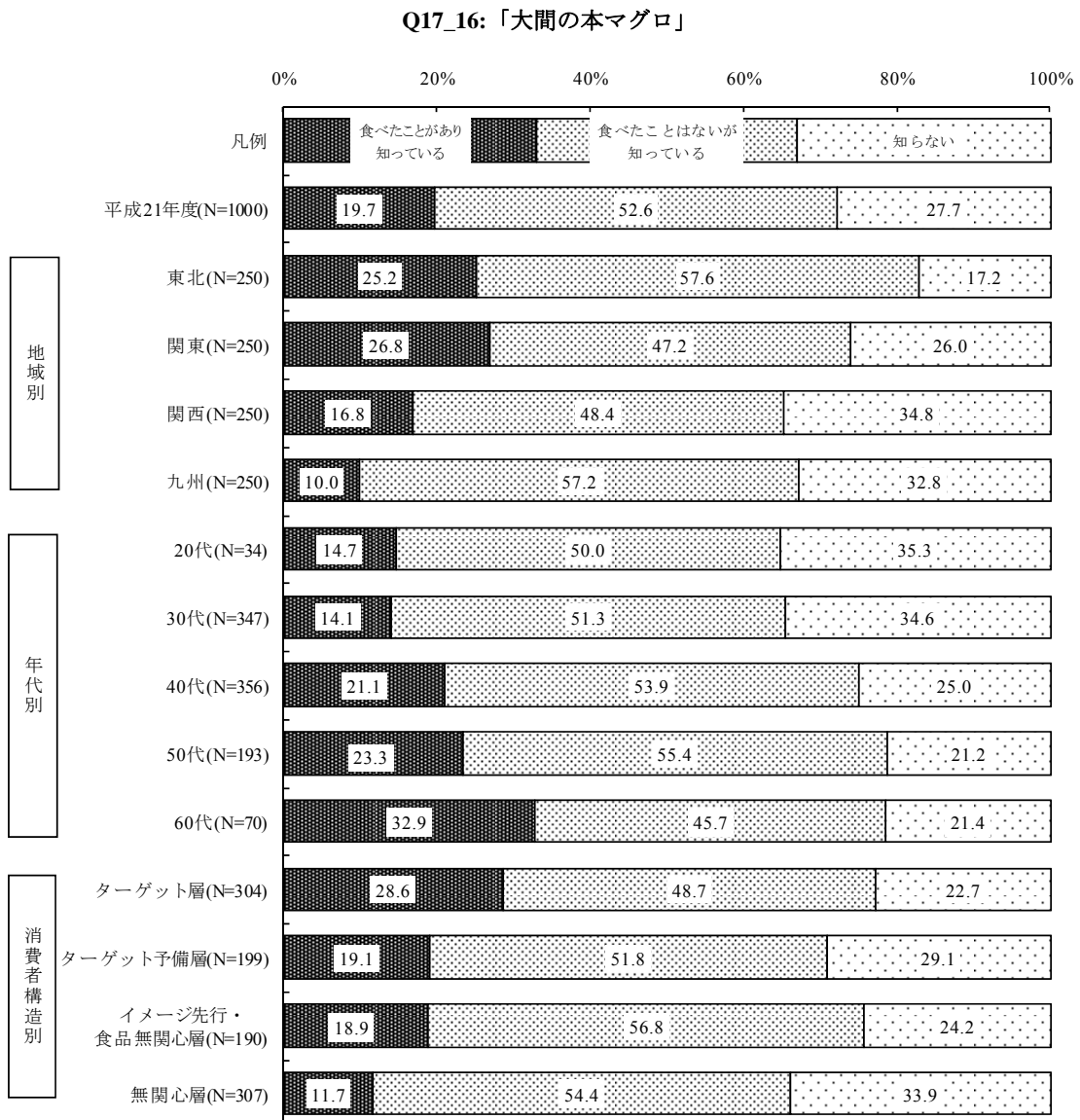
図表 IV-65 「あおもりの食」の認知度



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 72.3%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 82.8%と高いが、概ね距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、概ね年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向

図表 IV-66 「あおもりの食」の認知度

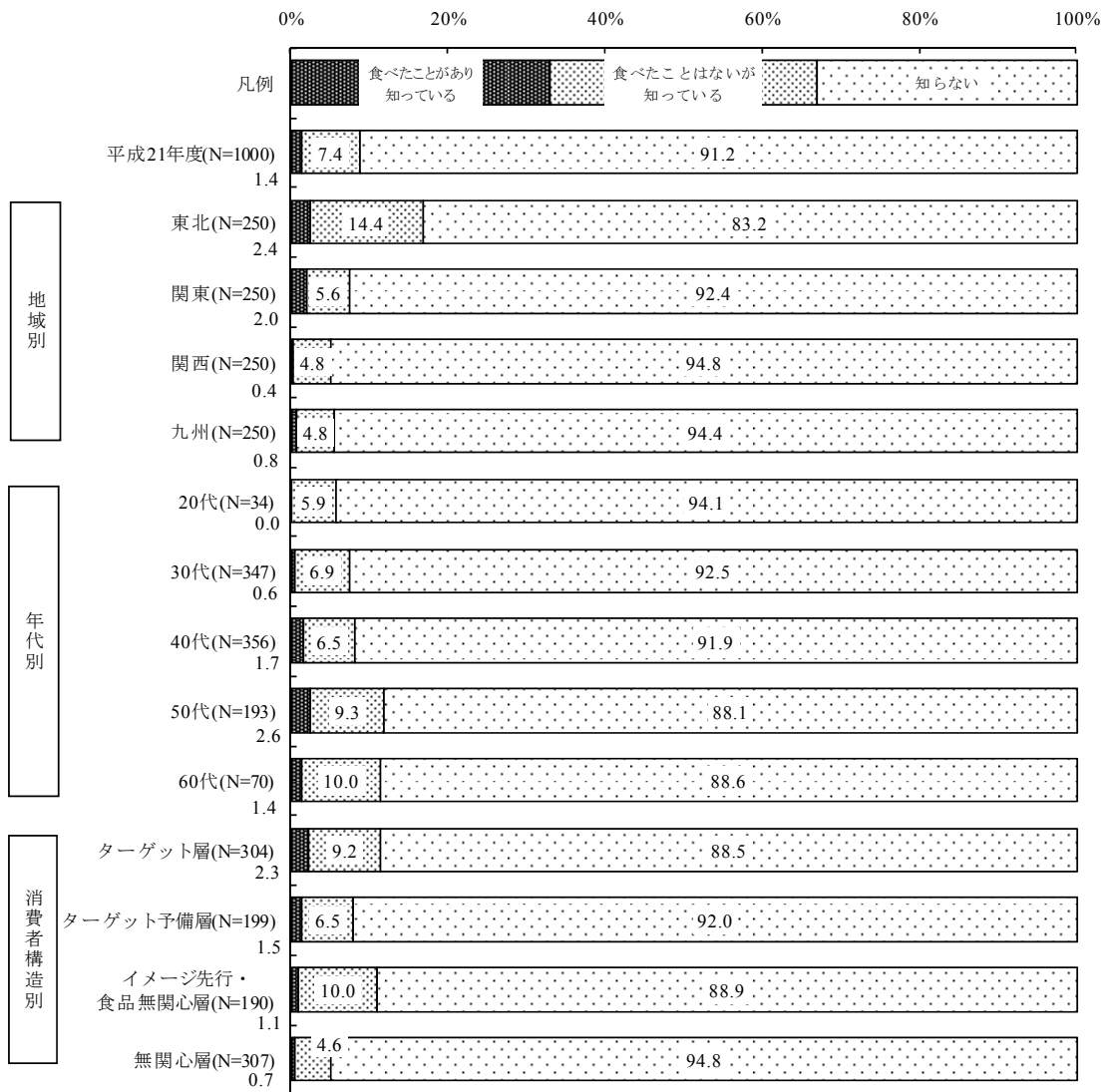


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 8.8%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 16.8%と高い

図表 IV-67 「あおもりの食」の認知度

Q17_17: 「大鱒温泉もやし」

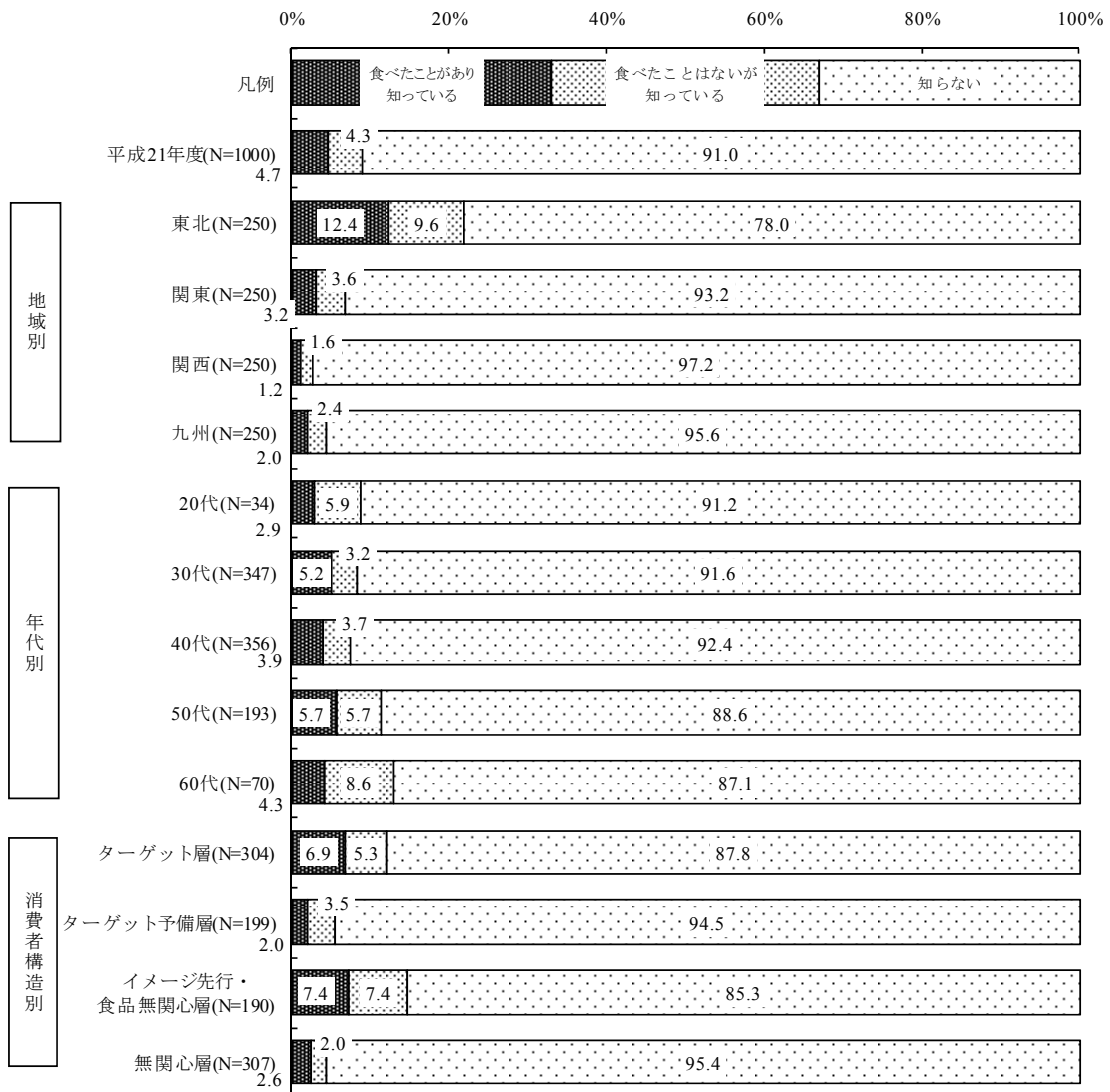


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は9.0%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が22.0%と高い

図表 IV-68 「あおもりの食」の認知度

Q17_18:「嶽きみ」(だけきみ)

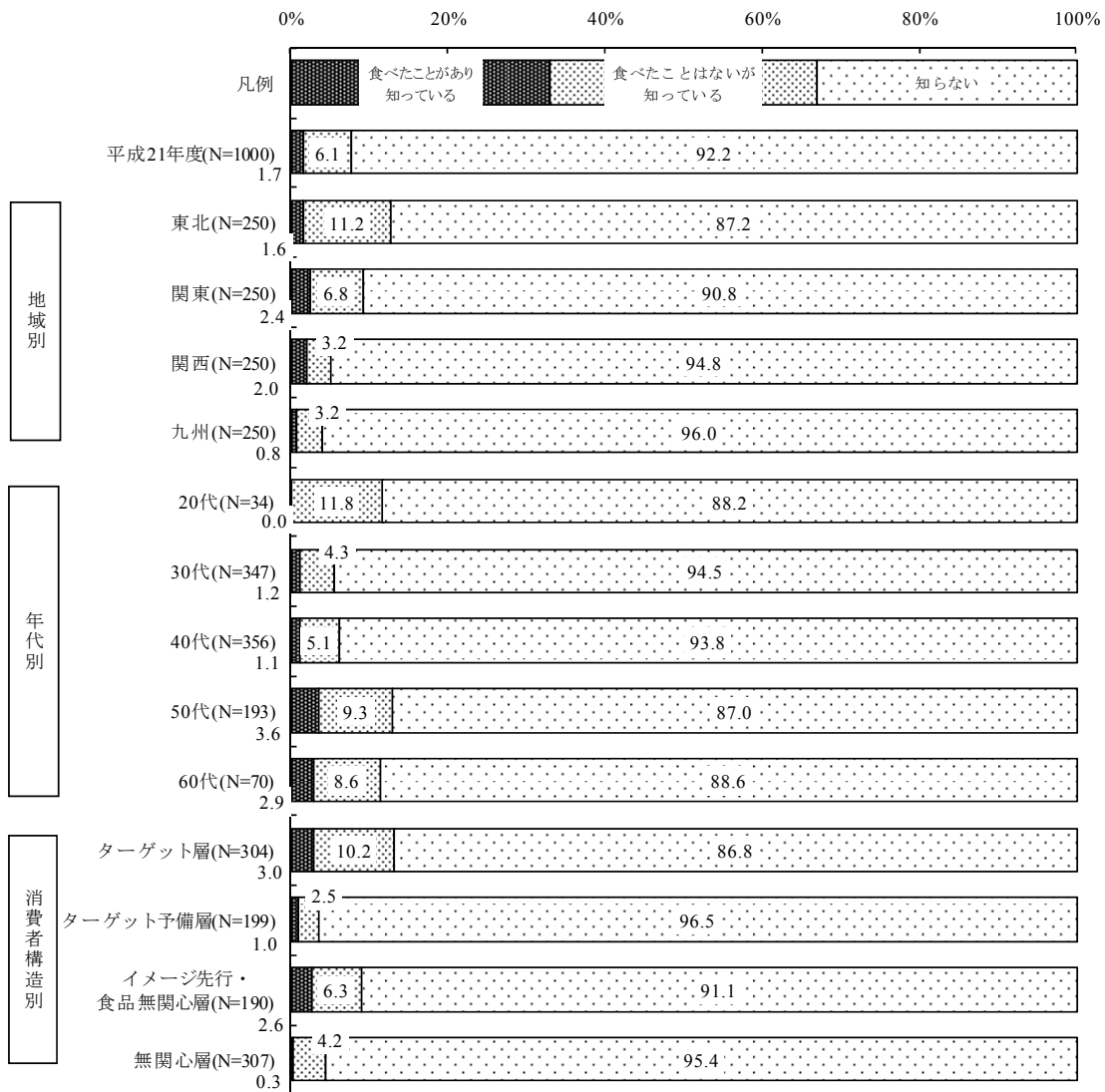


Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 7.8%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 11.8%と高い

図表 IV-69 「あおもりの食」の認知度

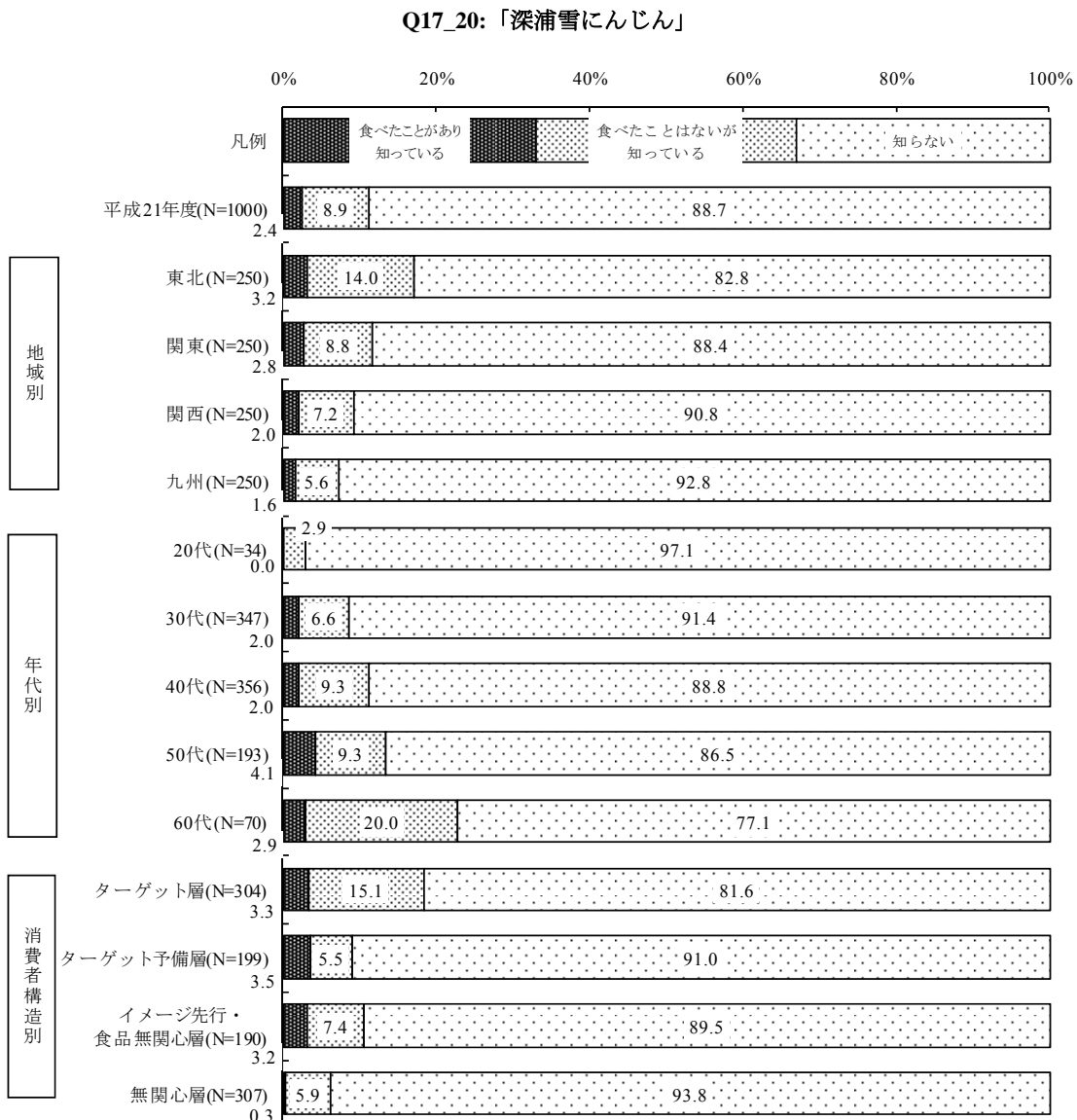
Q17_19:「倉石牛」



Point

- ・ 全体では、「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計は 11.3%
- ・ 地域別にみると、東北では「食べたことがあり知っている」「食べたことはないが知っている」の合計が 17.2%と高いが、距離が遠くなるほど認知度は低下する傾向
- ・ 年代別にみると、年齢が高くなるに従い認知度は高まる傾向

図表 IV-70 「あおもりの食」の認知度

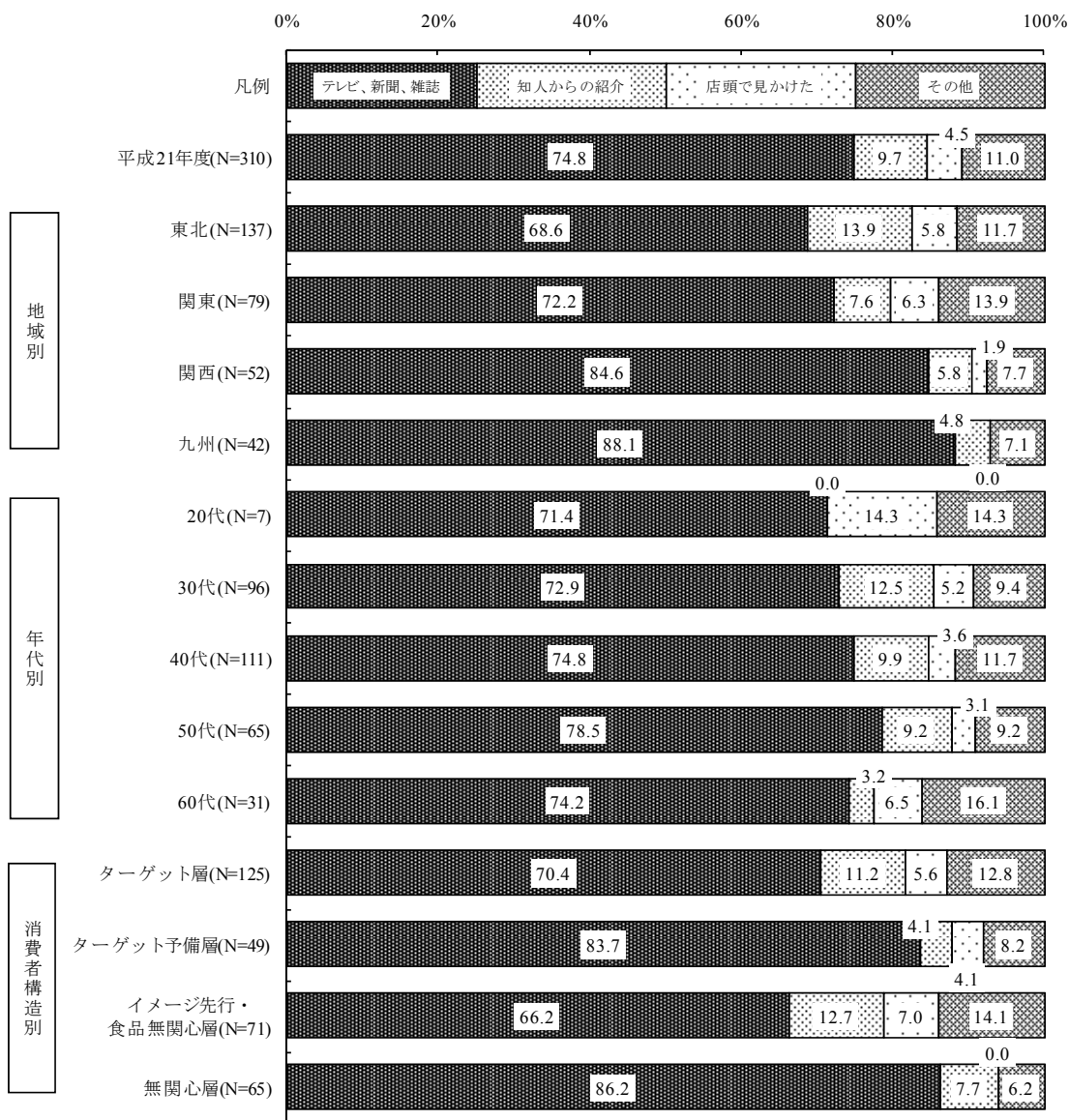


(2) Q18:「Q17」で「食べたことがあり知っている」および「食べたことはないが知っている」と回答した回答者の知ったきっかけ（単一回答）

Point

- 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が74.8%と最も多い
- 地域別では、距離が遠い地域ほど「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い

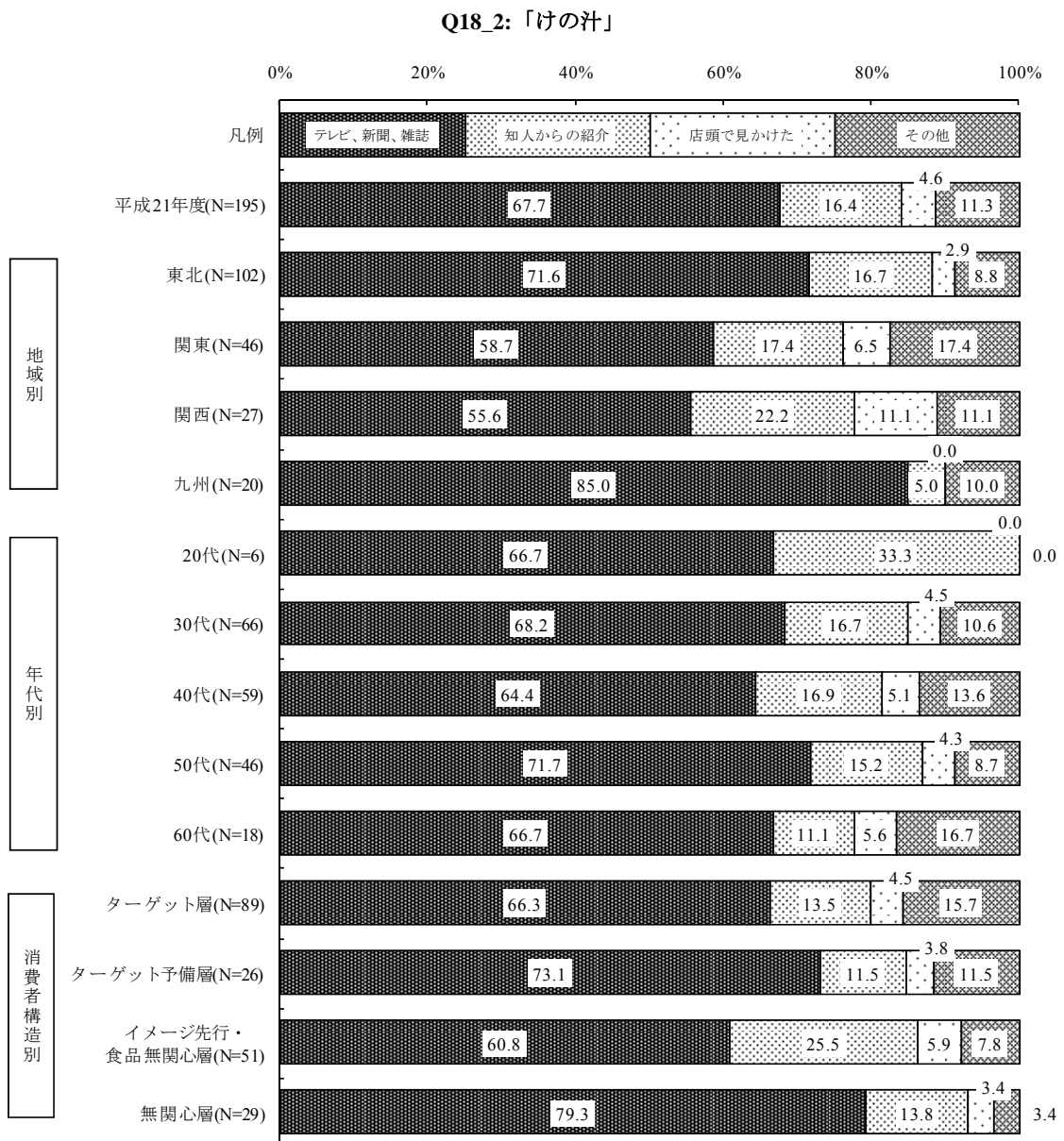
図表 IV-71 「あおりの食」を知ったきっかけ
Q18_1:「じゃっぱ汁」



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が67.7%と最も多い
- ・ 地域別では、特に東北および九州で「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多いことが特徴的

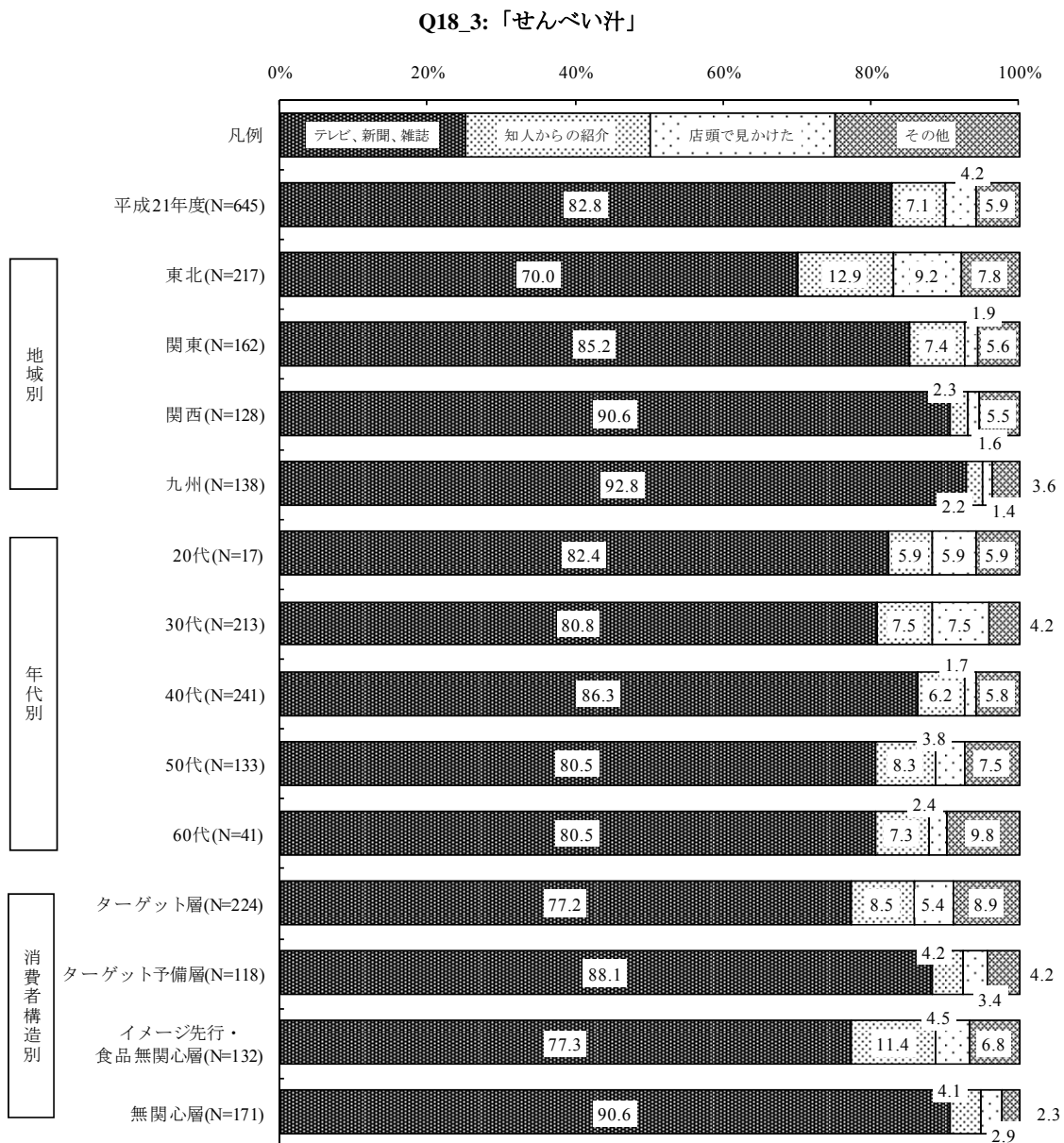
図表 IV-72 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 82.8%と最も多い
- ・ 地域別では、距離が遠い地域ほど「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い

図表 IV-73 「あおもりの食」を知ったきっかけ

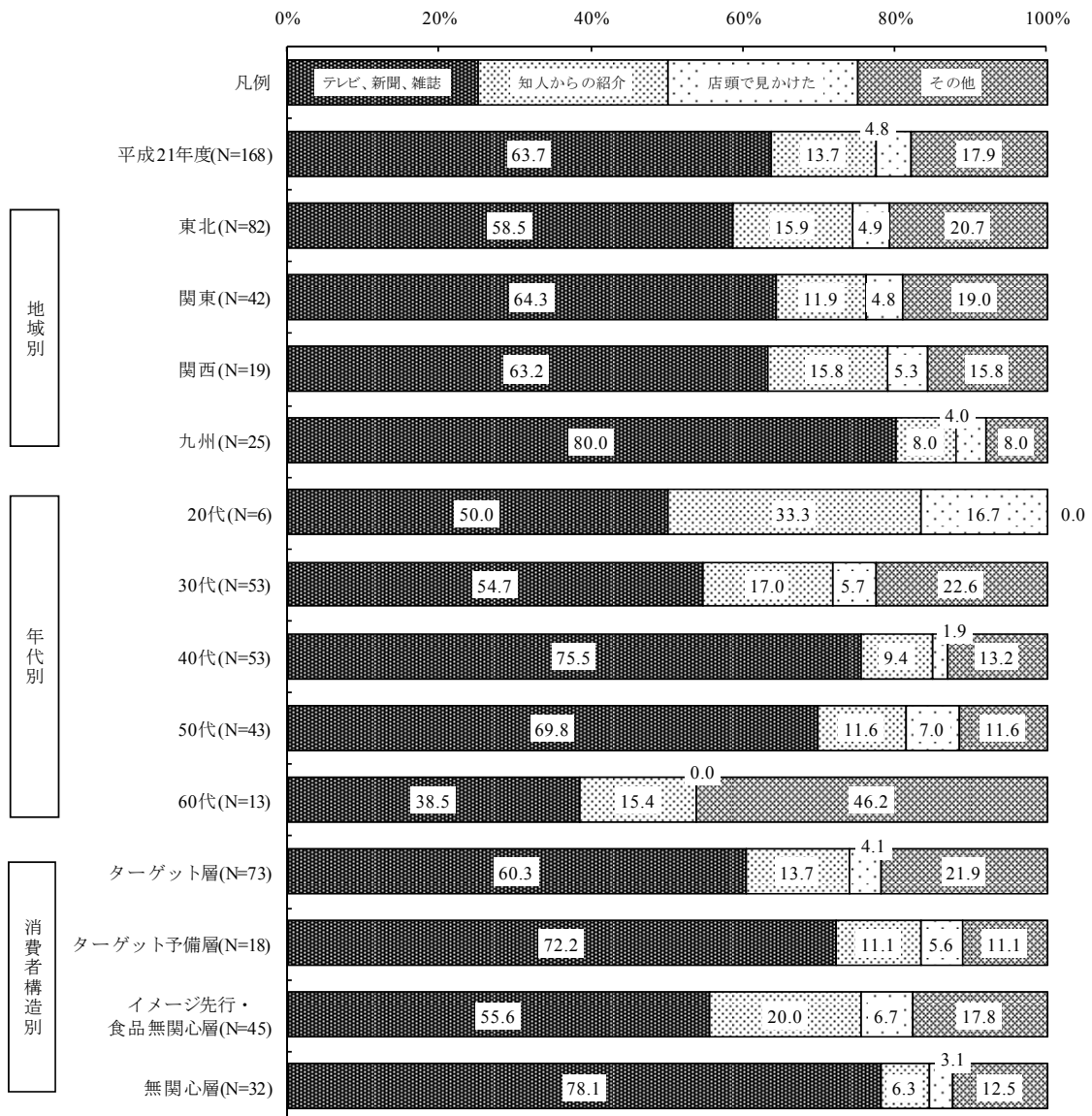


Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が63.7%と最も多い
- ・ 地域別では、概ね距離が遠い地域ほど「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い

図表 IV-74 「あもりの食」を知ったきっかけ

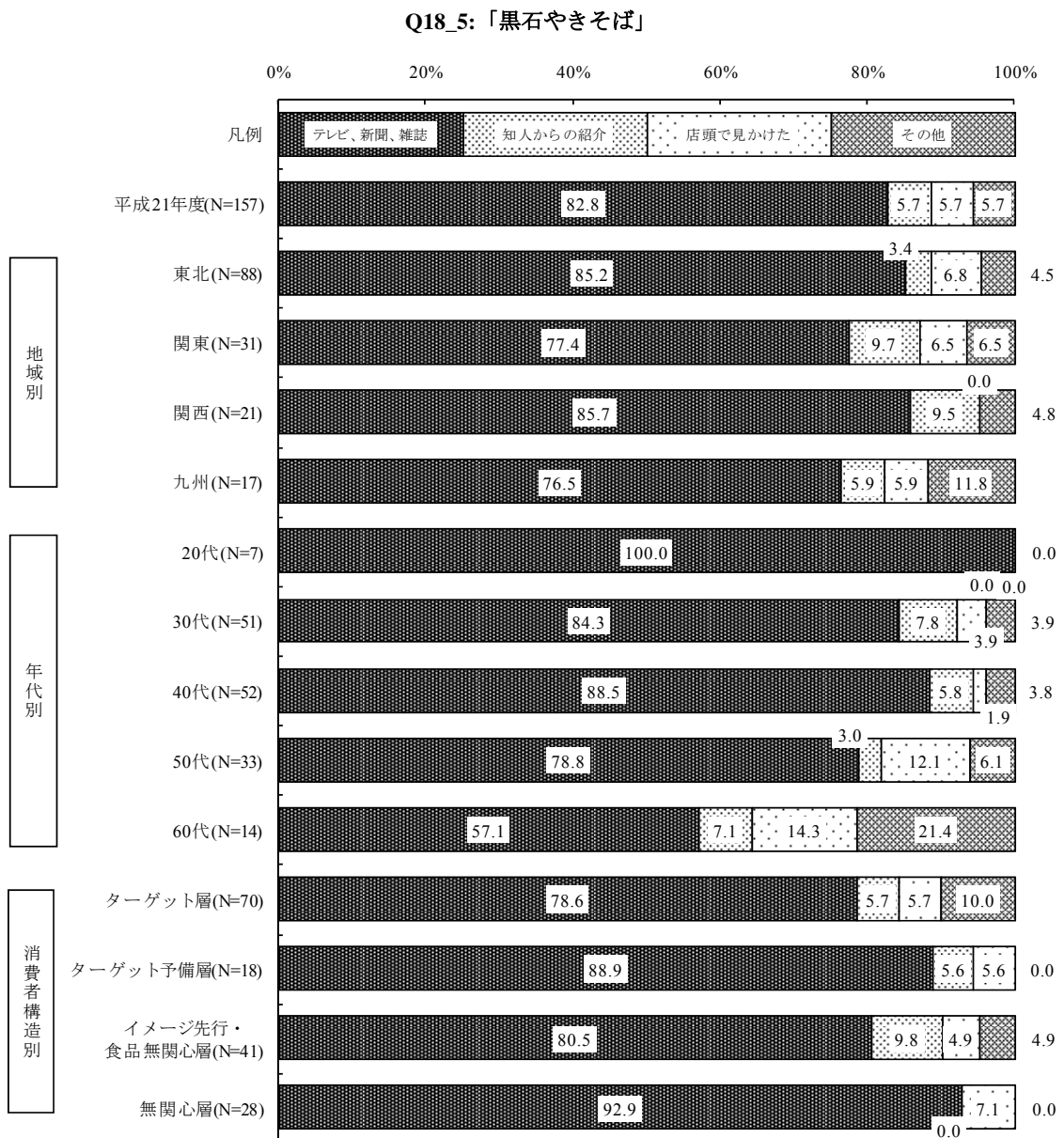
Q18_4: 「みそ貝焼」



Point

・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 82.8%と最も多い

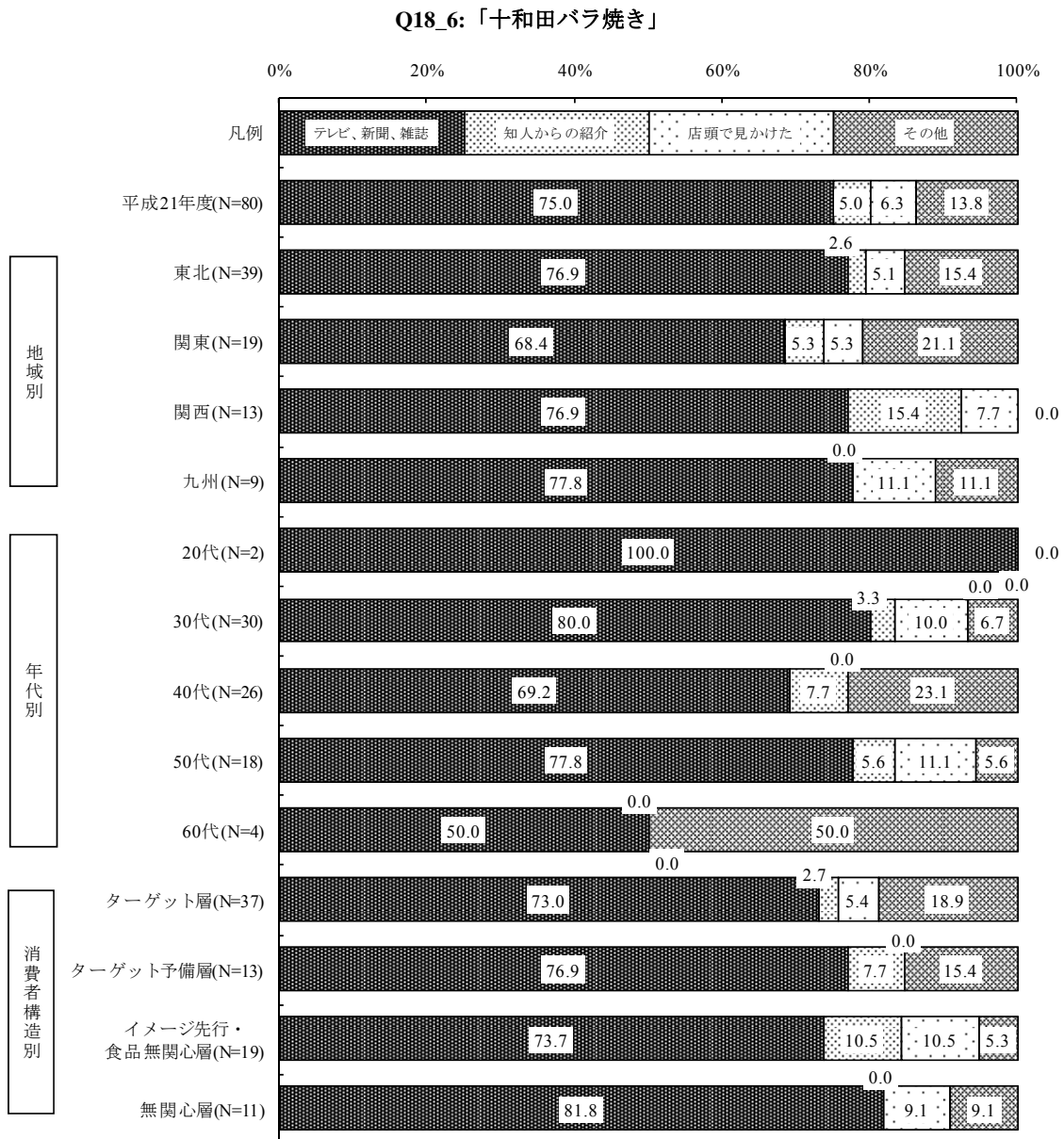
図表 IV-75 「あおもりの食」を知ったきっかけ



Point

・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 75.0%と最も多い

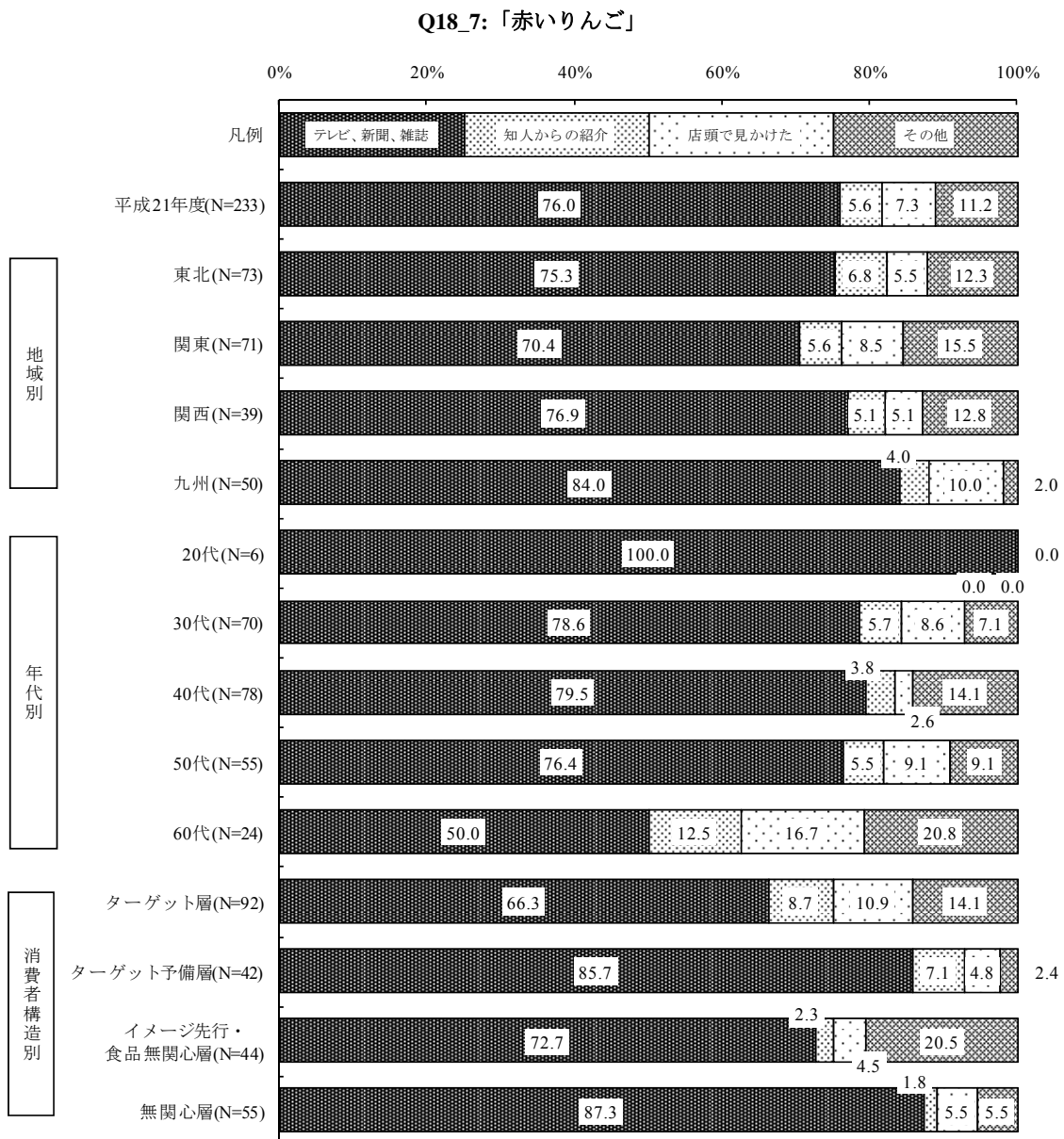
図表 IV-76 「あおもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が76.0%と最も多い
- ・ 地域別では、概ね距離が遠い地域ほど「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い

図表 IV-77 「あもりの食」を知ったきっかけ

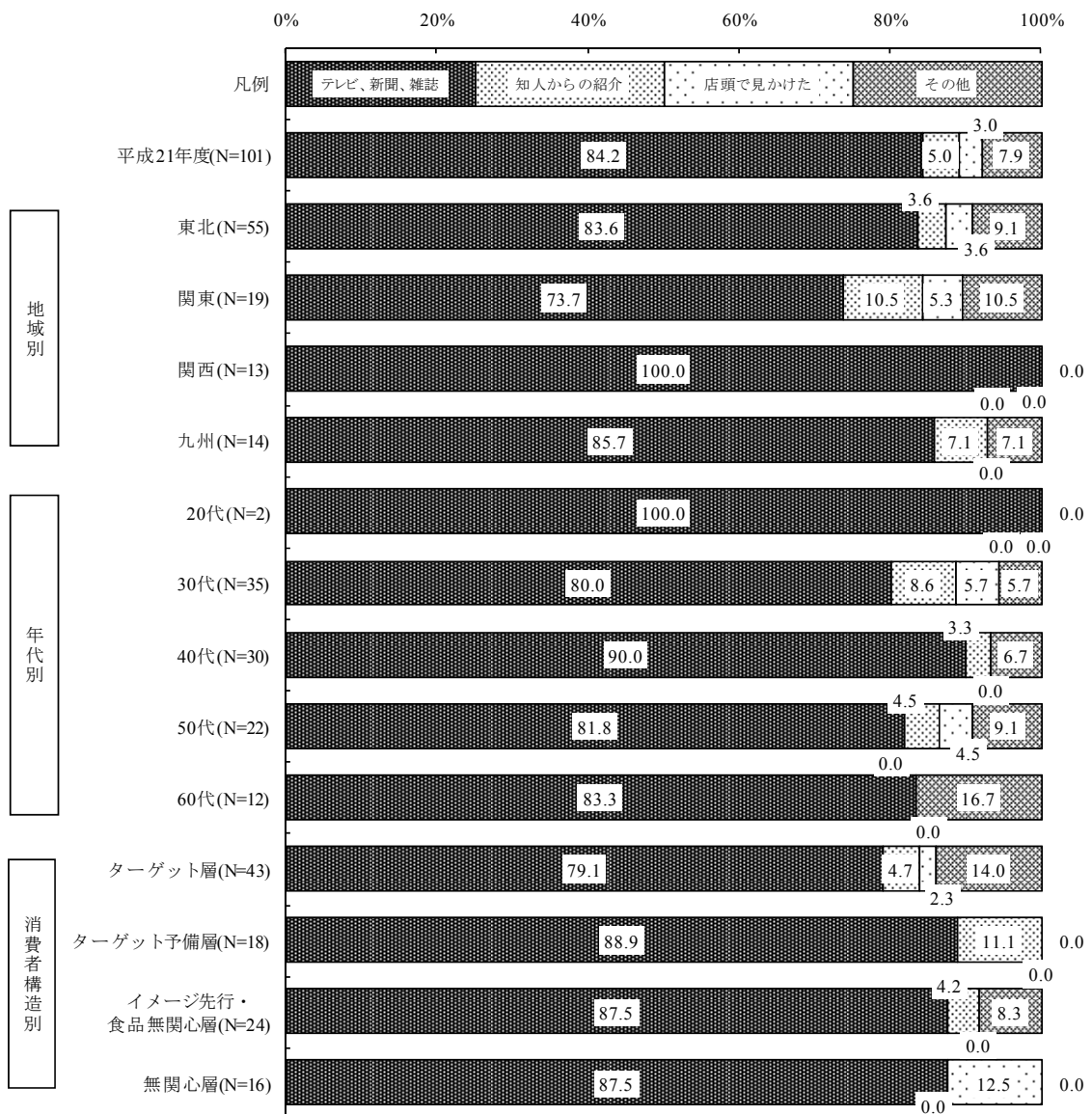


Point

・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が84.2%と最も多い

図表 IV-78 「あおもりの食」を知ったきっかけ

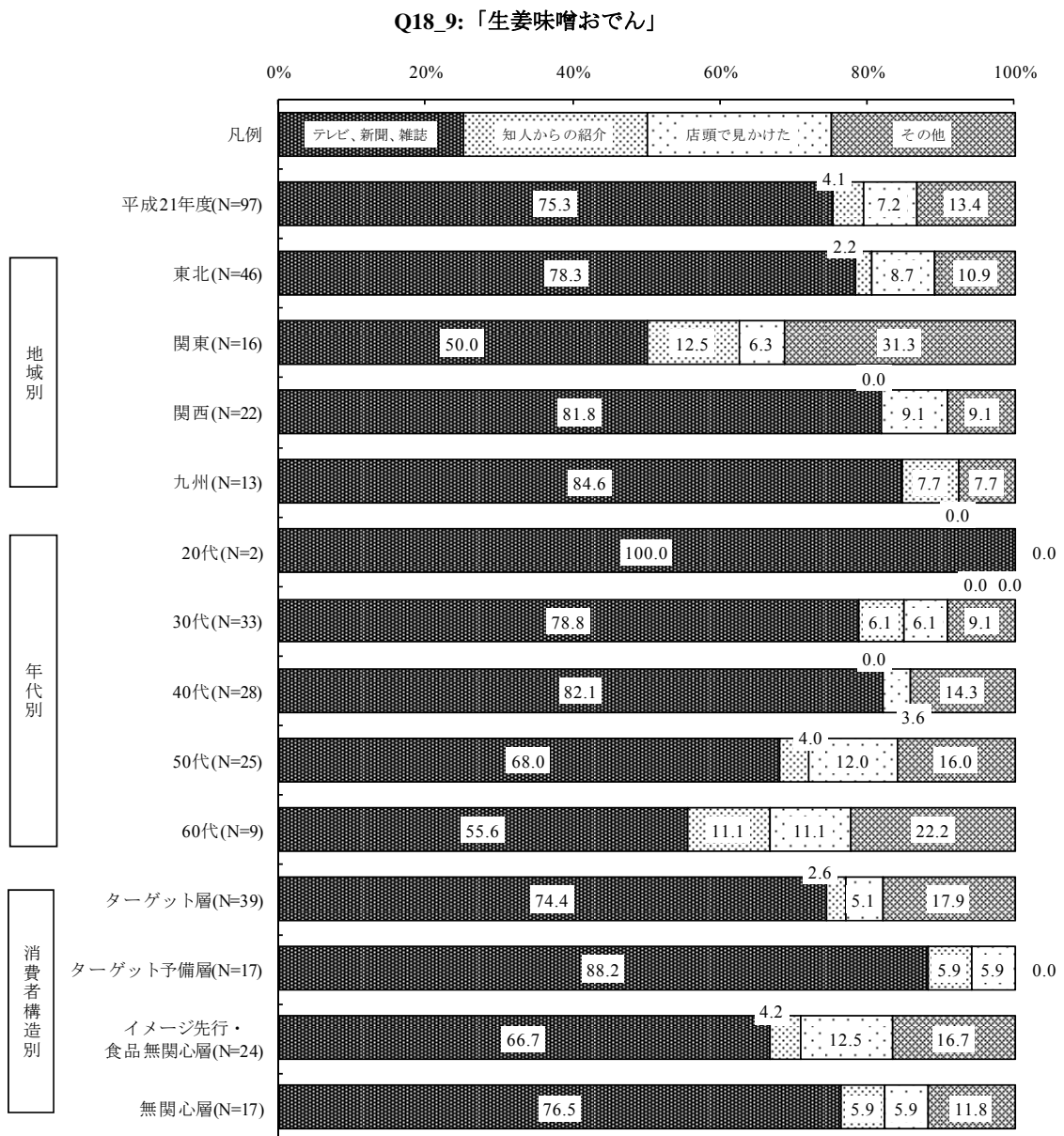
Q18_8: 「味噌カレー牛乳ラーメン」



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が75.3%と最も多い
- ・ 地域別では、関東で「その他」による認知が多い
- ・ 年代別では、若くなるに従い「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多くなる傾向

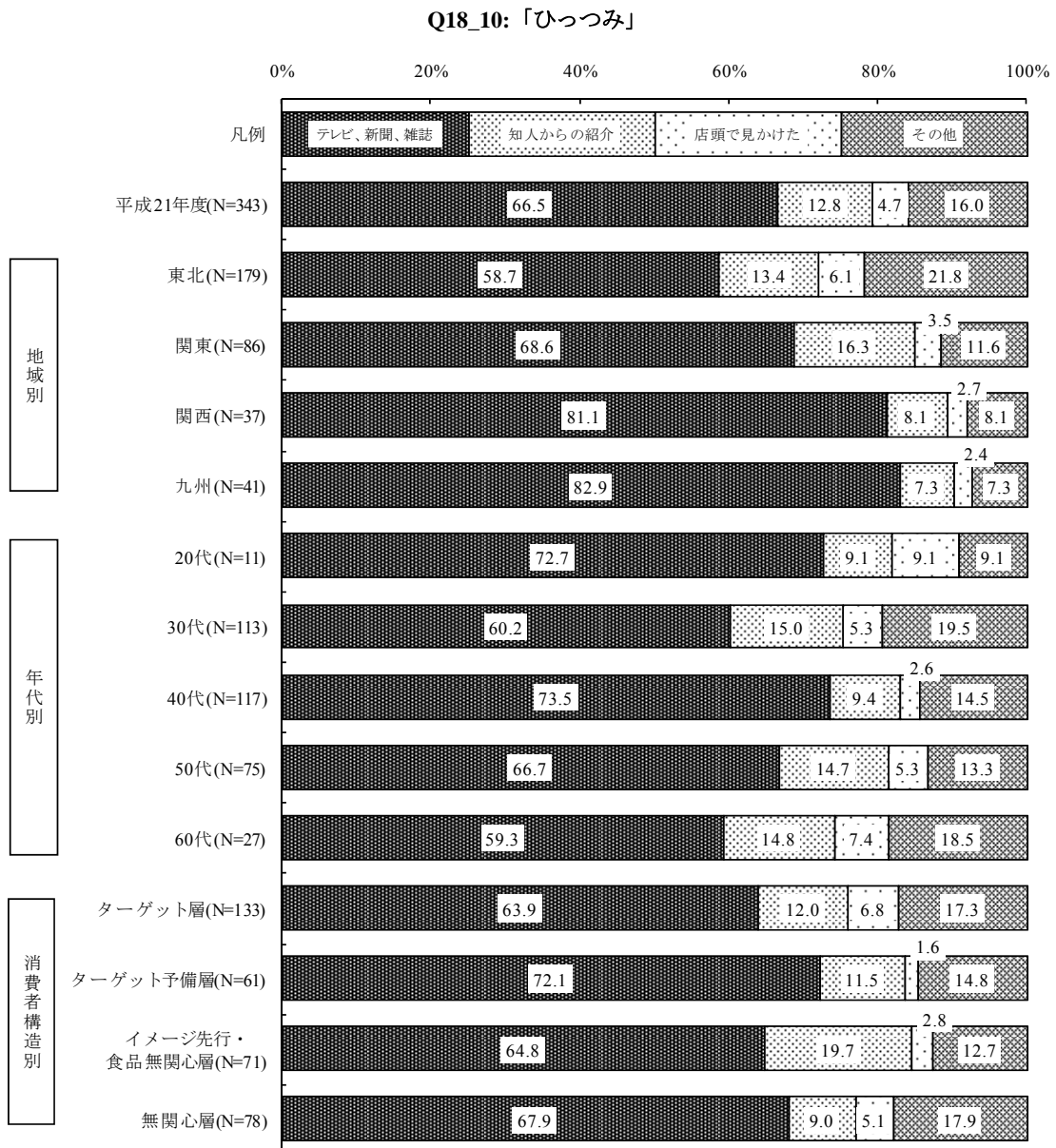
図表 IV-79 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が66.6%と最も多い
- ・ 地域別では、距離が遠くなるに従い「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多くなる傾向

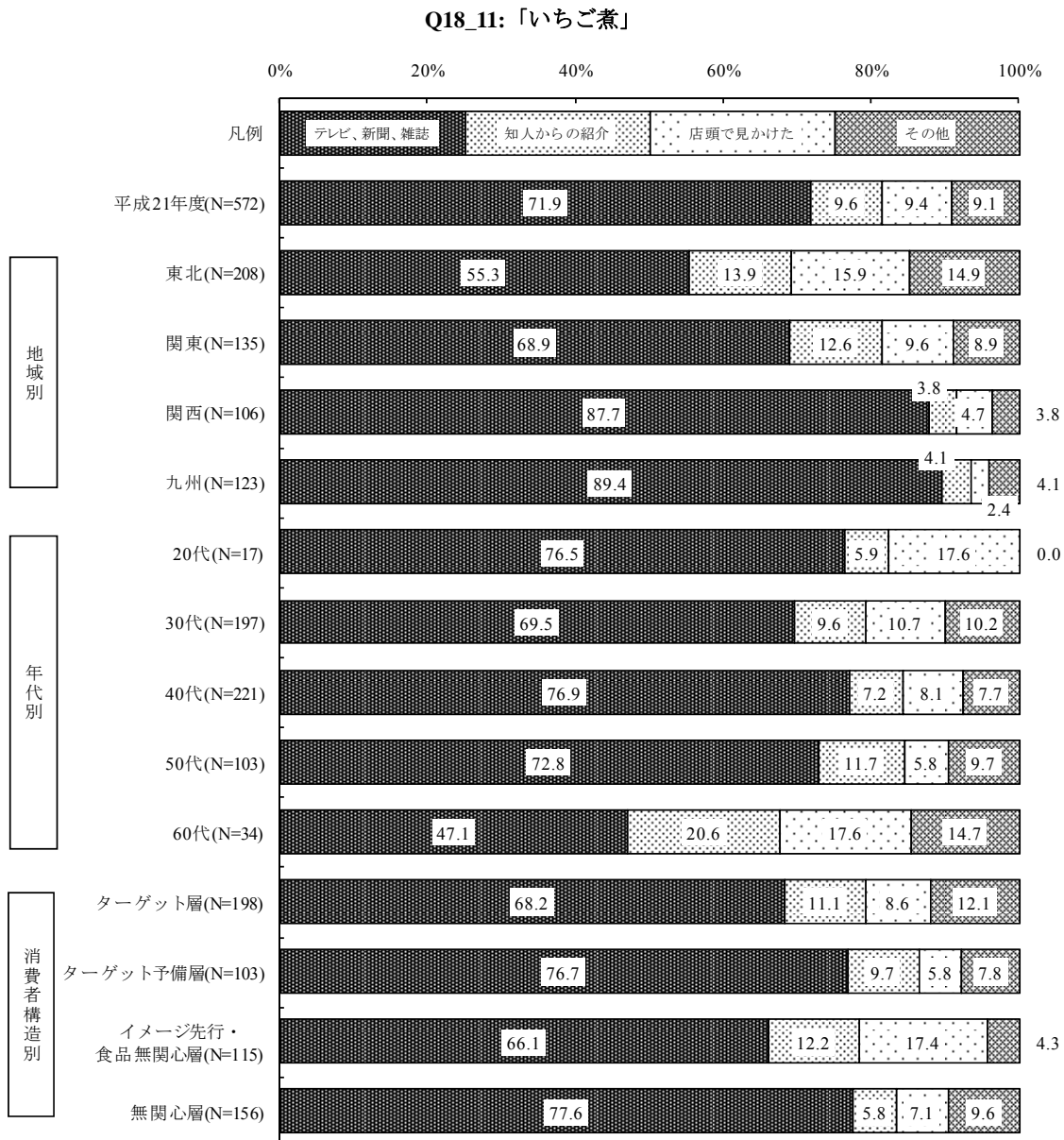
図表 IV-80 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が71.9%と最も多い
- ・ 地域別では、距離が遠くなるに従い「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多くなる傾向

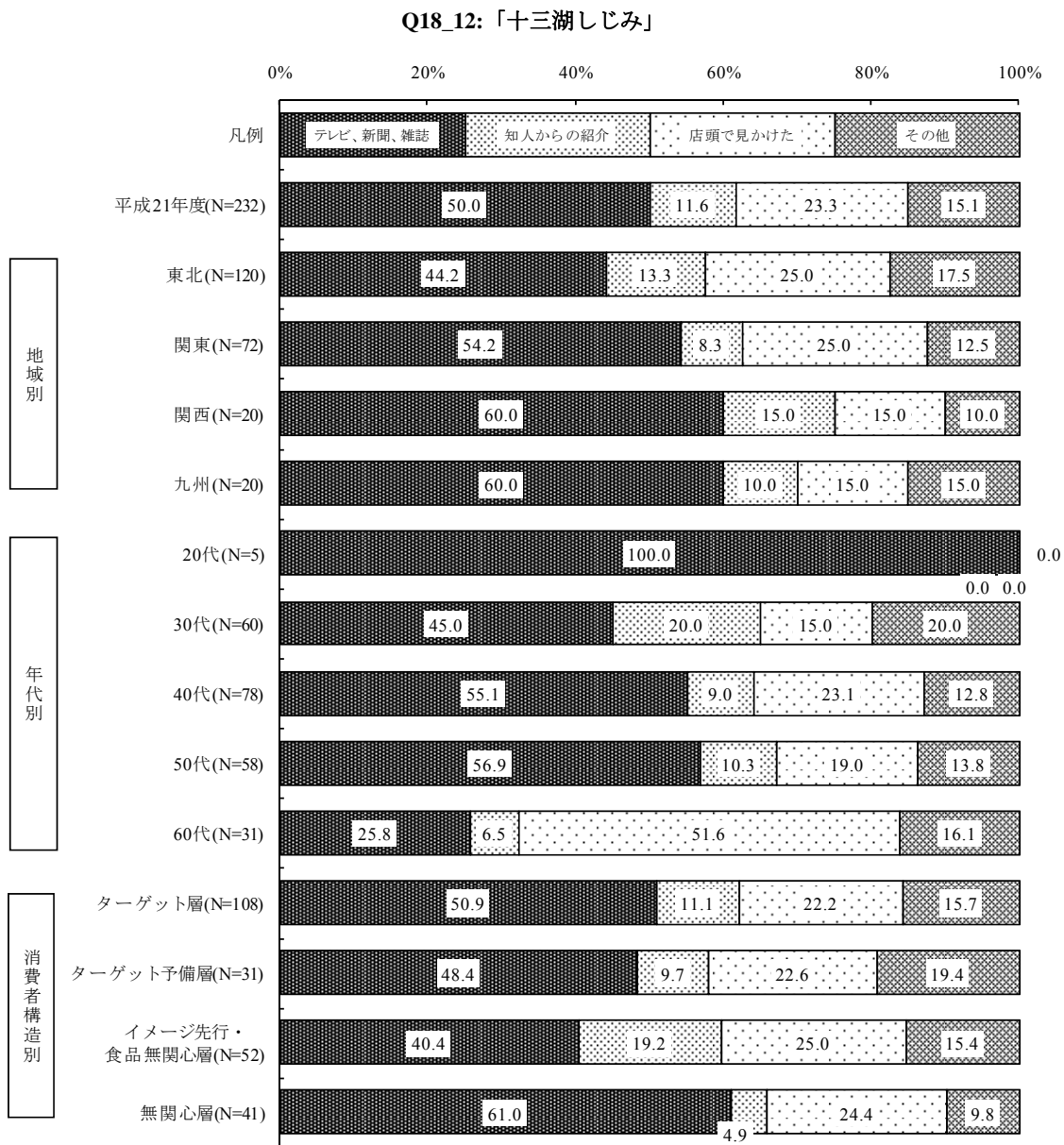
図表 IV-81 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 50.0%と最も多く、次いで「店頭で見かけた」が 23.3%
- ・ 地域別では、距離が遠くなるに従い「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多くなる傾向
- ・ 年代別では、特に 60 代で「店頭で見かけた」が多い

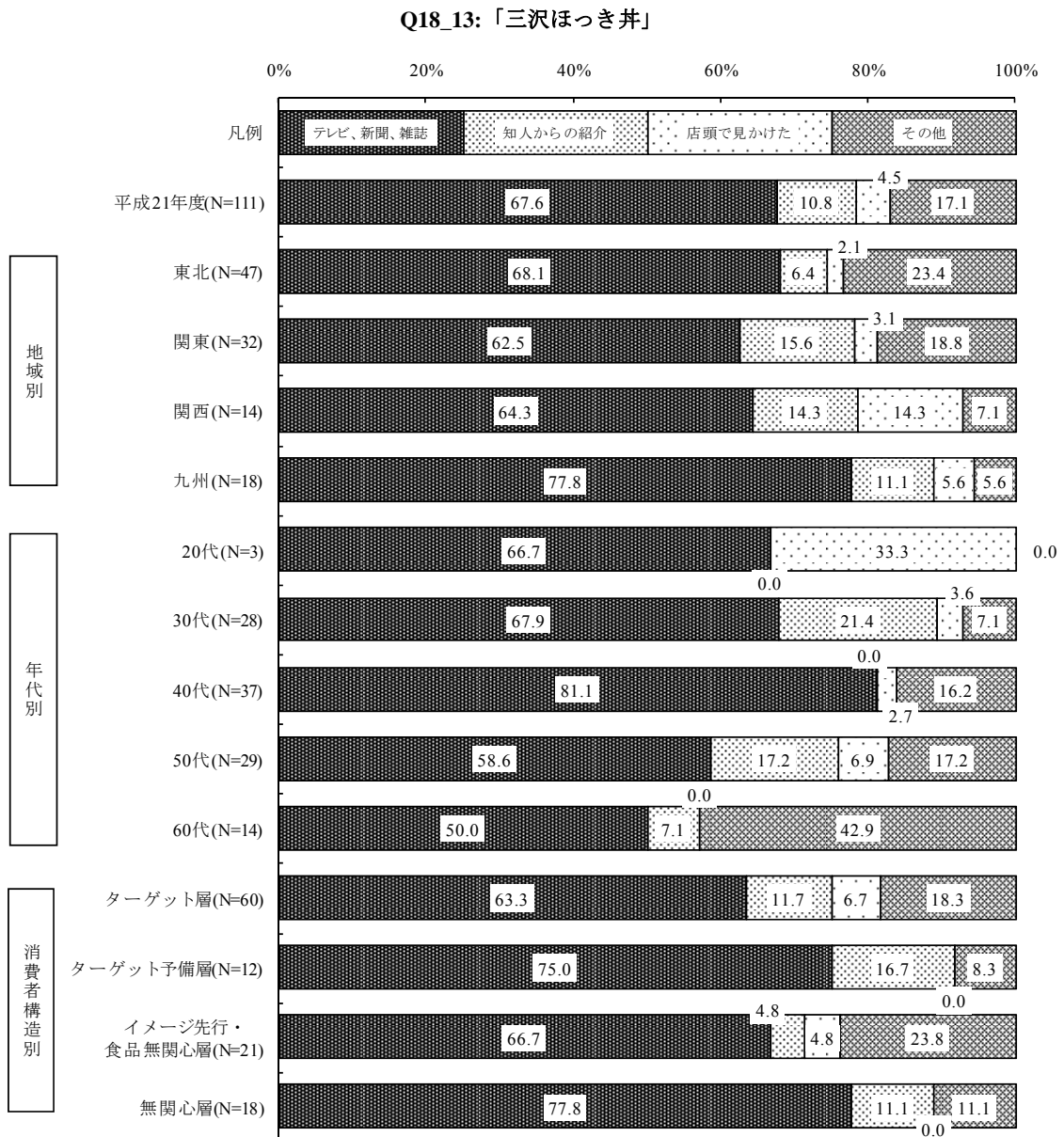
図表 IV-82 「あおもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 67.6%と最も多い
- ・ 地域別では、特に九州で「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い
- ・ 年代別では、特に 40 代で「テレビ、新聞、雑誌」が多い

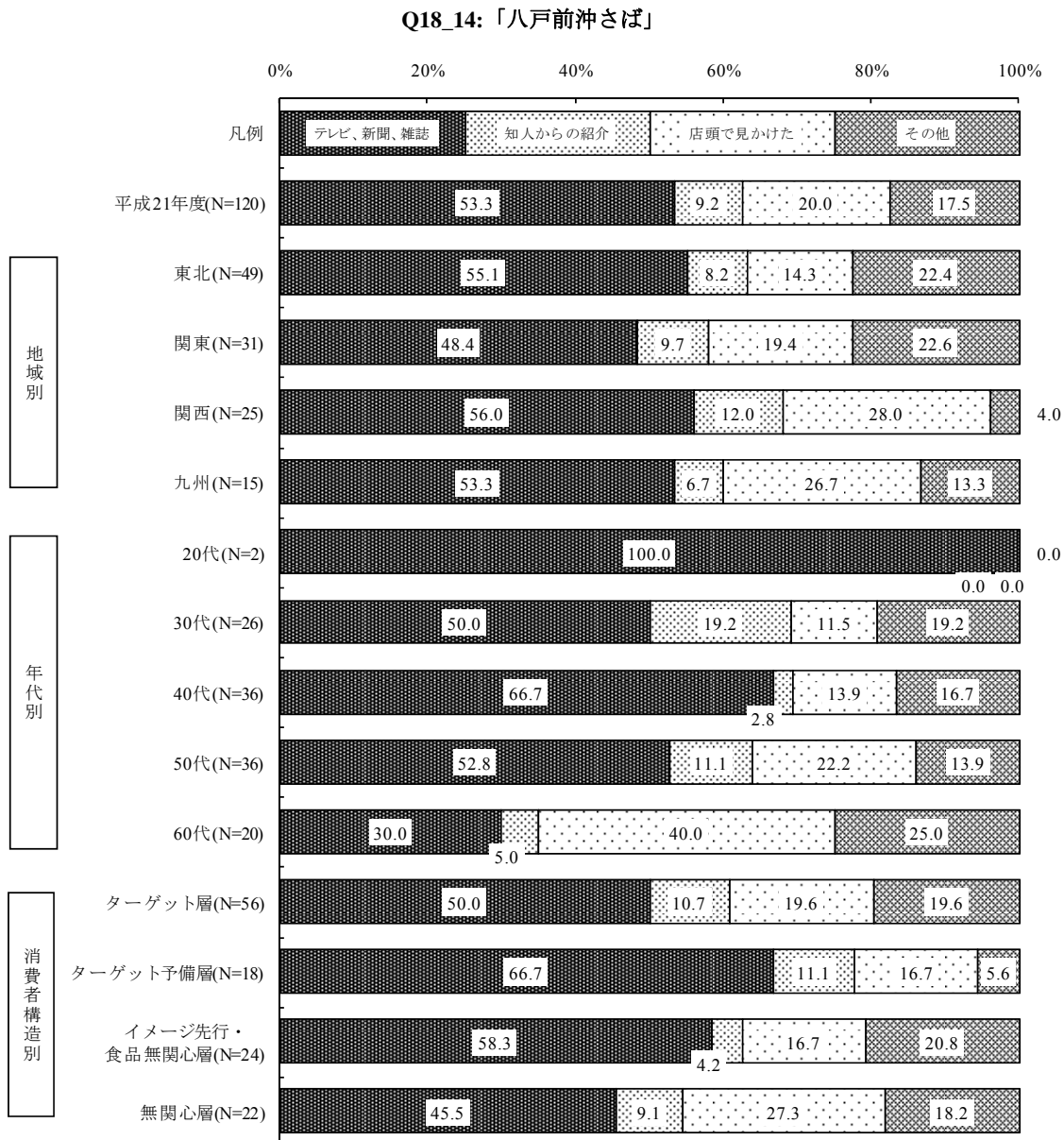
図表 IV-83 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が53.3%と最も多く、次いで「店頭で見かけた」が20.0%
- ・ 地域別では、関西や九州で「店頭で見かけた」が多い
- ・ 年代別では、特に60代で「店頭で見かけた」が多い

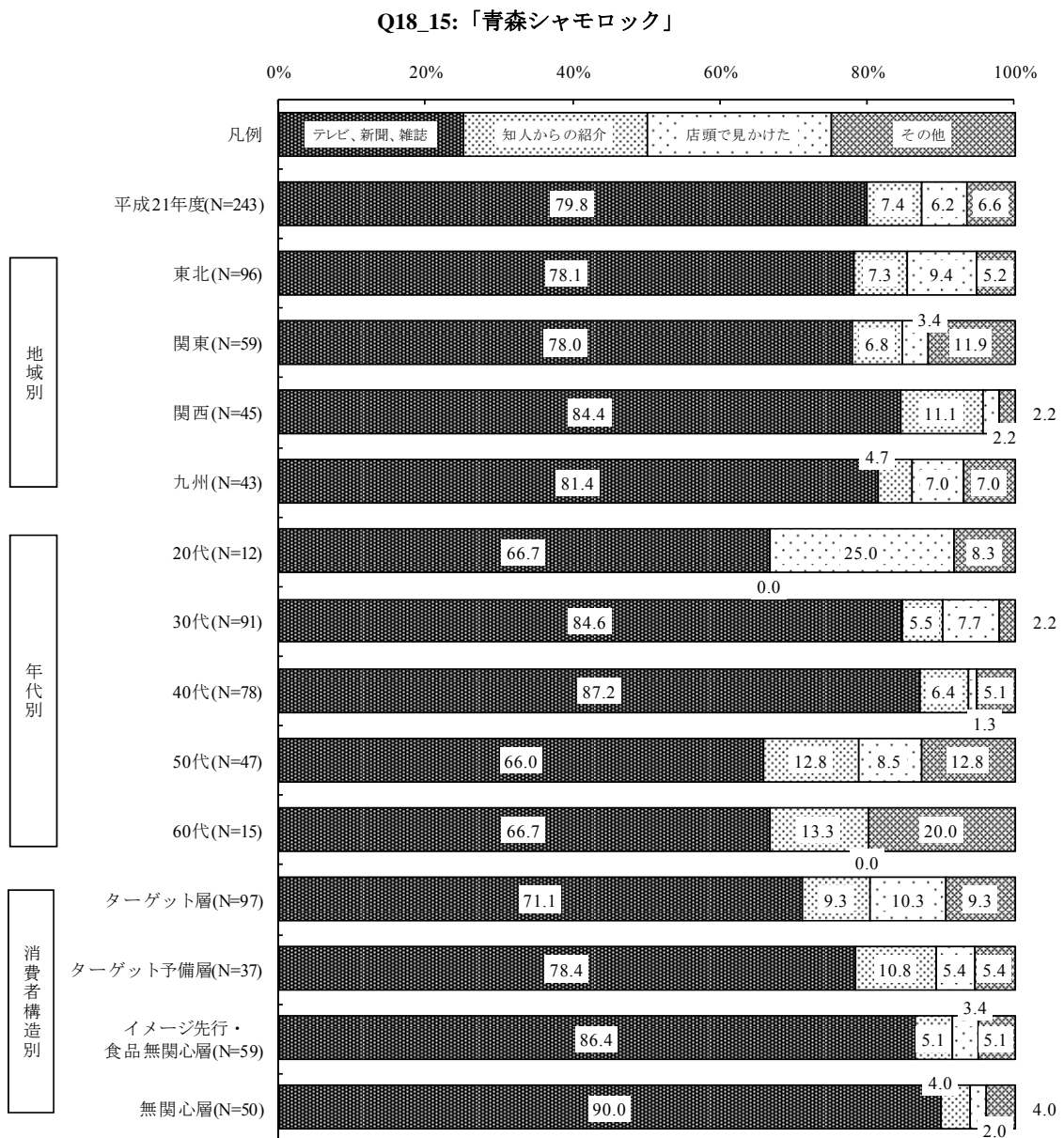
図表 IV-84 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 79.8%と最も多い
- ・ 地域別では、特に九州で「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い
- ・ 年代別では、特に 30 代と 40 代で「テレビ、新聞、雑誌」による認知が多い

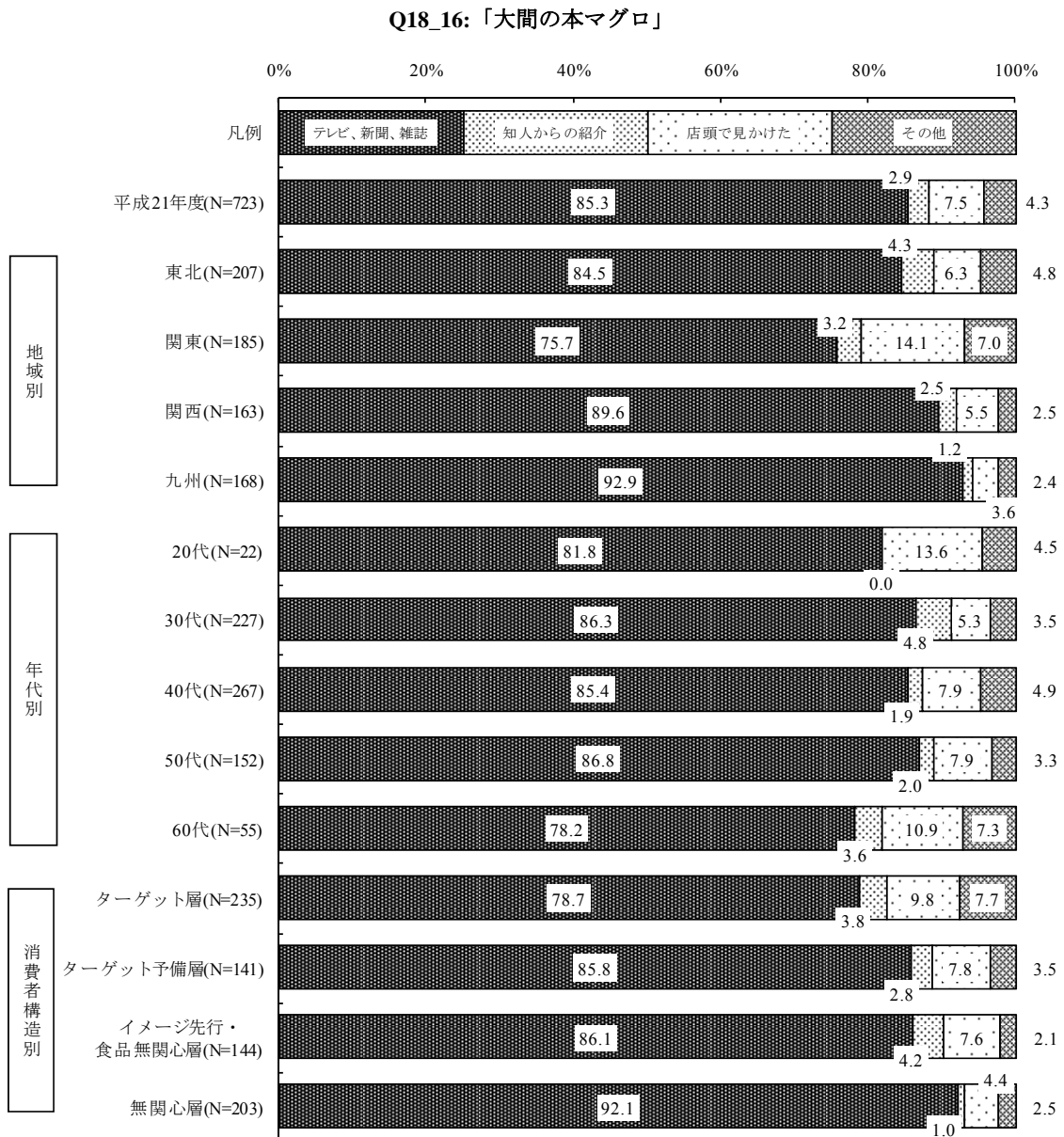
図表 IV-85 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が 85.3%と最も多い

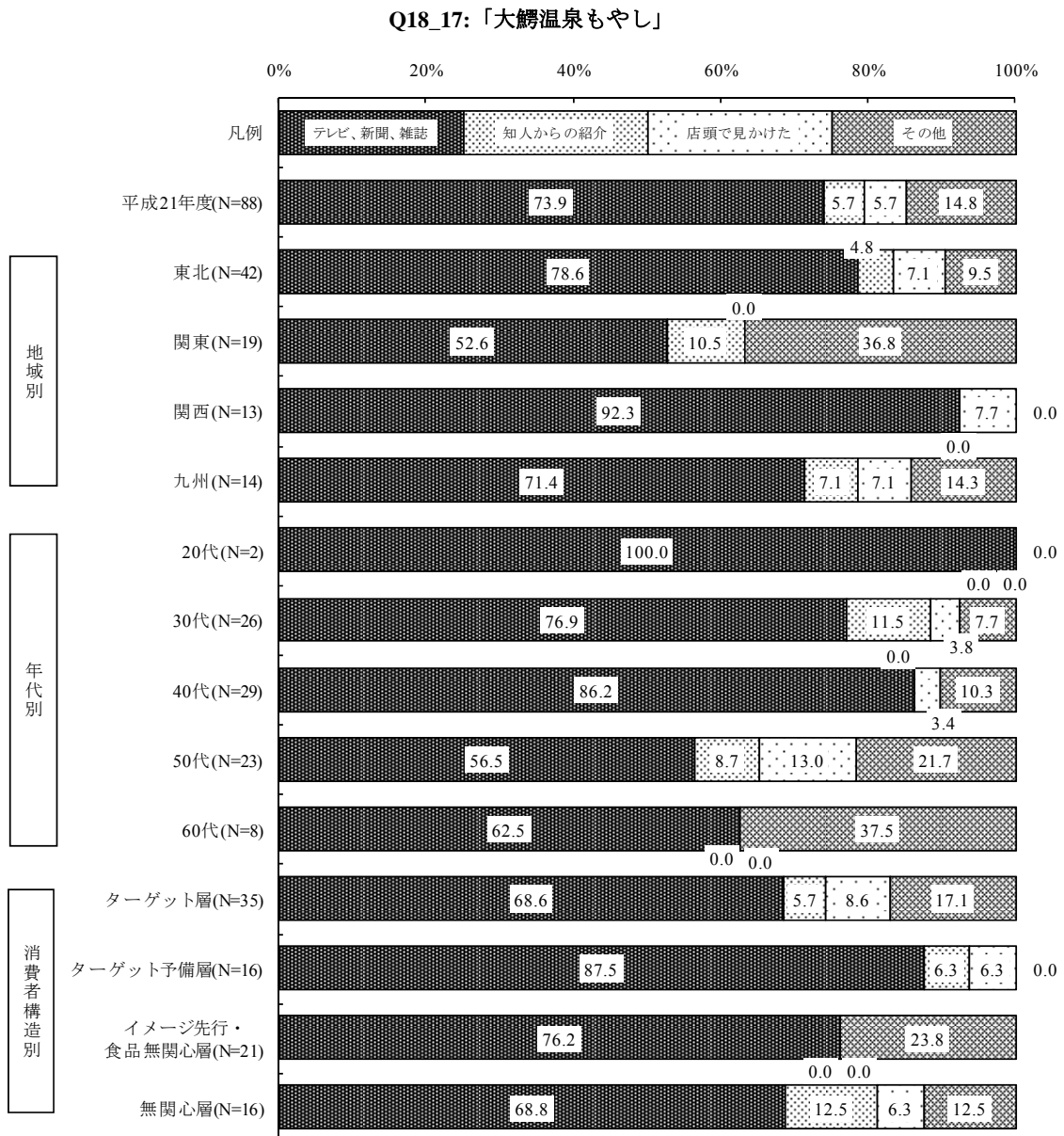
図表 IV-86 「あおもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が73.9%と最も多い
- ・ 地域別では、特に関東で「その他」が多い
- ・ 年代別では、特に50代で「その他」が多い

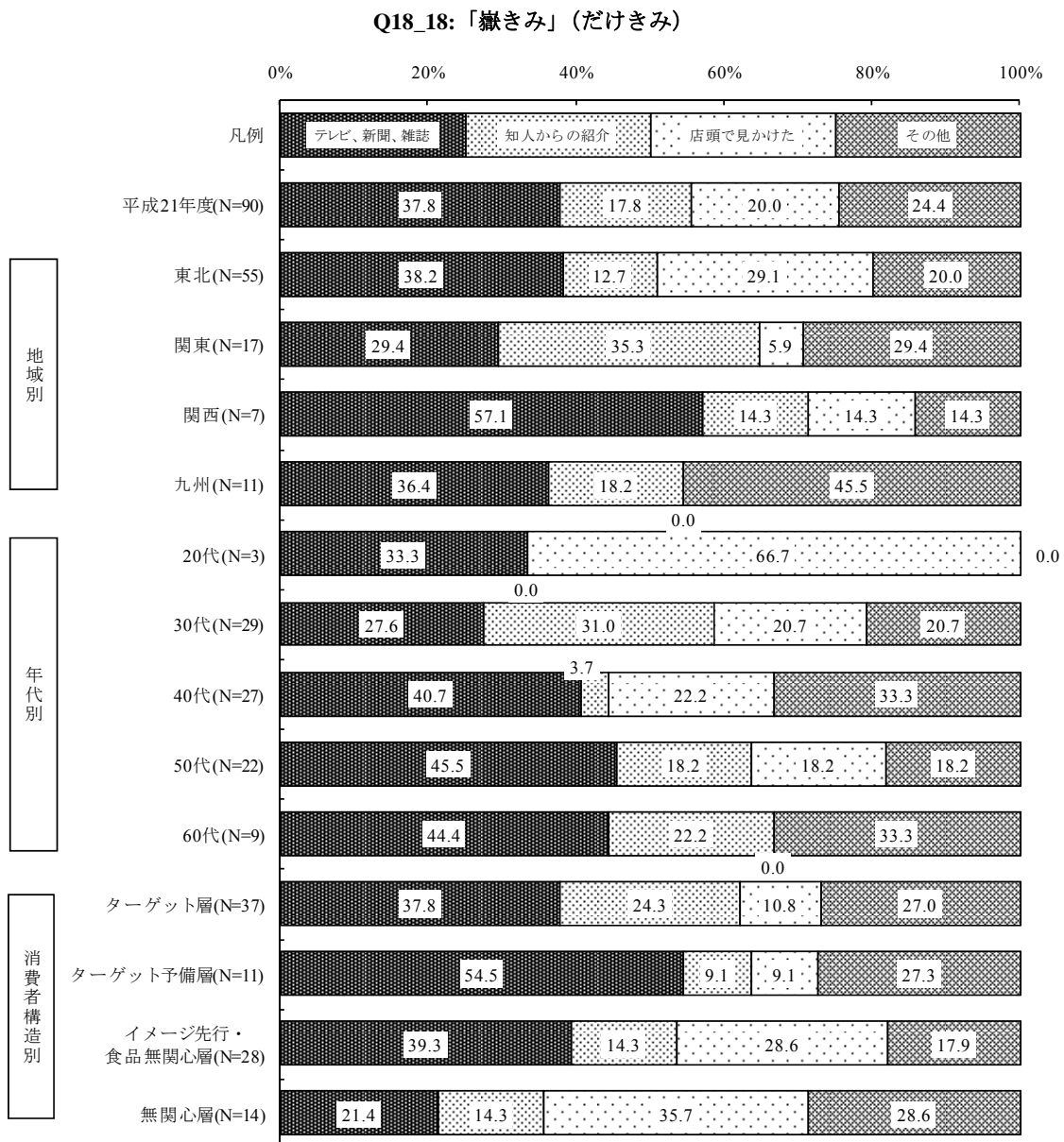
図表 IV-87 「あおもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が37.8%と最も多く、次いで「その他」(24.4%)、「店頭で見かけた」(20.0%)
- ・ 地域別では、関東は「知人からの紹介」、九州では「その他」が多い

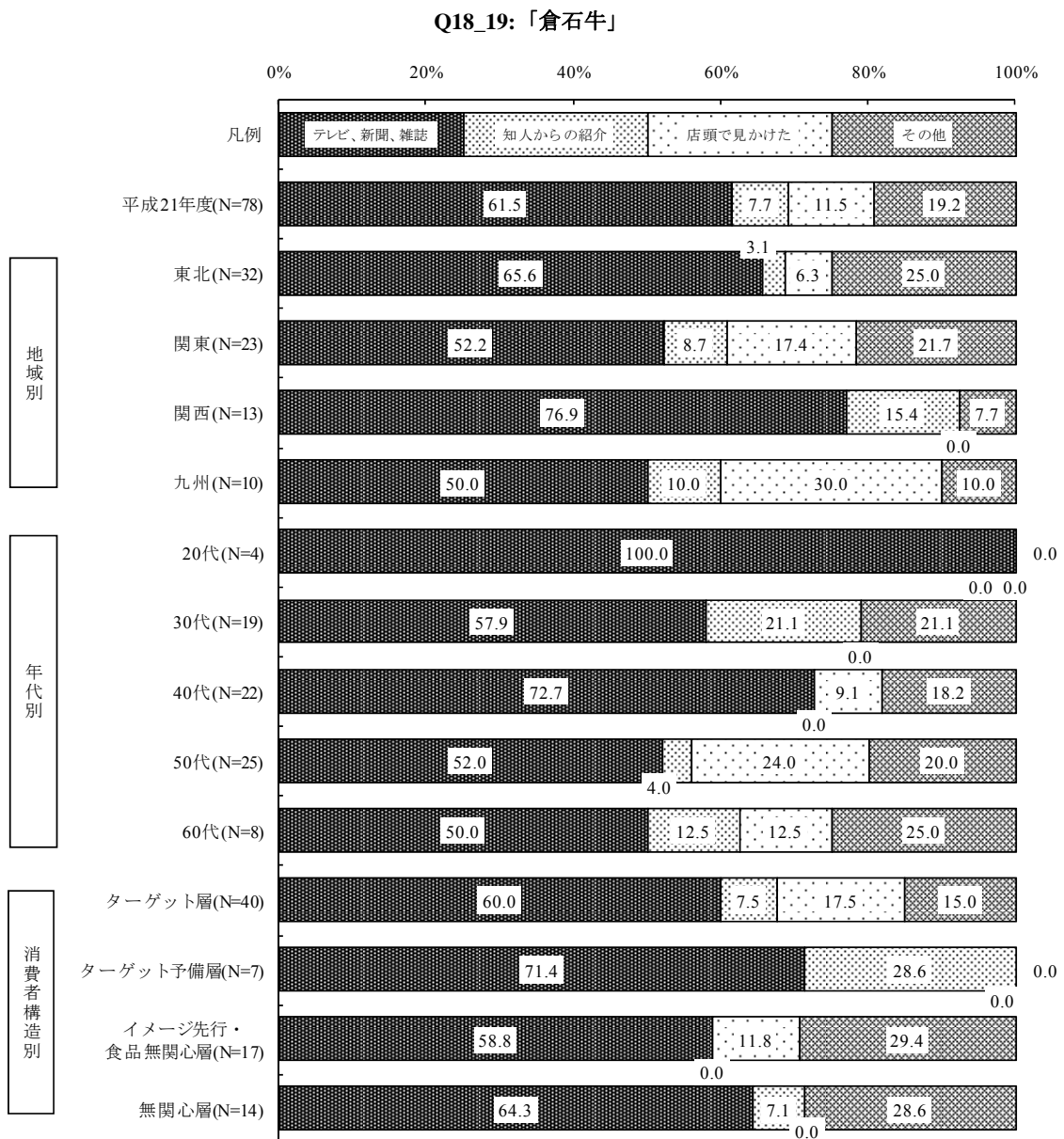
図表 IV-88 「あもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が61.5%と最も多く、次いで「その他」(19.2%)
- ・ 地域別では、特に九州で「店頭で見かけた」が多い
- ・ 年代別では、特に50代で「店頭で見かけた」が多い

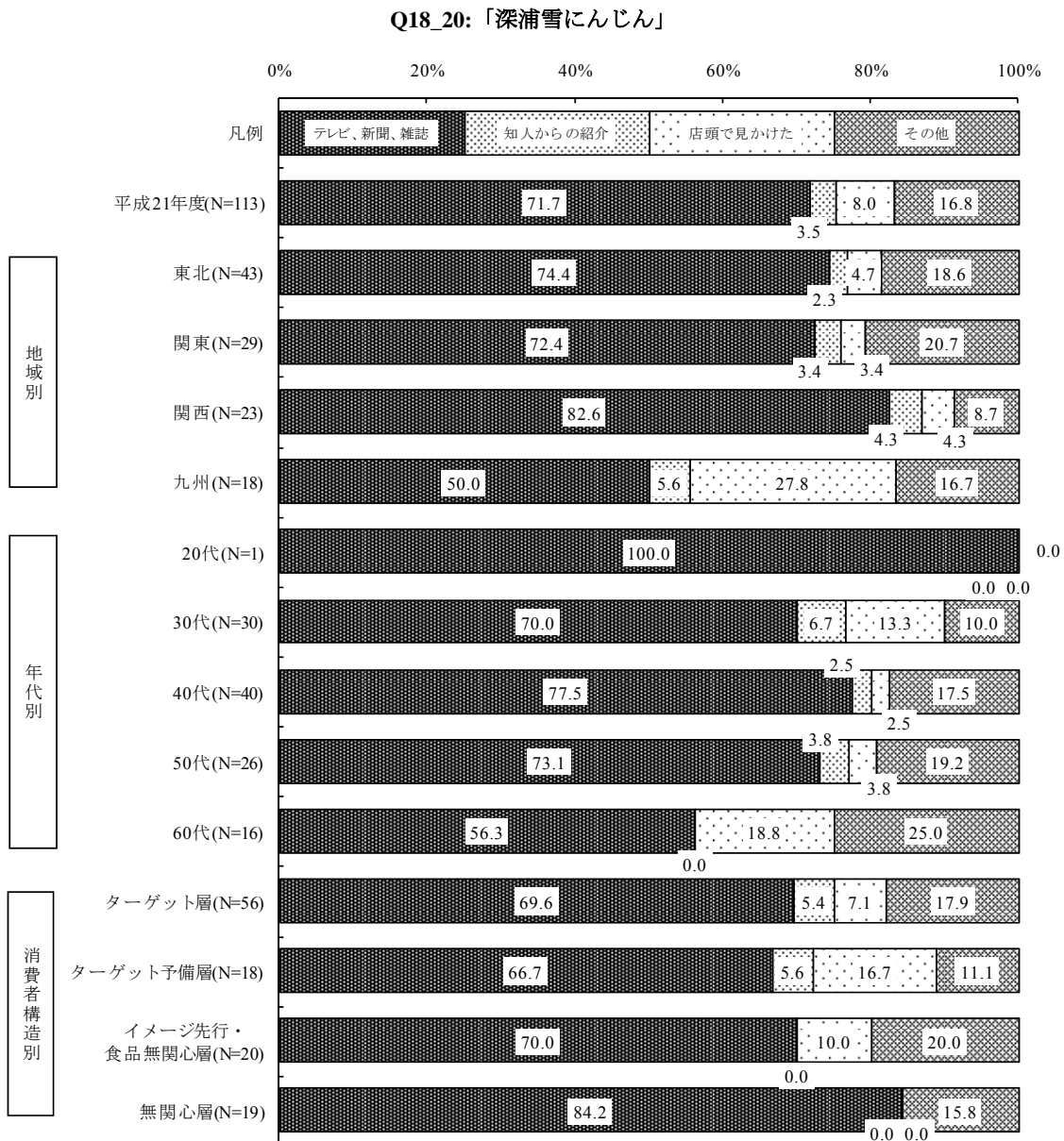
図表 IV-89 「あおもりの食」を知ったきっかけ



Point

- ・ 全体では、「テレビ、新聞、雑誌」が71.7%と最も多い
- ・ 地域別では、特に九州で「店頭で見かけた」が多い

図表 IV-90 「あおもりの食」を知ったきっかけ

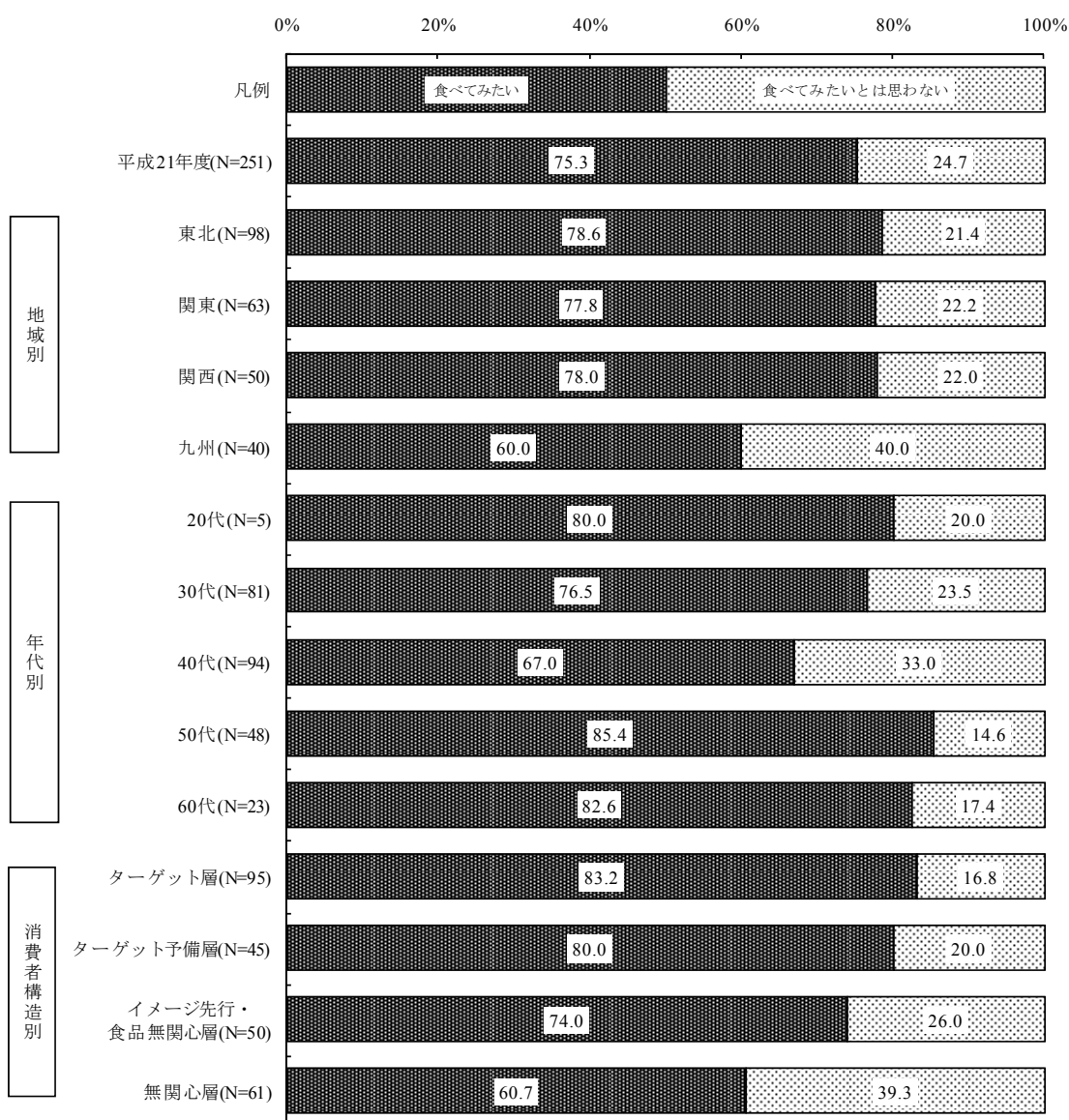


(3) Q19 : 「Q17」で「食べたことはないが知っている」と回答した回答者の意向（単一回答）

Point	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体では、「食べてみたい」が 75.3% ・ 地域別では、九州で「食べてみたい」が 60.0%と比較的少ない ・ 年代別では、40代で「食べてみたい」が 67.0%と比較的少ない
--------------	---

図表 IV-91 「あもりの食」に対する意向

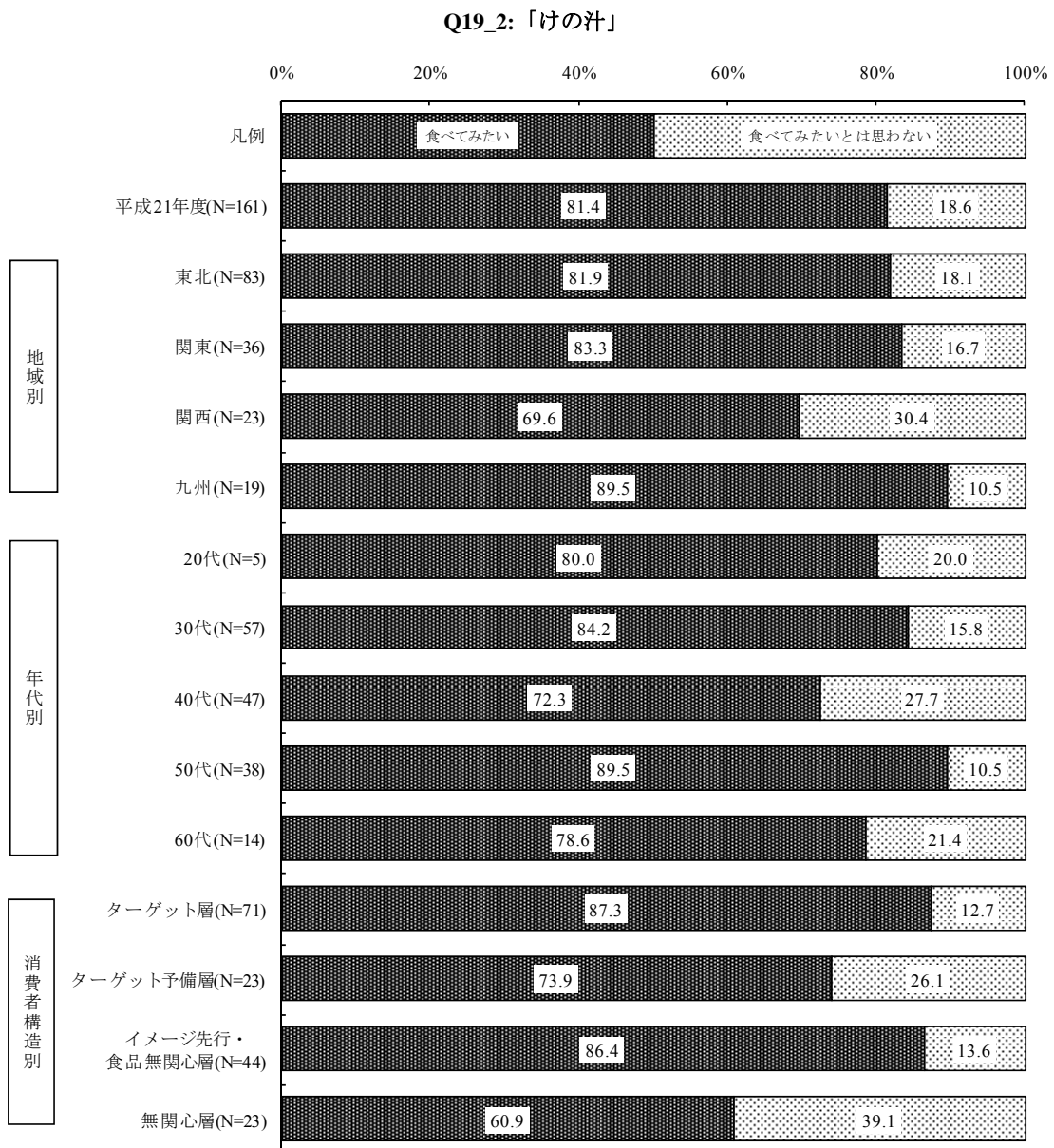
Q19_1: 「じゃっば汁」



Point

- ・ 全体では、「食べてみたい」が81.4%
- ・ 地域別では、関西で「食べてみたい」が69.6%と比較的少ない
- ・ 年代別では、40代で「食べてみたい」が72.3%と比較的少ない

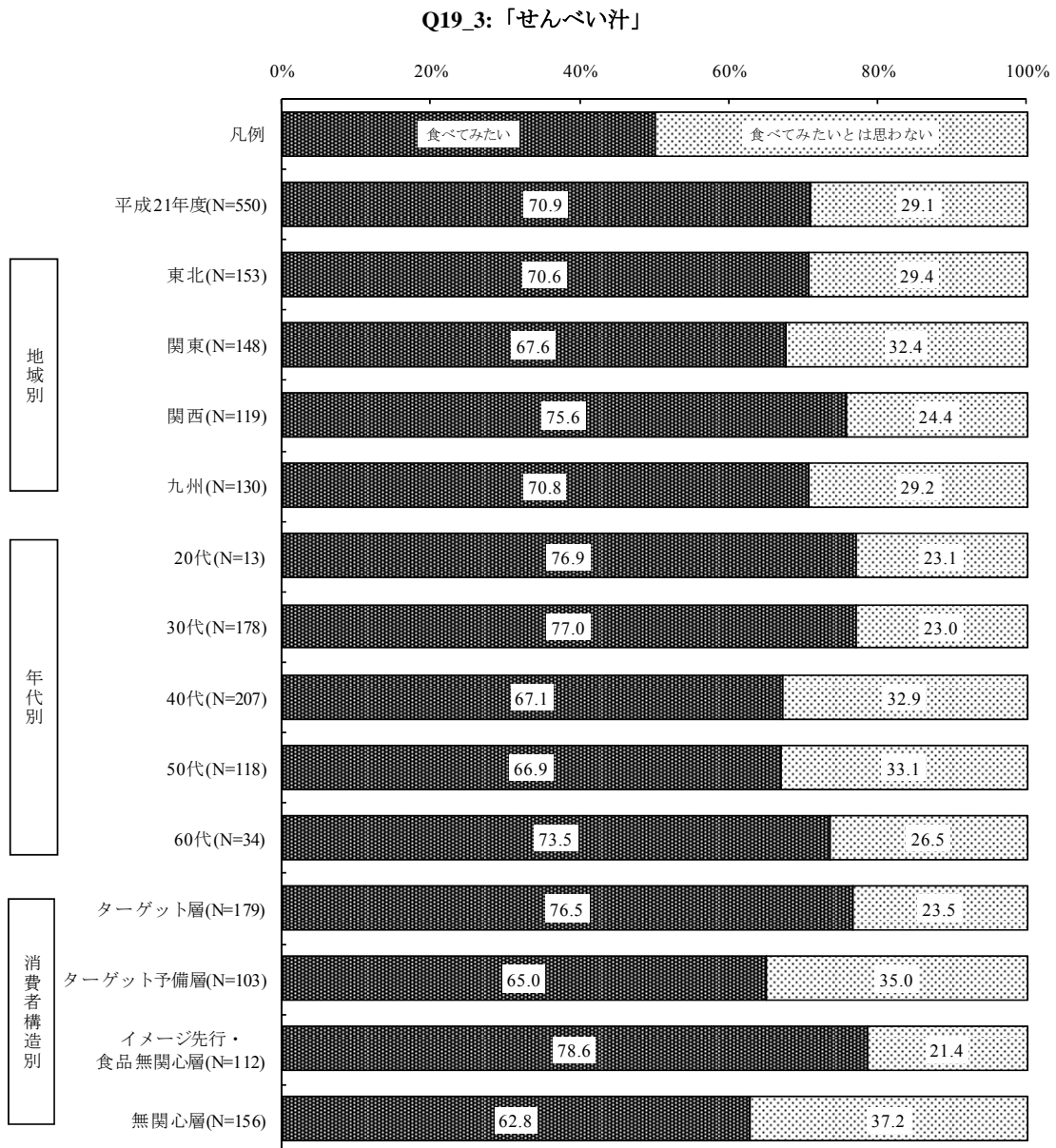
図表 IV-92 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 70.9%

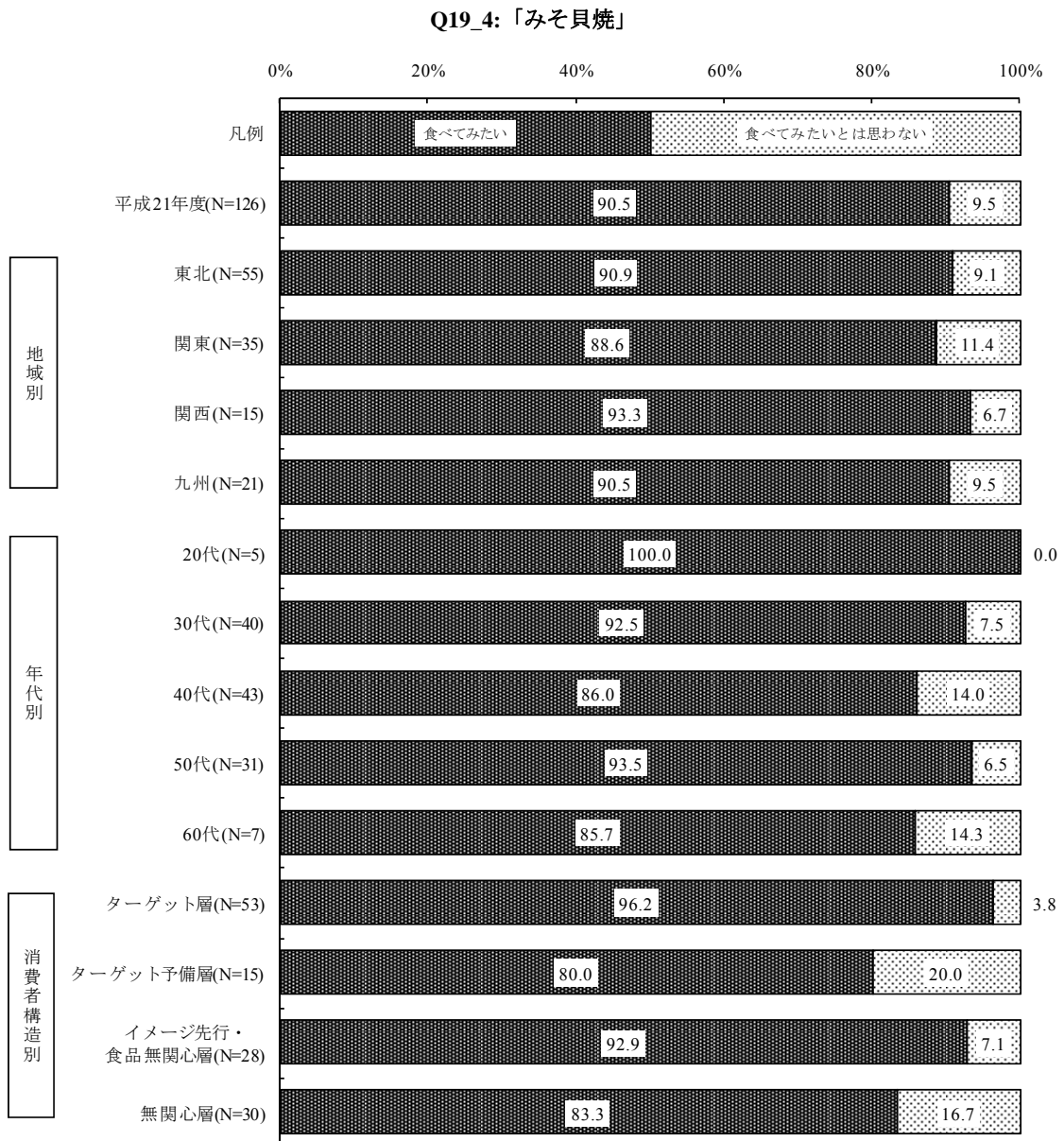
図表 IV-93 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 90.5%

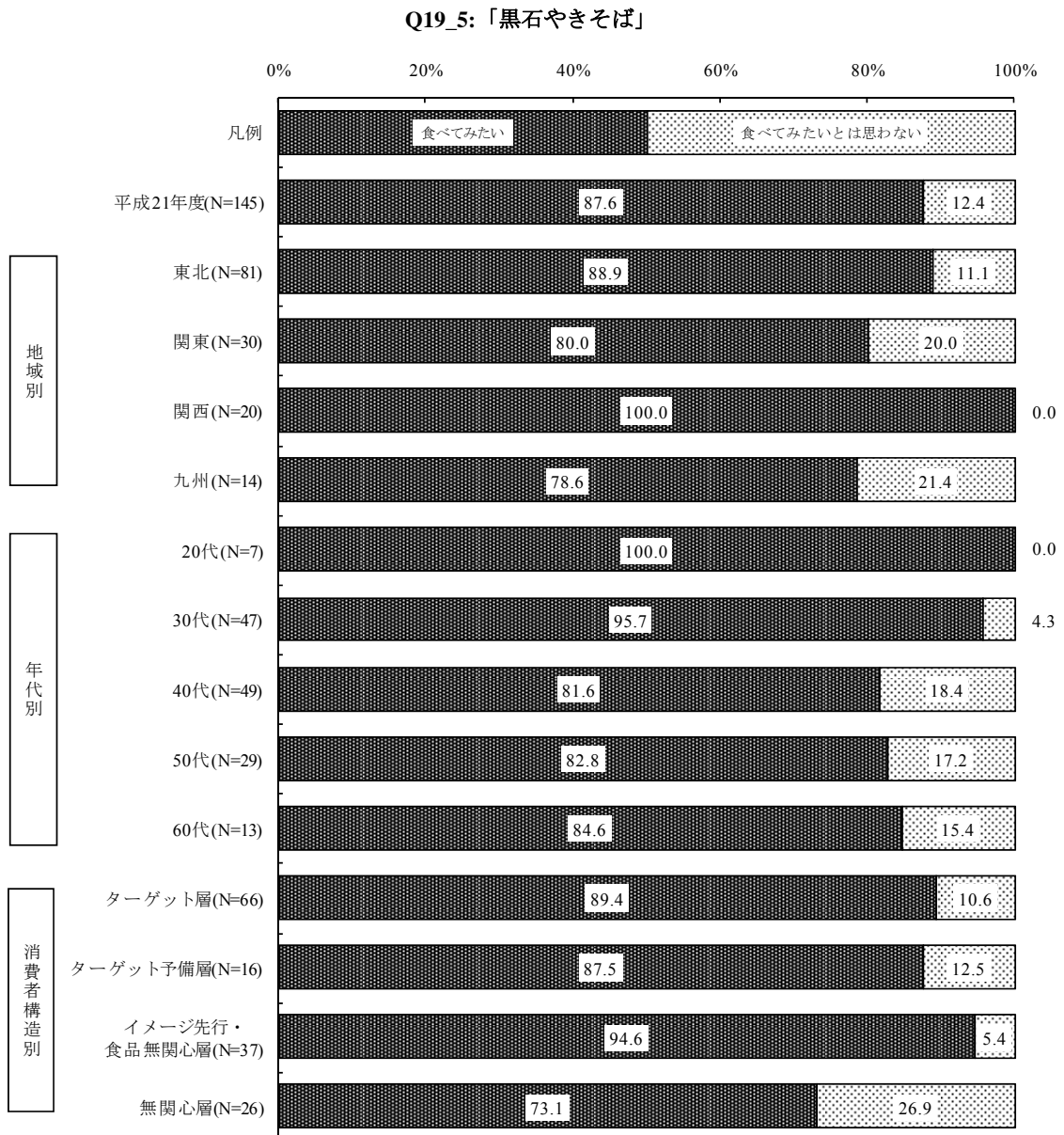
図表 IV-94 「あもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 87.6%

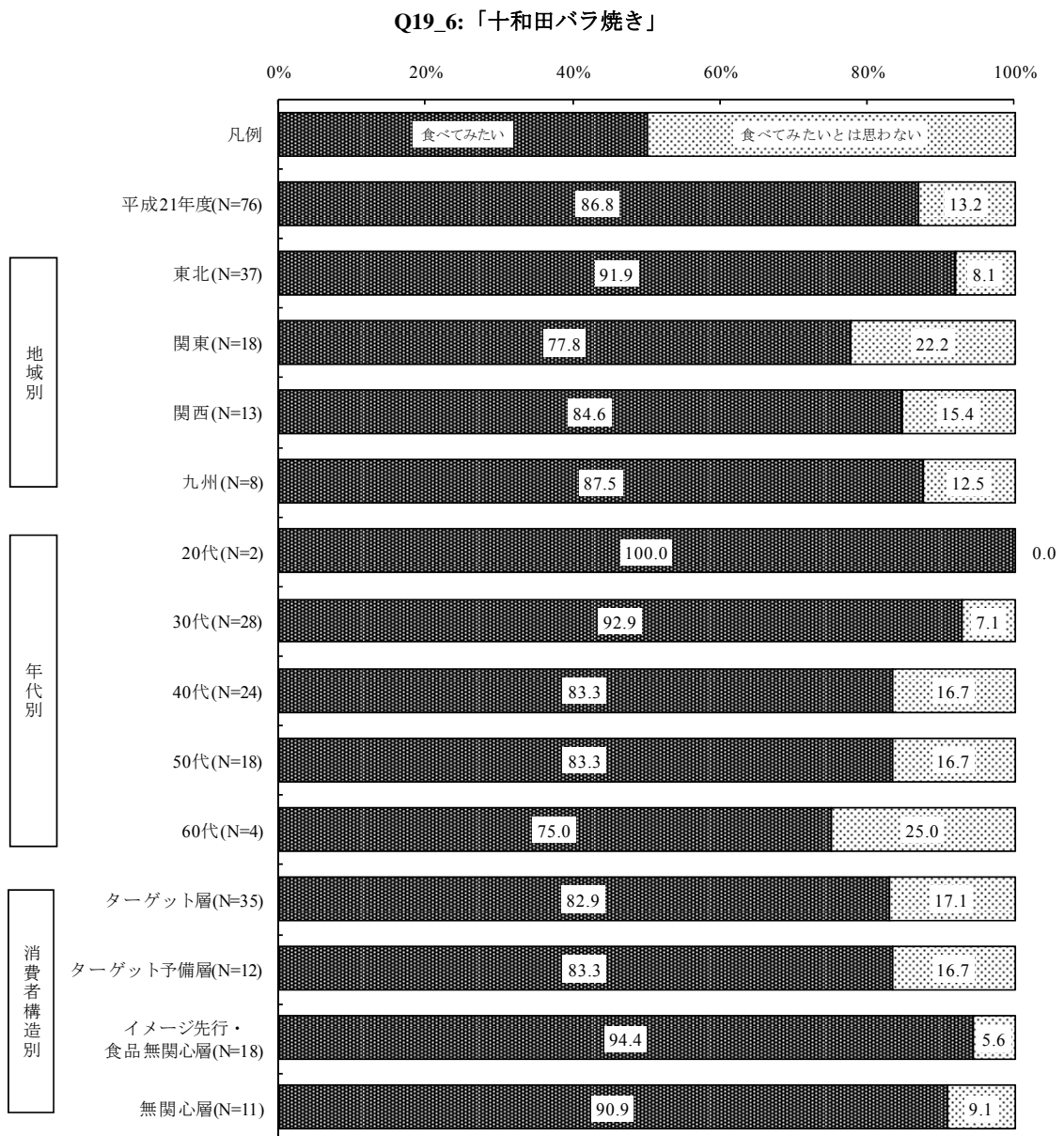
図表 IV-95 「あもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 86.8%

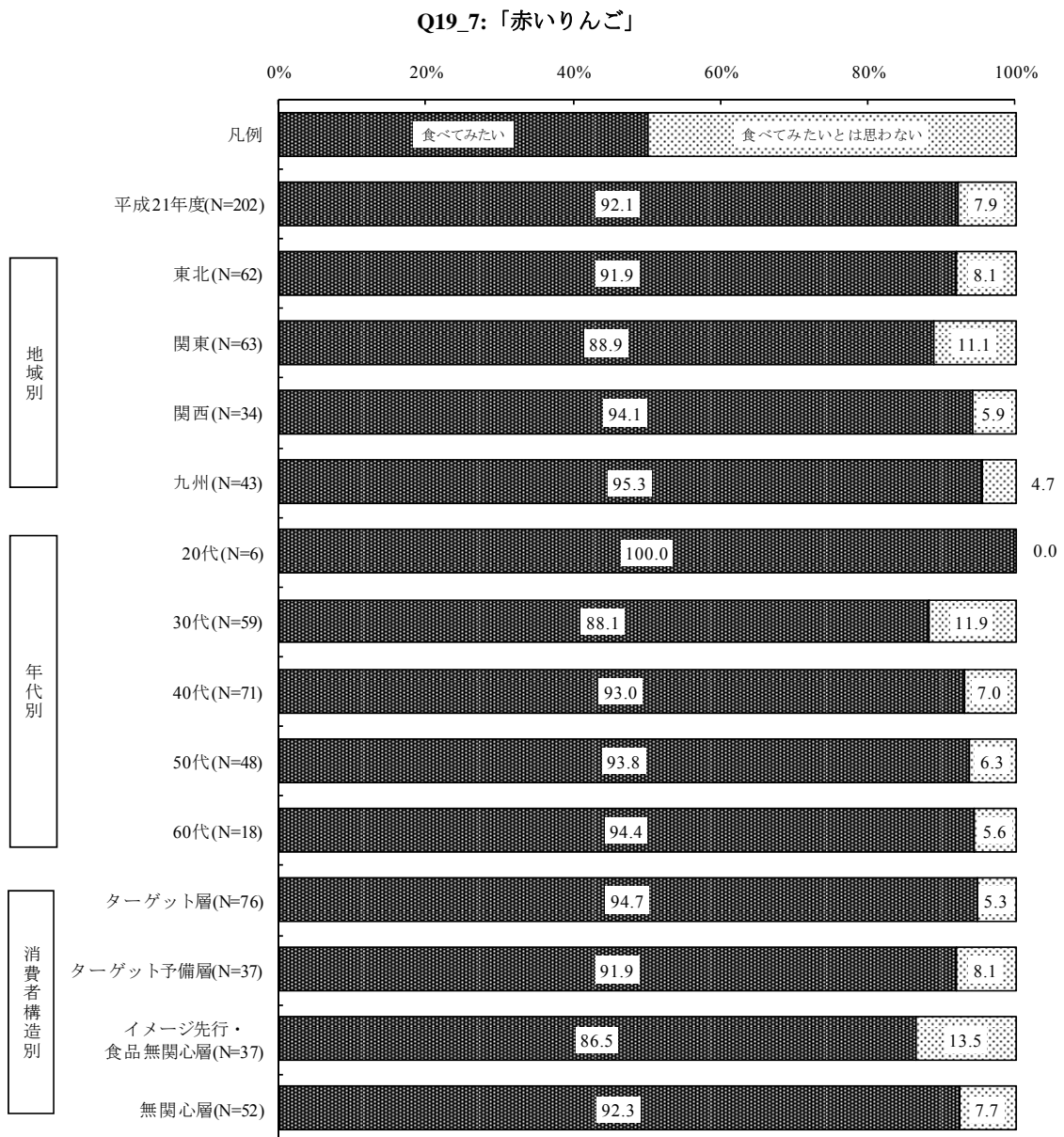
図表 IV-96 「あもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 92.1%

図表 IV-97 「あもりの食」に対する意向

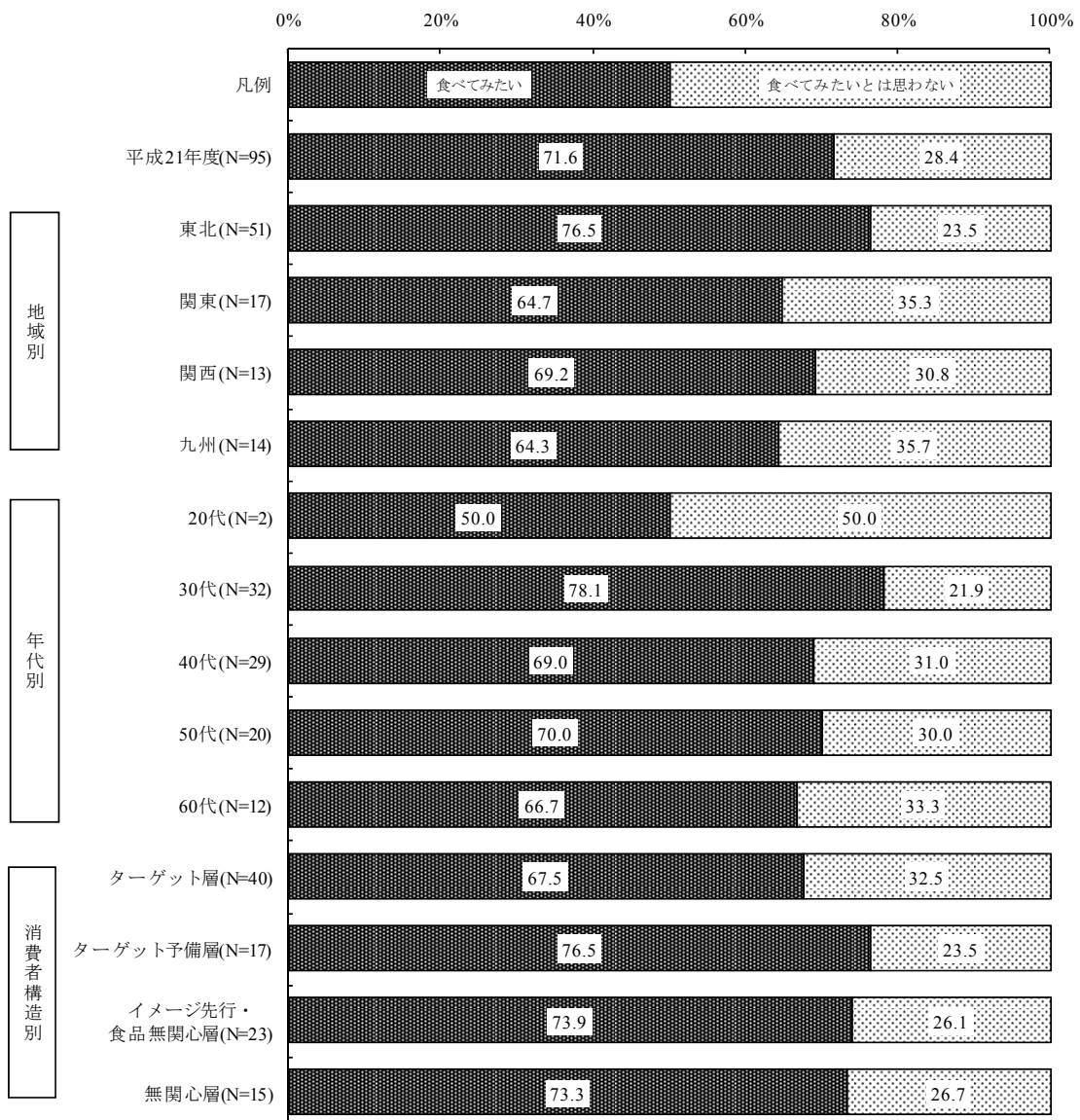


Point

- ・ 全体では、「食べてみたい」が71.6%
- ・ 地域別では、東北で「食べてみたい」が76.5%と比較的多い

図表 IV-98 「あおもりの食」に対する意向

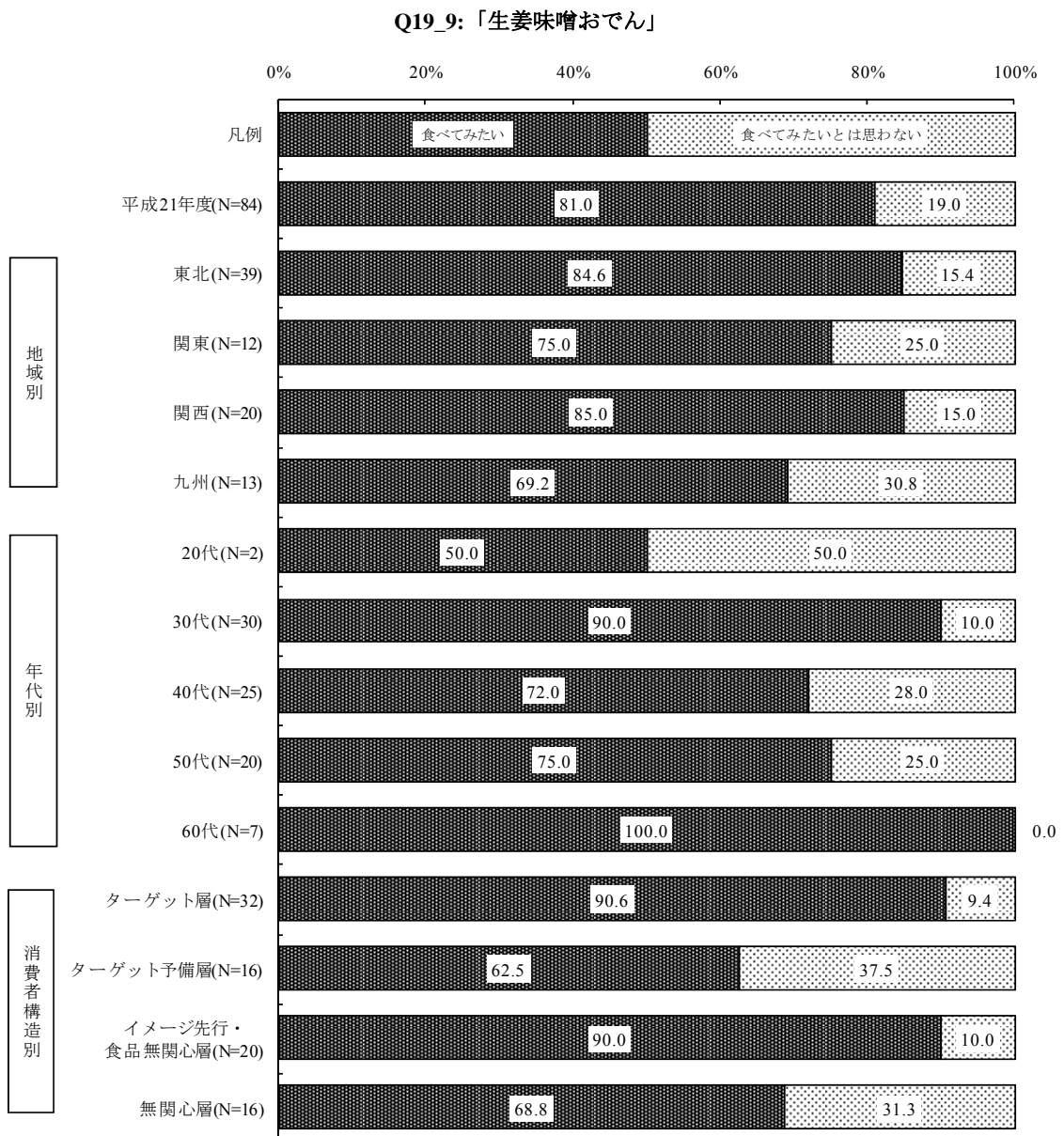
Q19_8:「味噌カレー牛乳ラーメン」



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が81.0%

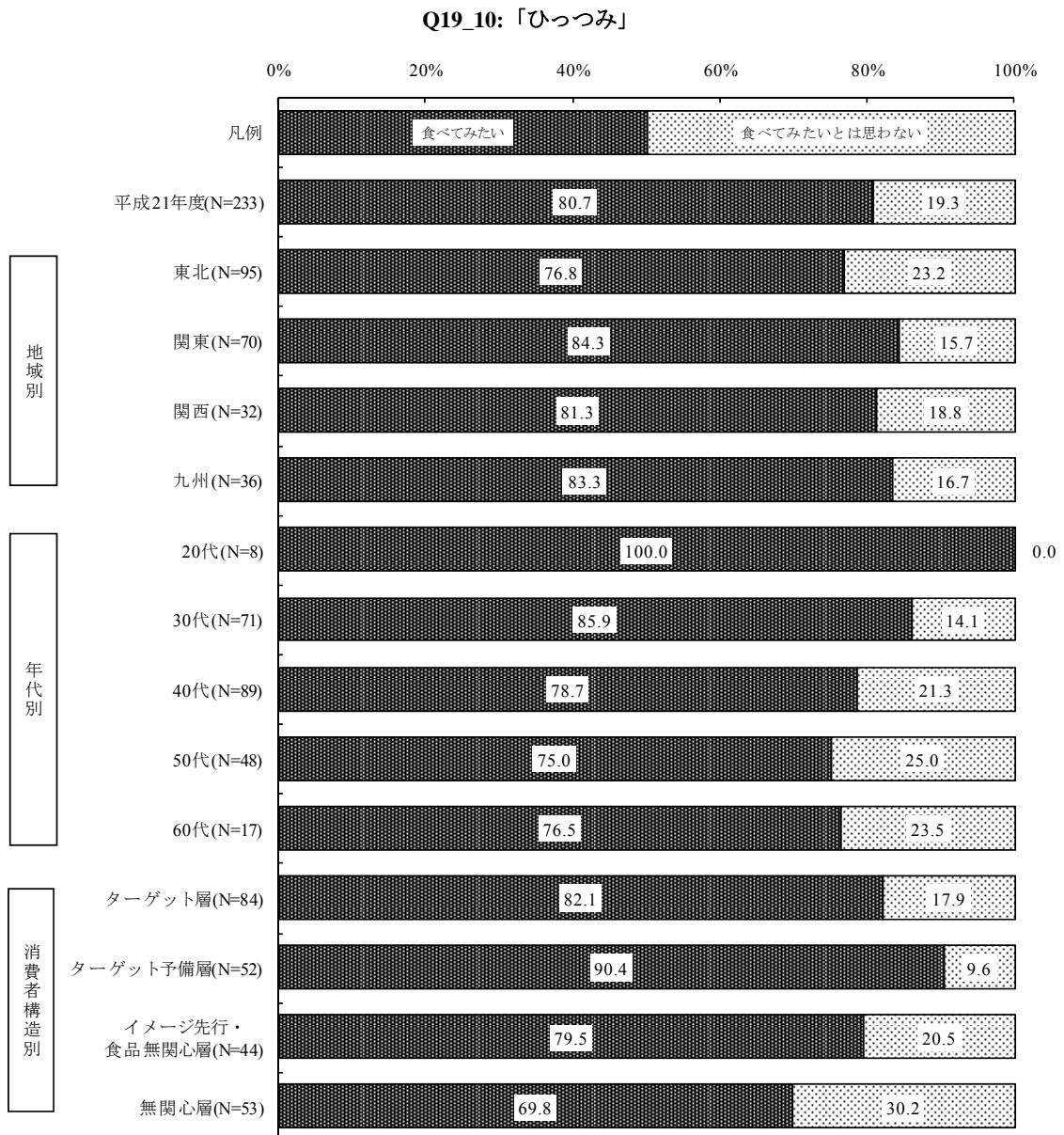
図表 IV-99 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 80.7%

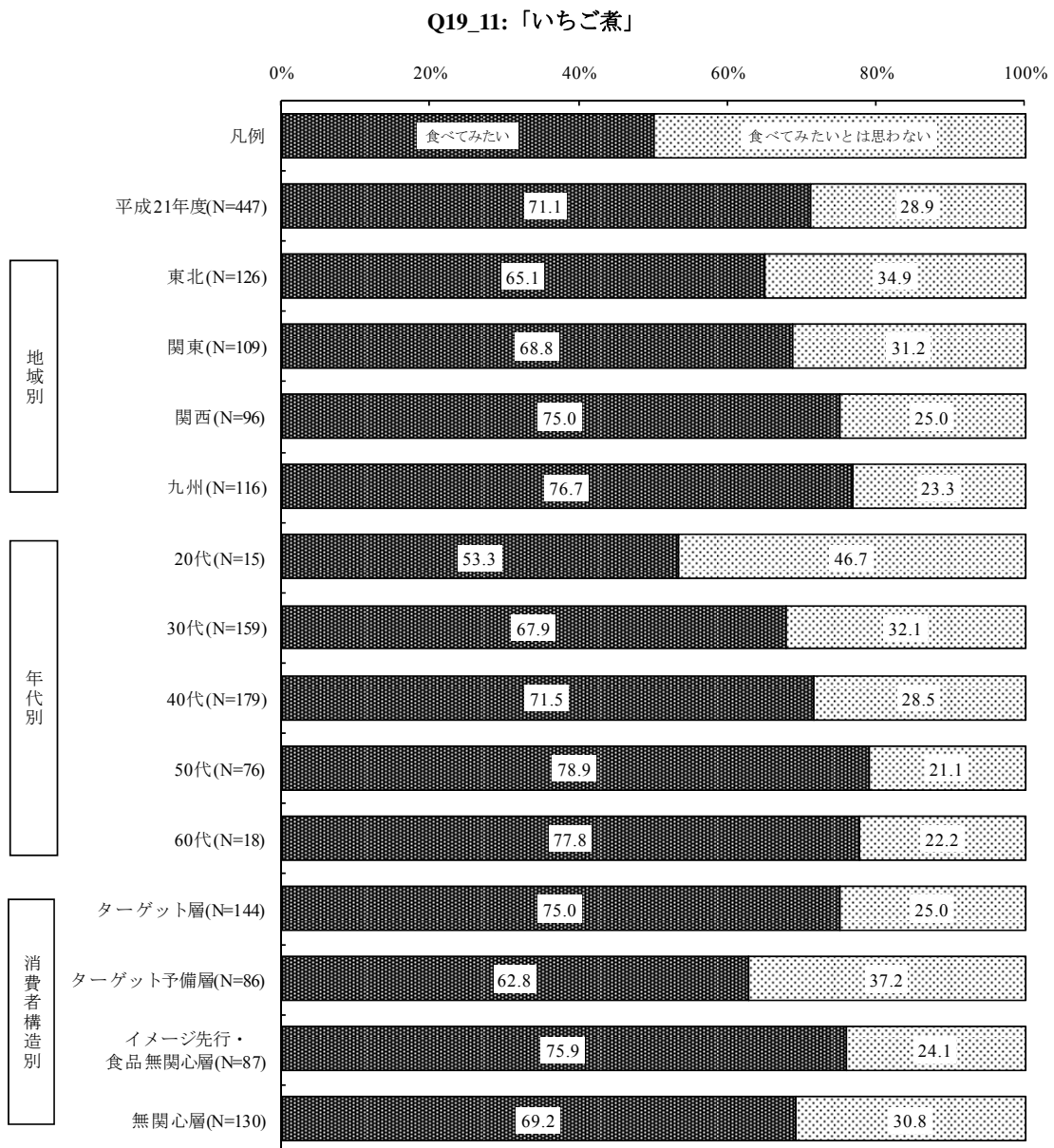
図表 IV-100 「あおもりの食」に対する意向



Point

- ・ 全体では、「食べてみたい」が71.1%
- ・ 年代別では、概ね年齢が高くなるに従い「食べてみたい」が多くなる傾向

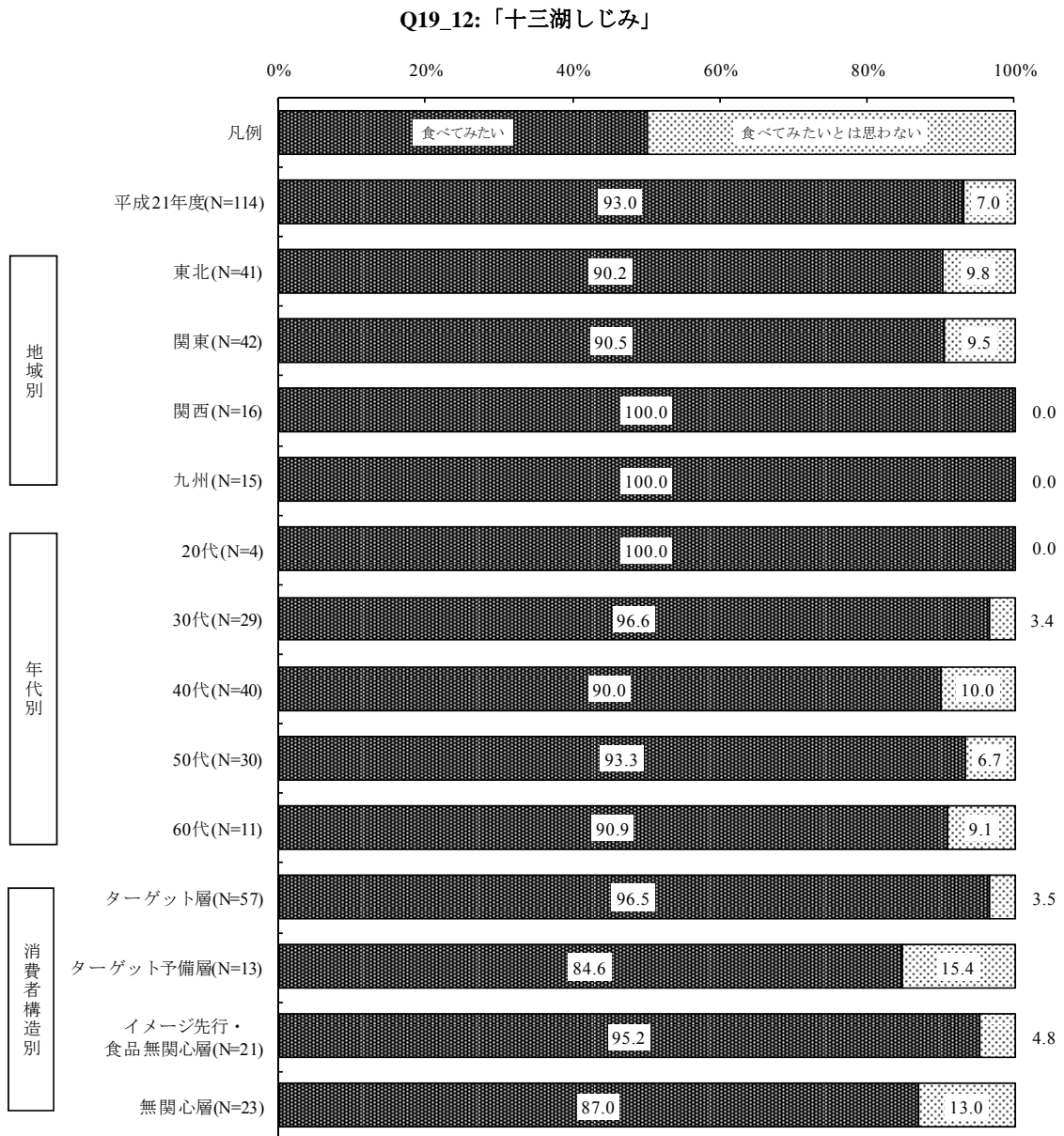
図表 IV-101 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 93.0%

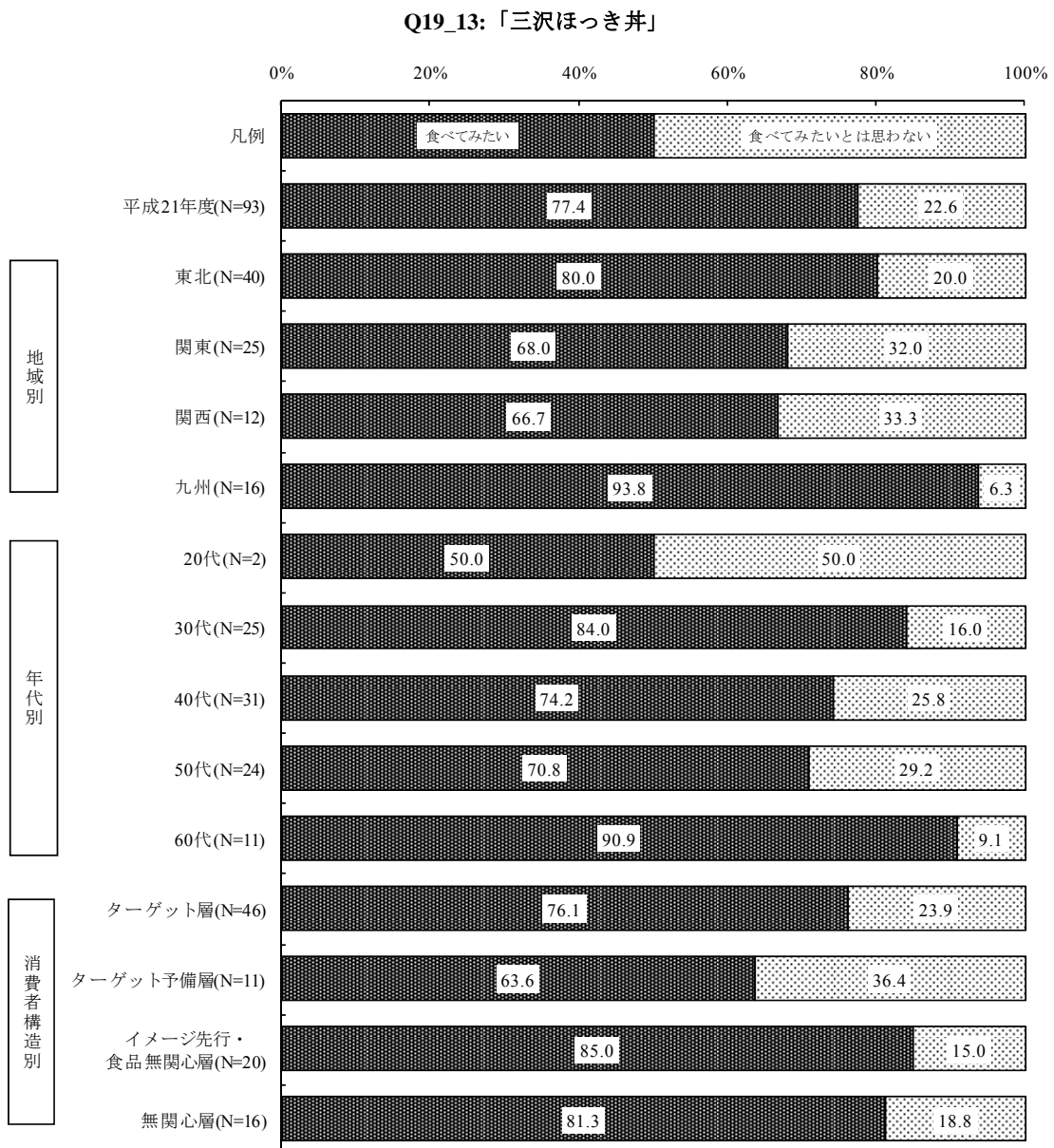
図表 IV-102 「あおもりの食」に対する意向



Point

- ・ 全体では、「食べてみたい」が 77.4%
- ・ 地域別では、九州で「食べてみたい」が 93.8%と比較的多い

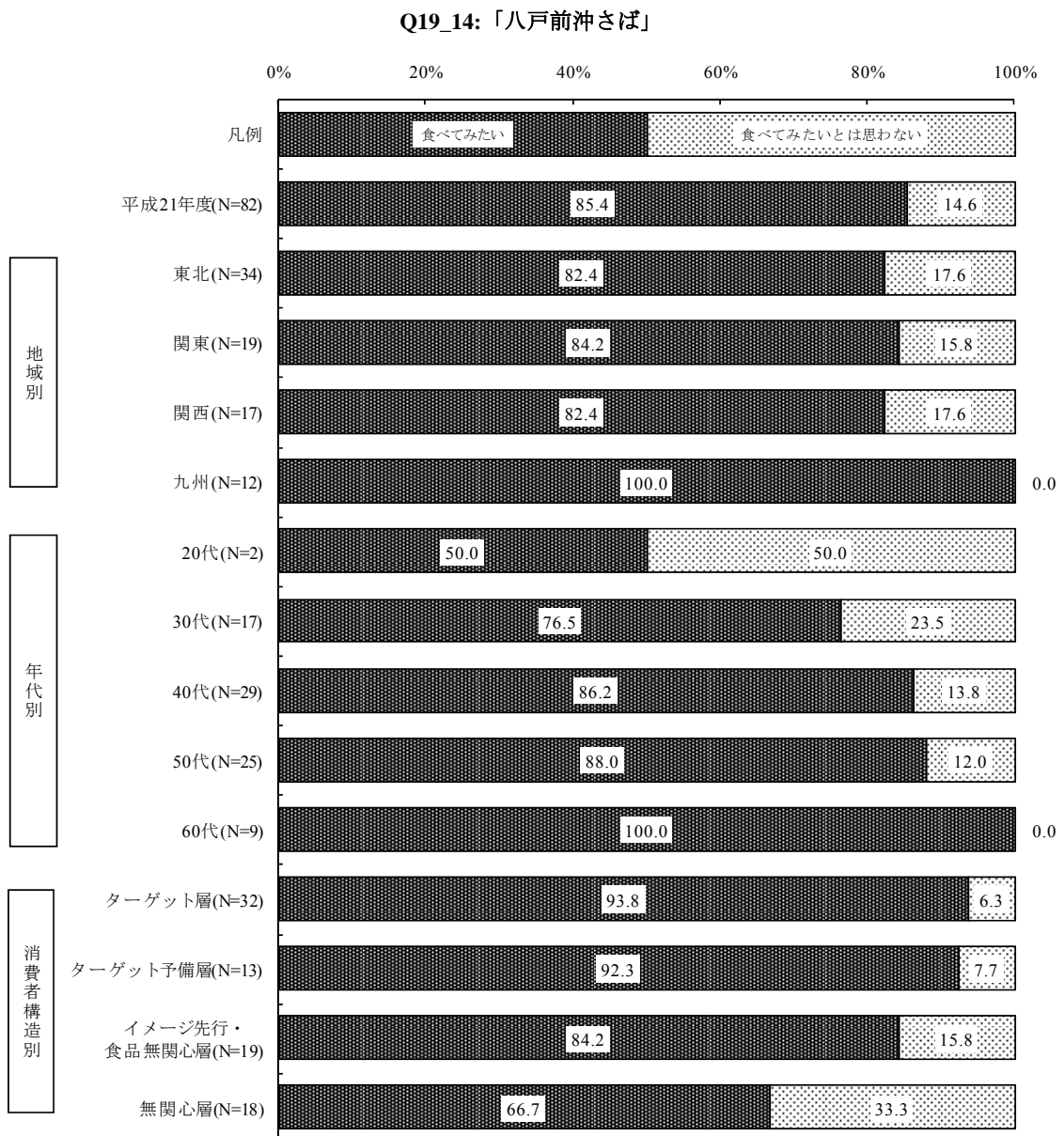
図表 IV-103 「あおもりの食」に対する意向



Point

- ・ 全体では、「食べてみたい」が 85.4%
- ・ 年代別では、年齢が高くなるに従い「食べてみたい」が多くなる傾向

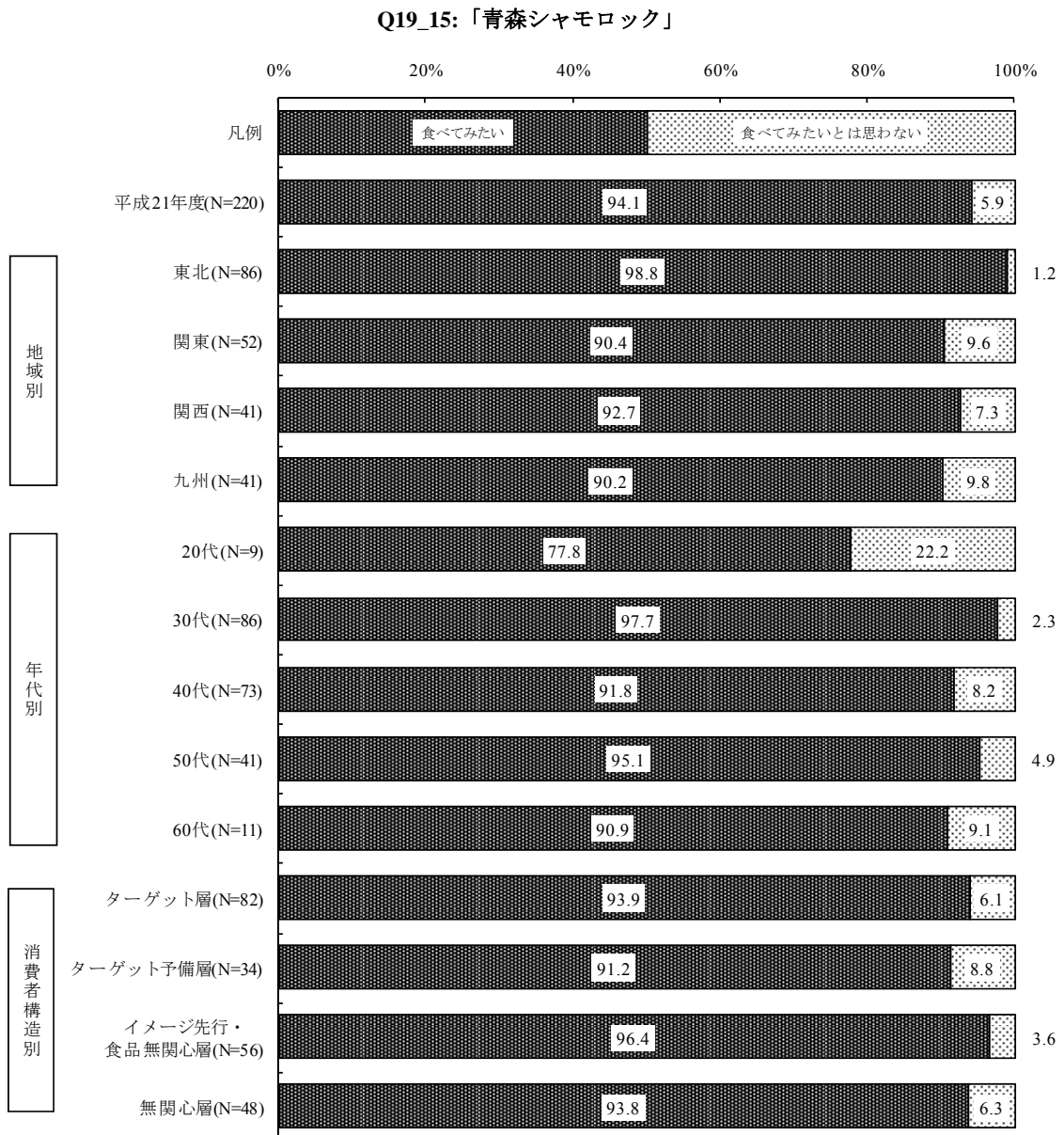
図表 IV-104 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 94.1%

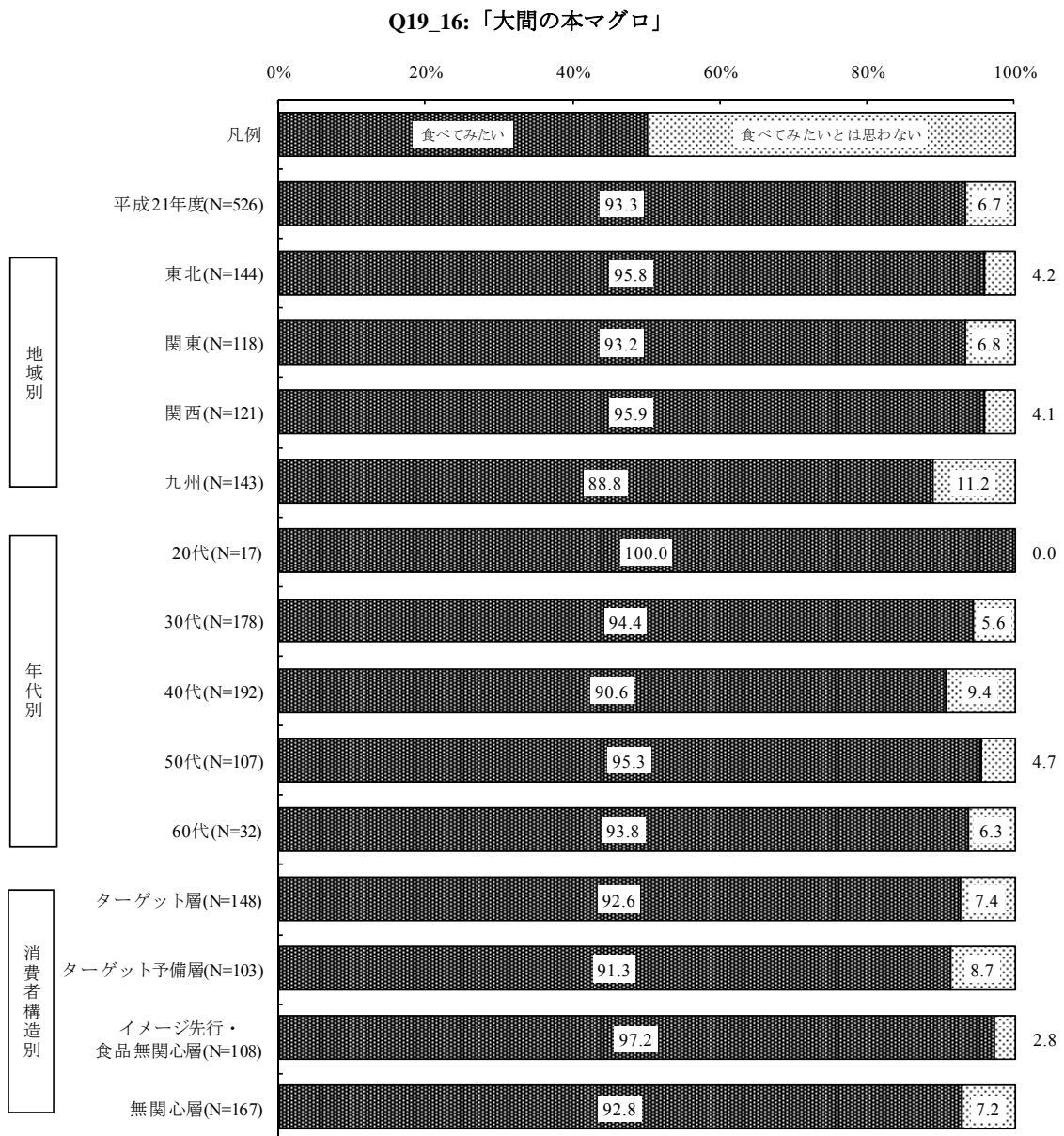
図表 IV-105 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 93.3%

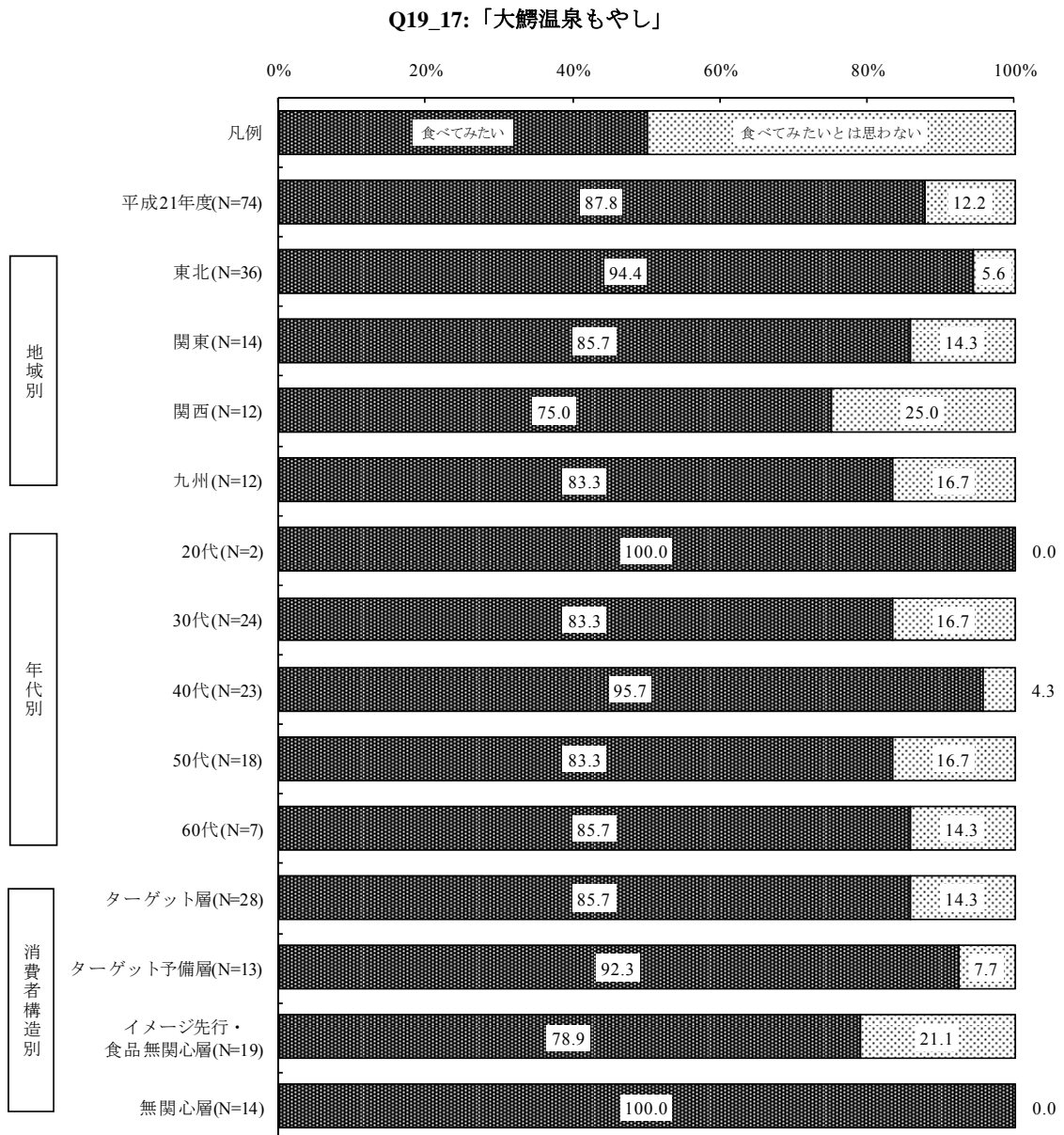
図表 IV-106 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 87.8%

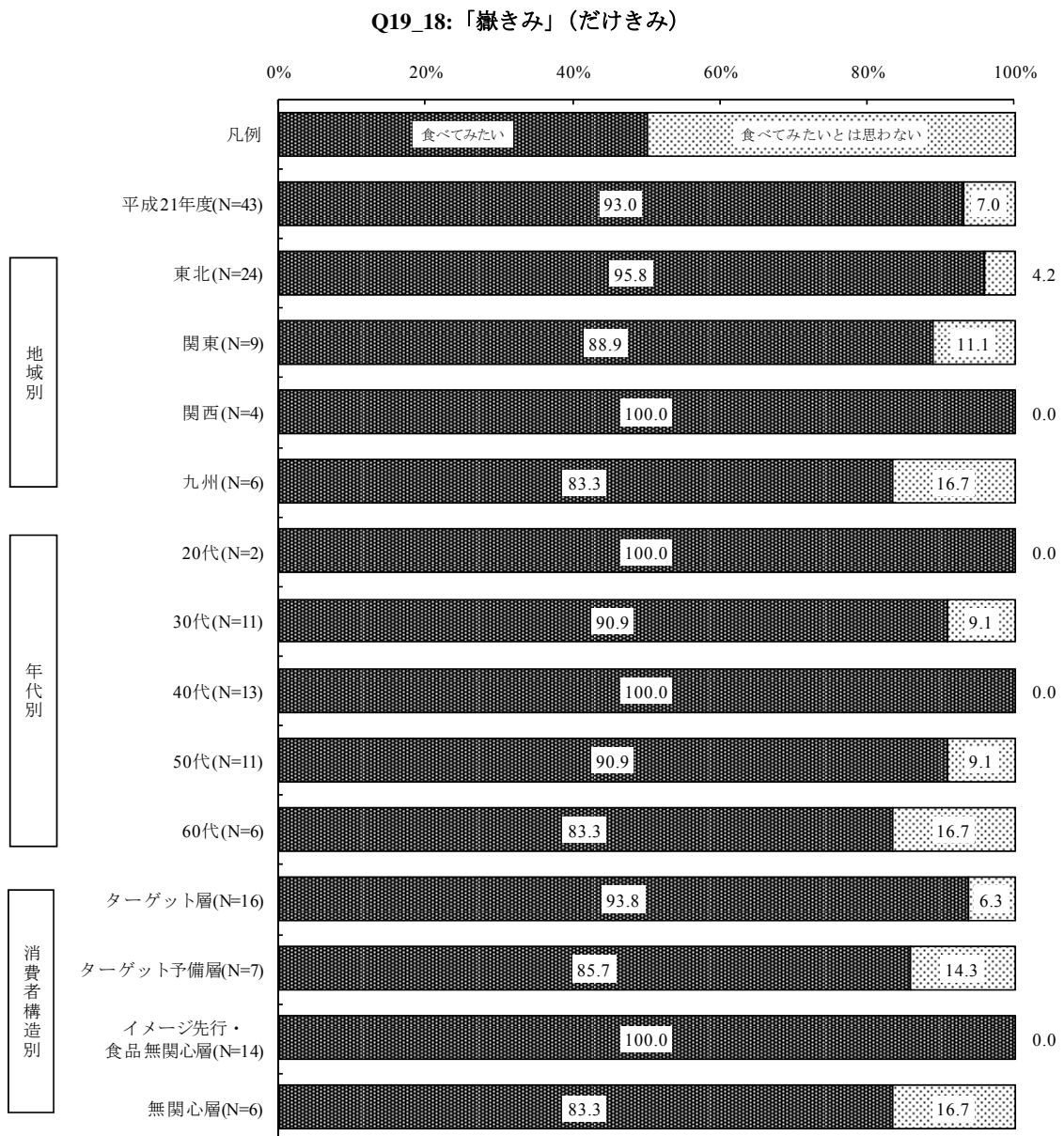
図表 IV-107 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 93.0%

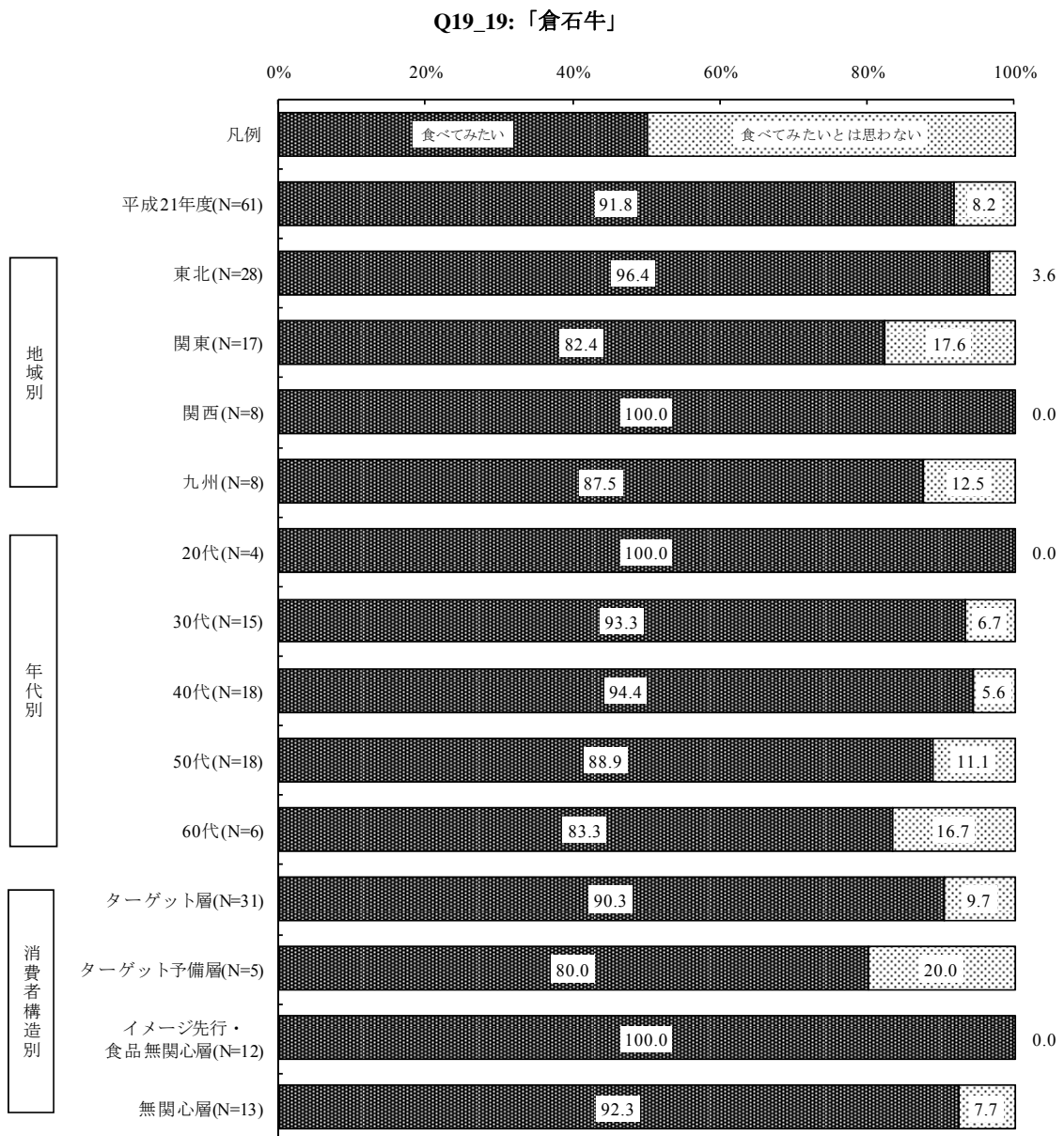
図表 IV-108 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が91.8%

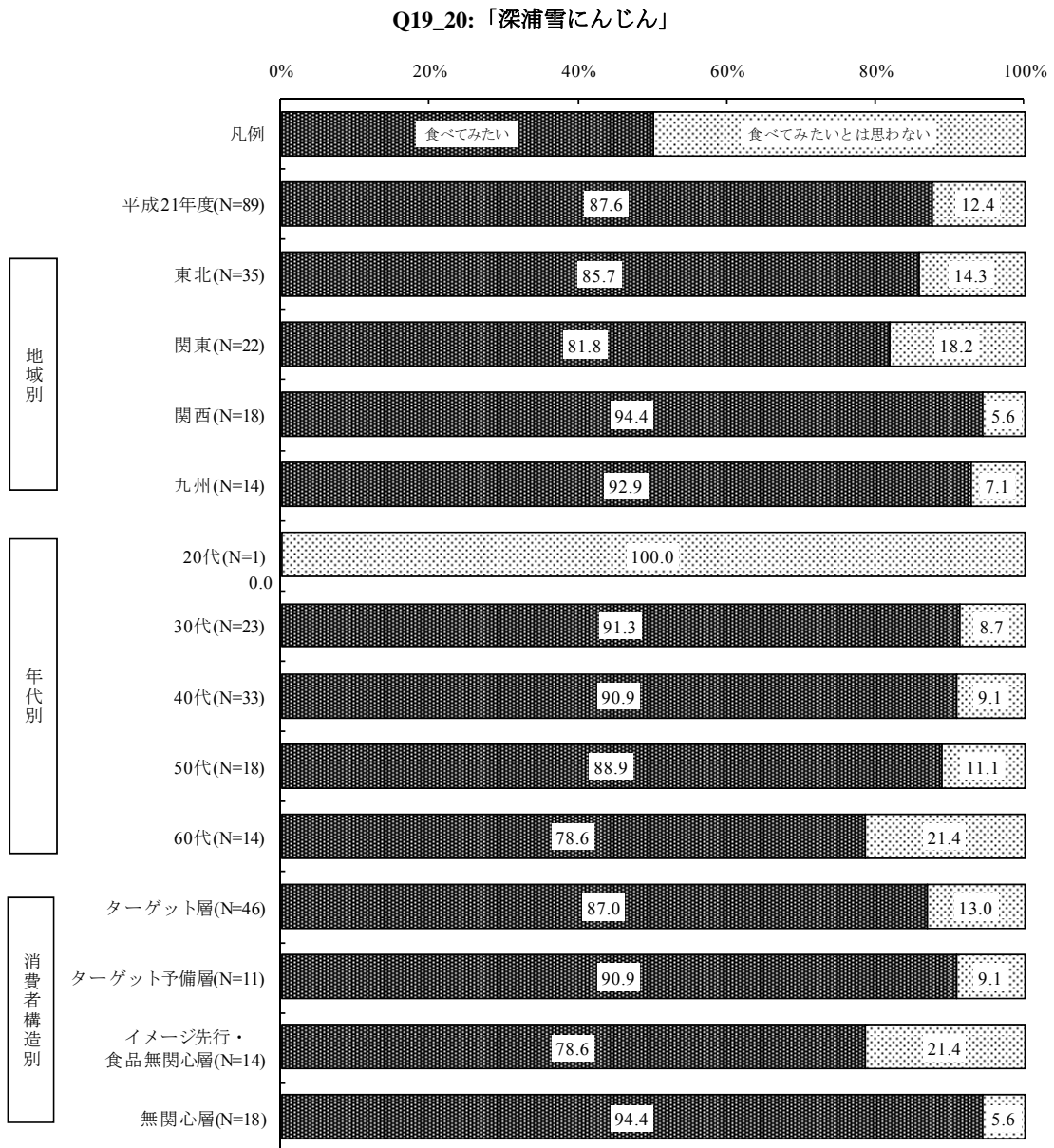
図表 IV-109 「あおもりの食」に対する意向



Point

・ 全体では、「食べてみたい」が 87.6%

図表 IV-110 「あおもりの食」に対する意向



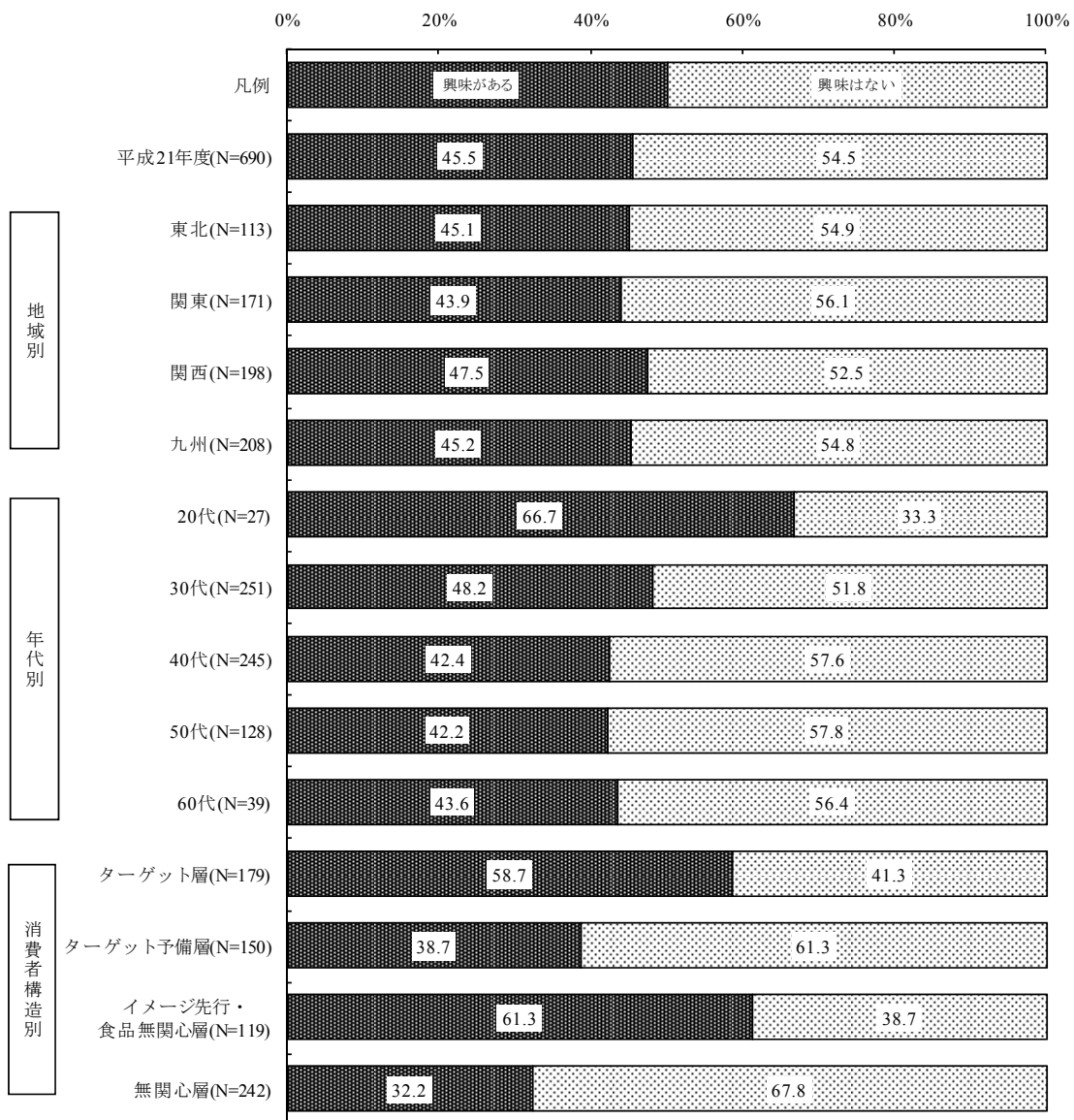
(4) Q20 : 「Q17」で「知らない」と回答した回答者の「あおもりの食」に対する興味（単一回答）

Point

- ・ 全体では、「興味がある」が45.5%、「興味はない」が54.5%
- ・ 年代別では、20代で「興味がある」が66.7%と高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が58.7%、イメージ先行・食品無関心層で同じく61.3%と、他の層と比べて高い

図表 IV-111 「あおもりの食」に対する興味

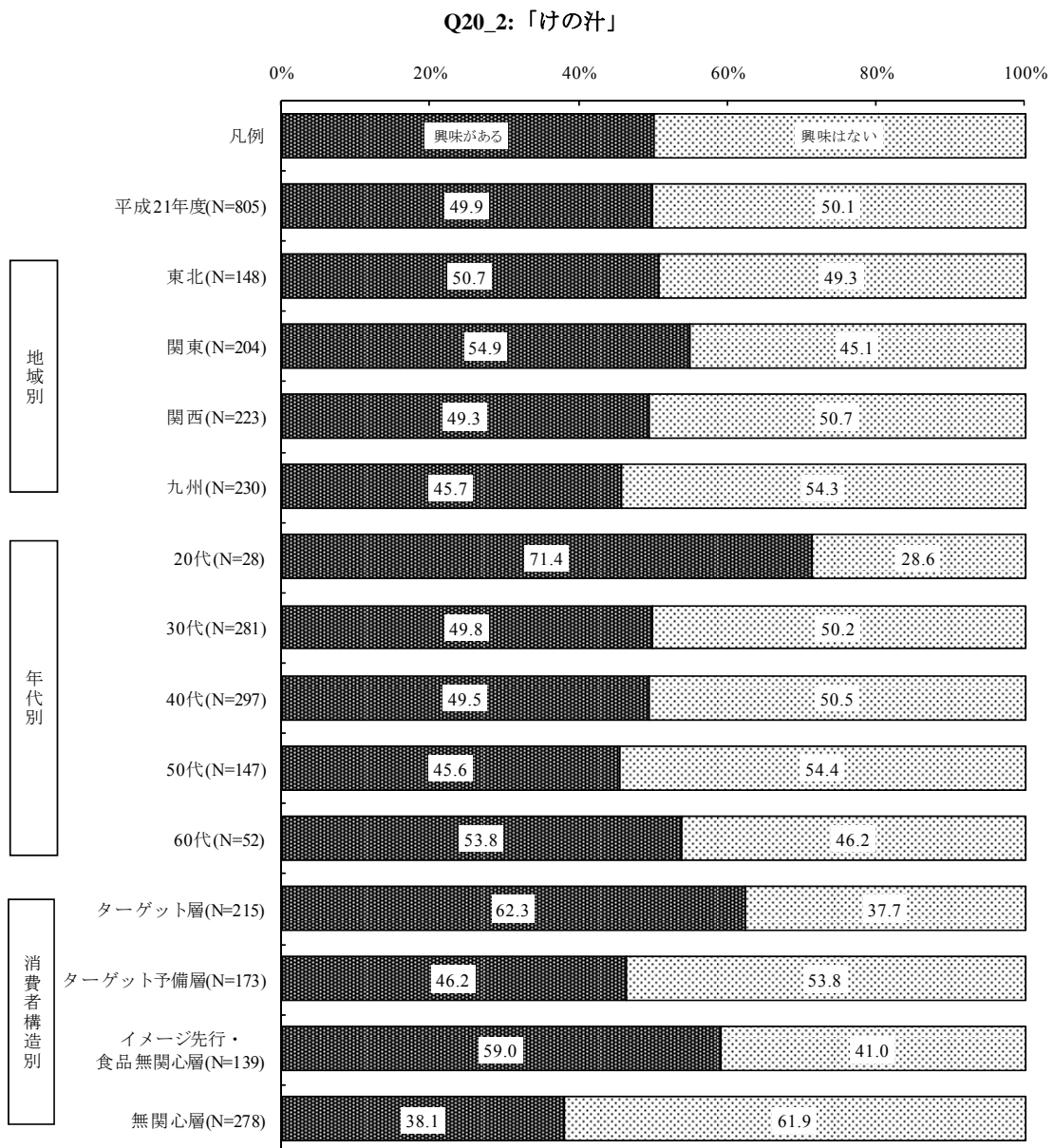
Q20_1: 「じゃっぱ汁」



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 49.9%、「興味はない」が 50.1%
- ・ 年代別では、20代で「興味がある」が 71.4%と高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 62.3%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 59.0%と、他の層と比べて高い

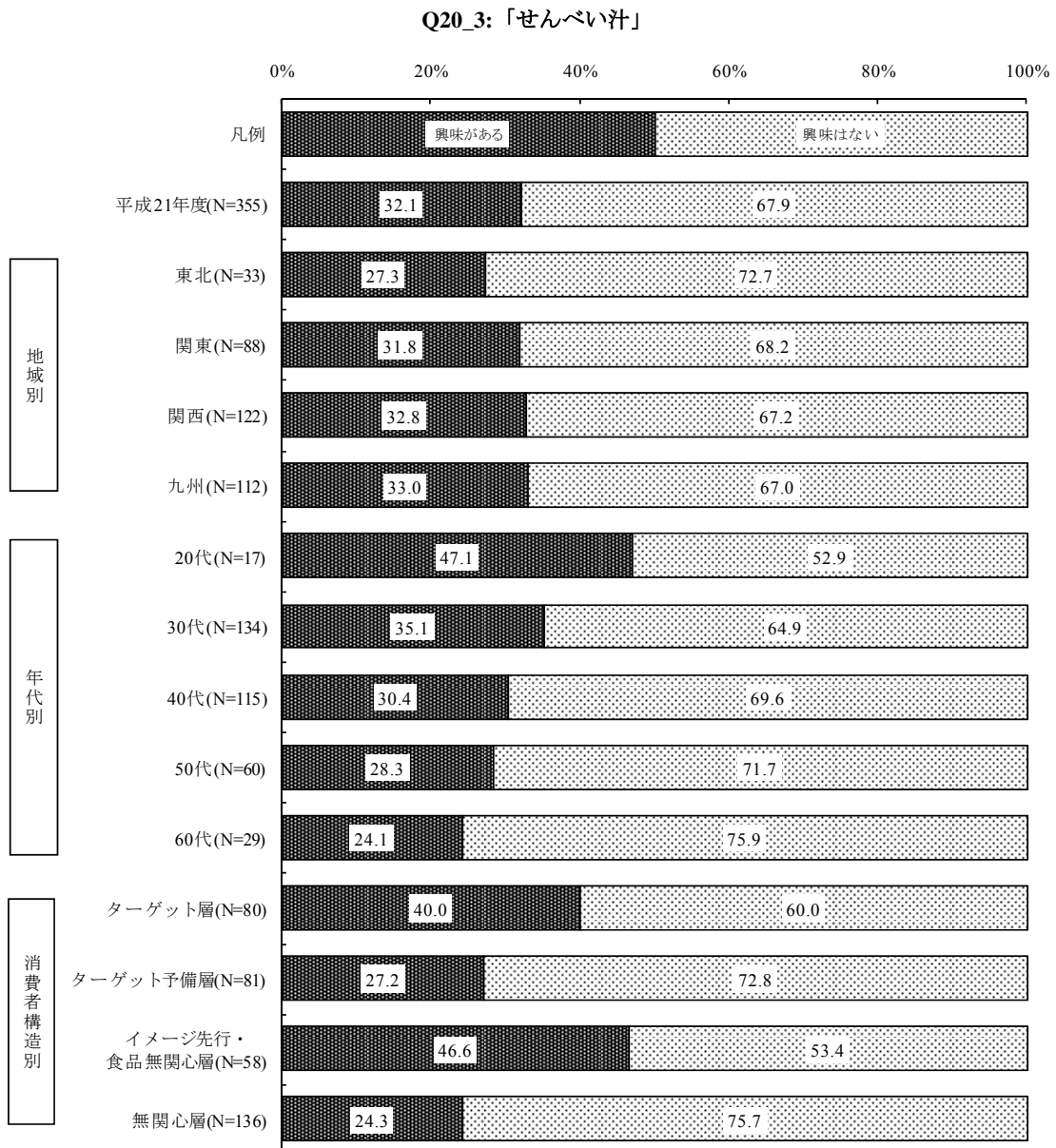
図表 IV-112 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が32.1%、「興味はない」が67.9%
- ・ 年代別では、年齢が若くなるに従い興味が高まる傾向
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が40.0%、イメージ先行・食品無関心層で同じく46.6%と、他の層と比べて高い

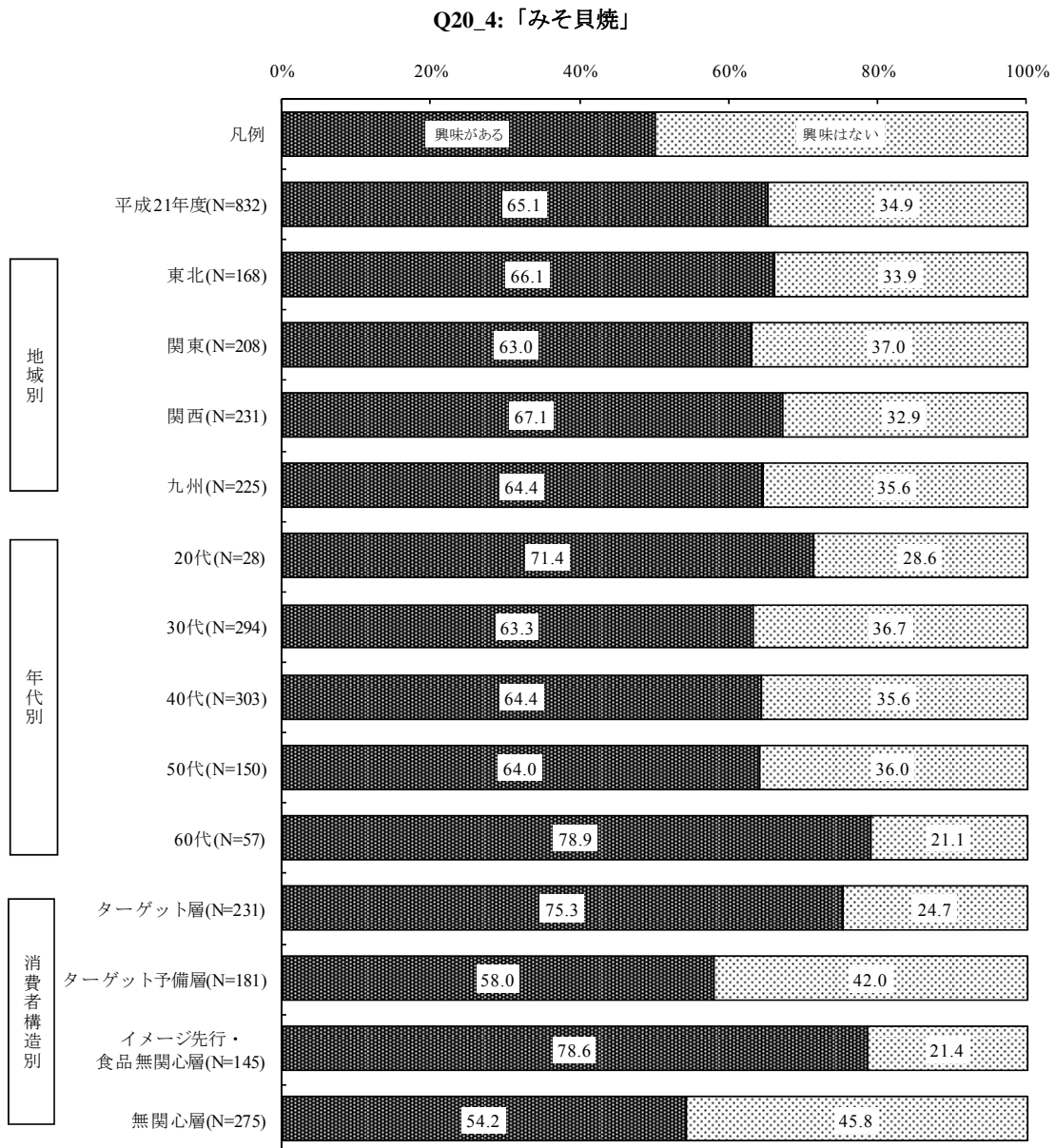
図表 IV-113 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 65.1%、「興味はない」が 34.9%
- ・ 年代別では、20代（71.4%）と60代（75.3%）で興味が高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 75.3%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 78.6%と、他の層と比べて高い

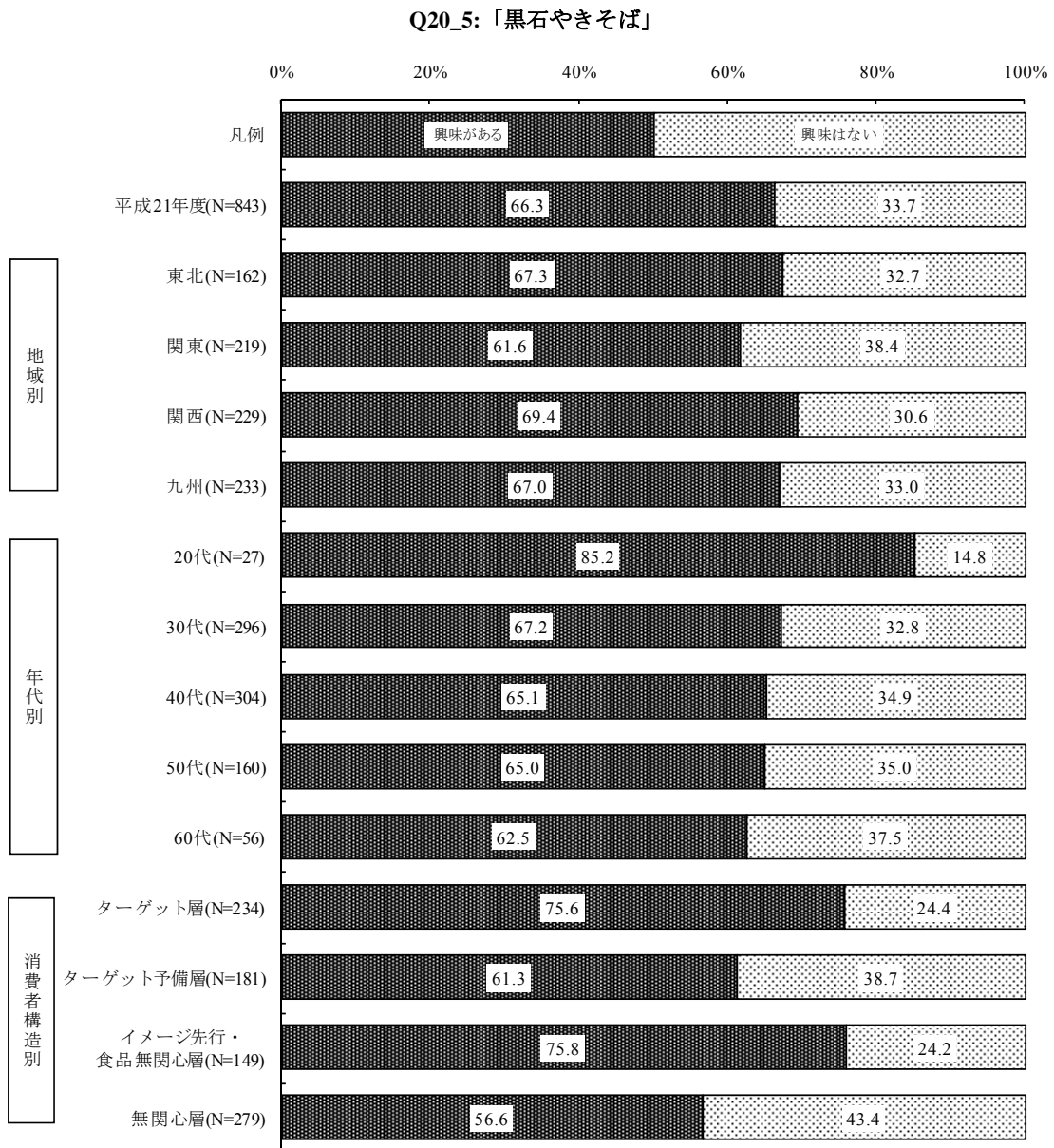
図表 IV-114 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 66.3%、「興味はない」が 33.7%
- ・ 年代別では、年齢が若くなるに従い興味が高まる傾向で、特に 20 代では 85.2%と高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 75.6%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 75.8%と、他の層と比べて高い

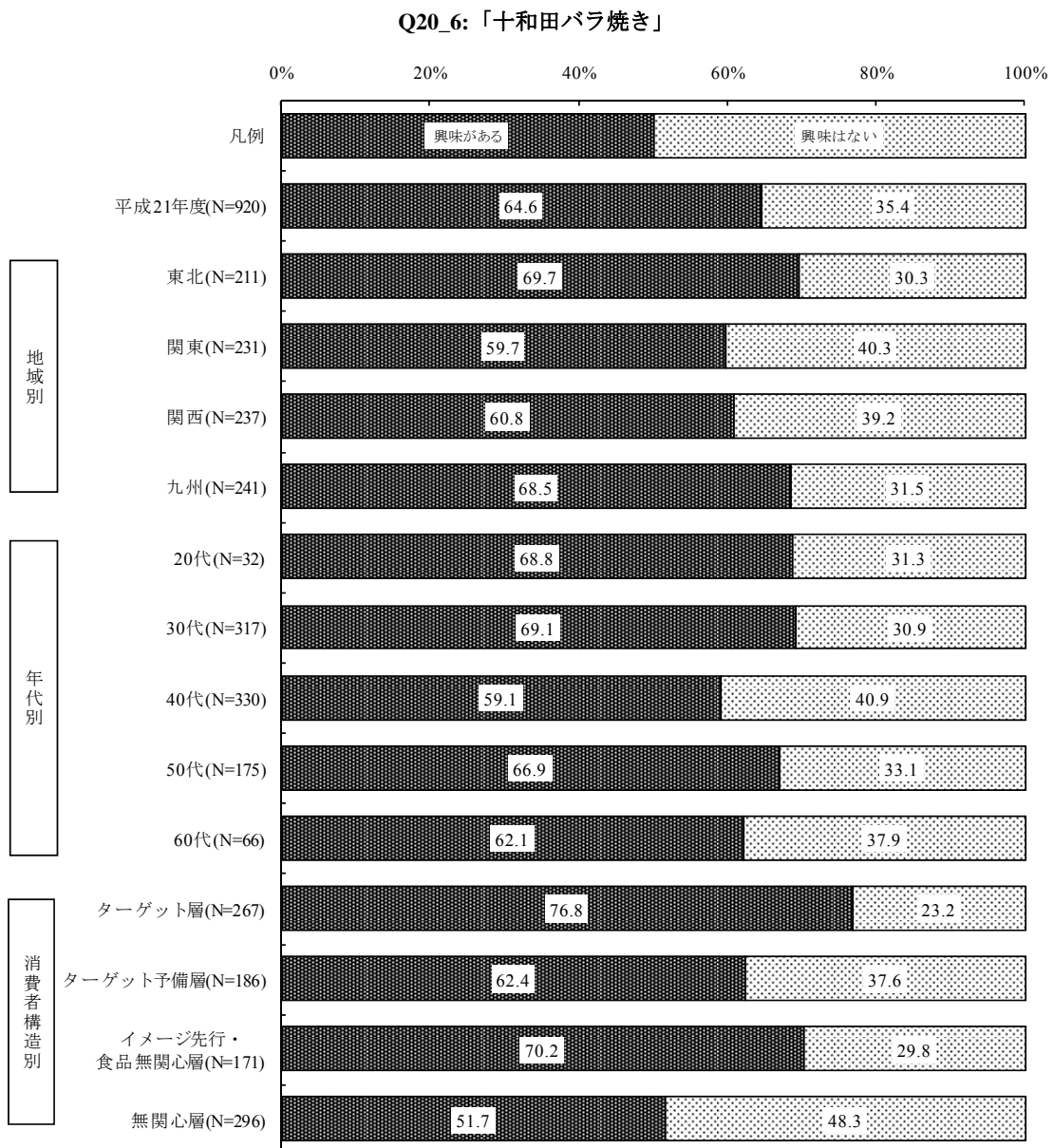
図表 IV-115 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 64.6%、「興味はない」が 35.4%
- ・ 地域別では、東北と九州で若干興味が高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 76.8%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 70.2%と、他の層と比べて若干高い

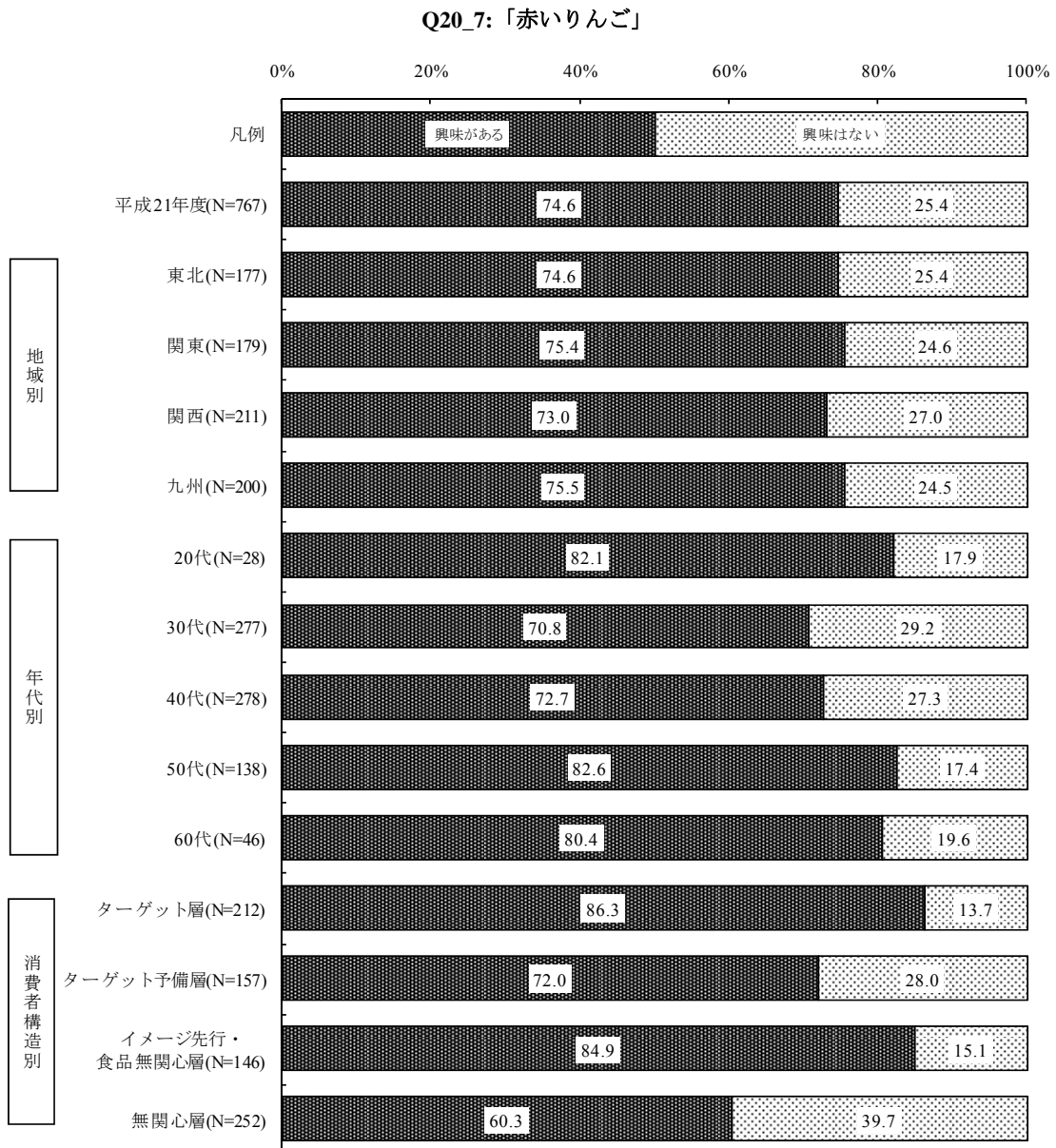
図表 IV-116 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 74.6%、「興味はない」が 25.4%
- ・ 年代別では、30代と40代で若干興味が高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 86.3%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 84.9%と、他の層と比べて高い

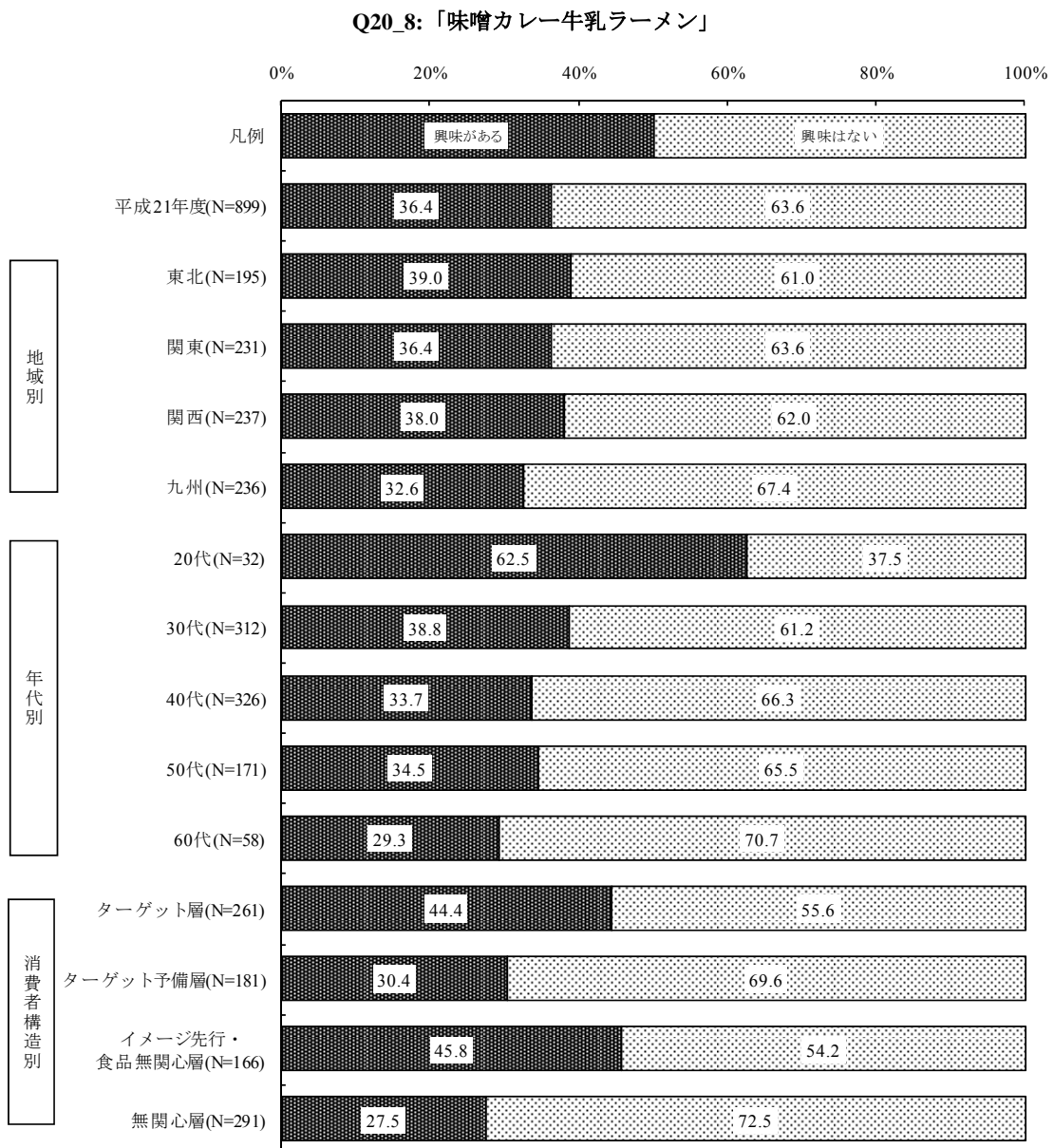
図表 IV-117 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 36.4%、「興味はない」が 63.6%
- ・ 年代別では、20代で「興味がある」が 62.5%と高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 44.4%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 45.8 と、他の層と比べて高い

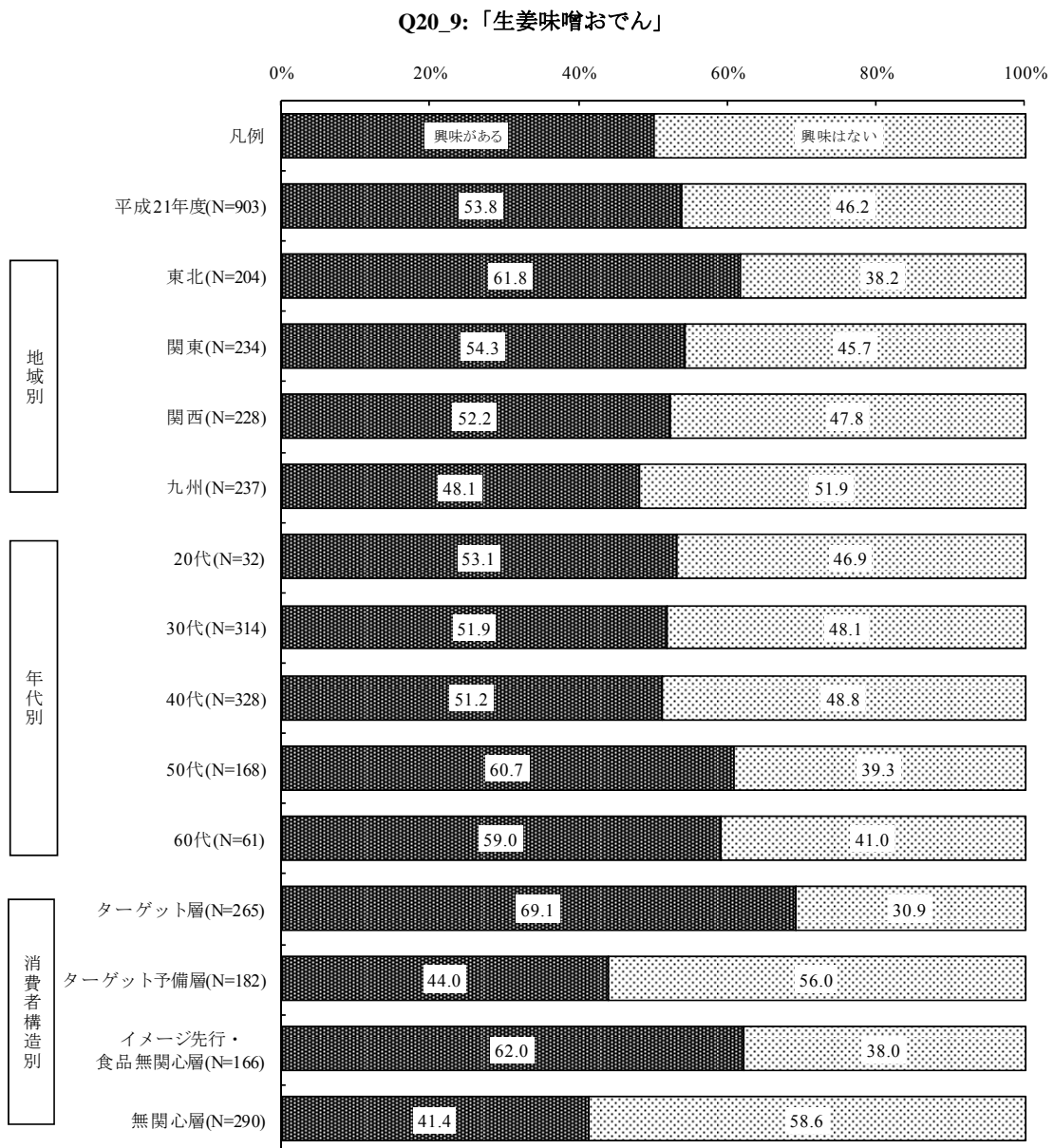
図表 IV-118 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 53.8%、「興味はない」が 46.2%
- ・ 年代別では、50代と60代で若干興味が高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 69.1%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 62.0 と、他の層と比べて高い

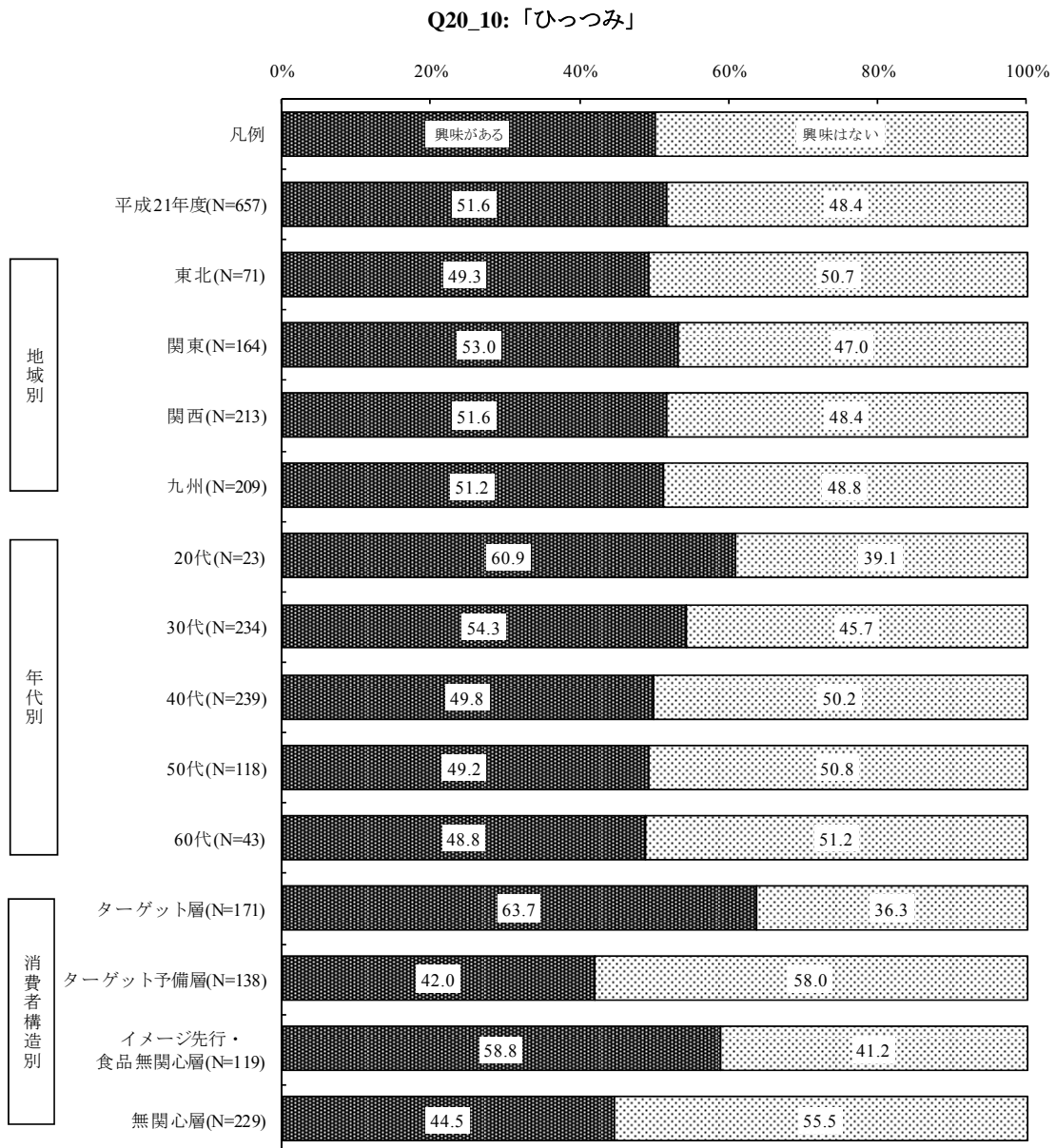
図表 IV-119 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が51.6%、「興味はない」が48.4%
- ・ 年代別では、年齢が若くなるに従い興味が高まる傾向
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が63.7%、イメージ先行・食品無関心層で同じく58.8%と、他の層と比べて高い

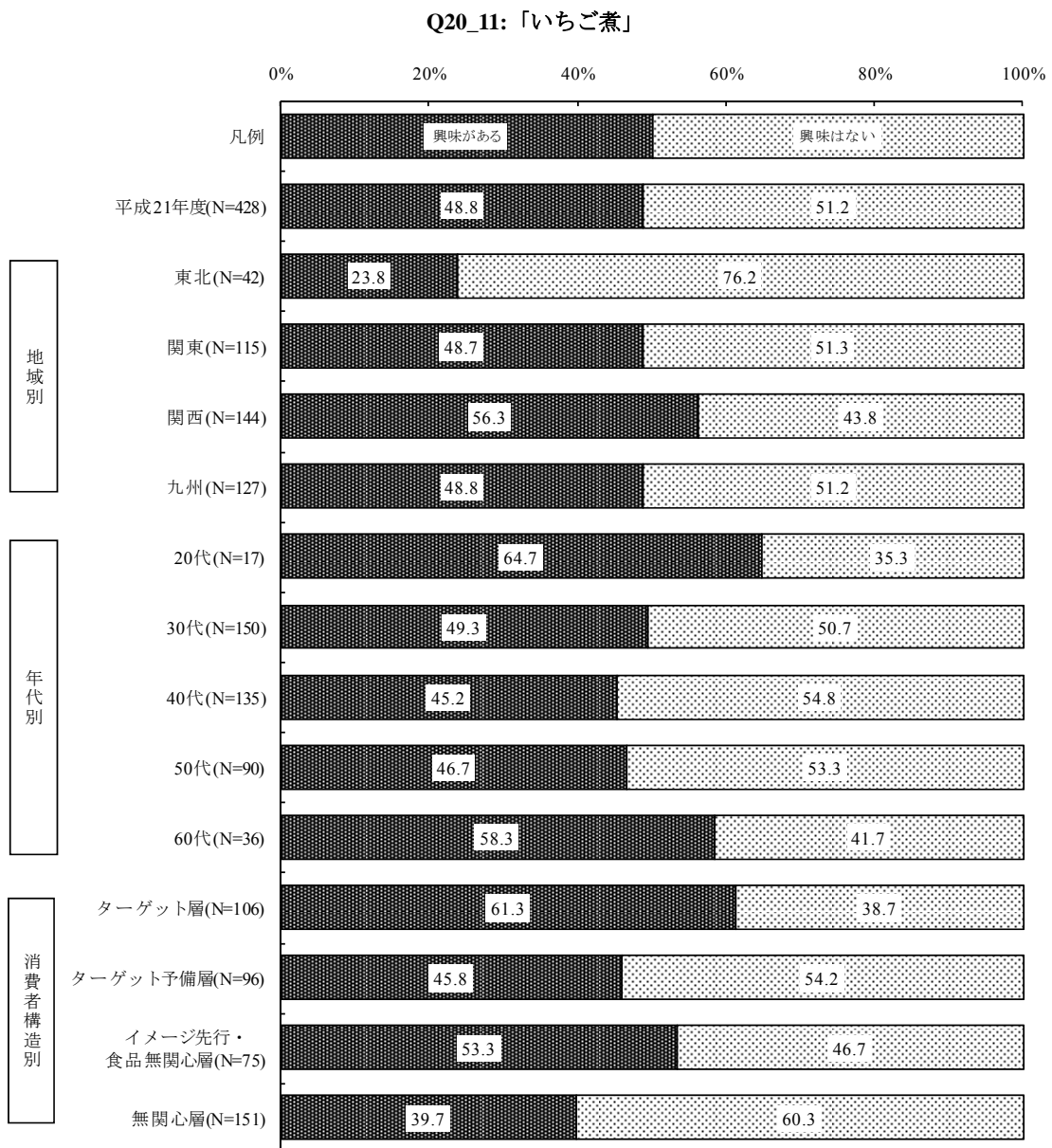
図表 IV-120 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 48.8%、「興味はない」が 51.2%
- ・ 地域別では、東北で 23.8%と興味が高い
- ・ 年代別では、特に 20 代で「興味がある」が 64.7%と高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 61.3%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 53.3%と、他の層と比べて高い

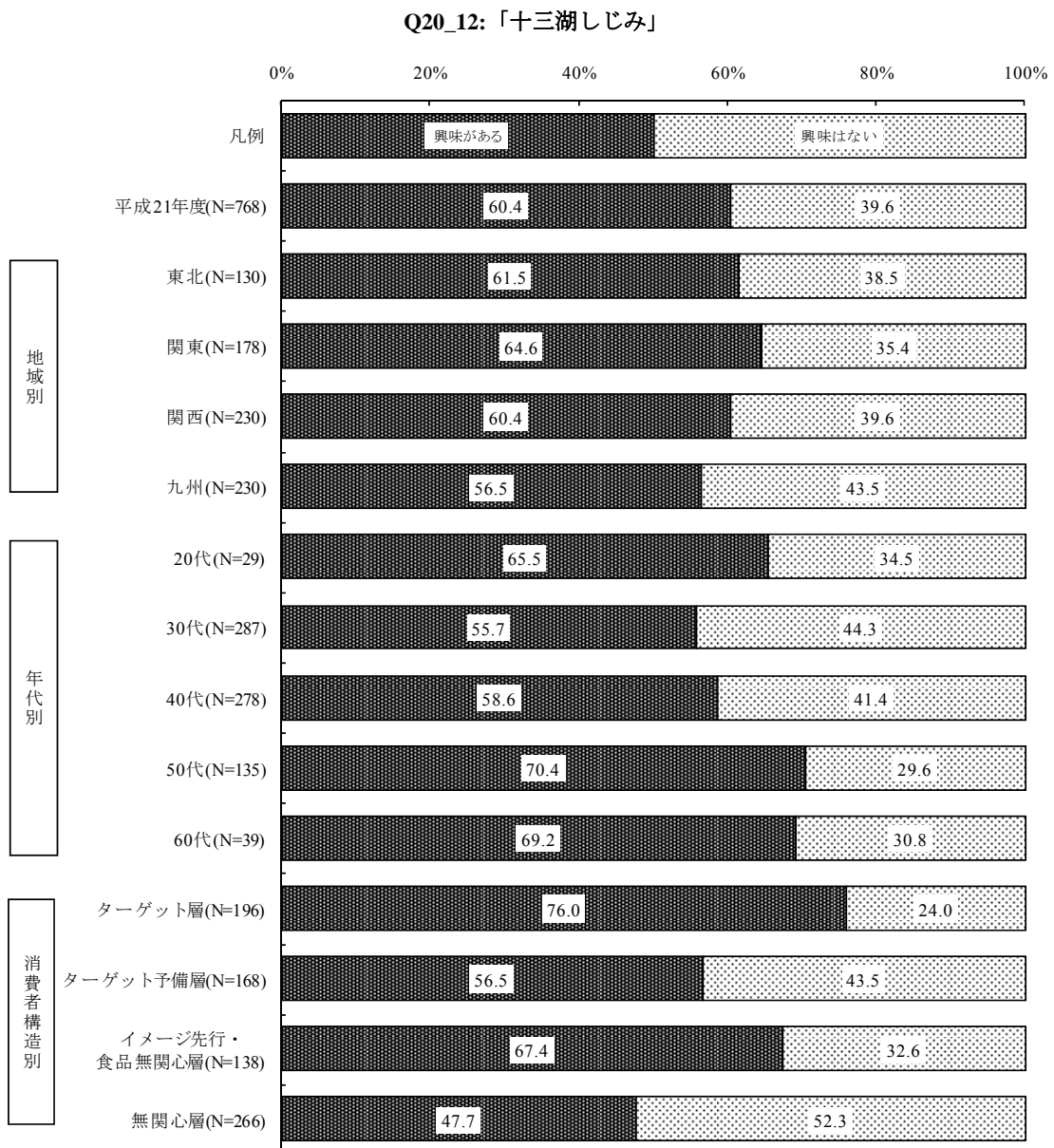
図表 IV-121 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 60.4%、「興味はない」が 39.6%
- ・ 年代別では、30代と40代で若干関心が低い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 76.0%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 67.4%と、他の層と比べて高い

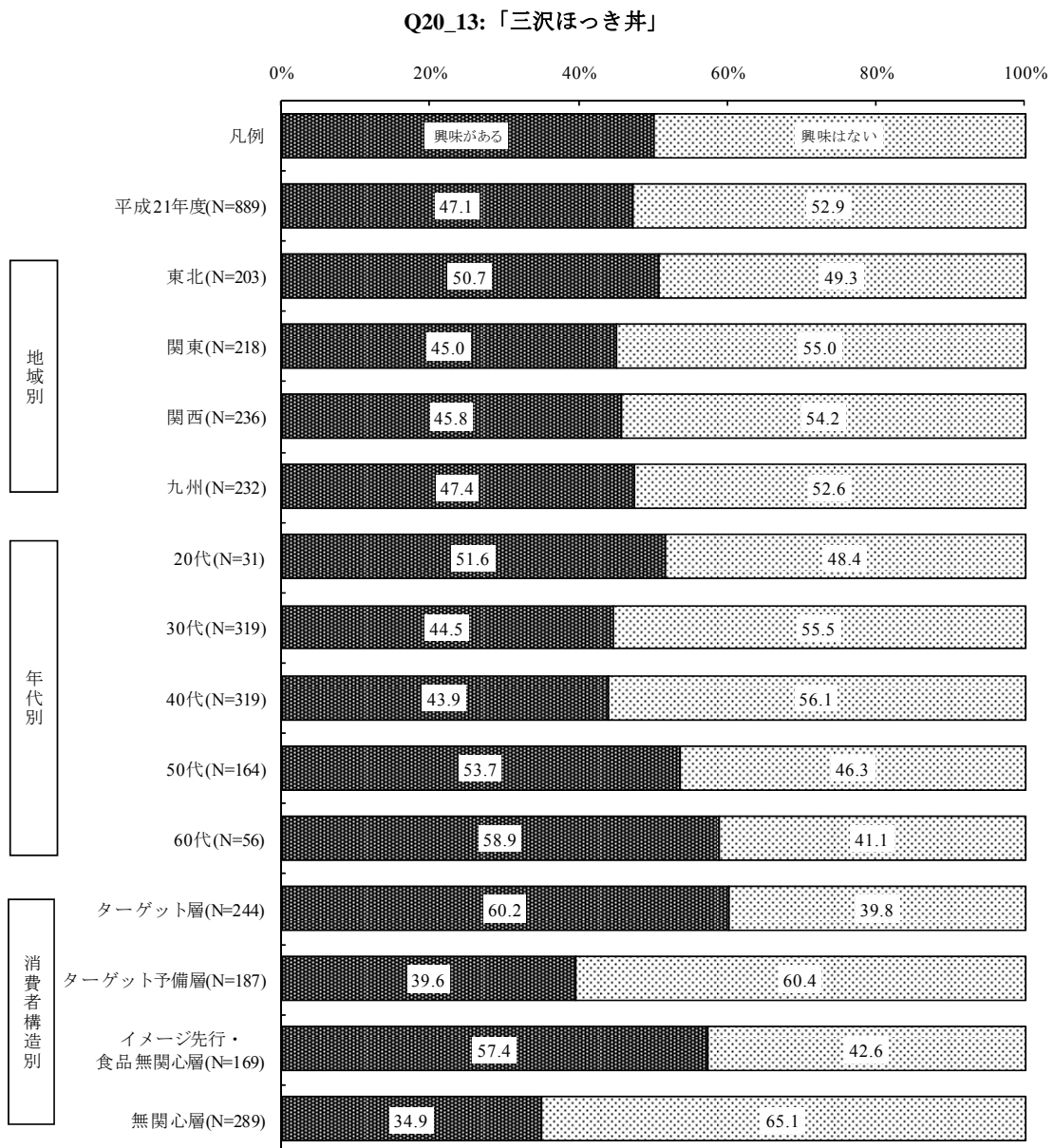
図表 IV-122 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が47.1%、「興味はない」が52.9%
- ・ 年代別では、概ね年齢が高くなるに従い興味が高まる傾向
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が60.2%、イメージ先行・食品無関心層で同じく57.4%と、他の層と比べて高い

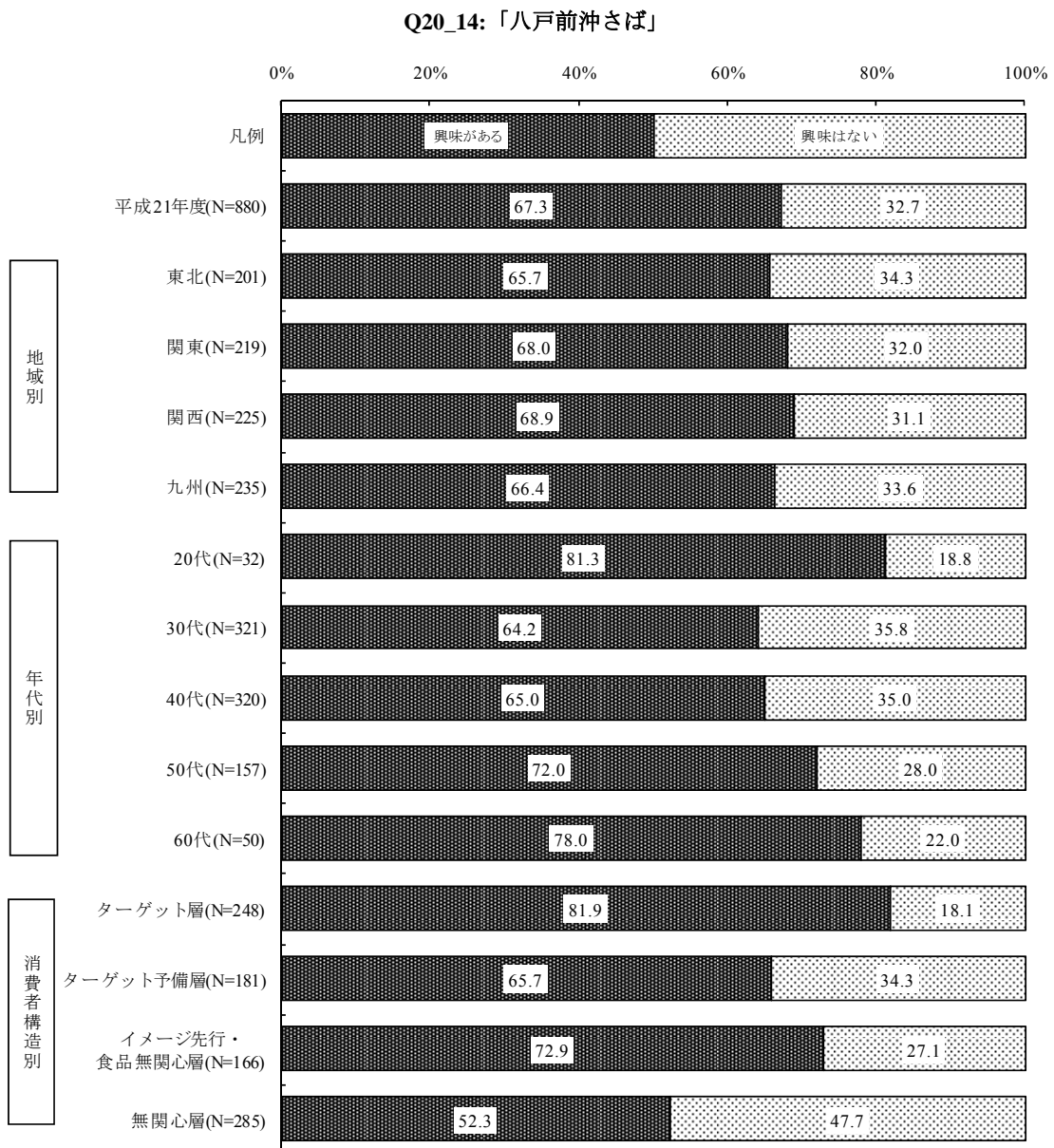
図表 IV-123 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 67.3%、「興味はない」が 32.7%
- ・ 年代別では、30代と40代で若干関心が低い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 81.9%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 72.9%と、他の層と比べて若干高い

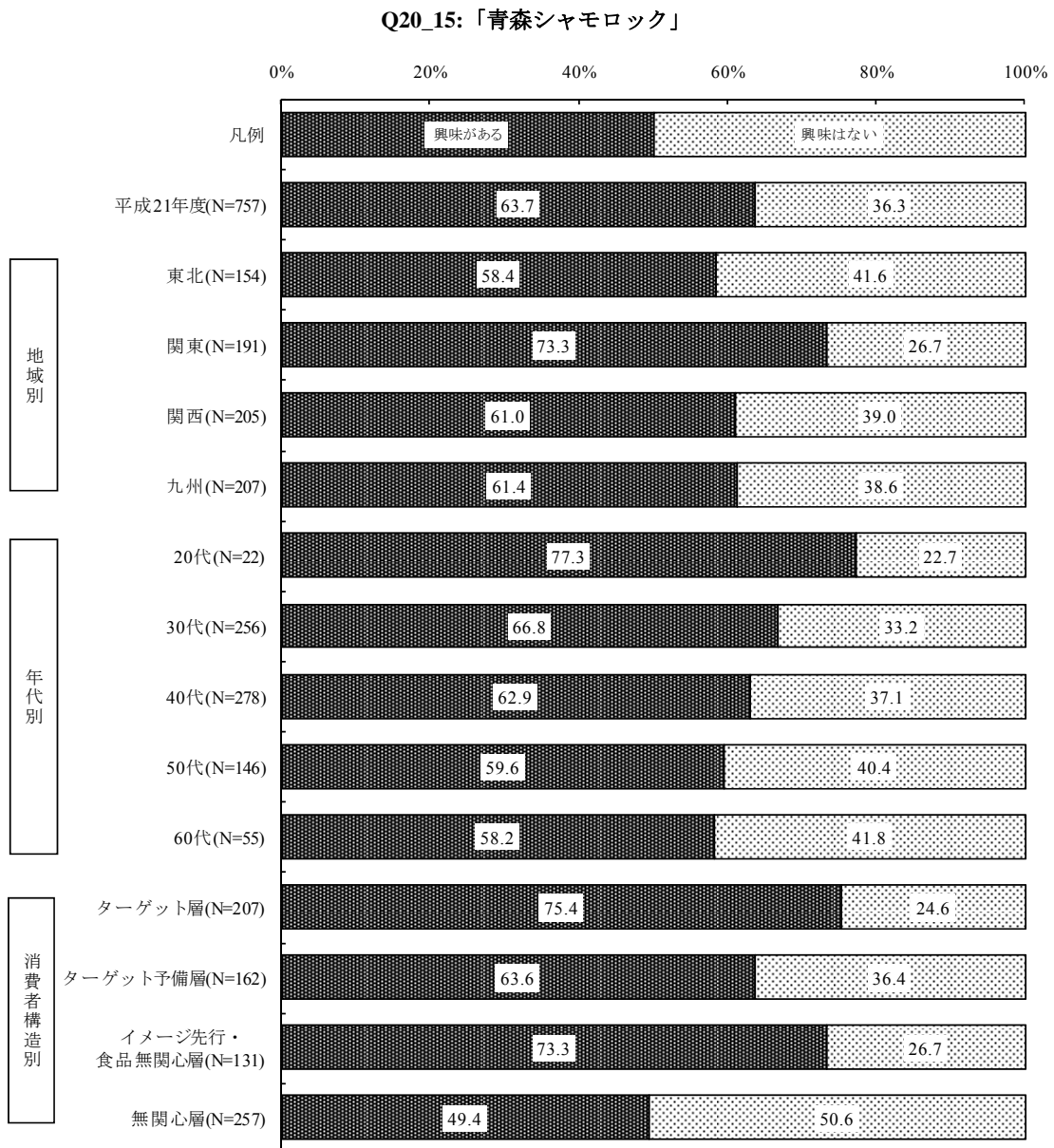
図表 IV-124 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 63.7%、「興味はない」が 36.3%
- ・ 地域別では、特に関東で「興味がある」が 73.3%と高い
- ・ 年代別では、年齢が若くなるに従い興味が高まる傾向
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 75.4%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 73.3%と、他の層と比べて高い

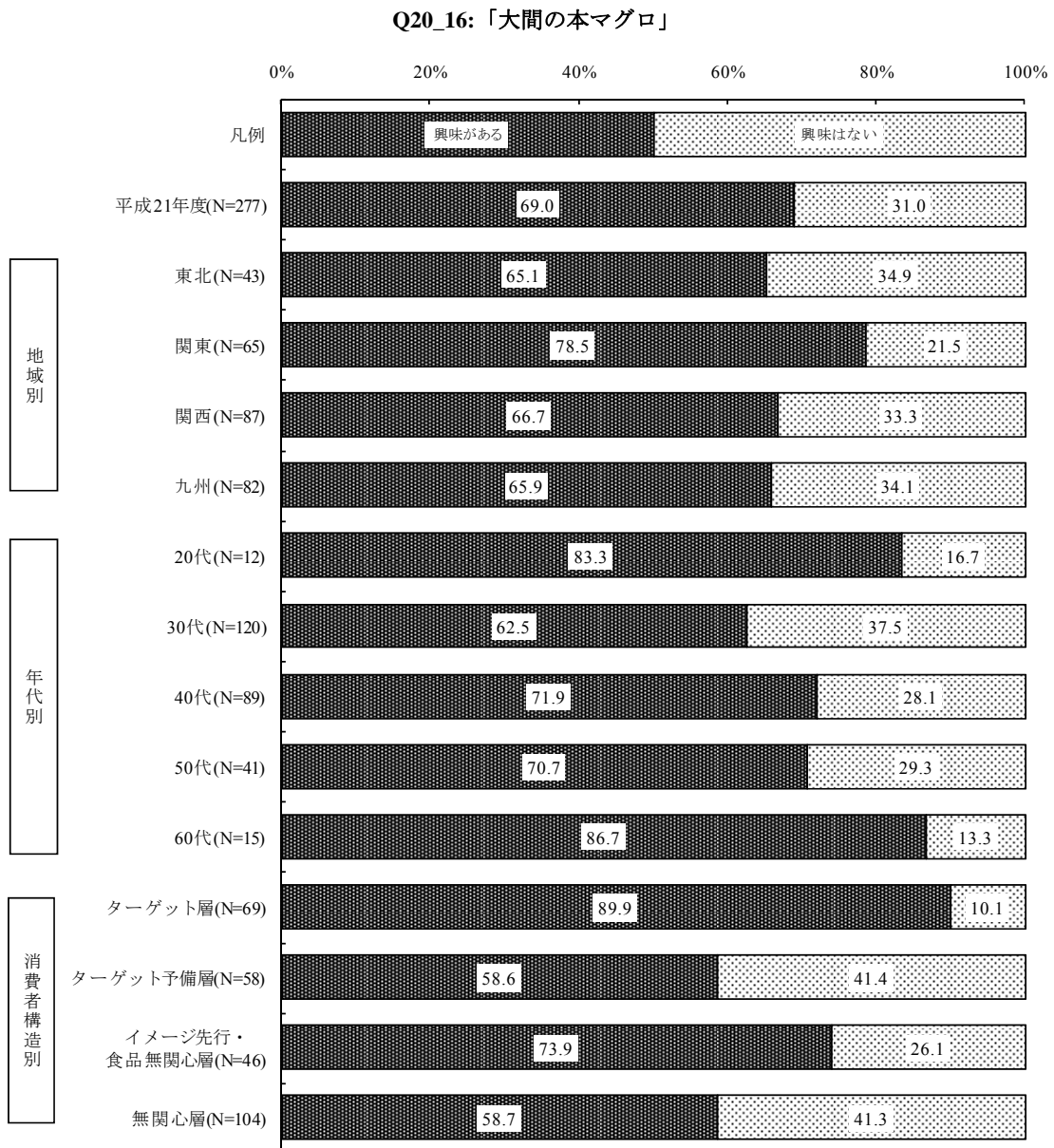
図表 IV-125 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 69.0%、「興味はない」が 31.0%
- ・ 地域別では、特に関東で「興味がある」が 78.5%と高い
- ・ 年代別では、20代（83.3%）と60代（86.7%）で興味が高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 89.9%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 73.9%と、他の層と比べて高い

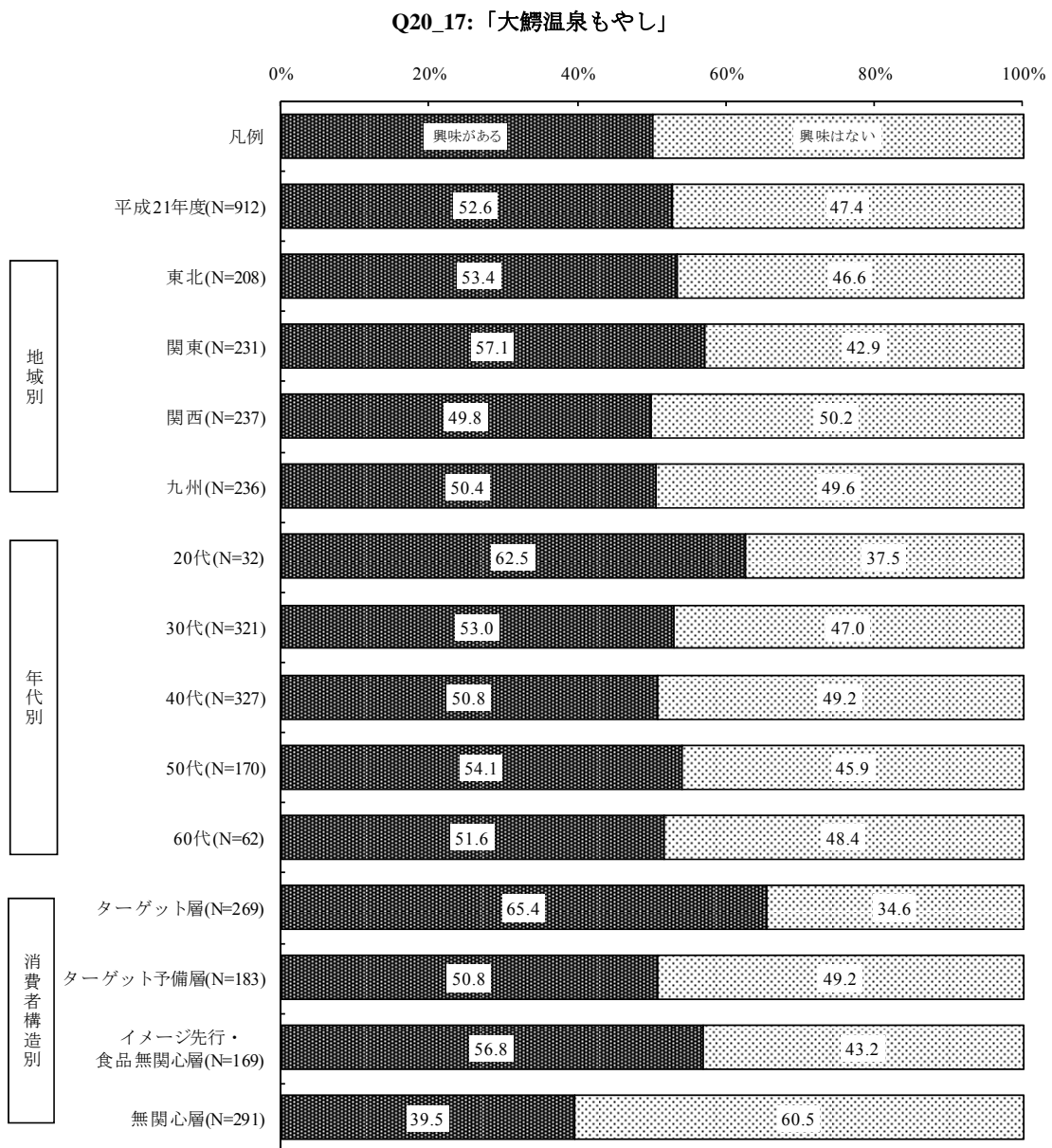
図表 IV-126 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 52.6%、「興味はない」が 47.4%
- ・ 地域別では、特に関東で「興味がある」が 73.3%と高い
- ・ 年代別では、20代で「興味がある」が 62.5%と比較的高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 65.4%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 56.8%と、他の層と比べて高い

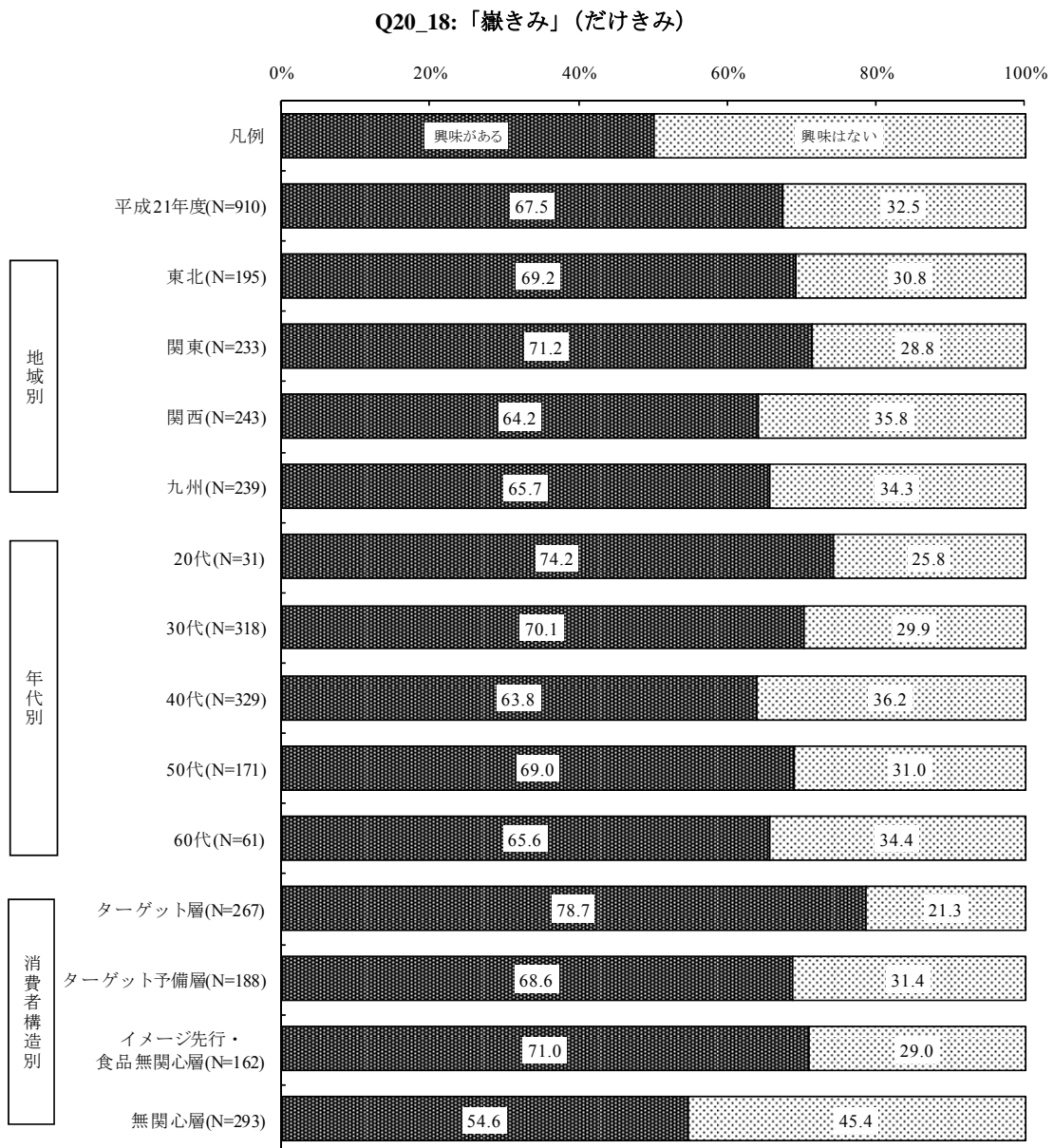
図表 IV-127 「あおもりの食」に対する興味



Point

・ 全体では、「興味がある」が 67.5%、「興味はない」が 32.5%

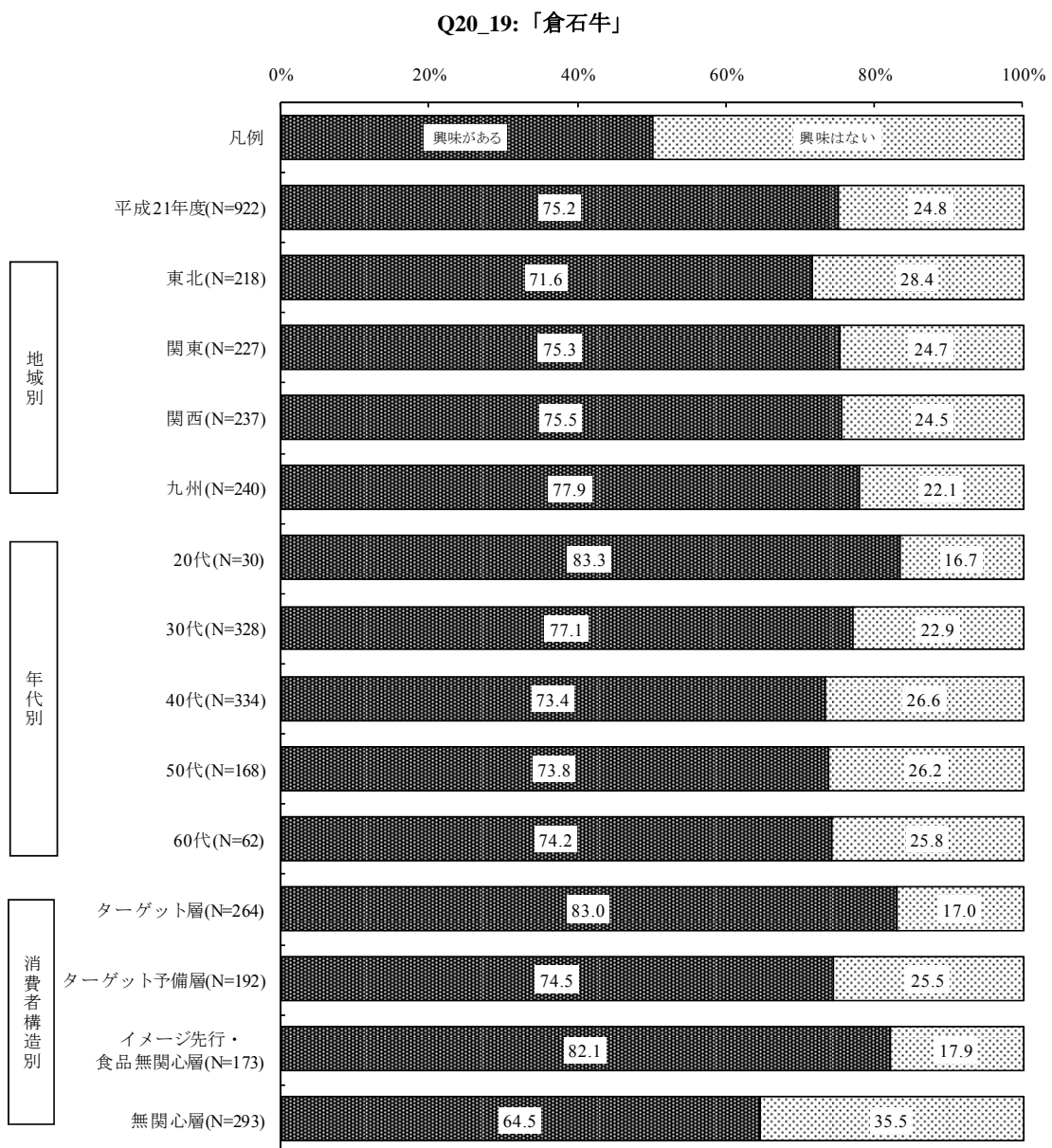
図表 IV-128 「あおもりの食」に対する興味



Point

・ 全体では、「興味がある」が 75.2%、「興味はない」が 24.8%

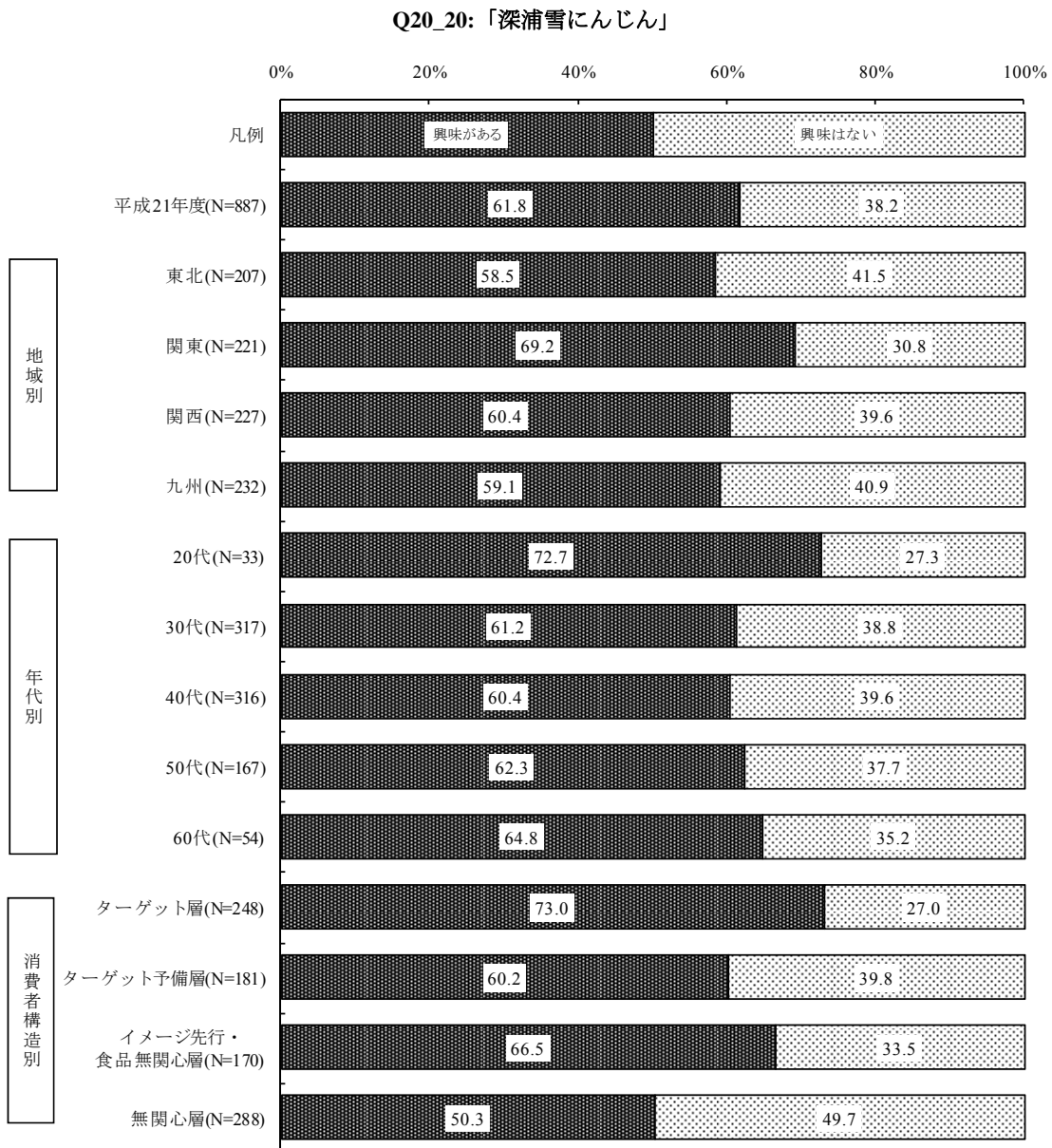
図表 IV-129 「あおもりの食」に対する興味



Point

- ・ 全体では、「興味がある」が 61.8%、「興味はない」が 38.2%
- ・ 地域別では、関東で「興味がある」が 69.2%と比較的高い
- ・ 年代別では、20代で「興味がある」が 72.7%と比較的高い
- ・ 消費者構造別では、ターゲット層で「興味がある」が 73.0%、イメージ先行・食品無関心層で同じく 66.5%と、他の層と比べて高い

図表 IV-130 「あおもりの食」に対する興味

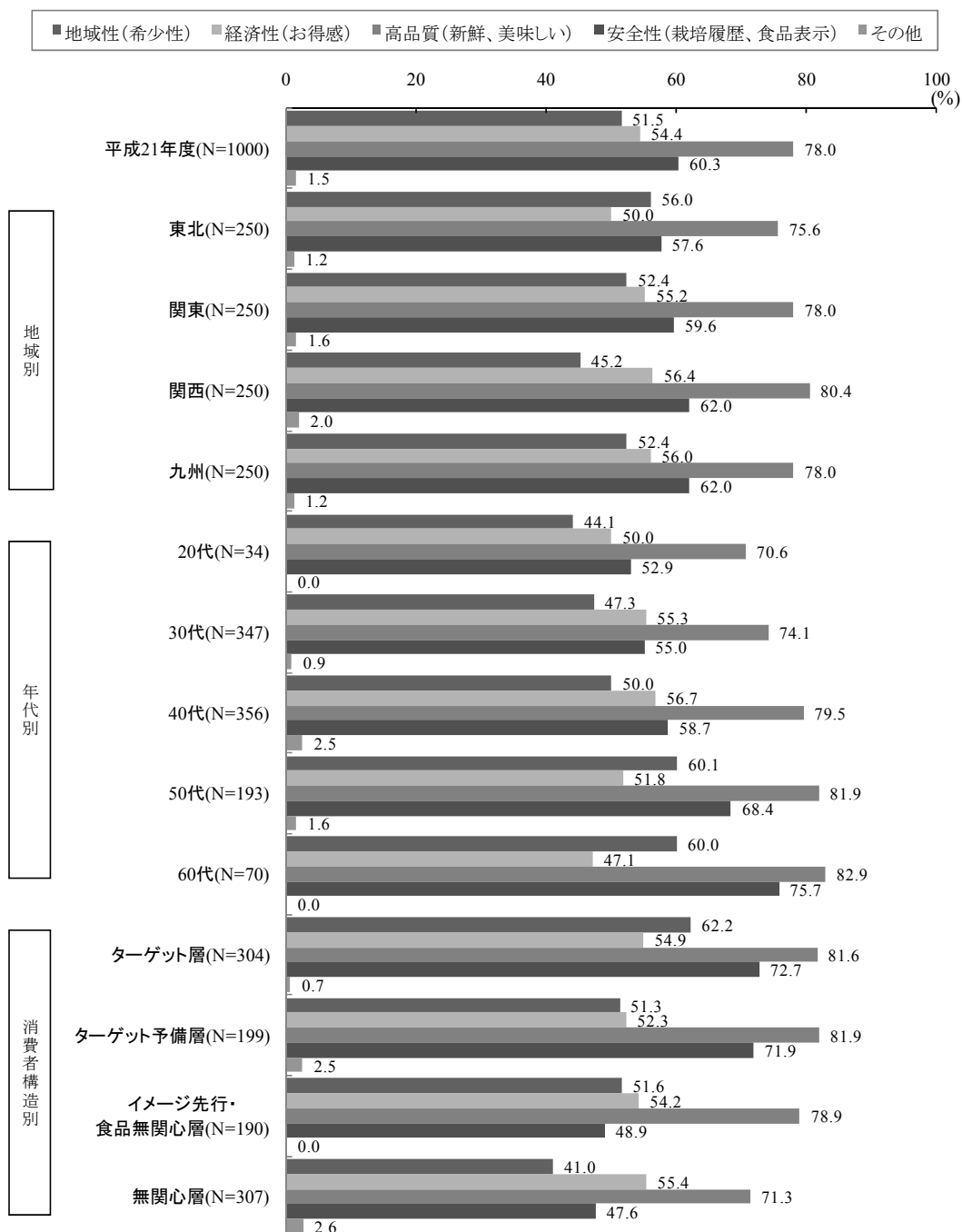


(5) Q21 : 「あもりの食」を選ぶ(食べる)とした場合に重要視する点(複数回答)

Point

- ・ 全体では、「高品質(新鮮、美味しい)」が78.0%と最も多く、次いで「安全性(栽培履歴、食品表示)」(60.3%)、「経済性(お得感)」(54.4%)、「地域性(希少性)」(51.5%)
- ・ 年齢別では、概ね年齢が高くなるに従い全ての項目の重視度が高まる傾向

図表 IV-131 「あもりの食」を選ぶ場合の重視点



その他 (N=15)

その他の内容	件数
味	2
おいしさ	1
なし	1
異なる食材を食べてみたい	1
何かしら健康に良いメニュー	1
価格	1
購入のしやすさ	1
斬新さ	1
試食がある	1
選ばない	1
調理のしやすさ	1
入手しやすい	1
話題性	1
無回答	1

IV-3. 自由回答結果

(1) Q10：青森県産品を「安心して食べられる」理由

地域	年代	消費者構造層	Q10：青森県産品を「安心して食べられる」理由
東北	20代	「ターゲット層」	丁寧に作られてる感じがするから 地元の物を使っていると思うから 産地が分かる 作った人がわかれば安心できるから。 嘘をつかないイメージがある。
		「イメージ先行・食品無関心層」	新鮮そうなので 実家があるので、青森が産地のものは信用できると思っている 国産だし自分で表示等を確認して購入しているから。 あまり食べたことがないため良く分からない
		「無関心層」	食材にこだわりがありそうだから。
	30代	「ターゲット層」	隣接していますし、車で1時間以内かつ、地元のスーパーでも小さい頃から売られており、 今も変わらず売っている商品が多いので、子供にも安心して食べさせられると思っているの で。 隣の県なので、賞味期限や旬の食材はだいたい分かるので 地場産のものはいろいろな面であんぜんだとおもっているの で。 地元産だから 地元で取れる食材が多いので新鮮だということ 昔ながらの食品が多いので。 青森そのものが好きだから。 生産場所などの記載が明確 生産者がわかるような表示だから 信頼できる 食品が一番に安心して食べれないものは口に入れたくないので慎重にしています。 国内産である、しかも同じ東北のものだと鮮度が良さそう 国産で安心できる 県内産のものが多くから。 県産品をよく知らないの 健康によさそうだから。 空気がおいしい、水がおいしいイメージがあります。 なんとなく人柄的に。 なんとなく、同じ東北として信用できるし、安心できる
		「ターゲット予備層」	地元の人間ではないので、どの程度安全か(無農薬・低農薬か、どんな人が作っているか など)判らないから。 地域性や素材の鮮度などのイメージからなんとなく 全てが有機野菜とは限らないし、加工物にかなんては材料に安全でないものを使っている かもしれないので。 青森産の買ったことがない よく知らないため。 たべたことありません
		「イメージ先行・食品無関心層」	隣県ということで、なんとなく安心感があるから。 隣の県なので親近感もあるし、特に生鮮食品は鮮度が良さそうだから。 余計なものが入っていないので 美味しい物でも、自分の嫌いな物が入ったら食べれないので 比較的近いから 農薬などはあまり気にならないが、異物などは気になる。「安心して食べられる」とは、冷蔵 庫に入れておいても腐るもので、いつまでも元気なものは逆に怪しい。 特に魚介類は旨みが全然違うので、地元産だとわかるから。 地元の農家と提携しているから 昔からよく食べているので。 青森県の農産物はよく食べているから 青森県が好きだし友人知人もいるので信頼している。 実際食しておいしいので。 青森は、福島と同じ東北なので、なんとなく。 青森の知り合いの評判が良い 新鮮だったから 新鮮だし、実際食べてみて品質も良いと思うので 信頼できるから 食品は地元産だった。 秋田産は安心して食べられると思っているので、隣県の青森県も流通の面でも近いとい うこともあり、安心して食べられるイメージがあるので。 国産だから 具体的にはわからないがイメージ的に 魚介類が新鮮でとても美味しかったのを覚えています。 基本はイメージがそうであるということだが、国産であり、隣の県のせいも親近感もある。ま た、大きな偽装問題などもきかない。

東北	30代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>海産物など、新鮮な物が多いような気がする 加工会社などの名前を全く知らない。 何となくだが、値段の安さだけを追った悪いイメージとはかけ離れているから。 安心して食べられないと困る よくりんごを買うのですが、生産者から直接購入しているの、安心して購入でき、食べることが できます。 なんとなく地場産品物が多そうだから なんとなくイメージで。PR活動などを見ていると生産者の方々が一生懸命にいい物を作っ ていると言う気がしました。 なんとなく、自然豊かで、無農薬っぽいから イメージですが、青森の人は人がよさそうなので。 イメージがわからないので。</p>
		「無関心層」	<p>物によるので。 漠然としたイメージです 特に気にしていないから 製造・作った過程をみたものでもなく、自分で作ったものではないため、安心か安心ではな いかは実際はわからないため。 深く考えたことは無く、食べられるのが普通だと思っている。 新鮮な魚介や田子産のにんにくなど健康的で安全なブランドが多いイメージがあるから。 食べたことないからわからない 実際に買ったことがなくてわからないから。 実際、青森県産を意識して購入したり、口にしたことがないため。あ、にんにくは青森県産 を購入しております。 国産だから。 青森出身だから。 行った事はあるが県の特産品は食べていないので分からなかったの 関心がないので 何の情報もないので、答えようがないから。 どのような理由で「安心して食べられる」と言えるのかわからないから。 どこの産地であっても必ず安心とは言い切れないため。 どうなのかわからないので あまり青森産をみかけることもなく、あまり意識した事がない。 あまり詳しくないので あまり気にしたことがないので、よくわからない</p>
	40代	「ターゲット層」	<p>表示と違い誤魔化している業者もあるので、どちらとも言えない。 農業が発展していそうだから 農業、水産県であるから 東北地方ですし、まして東北3県は味が濃くと思う。 味の薄いのが山形県なので(私個人として) 青森県は、大丈夫だと思いました。 なので安心して食べられると思います。 地産池沼品が多い特にリンゴ、たこせんべい汁はおいしい。 地元の生産者等を知っている。 地元のものを使っている 地元でとれたものを加工したのが多いと思うので。 昔から食べているが、健康に問題ないから。 地元産の物が多いから。 青森県産のりんごやジュースが美味しいから。 青森県はリンゴが名産。味も良いし新鮮。落下リンゴはジュースにとちょっと価格は高めだ が安心して食べたり飲んだり出来そう。 青森県では食品に関して悪い事件を聞かないから。誠実な県民性なのではないかという 印象があるから。 青森は海あり、山ありで、新鮮なものが豊富だから。 生産者表示があるものを選んで購入するので、何かあったときは問い合わせできるから 生産者の方の人柄が出て 変な物を作っていないのではないかと感じました。 生産者と密接 身近な県産なので情報がまわりやすいから 新鮮な感じがするから 新鮮そうなので。 新鮮 取組む姿勢が伝わるようなPR等をよく目にするから。 自然栽培されてそう 産地表示がきちんとしてある。 産地や生産者がわかればなんとなく安心 国産である為 国産品は安心だと信じているから。 国産なので。 購入するものはだいたい青森産の原材料のものなので。 県民性が真面目という印象から 近県で、青森の情報を知る機会も多いので、良いイメージがあります。 イメージです。</p>

<p>「ターゲット予備層」</p>	<p>本当に安心安全なものなのかは誰にも判断出来ないと思いましたので。 品物によって違うと思います。魚介類はいまのところ安心してますが、原発の再処理工場問題もあるし、農産物は作り手によってぜんぜん違います。加工品はあまり知りません。 品物・売り場で品質が均一だとは思えない 表示偽装の事件等があり、消費者としては判断し難いから。 青森県の食品に限った事ではありませんので、販売されている商品すべてに当てはまる事だと思っています。 青森産といわれるものが見つからない。リンゴぐらいだから。 青森県産の食品をあまり食べた事がないから。 青森県のことがわからないから 食品の偽装加工をしている業者が、青森からよく出てくるのを報道で触れる機会が多い。りんごが中国産なのに国産と偽装表示したジュースを販売したとか、つい最近では、偽装ではないかもしれないが、2〜3日前の報道で、青森の加工会社の製造したサバ缶に高濃度のヒスタミンが検出され、健康被害があったとか、回収されたというのを見た。 食べたことがないし、青森県に行ったこともないし、連れてってもらっていないので、いきたくが、子供がいるのでたいへんだし、子供が大きくなって、独立してふたりになったら息子といっしょに行きたいと思います 国産なので 県産品はどこ県でもブランド化していて、大切な県のPR商品ですので、きちんと情報や状況を把握しているはず、そのため安心だという認識をしています。 ほとんど青森産を見かけない。 どんな意味で安心なのかわかりづらい その商品がそうなのか分からないので安心できるか判断できないのでどちらとも言えないを選びました。</p>
<p>「イメージ先行・食品無関心層」</p>	<p>隣の県なので親近感があり、なんとなく、安心感もある。 表示がすべて信頼できるとは思わないので。 地産地消を意識して作ってれば、安心のイメージがある。 地元産だから 青森県は素朴というイメージがあるが流通してくる間にどうなっているか分からないので安心かどうか不安もある。 青森県の海産物を戴くことが多いのですが、新鮮な素材の味が生きていて、素朴だけれど本当のおいしさを味わうことができるから。 青森でなくてもこのものでも全部安心できるわけではないから。ものによってちがうとおもったから。 自然的でクリーンなイメージがあるから。 近いから りんごが思い浮かんだから ネット販売のお店などで購入した時に(野菜や貝類)丁寧に梱包されているのを知っているので、大事に自信を持って販売しているのだと思います。ネットで顔が見えない販売ですが、安心して食べられます。 イメージが当てはまりました。</p>
<p>「無関心層」</p>	<p>隣の県なので流通中の保存料とか使っていないそうだから。 隣の県ではあるが、安心かどうかはよくわからないし、青森県人で嫌いな人がいるからです。 地元でつくられているイメージがあるから。 地域的に近いので新鮮かな?と思う 大手といえども安心できるには限らない。 青森県に限ったことではなく、製造年月日や産地の改ざんなど、疑わしいことが世間で騒がれているから。 新鮮な気がする 情報が少ないし、スーパーでも並ぶことがあまりないので安心して食べられるかどうかは判断できない。 県産品を良く知らない 近県なので、新鮮なまま流通してる感じがします。 何がどう安全か基準はいろいろあるから直に見てないので なんとなくですが、田舎なので(福島県も田舎ですが)真面目に作っているというイメージがあるからです。 とくになんの情報もないから どうやって作られているかわからないものもあると思うから。 それだけの情報がない、あるいは認識していないため、情報として持っていないから。 それだけの理由ではないから あまり青森の食品に接したことがないのでわからない。 あまり意識して食べていないので、安心なのかどうか判断しかねます</p>

東北	50代	「ターゲット層」	<p>売れ売れドンドン優先ではないゆえか、じっくり良いものを作っているイメージがあります。しかし今日、それが良いとばかり言えないからね・・・というのが問題かも。</p> <p>農作物について、県全体が協力して取り組んでいる事をテレビで拝見しており、とても身近に感じている。</p> <p>同じ東北という事もあり、又地産地消に力を入れていいるものがある気がするから。</p> <p>同じ東北で地元食材のような感覚でいただける。</p> <p>青森フジりんご、長いも、にんにくは必ず青森産を食しております。</p> <p>冬に自分でキムチを漬けますがその当時お付き合いのあった八百屋さんから絶対青森産といわれそれ以後何十年と青森産のにんにくを使っています。</p> <p>土地柄が素朴さがでていて食品においてもまじめさが感じられる。</p> <p>地場さんを、使用しているでの安心感がある。</p> <p>地産がわかりやすいから</p> <p>地元産の商品はりんごや海産物が多いので。</p> <p>知人に素朴な人柄の誠実な人がいる。</p> <p>産地としてつとに知られた銘柄に信頼を寄せる。</p> <p>知人、友人がいるので安心です。</p> <p>青森産のものを食べた事がないのでわからない</p> <p>青森県産品であることが表示されていること。</p> <p>新鮮である事。</p> <p>青森でなければ、食べられないおいしいものがたくさんある。</p> <p>生産者の表示が多い</p> <p>生産者の住所や写真で紹介されていて安心できる。</p> <p>信頼できそうな気がする。</p> <p>減農薬など、各産地・特産品についてはどの地域においても充分考慮している様に思いますが。消費者が求めている事もあるけれど、生産者がブランド化するための必須項目になっています。ただ、まだまだ心配なのが、食品添加物とその表示方法だと思います。大手メーカーは、大量生産大量消費のために宣伝に大金をかけ、消費者はついつい購入しますが、添加物には、絶対身体に悪いものなのに、なぜ何のために入れているのか・・・認可添加物とはいえ心配でなりません。そう言う意味では、地域の特産品には、安心安全が浸透してきていて、まだ安心度が高いと思うからです。無添加にこしたことはないですが、添加した場合の表示は徹底し、何のために添加する必要があるのかまでも知りたいおもいです。</p> <p>原材料がしっかりしている。</p> <p>県産品として出している物は信頼が出来ると思います。</p> <p>近県に住んでるせいか、産直品に関しては安心して食べています。加工品については表示が気になりますが、生ものはほとんど「すっきり安心」状態です。</p> <p>何回も青森に旅行に行っているなのでその実感としてそう感じた。</p> <p>お土産の加工品には添加物の入っているものがあるから。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>特に海産物に関しては海が近いイメージがあり、鮮度が良いイメージがある</p> <p>青森産であることを気にして食べていない</p> <p>青森の食品といえば、旅行のときの宿泊先の食事と観光地の食事ぐらいしかありません。意識して、青森産を購入したこともありません。</p> <p>生産者の写真など添付してあれば、安心できる。</p> <p>農協の推薦書が、添付されているものなど。</p> <p>信頼がある</p> <p>情報不足でわからない。</p> <p>自然農法な感じがする。</p> <p>あまり知らない土地柄なので、よくわからない</p>
		「イメージ先行・食品無関心層」	<p>同じ東北地方の商品である。ニンニクなど知っている商品がある。</p> <p>同じ東北なので安心感があります。</p> <p>青森というイメージがよいため</p> <p>生産者に偽りがない感じがするから</p> <p>産地がわかる</p> <p>ネットで情報を見ますが、商品の説明が、丁寧に書いてあるため、交換が持てますし、安心して食べられると思います。</p> <p>テレビや雑誌を見てそう思ったから</p> <p>「りんご」を取り寄せて食べていますが、そのたびごとのパンフレット、葉等から生産者の誠意が伝わってきますので、安心しておいしく頂いております。</p>

東北	50代	「無関心層」	<p>特に青森県を意識してないのでわからない 低農薬の気がする 青森産を気にした事が無い。分からないから 青森産はりんごしか知らない 青森県に限らず食品全般に対してそう思うから。(食品偽装や産地偽装など) 生産者の顔が見える 試食をしておいしくて買って食べたらずいものがある 経験がないから。 よく知らないから。何が信頼がおけるのかもまったくわからない。テレビなどでやずやのにんにくのCMを見たが、あれはどういう関係があるのだろうか。それもわからない。 その土地に住んでいないので どういう生産の仕方をしているか また 育てかたをしたいるかなど わからないし実際にみたことがない メディアでの 情報もあまりないからおもえる 食品や産地品のPRが もっとあれば認知度も上がって安心度もますかと思われる すべてが安心とはいえないのでどちらとも言えないを選びました。 あまり食べた記憶がないから あまり気にしない</p>
		「ターゲット層」	<p>旅行に行ったとき買ってきたものや、通販で買ったものが、いつも美味しくて、新鮮でがっかりしたことがあまりない。 旅行に何度も行ったりしたとき、地元の魚や野菜やりんごなどを食べたが、とてもおいしく新鮮だった。地元でとれたものに関して信頼できる。 同じ東北県民としては試行錯誤しながら生産している素朴さを感じる 産地、添加物などの情報がはっきりしているため 商品に表示があるので 産地品を信頼できる。 以前食べたことがあり、にんにく、いちごに、新鮮な魚等大変美味しく、沢山購入して来た。 以前に購入した物が美味しかったから。 お中元、お歳暮に毎年むつ市のほたてを送っているが大変喜んでもらっており、受け取る方達も心待ちにしており業者さんも、鮮度の良いのを発送してくれるので安心して利用させて頂いております。 PR似て生産者がはっきり示されている。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>賞品によって違うので具体的にこたえることができない 情報が十分でない。 青森の食品やブランド品は値段も高いので、同じような物で地域で出来ている物の方が安心して食べられるし、価格も手ごろ感がある。</p>
関東	20代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>地方の物は信用している。 新鮮で、減農薬や添加物が少ないと思うから。</p>
		「ターゲット層」	<p>表示がみやすくなっているので</p>
		「ターゲット予備層」	<p>色んな食品があるし、イマイチ知らない。 あまり目にしないので、ほとんど流通してないのかな。</p>
	30代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>生産者の方たちががんばって作っているイメージがあります。</p>
		「無関心層」	<p>物によってもちがうので 国産だから なんとなく。例えば青森県産のりんごはブランドイメージもあって信頼できる気がします。 例えばりんごなどは国産品なので、比較的安心して食べられると考えている。ただ、その中でも、農薬の使用量などによっては安心できない場合もあると思う。そのあたりは、個別の商品を見て判断する。 理由は特にないのですが、なんとなく… 青森という地名に対し、親近感とか安心感が日ごろからあるせいかもしれません。 添加物や薬品に気を使って作ってほしいから 青森はりんごとか、純粋なイメージがあるから。 青森と聞くと素朴な感じで、作っている人もなんとなく信頼できるため。 大自然の空気のきれいな場所で作られているだけでも、美味しさや安心感が感じられる。 製造地情報が記載されていると、国産品(ことに、地元で作られているもの)であることが分かり、信頼を裏切られない感じがする。 信頼があるから 商品自体あまり記憶にないので、わからない。 住んでいたから 産れが青森だから 最近よくデパートの物産店で青森のものが売られているのを目にするので 百貨店においてであると品質がいいと思うから 国内だから 国産で、しっかりしたところで作られているから。 国産だから 空気が良さそうなイメージなので。 安全に気を使ってほしいから にんにくはいつも青森県産を買っています。 あくまでもイメージです。すみません。</p>
		「ターゲット層」	

「ターゲット予備層」	<p>物、お店の管理状態にもよると思うから。 品質表示を気にしたことがないから、わからない 特に意識して食べたことがないから 中国産よりは安心だけど、表示類を信じてるわけではないから 青森産の食材のイメージがわからない。 青森県産のものを購入して食べたことがないので、どちらとも言えないを選びました。 青森県産に限らないから 青森の特産品についてまったく知らないんで、どんな商品があるのかとか、わからなかった ので「どちらとも言えない」にしました 産地から離れているので、流通過程がわからない 国産だから。 安心して食べられるかどうかは、特に青森県に限ってというイメージとは関係ないと思うか ら。青森には行ったこともないので、まったくわかりません。 しぜんがゆたかであるため。 あまりよくわからない土地であるから</p>
「イメージ先行・食品無関心層」	<p>贈答品やお裾分けなどで、青森のリンゴジュースや煎餅を食べた事があり、 味や品質がしっかりしていたので。 店も卸売業者も100%信じられるか?否か? 青森県産と表示されているからにはそうであると思うし、青森県は日本なので日本の農産 物の基準に合ったものを生産していると思うから。 商品自体をあまり知らないんで 出身地が近いから食品の内情がわかりやすい。 加工食品は購入しないので、旬の食材であれば安心して食べられる 国内産なので 国産品なので安心感がある 国産だから なんとなく知っている場所なので。 スーパーなどで売っている青森産は生ものが多いために、詳しい情報が手に入りにくい。 ただ、体に悪いものはないだろうと思って購入している。 あまり気にしてないから</p>
「無関心層」	<p>農薬が多そうないめーじだから 特に意識したことがないなら 知らないことについては評価できない 全面的に「青森の品だから安全だ」とは言い切れないから 青森産のものをほとんど食べた事がないのでイメージがわからない 青森県産を食べた事が無いのでわからない。 青森県には騙そうとするような人はいないイメージがあるから。 青森の農家をよく知らないから 青森の県産品といわれても、これといったものが思い浮かばなかった ので 青森が田舎だという、イメージにより、食品偽装など無い様に思う。林檎や林檎ジュースを、 取り寄せた際、大変質のいいものだった。 信用するしかないから 食品に関わらず商品、製品など『安心』は崩壊しつつあるように感じる。 自然のものがたくさんありそうだから 自然が豊かなイメージがあるので、あまり農薬などを使わず伸び伸びと育てられている産 物が多い気がしたので。 国内のものなのでそう思いました。 減農薬のりんごを食べているから 県産品をよく知らないんで りんごがおいしいから ものによるから まったくイメージがない なんとなくなのですが、寒い中で農家の方が丹精込めて作っているイメージがある。リンゴ のイメージが強いのですが青森のリンゴは美味しいと思うし、青森りんごと書いてあると美味 しそうに思う。有名だからそんな雑な仕事はしてないだろうと思ったから。リンゴ以外ではよく 知らないんでイメージがわかりません。 それほどイメージがない。 そのようなイメージがある。 そこまで考えて青森県産のものを買ってないから</p>

<p>「ターゲット層」</p>	<p>農薬をあまり使ってなさそう 日本で生産されて流通しているものは安心だし安全だと思う (海外駐在で危ないものを食べたので本当に実感してます) 通販で取り寄せて食べたことのある食品に関しては、そのような感想を持ったから。 地元産で生産者情報により信頼できるから 前にテレビで青森の農家の方を取材しているのを見たので…。 青森物産店には何度か足を運んだことがありますが、そこで販売されているものには新鮮 度が高く、十分な知識ある店員さんの説明があるので安心出来る。 青森産のふじりんごが好きです。あとごぼうなど 青森産とついていると自然な感じがする。 青森県産りんごなど安心して食べられるにきまっているから 生産者の方々のお声を直接伺う機会があったから。 新鮮な食品がありそう 場所がはっきりしているから。 主人の大学時代の友人が青森に住んでいて毎年秋になると青森産の取れたてのりんごを 送ってくれるのが家の近くのお店で買うより新鮮でシャキシャキして美味しいため安心し て食べられると思ったので。 産地がわかっているから 国産品だから。 国産の物だから 国産なので安心だとは思いますが、最近は産地偽装などあるので心配な面もあるから。 国産なので 国産というのも、安心です。 国産で産地が指定されているから。 国産でさらにブランド品は品質保持に力をいれているから 国産だし青森の生産者はなんとなくまじめなイメージがあるので。 県民性が信頼できるから 何となく信頼できそうなイメージなので。 一所懸命に仕事しているから 安心して食べられるためには生産情報開示が必要だから りんご等いつもおいしく食べてるから。 りんごなどこだわってそうだから マグロなど魚介類やリンゴなどを思い浮かべたのですが、ちゃんと手入れして安全な 食べ物であるイメージがあります。 スーパー等で、顔がわかるもの(生産者)があったり。テレビなどでもPRしているから あまり詳しく知らないの</p>
<p>「ターゲット予備層」</p>	<p>本当に青森産なのかわからない 特に未使用と表記がされていないなら、農薬や保存料があるとおもってしまう。 青森県産品に詳しくないので、安心かどうかの判断が出来ない 青森県の農業についてよく知らないの。例えば宮城県なら、県を挙げて、安全なお米作 りに取り組んでいます、そういった情報を得られないので判断ができません。 青森の商品が思い浮かばないから。にんにくくらい？ 人間が素朴でいい人が多そうなので、食品に対してもそうなのだと確信している。 自然の中できちんと育てられた食材であると思うから 国産としての安心度合いはあると思うので、特別青森がどうこうという印象はもっていない。 県産品がどんなものか知らないの、どちらも言えない。 近くないから良く判らない 各商品のブランドが何か解らないので…。 ちゃんとした生産をしているから</p>
<p>「イメージ先行・食品無関心層」</p>	<p>物産展以外では本当に青森産かどうかよくわからないから 農家の方々がしっかりしているから 青森だからと、一概にはいえないから 生産者が大事に育てているイメージがある 信頼できる人々が生産していると思うから 信頼がある 産地、生産者が明らかにされていることが多い。 作っているところを実際に見たわけではないから。 国産であること。 国産であること いろいろな偽装事件が以前あったから今は逆に生産者側も品質には気を つけているとおもっから 基本的に判断するほどの知識が無いから。</p>

関東	40代	「無関心層」	<p>余り、食べたことが無いのでよく分からない。</p> <p>本当に青森の特産品かどうか分からない場合がある</p> <p>特に青森だからどうこうということがないので、特に安心とも不安とも思いません。</p> <p>素朴さを感じる</p> <p>青森産にこだわって選んだことがないし、安心の基準がよくわからないから。</p> <p>青森県産とういどリンゴしか思いうかばないから。</p> <p>青森県産がどうか知識がないから。</p> <p>青森の県産品をそう思って食べたことがないので</p> <p>生産から販売までのルートがよくわからないから</p> <p>食べたことがないのでわからない</p> <p>食べたことがないので、言いようがない。</p> <p>商品自体をあまり知らないから。</p> <p>収穫してすぐのものが流通しているとは限らないとおもったからと、農薬を使用していそうだから。</p> <p>りんごもかなりの農薬を使用して栽培していると聞いたことがあるから</p> <p>実態がよくわからないから。</p> <p>国産品は基本的に信用しているので</p> <p>国産品なので。</p> <p>国産だから</p> <p>現場を確認したわけではない。偽装のものも多い。</p> <p>県産品のことをよく知らないから、どうい物があるのかもわからず、なんとも言えない。</p> <p>具体的に商品が思い浮かばないし、その都道府県名で安心する物でもない。</p> <p>都道府県別に食品メーカーが全て定められている訳ではないのに答えられない。</p> <p>過去、実際に意識して食べた事が無いので、「どちらとも言えない」と回答しました。</p> <p>安心して食べられるには青森県に限った事ではないから</p> <p>りんご以外の特産物を知らないから</p> <p>まったくのイメージです。青森が田舎のためそんなイメージがあります。</p> <p>どんなものか全く知らないから</p> <p>いままで意識して食べたことがないので、なんとも言えないと思った。</p> <p>あまり名産を知らないから。</p> <p>あまりそのことについて考えたことがないから。</p>
	50代	「ターゲット層」	<p>品質管理がきちんとしてそうだから。</p> <p>地方特有の味や新鮮さもあると思うので、「安心して食べられる」と思いました。</p> <p>青森独自の特産物があって、私自身も岩手出身なので岩手で良く海産物などは購入します。又、品質に付いては同じ東北という事もあって東北の人は品質には厳しくチェックしていて、周りの輪があって意外と良く情報はつしんしています。</p> <p>生鮮食品の特産物が多く、梱包、流通などに気を配っていると思うから。</p> <p>新鮮な食材に恵まれた土地柄もあり安全かつ安心感を抱く</p> <p>詳しくは解りませんが、商品の表示や農薬などの情報が詳しく表示されていると思います。</p> <p>自然が豊かで水がきれいだから。</p> <p>私がいつも購入するのは、安心安全なものを提供してくれる宅配業者(ネット販売あり)です。ですから、そこから来る青森産のもの(例えば新農業研究会のリンゴ等)は安心して食べられますが、青森産で他のものはあまり食べていないので、それを安心して食べられるかというところは言い切れなかったもので、どちらとも言えないにいたしました。</p> <p>今までに食べたものについて、安全面や美味しさなど、不安に感じたことがなかったので、安心して食べられるを選びました。</p> <p>国産品なので。</p> <p>国産品という点で安心感がある</p> <p>現地加工だから、安心。</p> <p>良心的な値段</p> <p>偽装問題で、報道を受けていない</p> <p>安心できると思うので</p> <p>にんにく他、青森産は、他県に比べ新鮮、日持ちも良く2人家族でも、無駄がありません。</p> <p>私は、生れつきの心臓病、2度の手術4度心停止、乳がんの手術も経験、2年前、主人が白血病を発病し、食生活では、とにかく新鮮な食材をと気を配っています。</p> <p>主人はまだ再発の可能性も高いので、新鮮食材を重視して、青森産のお世話になると思います。</p> <p>イメージが品質や人柄で信用できそうだから</p>

関東	50代	「ターゲット予備層」	青森産のものに詳しくないから 青森をイメージできないから 商品についての詳細を知らないため。 実際に青森産のもので、確実に安心して食べられる、という情報を持ってないため 一概に青森県の特産品と問われても回答できない。個々の品名を聞いて欲しい。
		「イメージ先行・食品無関心層」	地場製品が多い。今日規模企業でつくっているお菓子や保存食が多い 地元産なので。 人柄が良いというイメージがあるから。 自然食品が多そうだから 子供の頃から食べている 産地を表示しているのだから 産地の物であれば新鮮だと思ったので。 最近では産地偽造や薬品使用など問題も多いので安心感は非常に大切だと思う 国産である。生産者がわかる。 何となく誠実なイメージなので おいしいから。
		「無関心層」	物によるので、一概には言えない 物によるので 青森といえばりんごのイメージしかないのだから、りんごは殆どが農薬を使ってると聞いた事があるのだから 情報が多くない 国内産だから あまり手に入らない。流通していない
60代	「ターゲット層」	「ターゲット層」	品質表示が正しくないものがある 八戸のしめさばが丁度良い味付けで添加物不使用、しかもサバの身が太っている。 特産品を信用しているから。 青森産の果物は普段良く食べている。 最近では産地偽造や生産者偽装事件が多々あるので青森県での事件は無いと思いつけるわけではないがその為に。 県民の性格が正直で真面目な印象があるので信頼できそうな気がする。 なんとなく青森県の印象がいいので。 おもに生ものたとえば果物などを主に買うので新鮮だし、農薬もあまり回数かけてないのと 触れ込みがあるので安心して食べています。 いろいろあるから
		「ターゲット予備層」	素朴というイメージがあるせいから、人を騙すことはしないだろうと思います。 青森産の商品は東京ではあまり流通して購入する機会が非常に少ないので、予想として答えました。 青森でどのように作物が作られているのかわからない 何に対して安心かわからず漠然としすぎている
		「イメージ先行・食品無関心層」	別に深い意味はないのですが、リンゴ等はブランドにこだわるわけではないのですがなぜか安心して食べることができます。 特に問題のある情報は得ていないから。 実際に食べて不都合がなかった。 国産だから
		「無関心層」	青森県産を意識して購入・食したことがない 青森に限らず今の時代安心して食べられるのは自宅の庭に作ったものくらいしかない。 実際に商品を見ていないので 自分が気に入った物を買ってから当てはまらないと思う にんにく・りんごくらいしか思いつかないので

関西	20代	「イメージ先行・食品無関心層」	どこの地域産でも同じような気がするから とりあえず、国産なので。		
		「無関心層」	国産であることに大しては安心という感じがするけど青森県産だから安心とは思わない。		
	30代	「ターゲット層」	農業や肥料に注意しているそう 地方なのでやさしそう 地元で作られているなら信用できる。 丹精こめて作っているイメージがあるから 体に悪い農薬とかは使ってなさそうなので…。 イメージです。 素朴な田舎の雰囲気があるイメージなので、めったやたらに悪いものは使用して栽培して いないだろうという思いがある。 青森産と聞くと、国内で生産されたものなので、安全で安心という印象がある 青森=自然豊かと言うイメージから、安全であるように思うので、青森の特産品への品質は 高いのかなあと思ってます 生産者お一人お一人が農業に真摯に向き合われているイメージがあるため 新鮮なイメージがあるので 国産品である 国産で、品質が良いから。 国産だから 海も山も綺麗で食べ物美味しいイメージがありますが、核廃棄物処理場があるのが心配 です。 果物のりんごは手軽にスーパーでも手に入り、安心して食べられるから。 りんご農家のテレビ番組を見て りんごのイメージしかないですが、そのりんごはよく青森産を買っているから よく宣伝されて、安心して食べられる いまいち青森のことを知らないなのでイメージもわかかなかった。 あまり農薬を使っていないイメージがある。		
			「ターゲット予備層」	りんごなどの名産地なので、安心して食べられそうなイメージがあるから。 表示がはっきりしているものから、はっきりしていないものがあること、イマイチ価値が見出 せない 農薬などは使用していると思うから 想像がつかないので。 青森料理を全く知らない 青森県産を意識して購入したことがないので、判断できないから。 青森の特産品はりんごしか食べたことがなく、よくわからないから。 産地を気にしていないので 今までにニュースなどで報道されたこともなく、特に安全面において悪いイメージがないか ら。 行った事がないため、正直に書きました。 行ったことがないので、わからない 県産というだけではわからない 県産というだけで、イメージできることはほとんどないから。 なんとなく・・・、水も空気もきれいだから。 うそがなさそう。 すべてにおいて100%信頼できるものなど どこにも売ってないので イメージ的に あまり口にしてないから	
				「イメージ先行・食品無関心層」	有名国産だから 物がよさそうに思ったので 品物により安心できるかどうかはわからないと思うから 品質が良い 青森産は自然な感じがするから 青森産の物を普段口にしないので、分からない。 青森県をよく知らないからです。 青森のりんごなど有名な物で問題になった事が無いので。 青森のイメージが良いので・・・! 新鮮で美味しいものが売っている

関西	30代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>新鮮そうだから 情報をあまり知らないから。 小さい子どもがいるので 産地が信頼できるので。 今まで何も事件などなかったと思うので 国内産だから 空気のきれいなところで作られているイメージがあるから 近場で購入することができないのでどちらともいえない ニンニクとりんご以外よく知らない なんとなく、国産だし、悪いことしなさそうな県のイメージがある。 イメージだし手にとって実物を見ないと不安なので・・・ あまり食べないので分からない</p>
		「無関心層」	<p>すべてが安心できるわけではない。 メーカーやその商品ごとに、確認をしなければならないと思うから。 輸入品の多いこの頃では、農薬のかかっているモノは多数あり、心から安心して食べられるものは少ない。 普通だと思うから 品物によって、変わってくると思うから 特に安心であるとか不安であると思ったことがないから 知らないので分からなかった 他と変わらないと思うので 鮮度が良いイメージがある。 青森産の物がすべて安心かどうかはわからないから 青森産と意識していないからよくわからない 青森県産だから、安心とは思わない。 青森の特産品を目にすることがないので、わからない 身近に青森の特産品が無いから、よくわからない 食べたことないと思うので。 食べたことがないから 詳しく知らないから。 国産は外国産に比べ農薬残量が少なそう。国内は流通する時間が早いので 余計な成分はなさそう。(長持ちさせる添加物など) 国産なので 国産だったら安心して食べられると思ったから 国産だし、農家の人がちゃんと作ってくれているので。 間違えましたが、戻れません。 「わからない」に印をしたかったです。 安全面に対しては、ちゃんと検品はされるかとおもうけれど、一概に大丈夫と聞いても ちょっと懸念する部分があるので。 どの食品が青森県産か分からないので判断できなかったため。 それは青森県に限らず、どこの県でもそう思うことは同じだから 「正しい県」というイメージがあるから何となく。</p>
	40代	「ターゲット層」	<p>有機農法をしていそうだから。国産品だから。 表示の不正や、産地の不正などがよくあるので、安心できないと常々思っている。 派手さは余り無いが、地元の方がしっかりと丁寧に作っているイメージがある。せかせかしていない感じがする。 都会で作っている訳では無いので安心です。 大間のマグロなど、世間一般に認められているものがあるため。 青森県産としての物をあまりよく知らないのどちらともいえないです。 青森県産で有名なにんにくなど、良質感があり、安心して使わせてもらっているから 青森に知人がいるので。 商品を見てもないと国産の品物であってもわからないから。 実家が青森なので、子供の頃から食べ慣れていて、良く知っているから。 作った人の写真や、こだわりが商品についていると安心する。 国内産のものなら、偽装などが無い限り、安心できると思うから。 国内で生産されていると思うから 国産品 家族の健康管理に必要 以前リンゴなどで、あまり農薬を使っていないということをテレビで見たので。 なんとなくイメージで。取りあえず国産なので安心かなという程度。 おいしそうだから</p>

<p>「ターゲット予備層」</p>	<p>農産物等、新鮮なものを扱っているイメージがある。 全然接する機会が無いので、よく分からなくて、どちらとも言えないとしました 青森産の食べ物にあまりあわない。 青森産だけでは信用できない 青森県産の食品自体あまりお目にかかったことがないので。 青森県産のものがスーパーに置いてないので買った事がない。 よって、どのように生産しているかの情報もなく判断のつけようがない。 青森のことを全く知らないの。 生産者が努力で無農薬生産されていても流通段階や陳列段階での品質管理が完全ではないのではないかと思えるので 食に興味があり、旅先でも地元のお店や商店街で賑わっているお店に入り、その土地の調味料や食材を買います。 青森へ行ったことがありませんが、地方都市へ行くと、必ず賑わっているお店があり、そこには地元の農家の素材を使った調味料やジャムなど、生産者の顔や製造方法がわかる表示があります。新鮮で安心というイメージが伝わるので、青森も同じかなと思いました。 実際に安心して食べられるかどうか、今までに経験がなく、判断つきかねるから。 国産だから 見たことも買ったことも無いから。 具体的な根拠はありませんが、イメージとして青森の生産者の方が真面目に作っておられそうに感じるから。 京都から遠いのでどのくらいの鮮度が保てるのかわからない。 何となくそんなイメージがある 安心できるものが少ないので そのような広告や公示を見たことが無いのでわからないから。</p>
<p>「イメージ先行・食品無関心層」</p>	<p>特産品のところへは行ったことがないのでどちらとも言えないを選択しました。 大間のマグロのイメージがあったので 素朴さ感がおおいこありそうだから。 実直そうな県民性、農業の盛んな県、リンゴが美味しい。 産地偽装品である可能性があるため。(青森産と表記されているのに青森産ではなかった時の不安感) 今まで嫌なうわさをきいたことがない 国内産で、産地がはっきりしているから。 国内産だし味が確かな気がする 国産だから。 国産だから 工場や車の交通量も少なく、空気もきれいだし、農地も広いイメージだから 現代では何も信用できない 何となくあまり農業などを使用していないイメージがするから 安心できない物は販売しないだろうと信頼しているから りんごなどの特産地だから信用ができる なんとなく、国内だし。 どこで作られたかによって安心できるというものではないので。</p>
<p>「無関心層」</p>	<p>物を見ないと分からない 農業が盛んな感じがするので、特に加工とかしてない感じがする。 田舎のイメージがあるので 全く知らないの、なんとも回答しようが無かったから。 青森県名産のものを特に気にして買った事がないから 青森県産に限らず地方の物産などは、その土地の物を使って作られているので、中国産などに比べると全然安心して食べることが出来ます。 青森県産というだけではわからない 青森県の食品を、あまり利用したことがないので。 青森のものをよく知らないから 生産情報の表示がなければわからないため。 食品表示を信じられない 食品を選ぶ基準として、「有機栽培や減農薬」であることを重視しているが 青森の県産品をあまり見た覚えが無いので、判断できなかった為</p>

関西	40代	「無関心層」	<p>食べた事がないのでわからない。</p> <p>商品の安全性に関する表示が無かったように思う</p> <p>産地がわかるので</p> <p>最近食べていないのでよく分からないから</p> <p>県産品の有名な食べ物がかんが分からないから。</p> <p>県産品のイメージがあまりわかなかったので、答えようがない</p> <p>何となく、素朴なイメージで安心できそうな気がします</p> <p>一言で青森県産の食品といってもいろいろあるだろうから。</p> <p>このアンケート以前に、青森産というものを意識して購入したわけではないので、回答の基になる経験値のようなものが無い。</p> <p>いろいろな物質に汚染されていないように思うから。</p> <p>あまり知らない。こちらではほぼ見かけない。</p> <p>あまり青森産の食べ物を普段かかないのでよくわからない。</p> <p>あまり関西には品物が入ってこないのわからない</p>
	50代	「ターゲット層」	<p>地元産の商品を有効に利用していると思う。</p> <p>人間が正直である。</p> <p>都会、特に都市圏より正直で信頼できるので約束事は守っていると信じて購入できる。</p> <p>素朴で正直そうな県民及びその人々たちによる行政の印象を持っているから。</p> <p>鮮度がよく、素朴で日本人にあった食材を提供している。</p> <p>生産者は信用できるが、流通過程が信用できない。</p> <p>新鮮である</p> <p>食べたことがないし購入したこともないので、広告とかテレビで知ったことだけでは判断してはいけないと思った</p> <p>産地直送だから</p> <p>何が…?と言われれば回答に困るが、郷土食のイメージが強く、又、長寿のイメージがあるので。</p> <p>りんごのイメージしかわからず、他の特産品をよくしらないので。</p> <p>まず国産であること。</p> <p>りんごをイメージしたのですが今までトラブルもないスーパーでの表示もちゃんとしている。</p> <p>ネームバリューが大きいから</p> <p>テレビで、りんご等の、収穫の様子などを、見ていて、思った。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>特産品として食したものはりんごだけと思うので全般で安心して云々とは言えない。青森県産と知らずに食べたものがあるかもしれないが思いつかない。</p> <p>青森県は田舎だから素朴さがよい。そのため、悪いことはしないと思う。</p> <p>青森県のイメージとしておいしいものが沢山採れるイメージがあるので</p> <p>青森は、遠いので輸送に時間がかかると思うのでりんごぐらいしか思い浮かばない。</p> <p>青森に限らず、国産は安心できる。</p> <p>食品産地偽装が多すぎる</p> <p>商品についての知識が乏しいから</p> <p>実際に物を見ないと分からない</p> <p>遠い産地の物なので、りんごぐらいしか知らず、安心して食べられる物が多いのか、あるのか無いかよく分からないので、どちらとも言えない。</p> <p>すべての品物が同じように安心とは限らない。</p>
		「イメージ先行・食品無関心層」	<p>直送品を購入することが多いから</p> <p>素朴な所だから。町の人が温かい感じがする</p> <p>青森県産すべてが安心して食べられるとは限らないと思う</p> <p>生産者売り場が近くて新鮮</p> <p>生産者情報がはっきりしているので。</p> <p>真空パックしてあるので安心</p> <p>国産だから</p>

関西	50代	「無関心層」	青森の素朴な感じからそう思える 青森のリンゴはいつも食べているので。 食品添加物が入っているとと思うので、それらが体にどう反応するかは食べてみないと分からないので。これは、青森にかかわらずどの商品にも言えることですね。 国産だから 減農薬と表示されていても、果たして本当なのかと、疑ってしまいます。これは、別に青森県に限った事ではありませんが。
		60代	「ターゲット層」
		「ターゲット予備層」	青森県の品物は、あまりお目にかからないし、買うのが難しい。 めったに買うことが無い。デパートで特産物として、買うぐらい。 なので、良くわからない。 青森県のイメージから率直さと正直さを感じるから 青森県に行ったのは修学旅行のときで旅館で出されるものにその頃は関心も無く安心して食べられるかどうかは問題視されていなかった。 食べた事がない 個々で違うのでどちらともいえない このあたりで青森産のものが売っていないので良くわからない。 あまり情報無い どんな物が美味しく特産品なのか分からない
		「イメージ先行・食品無関心層」	安全である事が一番 生産者がどの程度、農薬の使用が把握できるか?疑問
		「無関心層」	青森産の商品はお米ぐらいしか思い浮かばないから 地域の特産品ならば安心感があるように思う
九州	20代	「ターゲット層」	新鮮でおいしそう 農業や自然豊かなので、まずそれだけで、安心感がある。 会社で、農業を支援しているイメージがあるのでいいです。 子供がいるので。 青森のイメージが安心・安全・新鮮 だから
		「ターゲット予備層」	あまり見かけることがないし、口にすることもないので、よくわからないため。 県産品がどのようなものかわからないから。
		「無関心層」	物によってはということだけ。青森県産だから安心とかいうことは考えたことがない。
	30代	「ターゲット層」	農業に力をいれているイメージがある 農業が盛んなので。 特に理由はないがとても新鮮なかんじがする 東北の人のイメージ。(素朴で純粋に頑張っている感じ。) 農業が盛んで丁寧な作られている気がする 青森の商品がどのような物か判らない為 青森のりんごだったら、安心して食べられるイメージがあるから。 青森といえばリンゴが一番に浮かびます。 おいしいというイメージが強いし、安心して買っています。 食べる人のことを考えて作っているのがよくわかるから。 自然が豊かだから、美味しいに間違いはない! 国内産であるし、青森県産の大根やりんごを時々買います。 青森と九州では距離があるので、採れたて新鮮とはいえないと思いますが、自然などきれいなイメージで、採れる農産物も生き生きと育ったものばかりじゃないかなと想像しています。 国産品だから 国産のものだから 県産ものは安心だと思えるから。 偽造されてないとは思わないから 環境が良い場所で栽培される食品などは、水・空気もよく 普段スーパーなどで安売りされているものとは 全く品質から違い、体に良いと思うので選択しました。 安全そうだから 安心できない理由が無い。 りんごがとつても、おいしいから。 にんにくやりんごなどしっかりブランド化されていて味も良くどれを買っても安心 どこで作られたのか、現地では安心して食べられているのかが分からないので。

「ターゲット予備層」	<p>青森の食品を良く知らないので 林檎などの果物や海産物が豊富そうだから。 普段よく知っているもの・購入するものとして「にんにく」・「りんご」ぐらいですが、味もおいしいし、いつも購入するところでは安心して食べられるものがあるから。 特別に思い当たる事柄がなかったから。 特別きにしていない。また、安全であるところかで思いこんでいるからきにしてないところもある。 また、青森産にこだわってるものがないので、どちらとも言えないと答えた。 素朴なので、変な偽装とかしてなさそうなイメージ。 全く、知らないから、わからない 青森県産を意識して買った事がないから 青森県の食品を、あまり見たことがないため。 青森県に限らずどの都道府県においてもいえることですが、青森県産とひとくちに言っても安全性における意識の違いは企業ごとに違うから。 青森のリンゴや野菜(にんにく)などは品質もおいしいので安心してたべています。ほかに青森の特産品が思いつかないのもっとPRすべきだと思います。 食べたことがないから 国内産かどうかは気にするが、青森産がどうなのかはよくわからないから。 県産品と銘打ってあるものは各県で基準をチェックされていると思うから 安心して食べられるだけの判断材料となるものがない デパートなどでの物産展で、青森県の物産店には行ったことがなく、商品のラベルの表記を見たことがなく、添加物等の情報を知らないため、どちらとも言えないを選びました。 スーパーに並んでる商品のどれが青森産かわからない。 実際青森に行ったこともないし、物産展でもこちらの方では青森物産展は見たことがない。 このことから、青森から長崎に来るまでの間、どれほど鮮度が保たれて、どれほど安心感のある物かわからないので「どちらとも言えない」を選びました。</p>
「イメージ先行・食品無關心層」	<p>店頭に並ぶ以前の行程がわからないから。 青森はいったことがあるので、現地の様子を見て。 東北のものにあまりはずれがない 青森のイメージ、国産だから。 新鮮なイメージがある 実際に食べた事が無いので、想像出来ない。 実際に食べたことがないので。 自分たちの土地の物をみんなに食べてもらうために安心して食べてもらえるものを作ってるよう泣きがする 国内産であり、悪い噂を聞かない。 国産だから。 そもそも安心して食べられる食品の基準がわからない そう思わないと何にも食べれないから。</p>
「無關心層」	<p>品質が良さそうなイメージがある 表示に嘘偽りが無く、農薬なども外国産に比べてましそうなので 農地が多そうなので、国産であると思う・・・ 当県は青森から遠すぎるため産直でも日数がかわかると思うから。 全ての食材がそうだとは言い切れないと思うから。 全くわからないから安心はできない 青森産の食品といってもりんごくらいしか知らないし、安全性についてもよくわからないので。 青森産だからと買わないから 青森県産の食品をほとんど食べないから 青森県産だという事を意識して食べ物を選んだ経験が無い。 青森県の特産品を知らないなので。 青森の県産品がこれというものが、りんごぐらいしか思いつかばず、よくわからないので</p>

九州	30代	「無関心層」	<p>食べ物にこだわってつくっていきそうなので。 食べたことがないから 産地表示自体があまり信用できないから。 産地偽造がなさそう。 国産なら、中国産ほど不安ではない…という程度。 行った事がないので、分からない 近くに青森産のものがなくどんなものがあるかわからないから 偽造食品が多すぎるので、表示も信用性がない。 偽装等もあるかもしれない。 意識して食べたことがないから。 意識してみているので判断できないから なじみが無くイメージが湧かないから。 どこの地域でも、食品の改ざんなどあるだろうから。 地元で採れたものが一番信用できると思う。 あまり食べたことがないから あまりこだわらないので、よほどのことがない限り不安はない。安心できない物を市場に出すことは我国ではないでしょう。</p>
	40代	「ターゲット層」	<p>林檎に関しては産地直送便で購入しているほどだから。 有機農法のやさい…にんじくは青森産しか購入しません 特にこれといったことではないですが、なんとなくのイメージで。 青森県のイメージが農産物が豊富な感じがする 青森県に限った事ではなく、全体的に「食の安全」という観点からの意見 青森の食品についてあまりよく知らないで、なんとも言えないと思ったから。 青森のりんごで無農薬でワックスがついていないりんごを買って食べたことがある。おいしくて安心して食べた。 青森と聞いて真面目な印象があるから。 食品は主に生協で購入していますが、その中に青森産のものもある。 自然が豊かそうなので食品も安心、安全な感じがする 国内で作ったものだから 国産品であるし、青森の県産品としてはりんごやにんじくをよく購入しますがおいしいし信頼できる。 国産でありマクロで言えば大間のように出所がはっきりしている 安心できないものが、福岡で売られるはずがないと思うので。 にんじくやお米市が知らないけれど、食べた感じで安心感があつた。 そぼくでおいしい。 いったことがないので想像できない</p>
		「ターゲット予備層」	<p>良く知らないから 本当にその生産品かわからない、遠ければ遠いほど産地偽装の疑いが大きい。基本は地産地消が理想。 福岡では青森の商品を手にするのがないので。 大丈夫だとは思いますが、実際に商品を見かけないのでそう答えました 青森産の物を口にするのがほとんどないから。 青森産の商品が少ない 青森産のものといえば「りんご」くらいしか食べたことがないのでわからない 製造過程がわからない。材料に何を使っているのか国産なのか輸入ものなのかわからない。 食べたことがないので解らないから 食べたことがナイからなんともいえない 情報が少ない 商品情報が豊富ではない。 商品自体あまり購入する機会がないし 購入した記憶がないのでよくわからない。 実際に青森の県産品を見たり、食べたりしたことがないから。 国内産だから 国産なら意識しない。 国産なのでなんとなく 県産品として国内で幅広く流通させるからには品質管理もちゃんとできているはず。 危険だという情報もないが特に安全だという情報もないから 過去に偽装や事故などのニュースを聞いたことがないため。 意識して、あまり青森産をいただいてないので、わかりません。りんごくらいかな？ ローカルなイメージだから まったく知識がないので、特別なイメージを持っていない スーパーによっては青森産と表示してあつたが、皮をむいたら痛みがひどいものにあつたことがある。りんごで。 あまり知らないから何とも言えない あまり身近じゃないのでわからない あまり食べたことがないので安全だと言う確信がもてない あまり購入したことがないし、自分の利用する範囲の店では普段「青森」の商品を扱ってないのでわからない。</p>

九州	40代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>青森産と明記されてるだけで信用できる。</p> <p>青森のりんごはおいしいです。きちんとしている印象があります。大間のマグロもおいしいですよね。初めて食べた時はびっくりしました。</p> <p>青森のリンゴなどはTVにも見られるし信用できます。</p> <p>情報があまりなく、判断しにくい</p> <p>リンゴなどは有名だし、力も入ってるし、グリーンコープで生産者の方の顔が見られたりするので安心なイメージがある。</p>
		「無関心層」	<p>青森県産の物をりんご以外にあまり知らない。</p> <p>青森県産の食べ物の事を良く知らないの。</p> <p>青森県産の商品をよく知らないの。</p> <p>青森県産のものをよく知らないの。</p> <p>青森県を知らないの、どんな品物も安心とは思えない。</p> <p>青森の方は素朴そうで嘘をつかなそうなので。</p> <p>青森の食材がわからないから</p> <p>青森の事を知らない</p> <p>青森の佐保九品の知識が無いの</p> <p>青森の県産品と言われてばっと思ひ浮かぶものがないので答えようがない。</p> <p>食べ比べてないから</p> <p>食べてみないとわからない</p> <p>商品を見かけないのでよくわからない</p> <p>実際食べてないのでなんともいえない</p> <p>実際に食した事がないから、答えられない。</p> <p>実際に食したことがないので。</p> <p>国産なので</p> <p>行った事も無く、食べ物もほとんど知りません</p> <p>価格が安かったらどれも良い</p> <p>どこもおなじだとおもったから</p> <p>あまり見かけたことがないし、意識して見たことがないのでどちらともいえない</p> <p>あまりスーパーなどで見かけないので食べたことがないので良くわからない</p>
50代		「ターゲット層」	<p>農薬とか添加物を使っていないような感じがする。</p> <p>地産の製品だから</p> <p>素朴な感じを受けて、自然物が多いような感じがするので</p> <p>青森県産品として出荷してると、いいかげんなことをしていると、イメージダウンになるので、県外に出す時は一層きをつけていると思うから。</p> <p>青森県産のものを手に入れる機会が少なく判断しにくいので。</p> <p>青森の黒石市のリンゴ生産者は全農家で減農薬栽培に取り組んでいるということを知らされているから</p> <p>青森のアンテナショップで購入するのでそんなに悪いものは置いてないと思う。自信のある商品をおいてあると思ってるから</p> <p>水、空気が綺麗だと思し、環境がいいと思うから。</p> <p>食の偽装問題などがあり不安もあるので。</p> <p>国産品は安心して食べられなければならないから。</p> <p>りんご、ほたてなどはよく買うから</p> <p>テレビなどで見たイメージで、そう思った。</p> <p>イメージだが、生産者と消費者の距離が近い気がする。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>青森県産について何も知らないの。</p> <p>青森の食品を食べたことが無いので何とも言えない。</p> <p>商品の情報を知らないの、なんとなくわからないという気持ちで選びました。</p> <p>今まで製品を見ていないし、経験も少ないので、ハッキリしたことが言えません。</p> <p>国産だから</p> <p>行ったこともないし現場を知らないのでも何とも言えない</p> <p>県産品をあまり食べた事がないので、不明</p> <p>りんごが大好きです。りんごは青森というイメージがあって、青森産の物は安心して頂いています。そのりんごを通じて、長いもや、他のお野菜なども「安心」して利用させていただいています。</p>

九州	50代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>特に問題・事故等を聞いたことが無い</p> <p>食べ物で全く農薬、食品添加物等の含まれていないものは皆無と言っても過言ではないと思うので・・・。</p> <p>今、何処の産地でも、偽装が多いので、そう思いました。</p> <p>安心していつもリンゴを食べているので</p> <p>テレビなどでもよく色々紹介してるし新鮮で食材も豊富で安心できる品物ばかりだと思うイメージとしてだが、米や野菜が美味しいイメージがあるので。</p> <p>産品に何があるのか、知らない。青森旅行の土産ももらったことがないので、テレビだけの想像ですみません。</p>
		「無関心層」	<p>日本国産だから</p> <p>全く知らないので無難な答えにしてみました・・・。</p> <p>青森県産と一口に言われても生産者によっていろいろあるであろうから答えようがない。</p> <p>青森の産直品を知らないから</p> <p>情報がないので</p> <p>国内産はとりあえず安心と思う</p> <p>個々の商品の安全性はわからないので</p> <p>県民性のイメージに素朴感があって、自然に近い気がする。</p> <p>具体的な商品のイメージがないので、答えにくい。</p> <p>会社ぐるみで不正が行われていたりするので全てを信じる事はできない。</p> <p>何年も前で忘れたため</p> <p>りんごとか安全そう</p> <p>りんごとかに農薬を使っていそう</p> <p>りんごいがいは食べたことがない</p> <p>どこの農産物はわからないから</p> <p>テレビとか見ていると、みなさん良い人に見えるから・</p> <p>イメージ的にそう感じた。</p>
	60代	「ターゲット層」	<p>林檎などを取り寄せて食べたから。</p> <p>水が良質</p> <p>産品についての情報が多い。</p> <p>産地・賞味期限・消費期限がはっきりしているものが良いです。又肥料や農薬が沢山使っているのは敬遠したいです。形やサイズにはあまりこだわりません。</p> <p>行ったことがない土地だし、自分の目で確かめれない</p> <p>会社が自分で言う分にはあまり当てにならない。</p> <p>そのために書き込みを用意しているのでしょう。</p> <p>一応それを読んでみて参考にする。</p> <p>何となく理由はないが空気が綺麗そうで汚染が少ないかなと思う</p> <p>りんごしか知らない。美味でいつも購入して食しているから。</p> <p>よくわからないが、マスコミ情報で思った。</p> <p>あまり農薬を使ってないような気がする</p>
		「ターゲット予備層」	<p>新鮮な食べ物が多いような気がする。</p> <p>青森の食べ物はあまり食べたことがないので分かりません。</p> <p>青森県アンテナショップで時々買物をし購入したものに不確かなものは無かったから</p> <p>具体的な食べ物の名前がないので「どちらとも言えない」にした。</p>
		「イメージ先行・食品無関心層」	<p>青森県の食品は知らないのでどちらとも言えない</p> <p>なんとなく信頼できるイメージがある。青森県のイメージが良いのだと思う。</p> <p>青森といえば、やはりリンゴですね。テレビで収穫の場面など目にする機会があり、生産者の方々が出荷するまでの話を聞くことができる。【いかに消毒を控えるのか】</p>
		「無関心層」	<p>偽証が多いのであまり信用できない。</p>

(2) Q16 : 青森県産品に対する意見

地域	年代	消費者構造層	Q16:青森県産品に対する意見
東北	20代	「ターゲット層」	<p>にんにくとかが有名だけど、高いと思う。</p> <p>ブランドイメージが定着していると思う</p> <p>もっと県産品に触れられる機会があればいいと思う。</p>
		「イメージ先行・食品無関心層」	<p>おいしいものがたくさんあるイメージ</p> <p>もっと広告などでPRしたほうがいいと思う</p> <p>りんごのお菓子がおいしいです</p> <p>機会があれば食べてみたい</p> <p>親戚が青森県出身なのでよくお土産に青森の県産品を頂くのですがどれも美味しいので、自分でもっと近くに、手軽に買える所を作って欲しいです。</p>
	「無関心層」	<p>気軽に店舗等で買えるといいと思う。</p>	
	30代	「ターゲット層」	<p>にんにくと大間のマグロとりんごがぱっと思いつくが、あとはあまり思いつかないです。</p> <p>あまり近くで置いていないのであまり購入することがないのですが、同じ東北なのでいろんな県のものを買えるといいなと思います。</p> <p>イメージは、とてもいいので、もっと宣伝をしたらいいと思います。</p> <p>おしゃれな感じのものを作って</p> <p>もっと東北でも流通すればいいのになと思う。</p> <p>例えば大間のまぐろなんて、みんな東京に行ってしまうので地元でもそんなに食べれないと聞いたし、山形ではほとんど流通していないようなので</p> <p>どんなものか一度食べてみたい。</p> <p>りんごとかくらいしかすぐに思いつかなかった。</p> <p>家では宮城・山形のを多く食べているような気がする。宮城に住んでいてわざわざ「青森産の米」は食べないと思う。</p> <p>どこでも手に入るようなものではなく「青森ならではのもの」(郷土料理など)には興味がある。</p> <p>りんごやにんにくなどは有名だから誰もが知っていると思うが、メロンやさくらんぼなど意外なものもあるのもっと宣伝したほうがいいと思う。</p> <p>以前、テレビの確か「ケンミンショー」でも紹介されて人気が出た焼肉のたれ(細長い瓶タイプ)があるのですが、都内では(飯田橋場所)高額で昔から売られていましたが、今は種類が豊富になったけれど、元祖タイプのものでおいしいと思うし、どんなお肉のお料理でも合うので、あれはずっと使い続けたいと思っています。</p> <p>食べてみたいと言うのは沢山あります。けど、なかなか手に入りません</p> <p>青森と聞くとねぶた・りんご・南部せんべいです</p> <p>そのほかにも色々あるようですが</p> <p>特にブランドにはこだわらないので</p> <p>県外の人々も足を運びやすい・特産品のイベントをやってほしいし</p> <p>情報がほしいです</p> <p>青森のイカが大好きです。また食べに行きたいと思います。</p> <p>青森県の県産品を買ったりできる場所が近くにありません。</p> <p>青森県と岩手県の県産品がどっちだったかな?と混同することがあります。</p> <p>素朴でおいしいものを期待しています</p> <p>素朴で安心できる。いろいろな加工品を考えていると思う。</p> <p>同じ東北なのでなんとなく知っているけどりんご 大間のマグロ にんにく以外はあまり知らないかも…とくにマグロは高級魚のイメージが強くてあまり親しみがない</p> <p>特に浮かばない。でも、やっぱり、りんごやにんにくは有名。</p> <p>八食センターは良いショップだと思う</p> <p>北の大地で、厳しい寒さで育てられた、おいしい食べ物</p> <p>隣の県だが、あまり県産品を見たことがないので、もっと売りたいと思う。</p> <p>隣の県なので、身近に利用しているものがたくさんあると思いますが、青森県産のこれではなくては!!と知ってて買っているのは、焼肉のスタミナたれくらいだと思います。</p> <p>逆に身近過ぎて、分からないのかも知れません。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>あまりなじみがない</p> <p>あまり食べたいと思わない。</p> <p>もっと、身近でみてみたい</p> <p>自分では全く思いつかなかったが、一つ一つ商品名を挙げられると思いつく物がありました。いわれてみれば・・・と思いつく程度で青森というイメージが薄いと感じます。</p> <p>食品はスーパーで見かける機会が多いので、食べなくなる時があります。内陸にすんでいるので、イカ、ホタテ、マグロは青森産を買う時がおおいですし、新鮮で美味しいとおもいます。</p>

東北 30代

「イメージ先行・食品無関心層」

テレビで色々な生産品を獲ったり作ったりしている場面を見ます。生産者の方たちの笑顔が印象に残っています。
素朴で生き生きとしている人のイメージをそのまま商品にも持っています。
10年以上前に飲んだ林檎のスパークリングワインがとてもおいしかったことを覚えています。
貝のままのホタテ、厚みがあるけれどやわらかい「のしエカ」・・・青森の「味」だと思います！
食べ物に限らず、透明な海もきれいでした。
アピール不足
あまり聞かないのでよくわからない
いかやホタテが好きなので、その加工品を充実させて欲しい
いちご煮、まぐろ、ほたて、りんご、ニンニク、長いもはやっぱり青森のものというイメージがあるけれど、肉類やりんご以外のフルーツもおいしいものがあるならもっとアピールしたほうがいいと思います。
せっかくなので、もうちょっと東北にもPRすればいいんじゃないかなと思います
もっとアピールしてもよいと思います
もっと買えるところが増えればよいのと思う。
りんご、にんにく以外の県産品をもっと宣伝して欲しいと思う
りんごとりんごの加工品、にんにくとにんにくの加工品については、見たり聞いたり、おみやげでいただいたりしますが、それ以外の商品についてはあまり、知らない。
りんごのイメージしかないので、他の県産品があるのなら、もっとPRした方がよいと思う。
りんご等位のイメージしかないかもしれません。
ごめんなさい。
以前、弘前で購入したリンゴパイとりんごジュースが非常においしかった。
りんご系はハズレなしだとも思います。
以前ながいもの漬物を食べたことがあります。ピンク色でシャリシャリとした食感が良かったです。
寒いところなので、りんごなどの味が良い。
結構有名で美味しいものがたくさんあると思います。
高級品でなく、素朴な素材でできてと思う。野菜なども毎日使うので、生産者の方に感謝したいです。
自分の県もそうですが、あまり県産品が目立たないのでもっとテレビなどで紹介してくれれば知る事が出来ると思う。
食べたことが無い食材が沢山あるので、青森産を見たら、是非買って食べてみたいです。
新鮮。
新鮮そうなイメージがあります。
新鮮でおいしい
身近で売っていれば食べてみたい
青森の物産展を福島県で実施しているのを見たことがないので、実施しているのであればもっと宣伝してほしいですし、実施してないのであれば実施してほしいです。
スーパーなどで野菜等は青森県産のはみかけますが、土産品などは物産展などでないと購入できないので。
福島県は同じ東北ですが、青森まではなかなか気軽にいける距離ではないので、物産展などがあるとうれしいです。
鱈ヶ沢のイカー夜干し大好きです。
地元の食材が豊富
転勤で青森に3年近く住んでいました。りんごや魚介類は特においしい上にお値段もリーズナブル!でも青森を離れると、やはり青森県産のものにはあまりお目にかからない気がします・・・。知らないだけかな??
特産品があるということはよいことだ
品質の安定した商品をこれからもよろしく願います。
北海道と同じように海の商品が充実していそう。きっかけがあれば購入してみたい。
北海道展はよくあるけれど、あまり青森県展は聞かないかもしれない。
しかし、親近感もあるし、りんごなどの果物や、ホタテ、マグロなど海産物など、〇〇といえれば青森みたいなイメージのものが多くていいなと思う。
田舎の良さがパッとわかる品物があるといい、もっと宣伝するべき。
いいものがあるのに、アピールするのがへた。
おいしいものがあるのかさえさっぱり分からない。
北海道のように大々的にCMでもやれば分かるかもしれないけど、やってみても行きたいとは思わないかも。
おいしそう
すでに行なっているかもしれませんが、各都道府県で青森物産展などを行なって県産品のPRをしたらどうでしょう?北海道・京都・沖縄などはよく見かけますが・・・
なにか有名なもの1品出で欲しい
にんにくとりんごが有名であり、それらに関しては他県産と比べたらブランド的なイメージを持っていると思う。
にんにくはおいしいのでいつも食べてます
りんごのイメージが強い

「無関心層」

東北	30代	「無関心層」	<p>りんごはおいしい</p> <p>近所のスーパーで八戸産の鮮魚を扱っている所があります。イカが美味しいです。</p> <p>山形県ではお目にかかれない</p> <p>秋田県と似ている県産品なので興味がない</p> <p>正直、近くで手に入るものだったら、わざわざ遠く青森から取り寄せてまで…と思ってしまいます。</p> <p>青森のイメージがりんごしかないで、特産といわれてもピンと来ない。</p> <p>青森はりんごのイメージしかない。</p> <p>たくさんすてきな食材があるようなので、PRの仕方を工夫して全国に広げていってほしいと思います。</p> <p>青森物産展などもっと地方でも開催してくれると行ってみたいと思う。</p> <p>特に“これ”というものが思いつかない。</p> <p>何か一つに絞ってPRするのもよいと思う。</p> <p>宮崎の“マンゴー”のように。</p> <p>特に気にした事がない。にんにくが有名なので食べたいが価格が高い</p> <p>物産展などがあるとよいと思う。</p>
	40代	「ターゲット層」	<p>魅力的なものがたくさんあるのに、宣伝効果がいまいちで、知られてないものが多いと思う。もっと知りたいし、食べたいので、教えてほしい。</p> <p>「青森県」という特長があって良いと思う。</p> <p>りんごの加工品をもっと増やして欲しい。</p> <p>PRが弱い</p> <p>PRが弱いような気がする。</p> <p>アンケートの中に色々な野菜も載っていましたが、知らない方が多い様です。PR活動、宣伝が余り行き渡っていないかもしれませんね。</p> <p>インターネットでいろいろな情報を集めたい</p> <p>にんにくやながいもは身近にスーパーで売っていて、おいしく頂いています。</p> <p>ごぼうがおいしいと思います</p> <p>スーパーなどで手軽に購入できたらもっと利用すると思う。</p> <p>にんにくがおいしそう</p> <p>ネット販売をもっとアピールしてほしい</p> <p>ほとんどPRされていないおいしいものもたくさんあるので、もっと全国的にPRしても良いと思います。</p> <p>もっとPRしたら良いと思う</p> <p>りんごが美味しいイメージがあります。</p> <p>りんごばかりが目立っている。</p> <p>海産物、特にまぐろ・ホタテがおいしい。</p> <p>宮城にもアンテナショップがあるといいです。</p> <p>郷土料理などや漬物など、たくさん美味しいものがありそうなイメージがするが、宣伝が足りないのか、知っているものが少ないので、もっと宣伝してほしい。</p> <p>最近では八戸が有名になりせんべい汁とかラーメンがよくテレビなどで紹介されているので、新しい名産品を生み出すのはいいことだと思います</p> <p>四季それぞれの地産池沼品は豊富で海の幸山の幸がた寝られる。</p> <p>実家が東京なので毎年飯田橋の青森物産店に行っています。今、住んでいる福島県の物産よりもバラエティに富んだ品物があり、良いと思います。</p> <p>新鮮なイメージがあります。りんごと魚貝のイメージが強いです。</p> <p>青森というりんごのイメージが強すぎて、ほかのものがすぐには思いつかない。最近ではせんべい汁とかも広まってきている感じはするけれど、もっとりんご以外でも印象に残るものがあるといいと思う。</p> <p>青森のりんごは有名なので知っているし、よく買う。少し傷有りんごとか、安価で売っているのは、お互いにとっていいことだと思う。</p> <p>にんにくも、いつも青森産を買うが、高価だ。中国産は買いたくないので、青森産を買うがもっと安いほうがいい。</p> <p>青森県の魚介類や、リンゴ製品は、とてもおいしいので、良く買っています。</p> <p>スーパーなどに行っても「青森県産」と書いてあると、優先的に買います。</p> <p>あと、お土産でも、リンゴの素材のものは美味しい物が多いので、いただいても、とてもうれしいです。</p> <p>青森産を知らないで、もう少しPRをして教えて欲しい。</p> <p>青森独特の食べ方があって面白い。</p> <p>地産品を色々なアイデアで商品化されていて良いですね。</p> <p>一般の方のアイデアをどんどん取り入れ、益々勢いのある物にしてください。</p> <p>同じ東北に居ながら青森県には訪れた事がなく、一度は言ってみたくと思っています。良い温泉や美味しい魚屋や果物など。青森のいろんな発見が出来たら良いなと思います</p> <p>美味しい物が沢山あると思うので、もっとPRした方がいいと思います。</p>

東北	40代	<p>「ターゲット予備層」</p>	<p>青森といったりんごのイメージしかないので物産展など行い色々な物を紹介してほしいです。</p> <p>「八食センター」で扱っているような新鮮な食材を近くで購入出来れば良いと思いました。</p> <p>いかと大間のまぐろ、にんにく、弘前りんご以外に知っているものはありません。普通の野菜も魚介も地場のものの方が産地が近くて新鮮なので、特に青森産を選んで買おうとは思いません。岩手になくて、青森にしかないものも思いつきませんし、加工品はぜんぜんイメージがわかりません。強いて言えば新幹線で売っているりんごジュースでしょうか。。。近すぎるからか、青森産のものPRはみたことありません。</p> <p>ちなみに東京にいるときはりんごしか知りませんでした。</p> <p>ホタテの加工品が好きです。ただ宮城県内では同じ加工品でも北海道のものが目に付くような気がします。ネットでの購入は青森県産のもの購入していますよ。大間のマグロはとても手が届かないくらい高級で有名ですが、他の県の特産品のPRはお互い地味ですよ。</p> <p>りんご・にんにく以外はよく知らない</p> <p>りんごがおいしい</p> <p>リンゴやリンゴジュースはスーパーなどで良く見かけるし、買う事もある。</p> <p>美味しいと思う。</p> <p>価格が手ごろならお試しセット販売でPRして、まず食べれるよう機会があればうれしい。</p> <p>県産品というよりも郷土料理に興味があるのでどんなものがあるのか、また作り方、入手方法など知りたい。</p> <p>青森といえば、「りんご」ですね。</p> <p>りんごの加工品やジュースは、デパートの物産展で買った事があります。</p> <p>県の特性を活かした商品は買ってみたいと思いますが、宮城県内にもある商品ならば県内産が良いと思ってしまう。</p> <p>同じ東北ですが、青森の特産品を知らないものだと思います。</p> <p>青森産といわれるものをリンゴとニンニクぐらいしか知らないの、他においしくて自慢できるものがあれば発信してほしい。</p> <p>東北に住んでいますがあまり青森の特産品を意識することがないので、マグロが有名としかわかりませんでした。もっとたくさんPRしていくべきだと思います</p>
		<p>「イメージ先行・食品無関心層」</p>	<p>りんごが大好きで以前はよく食べていましたが、加工品はいまいちな感じが…。通年食べられる加工品をもっと高品質低価格で販売していただければと思います。</p> <p>あまり意識せずにおいしからと買い求めているものが青森産の物だったり…。ニンニクなどは、値段に関係なく青森産が一番です。それから、ほたてもよく食べていました。生産者の方々のご苦労に感謝してこれからもおいしく頂きたいと思います。</p> <p>ながいもが美味しかったです。</p> <p>ねぶた漬など、漬物は美味しく大好き。</p> <p>やっぱり、りんごのイメージが強くありますが、にんにくも少しあります。</p> <p>りんごはとても美味しかったです。</p> <p>りんご、ねぶた漬けが有名で、他のものはあまり分からない。</p> <p>リンゴがおいしい。</p> <p>りんごだけと思ってましたが、にんにくやながいもごぼう、まぐろも有名でしたね。</p> <p>以前雪ノ下りんごというものを食べたことがあったがおいしかった</p> <p>学生時代に住んでいたの、親しみがあって、今でも時々食べている。</p> <p>寒いところならではの美味しさを発揮してる商品が多いイメージがあります。</p> <p>ただ、輸送料がかかるとおもうと、少し値段に反映されしまうと高くなってしまふのかと思う。</p> <p>旬のものおいしい</p> <p>地方の県産品はもっと勧めるべきだと思う。</p>
		<p>「無関心層」</p>	<p>ニンニクや長いものは青森産を購入している。</p> <p>他の生産品もいつも行くスーパーにあれば良いんだけど…</p> <p>PRがんばって下さい。</p> <p>PRが足りないように感じる。</p> <p>あまり、イメージが湧きません</p> <p>あまりよく知られていないと思う</p> <p>アンテナショップが身近にあるともっと青森県産品を食べる機会が増えるのと思います。</p> <p>た。にんにくと大間のマグロぐらいしか知らないの。</p> <p>このアンケートをして、自分が、青森県の県産品をあまり知らないことをした。</p> <p>この不景気で青森県産だからとか地元産だからとかで選ぶのではなくて、どうしても、価格重視になってしまいますね。</p> <p>スーパーでもっと青森県産の商品だということをアピールしてくれないと、青森県産のものが売っていることに気がつかない。</p> <p>ねぶた漬けはおいしい</p> <p>りんご加工品は甘い</p>

東北	40代	「無関心層」	<p>もっと、知名度を上げる宣伝が必要だと思います</p> <p>よく知らない</p> <p>りんごが有名で実際とてもおいしいと思う。もっと宣伝してもいいと思う。</p> <p>りんごの加工品の開発を増やしてほしい。</p> <p>海産物のイメージと、(東北牧場…が青森だったような気が…)農産物のイメージがあります。ただ、毎日食べるには、少々割高の気がしましたので、たま～に、という感じです。安く入手できるルートが多く開発されると嬉しいです。</p> <p>岩手もおなじですが、良い県産品があるのに、宣伝のしかたがあまりよくないです。東京などで、美味しいと思って食べているのに、青森産と知らなかったりするのです。もっと、宣伝上手になってください。</p> <p>自然と品質を一緒にPRしては…</p> <p>味が濃いと印象がある。</p> <p>旅行に行ったのがもう数年前のことなのですが、土産ものやさんにならんでいたのが、りんごやりんごのお菓子ばかりだったような気がします。</p> <p>青森=りんごのイメージが強すぎるように思います。</p>
	50代	「ターゲット層」	<p>特にほたてとイカが新鮮です、リンゴジュースは全国で一番美味しいです。</p> <p>おいしいのに知名度が無いため購買力に劣る。</p> <p>宣伝に力を入れて、幅広い人に味を知ってもらう努力をもっと。</p> <p>おいしいものが多い</p> <p>どんどんPRしてください。同じ東北人として、応援しています。</p> <p>りんごは天下一品!</p> <p>他の品物も、手軽に買えればいいと思う。</p> <p>規格外品が出回った時も、買おうと思ったが、流通ルートが分からず買えなかったから。</p> <p>りんごをはじめとして、水産物、農産物も代表するような美味しいものが沢山あると思います。りんごとその加工品(果汁)は其中でも特に他県とは違う美味しさがあると思っています。</p> <p>海産物が美味しいので青森に行って食べてみたい!</p> <p>海産物とリンゴがイメージとして定着しています。もっといろいろなものがあるのを積極的にアピールしてもいいのではないのでしょうか?</p> <p>割といろいろ特徴的なものがあると思うし、それぞれ美味しい。素材も良いし、加工もその素材の良さを生かしていると思う。</p> <p>近くのスーパーで青森産の野菜やりんご、海産物など売っているのでよく利用します。</p> <p>美味しいと思います。</p> <p>産品料理のアレンジの方法が、わからないので教えてほしい。</p> <p>出稼ぎに来てた人に自宅に戻ったときとりんごをお土産に戴きました。</p> <p>「フジは青森産だよ」一言を添えて。地元を自慢に思っているその気持ちがとてもよかったです。</p> <p>新鮮な魚介類</p> <p>水産物はよく食べるので大体わかりますが食べ物以外はわからないので宣伝が足りないかな?</p> <p>生産者の方の力強さを感じます。</p> <p>青森、と区切つての意見は特別ありません。</p> <p>青森県産という新鮮で質のよいものというイメージがあり、どこか素朴で少し頑固で、あまり洗練はされてはいないけど、洗練されないほうがいいと思う。</p> <p>昔なつかしい、ニンジン漬けたらのジャッパ汁、きりこみ等たくさん、食べたい。</p> <p>太平洋側のイカは特に身が厚く、帆立とともに青森に行けば必ず買って来るし、近くで売っていれば手に入れたい。</p> <p>地域総出の取り組みにとっても好感が持て、購入したくなります。</p> <p>農業、漁業においてもブランドがあると思うので、もっともっと物産展等を展開してほしい。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>通販で買えるなら利用したい</p> <p>PRが足りない、どんな物が県産品なのか知らない。</p> <p>これから期待します</p> <p>私が住んでいる岩手県も、地産地消で頑張っております。近隣の県として、良い面を理解しながら進んでいきましょう。</p> <p>青森という海産物とりんごにんにくしか知りませんでした。</p> <p>たぶん宣伝をしていないか 見逃しているかなのですがもっとアピールしてもよろしいかと思えます。</p> <p>青森の県産品の私のイメージが、りんご・ほたて・しじみ・にんにく・津軽漬くらいなので、もっとPRしたほうがいいと思います。</p> <p>同じ東北地方のため、似たような食品とかぶることがある。</p> <p>テレビで放映される青森産のイメージは、にんにく・大間のまぐろ・鰯ヶ沢のいかの一夜乾し・ホタテなどである。</p> <p>新しい食品で、ケンミンショーなどで放映されたものは現地限定品なのですが、食べてみたいです。</p>

東北	50代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>これから、青森の県産品を購入したいと思います。こんなにたくさんの県産品があるとは思いませんでした。興味があるので、これから情報を見て、食べたいと思います。</p> <p>しじみがおしかったです。また買に行きたい。</p> <p>シジミとニンニクはなじみがあるが、そのほかに住んでいる福島県にもあるものなので特に青森産を買おうとは思わない。</p> <p>ジョムはとても気に入って愛用しています</p> <p>にんにくは青森産しか買いません。</p> <p>山のもの、海のものにかかわらず生のは鮮度が良い、という印象があります。</p> <p>漬物などの加工品は塩分がきついという印象があります。</p> <p>秋田も同じだがどんどん宣伝したほうがいい</p> <p>同じ東北ですが、あまり県産品に出会ったことがありません。</p>
		「無関心層」	<p>りんご ニンニク 長いもが有名ですが そのほかのものでなにかあるのか しりません もっと県産品をPRしてください</p> <p>りんごとにんにく位しか知らなかったし、食べる機会もない。</p> <p>りんごと大間のまぐろしか思いつかない・・・</p> <p>以前、青森の減農薬、無農薬にこだわっている生産者からお米を買ったことがあった。お米もおいしかったが、一緒に送られてきたにんにくがとてもよかった。好印象である。</p> <p>自然なものがいっぱい、というイメージがあります。</p> <p>同じ東北なので身近に感じるが青森県産品として思うものはりんごとまぐろぐらいです。PR度が足りないのかな？</p> <p>同じ東北なのに自分の県以外は知らない事が多い。また、自分の県でも地元産科知らない。</p> <p>北東北らしさはわかるが、パッケージに一工夫欲しい</p>
	60代	「ターゲット層」	<p>りんごのジュース以外の利用法を知りたい。</p> <p>ごぼうや長いもなどはスーパーでも青森産としてあるが、漬物などはあまりない。いかの塩辛など八戸産のものが好きでよく買うが、全体的に同じ東北なのに、青森産のものが少ない感じがする。しじみも十三湖のが好きだがほとんど出回らない。冷凍して市場に出せないだろうか。</p> <p>もう少し、宣伝効果に欠けているようなので宮城にも配信してください。</p> <p>以前旅行した時、道の駅で買ったニンニク味噌がとても美味しくて忘れられません。八戸から青森に向かう途中の道の駅でしたが地元の方が作られたのですがまた食べてみたいです。</p> <p>青森という県名だけで信頼できるブランドだが、美味しいが価格が高過ぎる</p> <p>青森の県産品での気に入りは「にんにく」と「りんごジュース」美味しさは日本一！</p> <p>青森県産としてりんご、にんにく、海産物等一般に認知されていますが</p> <p>まだまだ PR不足?感があるのでは・・・</p> <p>大蒜は非常に有名である。</p> <p>特に風がつよく、とても立ってられない所で、二度と行きたくないとおも</p> <p>つちたが、季節をかえ5月に行ったときは、美味しいものが魚市場で沢山あり、満足できた。</p> <p>美味しい物が多いので、全国に県産品をPRしてほしい。</p>
	「ターゲット予備層」	<p>自然・安全を大切に下さい。</p> <p>もう少し青森産を売り出したければ、個性を持たせ、値段も下げたほうがよいと思う。</p> <p>海産物、特にほたては大変おいしいとおもう。</p> <p>青森りんごも有名で美味しいがなかなか手にはいりにくい。</p>	
	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>宣伝した方が良い</p> <p>果物の中でリンゴが有名であるが、味は隣県(岩手)のほうがいい。</p> <p>ただ、保存技術が優れていて、春先まで変質しにくいのは素晴らしい。</p>	
関東	20代	「ターゲット層」	<p>素朴で懐かしいイメージ</p>
		「ターゲット予備層」	<p>他の県の物産展のようにPRが多くないので、イマイチ知らない。</p> <p>パット色々な食品が浮かばない。</p> <p>青森の食品を使った居酒屋は無いが、沖縄などがあるので、近くにアンテナショップなどが無いので、</p>
	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>身近なところであまり見ないので、サテイやオーカ堂で物産展などやってくれればいきやすい。</p>	
	「無関心層」	<p>テレビでいちご汁が紹介されていておいしそうと思った</p> <p>もっともっとアピールしたら良いと思います。アンテナショップが近くにあって行きたいです。私の中で青森よりも北海道のほうがインパクトが強いのは宣伝力だと思います。(例えばソフトクリームだと北海道ソフトみたいなのはありますが、青森ソフトは聞いたことがありません)。このアンケートで思い出したのですが、私が信頼してよく買う国産のにんにくは青森産でした！身近にあるのに気づきませんでした。</p> <p>リンゴしか知りません</p> <p>りんごのイメージしかない</p>	

関東	30代	「ターゲット層」	<p>素朴な味わいが美味しいと思うので、あまり奇をてらった商品よりも素材の美味しさそのものを生かしたもののほうがよいと思います。</p> <p>「青森物産展」のように、特別な催し物でしか見たことがない。</p> <p>りんごなど有名なものだけでなく、普段から青森のものが多く店頭にならんでいれば、口にする機会も増えると思う。青森ブランドは、なんとなく親近感があるし信頼できる感じがする。</p> <p>もっとあちこちに置いてほしい。</p> <p>もっとアピールしたほうがよいと思います</p> <p>もっとネット等で販売すればよいと思う(楽天の宮崎特集の様に)</p> <p>もっと手軽に買えるようになるとういと思う</p> <p>もっと目立つと分かりやすいと思います。</p> <p>やはり、青森といえばりんごにまつわる製品と、ひばの製品だと思います。個人的に大好きです!</p> <p>やはりりんごが魅力。とても美味しい。最近ではそれまでは地元でしか出回らなかったと思われる、つる割れりんごなど2級品が安く手に入ることも嬉しい。地元ではとれないものを、より新鮮なうちにより安く手に入ることができたら、とてもうれしいです。</p> <p>りんご?</p> <p>りんごがおいしい</p> <p>にんにくもおいしかった</p> <p>りんごくらいしか知らないのもっと知って、食べてみたい</p> <p>りんごのイメージが強い。りんごジュースがおいしい。</p> <p>りんご意外、ほとんど知りません。アピールがたりないのでは?</p> <p>県産品は安心して食べられそう</p> <p>新鮮でおいしい</p> <p>青森=りんごで、他にもいろいろあるんだろうけれど、知らないものが多い。</p> <p>デパートで1度だけ物産展を見かけたことがあるが、コレは買いたいたいものがないかも。</p> <p>青森というりんごが思い浮かぶけれど料理なども物産展で紹介してほしいです</p> <p>青森は美味しいイメージがあるし、ネットで購入できると嬉しい、</p> <p>青森県という「りんご」「はたて」「にんにく」のイメージが強い。固定化しているとも言えるし、逆に言えばブランド力があるのだとも言える。その点を戦略的に活用すべきではないかと思う。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>最近、せんべい汁がよくテレビで放送されているので食べてみたいです。</p> <p>PRが足りていないのか、あまり良く知らないものが多い。りんごや大間のマグロは有名だけれど、もっとそのほかの食品と、美味しい食べ方などをアピールして頂きたいです。</p> <p>あまりよく知られていない</p> <p>イメージがわからない。</p> <p>まったく青森についてイメージがない。りんご以外。</p> <p>もうちょっと知名度をあげたほうがよいのでは。</p> <p>にんにくやりんごのことすら、青森の特産であることを、質問の項目に出てくるまで忘れてました”;</p> <p>なんか(個人的ですが)価格が高いというイメージがあるので、その辺も含めてHPで宣伝するとか、CMしてみるとか。</p> <p>もっとPRしたほうがよいと思う</p> <p>やっぱりりんごのイメージが強すぎて他は知りませんでした。</p> <p>りんごが有名なイメージ。いろいろ美味しいものがあるなら、世間にもっとアピールしてほしい。</p> <p>飯田橋にそんな物産店があるなんて知らなかった。でも、飯田橋だとほとんど行かないので、できれば東京・有楽町・銀座などにあるほうが利用しやすいと思う。</p> <p>生産者の方々は、がんばってほしいです。</p> <p>青森県をよく知らないなので、TV等PRしてほしい</p> <p>大間のマグロが食べたい</p> <p>値ごろ感があるときしか購入しない</p> <p>地味</p> <p>特にりんごとにんにくのイメージだけしかなかった</p> <p>美味しそうなのが多いかなと思いますが、近くに物産ショップなどがないためかなじみがありません。にんにくは青森県産と決めています。</p>

関東	30代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>ねぶたがパッケージのリンゴジュースの印象がとても強い。 とても「らしさ」が出ていて好き。 ねぶた、というイメージ もっとPRしたほうがよい もっとPRしてもいいと思う。 リンゴジュースの値段が高いかな？ 住んでいるところからかなり遠いのであまり知らないことが多いと思います。ただ、海に囲まれ自然も多く、食べ物がおいしそうイメージがあります。アンテナショップが身近にあれば利用したいと思います。 水あめが美味。 ねぶた漬けも最高。 青森=りんごのイメージしか知らない人が多いと思うが他にもいろいろおいしいものがあるんだからもっとPRしたほうがいい 食べたくても流通してないので食べられない 青森というりんごしか浮かびません。 青森県産という、リンゴとマグロが有名ですがそれ以外のものはどこの県でも作られているものばかりで印象が薄いです。 何か他とは違う特徴があるなら、それをPRしてもらえると嬉しい、調理方法でうまみを引き出せるものがあるなら、それを教えてもらいたいです。 日頃あまり目にしたり手に取ったりする事はありませんが、ニンニクなどは青森産は有名だと思います。品質が良いイメージが全体的にあります、水や空気が綺麗な所で農家の人が一生涯懸命に育てているのだらうと想像されます。 物産展などで買えるようになったけど、地元にしかなかったり、地元にしか売っていないようなものも手軽に買える様にして欲しい</p>
		「無関心層」	<p>りんごくらいしか思い浮かばないけどいろいろあるみたいなので一度は食べてみたいかもPRが足りない。 あまり知らないです。 横浜周辺だと、北海道や九州の物産展はよく見かけますが、青森は見たことがありません。 イメージがない スーパーやテレビなど人目につくところでPRしてほしい たまに近所のデパートで青森フェアみたいなのをやります。 食品もありますが、その他工芸品なども沢山あったような気がします。そちらは趣があるものばかりでしたが、高価なため値段の段階でアウトとなりあまり注意して見る事もないです。 青森の産物がこんなにも沢山あるとは知りませんでした。りんごと魚介類(不特定)かな…なんて思っていたのですが。 他ににかご当地料理も宣伝するといいのはと思います。 にんにくはいつも購入しています。これからもいいものをつくってってください ねぶた漬けが大好きです リンゴ・にんにく・まぐろ等の有名なものしか知らない…もっとアピールしてもいいのに りんごが有名 りんごと大間のまぐろが有名で食べてみたいです。 厳しい気候の中で育てているので身がひきしまつていそうなイメージがある。 行ったことがないので、りんごくらいしかわからない。 食べたことがないので、知らないものばかりなので、どんどんPRして欲しい 青森といえばりんごというイメージですが、アンケート内でニンニクや米などいろいろあるのを知り驚きました。魚介類は北海道、農産物はお米の秋田新潟などまわりが有名なので青森が目立たないように思います。いい品物を作っているとすればもったいないかもしれないです。これといって特徴がないのかも。スーパーでも青森産と銘打って販売されてる商品って見かけないように思います。 青森にんにく、津軽りんご、大間マグロ、陸奥ホタテ、八戸イチゴ煮くらしいか思い浮かばない。 逆ににんにくは青森産の表示があるものしか買わないけど、食料品以外を含めても毎日手にするものではない気がする。 青森県産の物に特にこだわりは無い 素朴・安心・安値が前面に出ればいいと思います。 他県のPRは見たことや聞いたことがあるが、青森県のPRには接したことがないので、もっとどんどんPRしてほしい。 認知度が低いのでは?もうすこしPRしてもいいかも。スーパーなどでPRした方が嬉しいと思います。 美味しいものを身近に感じる事が出来たら、買うと思う。 評判って大事。いいものなら是非どんどんアピール場所を増やして 林檎以外にあまり知らなかった。もっと広告をすればいいと思う。</p>

関東	40代	「ターゲット層」	<p>県産品がもう少し日本国中で有名になればと思う。青森=りんごだけではない宣伝方法があればと思う。地ビールは美味しかった。</p> <p>Web上のアンテナショップを充実させるべきだと思います。Webアンテナショップでネット購入も当然可能な仕組みにし、県産品だけでなく青森県のことなら全てがわかるポータルサイトの的なものにしてゆけば良いと思います。県産品を楽天やYahooなどのネットポータルから購入することもできますが、出店者がバラバラで県産品としての主張が弱いのでイマイチ魅力に乏しいものだと思います。実際のアンテナショップの効果は都市部における限定的なものではないと思います。当然のことながら消費地は国内だけではないので、サイトの多言語化は必要だと思います。限られた予算の中で最大効果を目指すべきです。</p> <p>あまり、知名度がない</p> <p>おいしい物がたくさんあると思うので機会があれば購入したい。</p> <p>お魚やりんごがおいしそう。</p> <p>ニンニク リンゴのようにブランドが確立しているものは、とてもおいしいです。にんにくは香味ともよく、はずれがないので愛用していますが・・</p> <p>価格がもう少し安ければ・・・と思う時期もあり、手に入らない時期もあり仕方なく中国産を使うことがあります</p> <p>もっとPRを</p> <p>もっと身近に感じるPRがあるといい。</p> <p>なにげなく食べているものにも</p> <p>青森の県産品がたくさんあるのではないかとと思う。</p> <p>気付けばまた美味しさも増すような気がする。</p> <p>りんごがよく取れておいしそう。</p> <p>りんごが好きです。</p> <p>りんごやりんごジュースが好き。</p> <p>青森産というだけでおいしそうイメージがある。</p> <p>りんご以外の特産品はあまり思いつかないので</p> <p>もっと宣伝したらいいと思います。</p> <p>安心して食べられるもの</p> <p>横浜住まいの私はあまり見聞きする機会が無いのですが、近くで何かあれば足を運びたいですね。</p> <p>海の幸が有名な北海道にも近いし海もあるので確かに海産物は特産品なのかもしれないと思いましたがPRをあまり見かけないのでどうしても「青森=りんご」というイメージしか頭に浮かばなかったです。</p> <p>関東に住んでいるので野菜きのこなどは埼玉、信州や果物などは甲府、さくらんぼは山形、葡萄は信州、米は新潟、秋田、福島</p> <p>豚肉は鹿児島、牛肉は黒毛和牛産地、良いところでは米沢牛松坂牛などその他果物長野、岡山、お茶、漬物京都ともうきまっているのでだいたい、青森といったら絶対りんごだけです。青森県産の良い漬物などあったら食べて見てもよいというぐらいです。</p> <p>個性的</p> <p>私は横浜に住んでおりますが青森県の県産品を扱っているお店が近くに無いので何処かに直売所を設けて欲しいです。</p> <p>私は九州育ちなので青森は雪国のイメージがあります。なんとなく乾物のイメージでしょうか？</p> <p>少し地味でも今後も誠実さを持ってアピールをしていってほしいです。</p> <p>食べ物がおいしいイメージがある。</p> <p>青森と言えりんごしか思いつかないのですが。</p> <p>青森県のみではありませんが、先日東京ドームのふるさと祭に行って「八戸三社大祭」等の祭と多くの特産物を見て味わうことができました。</p> <p>方言で話しかけられるとちょっと旅気分で、美味しいものが一層美味しく感じられます。</p> <p>素朴で食べ物がおいしい。</p> <p>素朴な味</p> <p>他にも何箇所かあると便利</p> <p>東国原知事のようなインパクトのある宣伝がよいと思う。</p> <p>東北物産展という形でもいいので、身近に触れられるような場があるといいなと思います。欲を言えば、デパートのように敷居の高い所ではなく、大型スーパーのように気軽に行ける場所などがいいと思います。ちなみに家の近所の大型スーパーでは、九州物産展が良く開かれています。</p> <p>特に果物が特産といったイメージが強いと思う。</p> <p>味や品質の良さをアピールし、リーズナブルな価格で、手軽に提供お願いします。</p>
----	-----	----------	--

「ターゲット予備層」	<p>にんにくは青森産のものを利用しています。その他のものも身近なスーパーで購入できればいいと思います</p> <p>「ケンミンSHOW」を見るようになって、日本各地の名産や習慣、局地的な食べ物などを知り、地方に親しみを覚えるようになりました。青森県で印象に残っているのは、スタミナ源たれ。早速あちこちお店をまわって、ゲットしました。VTRでご飯にかけて食べると言っていますが、そこまでではないけれど、お肉や焼き魚がさっぱりと食べられました。</p> <p>PRをして、買える場所、物を知らせて欲しい。</p> <p>あまりアピールされていないと思うので、もっと宣伝した方が良さ。</p> <p>まだまだ身近ではないと思う。</p> <p>もっと手軽に手に入るようにスーパーなどでも扱って欲しい。</p> <p>リンゴ・さくらんぼがあまりにも有名すぎて、他の物をあまり知らない。</p> <p>もしかしたら、知らずに食べている物もあるかもしれないと思う。</p> <p>青森県さんの物は、りんご、お米しか思い浮かびません。旅行も青森にいくなら飛行機で、北海道に行きたくなるので現地にも行くきっかけが…ないかな。でも、今年は、キャンプに行きたいと思っているので、いい場所があれば青森まで出かけてみようかな。</p> <p>素朴で新鮮な品物が手に入れば、購入してみたい</p> <p>美味しいイメージ</p> <p>食べ物以外の工芸品とかは思い出せない</p> <p>殆ど知らないなので、もっと駅などでPRすれば浸透するのでは</p>
「イメージ先行・食品無関心層」	<p>リンゴくらいしか思い浮かばなかった。</p> <p>B級グルメで有名なせんべい汁を食べてみたい</p> <p>もっとPRしてほしい</p> <p>りんごとイカしか知りませんでした。</p> <p>すみません…</p> <p>りんご以外によく目にするニンニクなどは中国産に比べ価格が高く気軽にかうには考えてしまったり もう少し安価になると購入しやすいのですが</p> <p>海のは新鮮 野菜なども新鮮に思える</p> <p>奇跡のりんごを食べたい</p> <p>生産者の直接販売が増えてきて利用もしているが、信頼できるかどうか届いてみるまでわからないので、不安を感じる時がある。</p> <p>青森の県産品ではりんごくらいしか頭に無かったのですが、様々な物があると知りました。なかなか関東では、知らない物が多いので、(知らずにスーパーで購入しているかもしれない)県産物のアピールが必要だと思います。あとリンゴとか変わった食べ方とかあればレシピを紹介するとか、知らない県産物であれば、調理方法を教えてもらいたいと思います</p> <p>青森産と言ったら、りんごしか思いつきませんでした。</p> <p>千葉そごうの物産展をやって欲しい。</p> <p>素朴な感じのする県なのでおいしそうです。</p>
「無関心層」	<p>特に気にしたことがなかったのわからない</p> <p>もしかしたら口にしてはいるのかもしれない</p> <p>産地はこだわっていない</p> <p>PRの仕方でもっとブランドイメージが向上して人気が出ると思います。</p> <p>あまりみかけない。デパートの物産展も北海道に比べてほとんどない。イメージ的には北海道とおなじく、おいしそうなのがありそうなのですが。北海道展お同時開催してもいいのでは?</p> <p>あまり広告されていないので親しみがない</p> <p>いい商品があると思うので、もっとPRしてほしいです。</p> <p>にんにくやリンゴくらいしか知りませんでした。</p> <p>もっと知る機会があればいいのと思いました。</p> <p>にんにく生産日本一</p> <p>ねぶた漬けくらいしか知らないのが残念。盛況を通じて、りんごはよく買っています。もっと宣伝してほしい。</p> <p>ほとんど知りません。りんごくらいです。南部せんべいは知っていましたが青森とは知りませんでした。特に海産物のイメージはまったくありませんでした。</p> <p>もっとアピールしてください。</p> <p>もっと色々なものがあることを宣伝してほしい。</p> <p>あまり名産品を知らない。</p> <p>もっと身近になればいいのと思います。</p> <p>もっと身近に感じられればいいと思う。</p> <p>もっと身近に購入できるところが在るといいと思う</p> <p>もっと積極的にメディアなどでアピールして、どのような商品があるのか知らせたほうがよいと思う。</p> <p>りんごがおいしい。他の果物については栽培されていることすら知らなかった。PR不足もあるのではないかな?</p>

関東	40代	「無関心層」	<p>りんごにんにく、ホタテくらいしか知らない。</p> <p>りんごのイメージが強すぎる</p> <p>リンゴはおいしいと思う</p> <p>りんごは本当においしくりんごジュールも大好きです。</p> <p>何があるのかまったく知らないで、どンドンPRしていったらよいと思う。</p> <p>何があるのか正直よく知らない。</p> <p>加工食品に関しては、味が濃い様な気がして食べたことがない。</p> <p>関東のものよりは美味しいイメージ。</p> <p>手軽に買えれば、食べてみたい</p> <p>青森と言えば津軽のリンゴが一番最初に思い出されます</p> <p>青森の県産品といえば、にんにくとりんごくらいしかぼっと、思い浮かばない。認知度が非常に低いように思う。改めて、今回、沢山のものがあるのを知った。もっとPRしてもいいかも。青森県のイメージ自体は素朴で純粋。まっすぐなイメージがあるのでもったいないと思う。</p> <p>専門店や売りに来るものなど価格が高い感じがする</p> <p>売っている場所が知らなかったので利用したことがなかった。飯田橋は近いので今度行って見ようと思った。</p> <p>野菜や果物は八百屋やスーパーなどで売ってれば無意識に購入するが、特産品については良く知らない。出身が岩手なので気候的に似たような物が多いと思うし、同じような物なら出身地の物を選ぶと思う。</p> <p>旅行中に見つけ、地元でしか食べられないものが結構ある事に気づきました。それからは旅行で立ち寄りて買いためにしています。手軽に買える物もいろいろありますが、青森県限定食べ歩きmap等で宣伝してみてもいいですか？</p> <p>良くわからない</p>
	50代	「ターゲット層」	<p>何が有名な特産物かさえも知らないのでまずPRが必要だと思う</p> <p>おいしいものはたくさんあるのですが、いかに知られていない感じがします。りんごはとてもおいしいけれど、お米は新潟におかれてしまうと、さくらんぼは山形なので、これが、一番というよりも、おこめも、お酒も果物も海のものもそこそこおいしいというイメージがあります。</p> <p>お店によって違いはありますが、袋詰めがされてない商品は、誰がさわったのか解らないので、購入したくても、手が出ない場合があります。</p> <p>以前、野菜を購入し、水洗いしようとしたら、すごく油がついて、水洗いではどうしようも無く、捨てた事があってから、いっそう神経質になってしまいました。</p> <p>にんにくとりんごしか思い浮かばなかった。もっと宣伝すればいいのに..</p> <p>もっと、宣伝してほしい</p> <p>魚介類の鮮度最高</p> <p>今回のアンケートで、私自身が、大間のマグロ、リンゴ、長いもぐらいしか、青森産と意識していなかったことに気づきました。自分が食べているニンニクも調べてみたら青森産でした。ですから、これからは、もっと食べ物の産地を意識して生活したいと思います。今回青森産のものが、たくさんあると分かりましたので、これから食べてみたいと思います。私のような人は、まだ沢山いらっしゃると思うので、いろいろな方法で宣伝してくださいと思います。</p> <p>私の身近には販売している所が非常に少ないので、行きやすい場所にあつたら、と思う。</p> <p>申し訳ありませんが、あまり馴染みがありません。</p> <p>(近くに、青森の特産品を取り扱っている所がなく、年に数回程度、ヨカ堂で見る程度です。)</p> <p>青森の十三湖産じじみかじじみの中でも最高においしいと思っているがなかなか近所のスーパーの店頭と並ぶことがなく、できるだけもっとPRをして販路を広げるように頑張りたい</p> <p>青森産と言えば林檎ぐらいしか思い出せないが今回のアンケートでいろいろの特産物がある事が分かった。もう少しアピールに力を入れて売り込んでほしいと思う。</p> <p>宣伝が少ないのでは？</p> <p>素朴で美味しそうな物が沢山ありそう。</p> <p>特に好きな県産品は果物や漬物ですが、地元ではないので、新鮮な物はなかなか直ぐ手に入れるのは難しいです。でもネット通販などで購入できるので便利で助かります。</p> <p>美味しい物はたくさんあると思います。岩手もそうですが、デパートなどの物産展でしかあまり知り得る事ができないのですが、高いというイメージがあります。又、リンゴや海産物などは電話や訪問で購入した事がありますが、毎年同じ時期に連絡がきて迷惑の時もあります。(強引なので)個人の業者で頑張るより、宮崎のようなPRができると良いなあと岩手にも感じます。スイーツはあまり開かないです。</p> <p>余り知られる機会が少ない。ネットで調べて購入するしかない。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>青森在住の友人から毎年りんごをいただくのですが、大変新鮮で美味です。</p> <p>リンゴジュースやいちご煮も同様においしいとおもいます。</p> <p>青森県は県産品の種類が多くてうらやましい。</p> <p>B級グルメで話題になったせんべい汁が青森だったかな?と言うくらいあまり身近な感じはしません。にんにくやりんごぐらいです。産地表示はよく見ますが、身近なところでは、少ない気がします。</p> <p>PRが足りない気がする</p> <p>新鮮で美味しそうなので、ぜひ食べてみたいが、青森県産の食品が身近にないので、どうやって、どこで手軽に購入できるか知りたい</p> <p>青森と言えばりんごぐらいしかイメージ出来ません。</p> <p>お米がすきなので青森のお米を一度食べてみたいです。</p> <p>物産展などで見つけると購入しています。美味しいですよ。</p>

関東	50代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>新鮮な食材 青森の人はりんごを食べているので胃がんが少ないと、昔母から聞いたので食べるようにしています。</p> <p>PRが少ない</p> <p>どんな特産品があるのか詳しく知らないのでまず、特産品が何なのかを知りたい。</p> <p>もう少しアピールしたほうがいい</p> <p>もっと手軽に買いたい</p> <p>もっと宣伝してもよいのでは。</p> <p>りんごがおいしいイメージがある</p> <p>魚介類は青森近県によい漁場がたくさんあるので、どこがどちらがうのか、また青森はこれ!といった逸品が良いと思う。南部せんべいの一枚うりていろいろな味がコンビニなどで買えるといいですね。</p> <p>青森というとまずりんごが思い浮かべられる。</p> <p>そのほかはあまり良く知らない</p> <p>素材で有害なものが含まれていない自然な食品が多そうな気がする。</p> <p>素朴な感じ</p> <p>知らない。</p> <p>漬け物やお菓子など普段の買い物では見る機会が少ないので食品スーパーでも買えるとうれしいと思います</p>
		「無関心層」	<p>ブランドとして確立しているものは高すぎ(まぐろ、にんにく、りんご)</p> <p>その他はあまり流通していない</p> <p>なんと言っても海産物が豊富で魅力を感じる。</p> <p>もっとPRして下さい。</p> <p>身近で手に入れれば良いのですが…</p> <p>もっと宣伝しないとよく分からない</p> <p>りんごは青森産をいつも生協で購入して食べている。ほたて、まぐろ、にんにくはもっと情報と共に東京の市場に出ていゝのでは…</p> <p>私はりんご以外全く知らないなので、少し宣伝をしたほうが良いと思います</p>
60代	「ターゲット層」	「ターゲット層」	<p>今はネットで注文できるので是非購入したいと思っています。</p> <p>やはりりんごや海産物が買いたいですね。</p> <p>もしかしたらスーパーで買っているかもしれません。</p> <p>今度物産館にも行ってみます。色んな県の物産館巡りをしています。</p> <p>インターネットでPRすべき</p> <p>嘘のない表示を今後とも続けて行くこと。</p> <p>加工していないそのままの商品を使用したい。特ににんにく、きのこ類など良く使うので値段がもう少し安かったらと感じる。</p> <p>青森のりんごは有名だが他に県産品としての品はなかなか思い浮かばない。</p> <p>青森県産のものは普段は米、りんご、ぐらゐしか目にしないので、もっと他の名産品も宣伝してほしいし、アンテナショップも銀座に出したらどうでしょうか?</p> <p>青森産のニンニクを利用しています。中国産に比べて随分価格が高いのですが、その分、一欠けずつ大事に使っています。食べ物やはり安心が一番大切だと思いますのでこれからも青森産のニンニクを使って美味しい料理を家族のために作り続けようと思っています。</p> <p>宣伝をもっとしたらいいと思います。お店で宣伝しているのを聞いたことがありません。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>デパートでの物産展以外に身近に購入できる店舗はありませんので、物産展は好きです。</p> <p>あまり意識していない</p> <p>しじみが有名なのでよく買って食べる</p> <p>興味があるので今度アンテナショップに行ってみようと思います。これは想像ですが(仕方がないことですが)食品は地味で塩辛い商品が多いのでは、と思います。食品だけではなく民芸品など都会の人の好みにも合うようなセンスの良い上質のものを販売してほしいです。思い出しましたが青森のヒバで製作された製品は素晴らしいと思います。まな板、箸、お風呂用品、ヒバ油などです。東京の大神宮の近くにある「ヒバ工房」はとていいお店です。</p>
	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>素朴さとオリジナルな物が工夫され楽しい</p> <p>アンテナショップはよいが、価格が高いことが今ひとつ。</p> <p>機会があったら買う。</p> <p>あまり、マグロは好きではないのですが一度大間のマグロを食べてみたいです。</p>	
	「無関心層」	<p>青森の気候に合った産物が多いが、メロンはまったく知らなかった</p> <p>南武煎餅はとて美味しい。りんごジュース100%は濃すぎるかな?値段もちょっと高い、気軽には買えないです</p> <p>アンテナショップの商品は現地で買うより値段が高すぎるのでもう少しリーズナブルにしてもらえばもっとたくさん買う気になるのと思う。木工品もすばらしいものがあるのでもっと販売して欲しい。</p>	

関西	20代	「ターゲット層」	りんご以外はあまり知りません。
		「ターゲット予備層」	りんごがとってもおいしいです
		「イメージ先行・食品無関心層」	野菜が新鮮で豊富な感じがする こだわりを持っていそう
		「無関心層」	品質は安心できそう。 だいたい前に出稼ぎっぽく青森県からりんごを売りに家に来たことがあるが高かった気がする。
	30代	「ターゲット層」	<p>もっと総合スーパーでいろいろ売れるように</p> <p>[りんご]のイメージが強すぎて、それ以外にも魅力的な県産品があることを知らなかった自分自身に驚いています。今回のアンケートを通してアンテナショップに行ってみようと思いました。</p> <p>あまりなじみがないので、ほとんど知らない。</p> <p>あんまり知られていないイメージがあるのでもっとPRするべきだとおもう。</p> <p>ごく近くにないとたまにしか購入しようとは思わない。</p> <p>ジャスコなら全国どこでもあるしもう少し宣伝してもらったら 目につくことも多くなるので 購入しやすくなると思います。</p> <p>ニンニクは必ず青森県産のものを選んで購入しています。中国産のものより数倍価格が高いですが、安全なイメージがありますので。その他、リンゴ・魚介等は基本的に国産であれば生産地はこだわっていません。普段身近なお店でその他の青森県産の食料品を扱っていないように思います。主婦向けの人気情報番組(はなまるマーケット等)で産地のご紹介があれば、スーパー等の取り扱いも増えるのではないのでしょうか。</p> <p>もっと身近な所に売り場をたくさん設置して欲しい。</p> <p>もっと身近に手に入れば購入してみたい</p> <p>りんごのイメージが大きい</p> <p>りんごのイメージと、キャンペーンガールが青森をテレビでPRしていた印象がある</p> <p>安心して食べられる食材を世の家庭に届けて下さい。</p> <p>近所のスーパーにもっと売っていたら良いのと思う。</p> <p>手頃に手に入る場所があればもっと利用したい。</p> <p>正直に書きますが、先にも書いたように核廃棄物処理場が出来てから、青森産はなんとなく避けてしまいます。処理場の実態は知れば知るほど怖いです。稼働停止の署名も集めたのですが、あまり力にならなかったようで残念です。</p> <p>青森はりんご等が有名ですが他にも色々特産品があるのでびっくりです。</p> <p>お友達のお裾分けで長いもやんにくなど頂いたことがあり、どちらもとても美味しかったので、他の食材も美味しいのではないかと期待します</p> <p>農家のひとががんばっているイメージ。</p> <p>友人が、大阪にある青森県のアンテナショップでいいワイン見つけたと喜んでいました。私はまだ行ったことがないのでショップにも行ってみたいし、青森県も訪ねてみたい。ねぶた・ねぶた祭や、太宰治さんゆかりのところが、訪ねたいところが多く、魅力的な所だと思います。</p> <p>旅行した時に、食べ物はおいしいのに都会でのPRが少ないと思う</p>
	「ターゲット予備層」	<p>物産展といえば、北海道、九州、沖縄 くらいしか知らないでデパート等で物産展をおこなう回数が増えれば認知度があがると思います、あと名物品などが増えると固定客が増えると思います。</p> <p>「青森県産」をアピールする意味を教えてください。関西から見た青森は、”東北の、いちばん北海道に近い場所”というイメージだけなので。</p> <p>あまり目にしないのもっとアピールされたら購入するかも。</p> <p>いちご煮は名前を知っているし、食べてみたいと思うが買いにくいには遠い所ばかりであまりにも存在が希薄。</p> <p>もう少し販売ルートを広げたほうがいいのではないかなと思う。</p> <p>ホタテに関しても同じことがいえると思う</p> <p>スーパーでも青森県の特産品としてあまり見かけないので、もっと特産物を全国で宣伝されてもいいと思います。</p> <p>すぐに思いつかないのでわからない。</p> <p>にんにくとりんごのイメージしかないのでもいろいろあるんだと勉強になった</p> <p>りんごがおいしそう</p> <p>りんごとにんにくは手に入りやすいが、その他のものは身近では手に入りにくい。</p> <p>りんごのイメージ強し…。野菜等でも産地に記載されていたりするけど、あまり気にしてない。</p> <p>安全で、おいしそうなおイメージ</p> <p>果物以外にイメージがなかったが、改めて沢山の食材があることに感心しました。</p> <p>手軽にどこでも手に入れられたらいいと思う</p> <p>青森=りんごのイメージしかなかったので、色々な特産品があるんだあとちょっと驚きました。関西在住ですが、北海道や九州の物産展はよく見かけるものの、青森の物産展は見ることがありません。もしやっついていけばのぞくだろうし、何かしら買うとは思うので、ぜひ開催してほしいなあと思います。</p> <p>青森といったらリンゴが一番おいしいという印象です。</p> <p>大阪とは縁遠い感じ。</p> <p>訪問販売で青森弁の青年がリンゴを売りにきますが少し警戒してしまいます</p>	

関西	30代	「イメージ先行・食品無関心層」	<p>品物が沢山揃っている あまり青森県産は、売っていないように思う。 アンテナショップとかで買うと高い気がしてわざわざ買おうと思わない。 何かとても美味しいなどのふれこみがあれば欲しくなるかも。 関西は流通しにくい？人参と海産物以外はあまり見たことない気がする。 気にしてなくて気付いてないだけだろうか？ お土産でしか見た事が無いのもっと身近な所で 目にする機会があれば良いと思う。 にんにくが美味しい。中国産のは安いけどおいしくないなので、多少は高くても青森産のを買います。 もうちょっと買いやすいところにおいてもらえるとすがる。 もっとアピール必要 もっと食べてみたいが売っているかわからない りんごくらいしかメジャーじゃないのもっと増やしてほしい りんごしか作ってないようなイメージ。 りんご以外は知らないです。 近くで販売してましたら、是非購入してみたいです。 今まで特になしたことはない にんにくが有名である 自分はあまり知らないので宣伝の方がいいかも 取り寄せよりも、行って見て、買うほうが安くていいものが手に入る。 新鮮なイメージがあります。 青森の県産品のイメージがりんごしかないので、身近に購入できるアンテナショップがあるとよい 青森産の物を食べているのだろうが、意識していないのでどのくらい食べているのかわからない。 知らないものが沢山でした 物産展などでもほとんど見たことがないのでなかなか意識することがない。 もっと接する機会があれば興味も出てくると思う。 良いものがたくさんあるのでもっとPRする機会を増やすべきだと思う。</p>
		「無関心層」	<p>私が仕事を持っているため、昼間のメディアに接触しないからかも知れませんが、あまりPRされているイメージがありません。 品質がよくておいしいものなら、食卓に出したいという思いはあるので もっと情報を露出してもらえると嬉しいです。 もう少し身近に購入できる場所が増えたいと思います。 もう少し普段気軽に購入できたらよい もっとCMとかでの宣伝してほしいです。 もっとPRして欲しい。 やはりりんごのイメージがありますが海産物もおもしろいと思います。う〜ん津軽りんごのイメージが強すぎる。。。 りんごがおいしい〜 りんごくらいしか思いつかないです。自宅に青森から来ましたと言っすぐ高いリンゴジュースを売りに来るので印象が悪いです。 りんごしか知りませんでした。 りんごのイメージしかありません、、、、 りんごやマグロ以外、青森県の県産品が思い浮かばない 一度は旅行で訪れて、色々な県産品をお土産に買いたい。 基本的にもりんご・にんにくくらいしか分からない。 県産品には魅力を感じるが身近に変えるところが無いので、物産展などが近くで開催されれば行ってみたいと思います 身近に売ってれば買うと思う。 水がおいしいイメージがあるので、野菜がおいしそう 青森はりんごのイメージしかない。 青森らしい個性的な商品で、お値段も高くないものがスーパー等で流通していれば試してみたいと思う。 特に思い浮かばない。 特徴が無い 日持ちのしそうなモノが多そう。 普段から、特に青森県産を意識せずに、買っているのだと思う。 北海道はデパートでよく物産展をしているが、青森はあまり身近に感じないので青森産のものはりんご以外あまり知らない 北海道物産展とかはよくやって色々買っちゃうけど青森物産展とかやってみるといいし、もしやれば興味がわくと思う。</p>

関西	40代	「ターゲット層」	<p>青森の県産品のイメージとして素朴さ故の安心感を持っています。りんごにんにくのみ大々的に宣伝されているのが少し残念です。もっと広報活動を繰り広げてほしいな、と思っています。</p> <p>あまりPRされていません</p> <p>あまり有名ではない</p> <p>にんにくは、青森県産の文字が入っていて分かりやすいが、もう少しアピールするのいいと思う。</p> <p>ネットのショップではホタテなどの加工食品は人気があり、美味しそうな商品があるのでもっと全国的にデパートなどで紹介して欲しいです。</p> <p>ホタテとリンゴとニンニクはよく知っていますが、それ以外はよく知らないのもっとアピールしてもいいと思います。</p> <p>りんごジュースの産地偽装のニュースが印象的でした。青森の本物のよさをもっといろんなもので知りたいです。</p> <p>りんごのイメージが強い</p> <p>りんご以外に思い浮かばない。</p> <p>以前に、漫画の美味しんぼで青森対決の号があり、非常に魅力的な食材がたくさん掲載されておりまして。読んで、特に山菜やキノコ、ノンジュースなど一度はそういった地元の食材を食べてみたいと思ったので、青森県特産品をもっとPRしていただき、離れた関西にいても手に入るよう、多く流通してほしいと思います。</p> <p>関係ないですが、最近、ロゼッタストーンという製品の宣伝でいかにもお人柄の良さそうな女性が、津軽弁でりんごばっかし作って最近ではブラジルからも注文が入っていきがすす、すすと、ポルトガル語をペラペラと話し出すCMが、すごく気に入っています。</p> <p>なんだか、そういうイメージで青森に親しみを持ってしまふ頃です。</p> <p>空気も土地も水もとてもきれいなイメージですので、安心できるイメージがあります。</p> <p>私の好みですが、上北農産加工の焼肉のたれは、色んな人に食べてもらいましたが、みんな美味しいと言います。</p> <p>息子もあのタレをばあちゃんに送ってもらってと言っては、嫌いな野菜もあのタレだと食べてくれます。</p> <p>上北農産加工のタレ、最高!!</p> <p>あと、スチューベンは本当に美味しいと思います。</p> <p>まだまだ、知名度はそんなに浸透していないようですが、山梨や長野のぶどうに負けなくらい美味しいので、もっとみんなに知ってもらいたいです。</p> <p>新鮮さが売り物なので非常に好感が持てます。</p> <p>身近で購入できるのであれば、ぜひ購入してみたいです。</p> <p>身近で買えるもの</p> <p>身近に手に入れれば、どんどん購入する、ネットでも手に入りやすいので、お味と値段のバランスがよければ、いつでも食べたい。</p> <p>農産物のイメージがあるが、駅弁に美味しいのがたくさんあるのも魅力的。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>ニンニクは青森産を必ず買う。</p> <p>どんなものがあるのか、あまり印象に残っていないので、もっとPRした方が良さと思う。</p> <p>もっと身近で販売してもらえたら、良いと思う。</p> <p>もっと大阪でも身近に買えるのいいと思う。</p> <p>リンゴ、ホタテ、にんにくのイメージが強い。地産ちしょうでいくと兵庫県からは遠いイメージがあります。</p> <p>関西に暮らしていて、青森は遠くて寒いところというイメージが強いです。</p> <p>知っている県産品といえば、リンゴくらい。もっとPRしてください。地方のお品にありがちな、ゴテゴテと産地を目立たせたものでなく、シンプルでお洒落に。なにより、素朴なイメージで。</p> <p>関西在住なので、スーパーにおいてある野菜は、まず関西圏が生産地のものがほとんど。魚介類についても輸入物であったり、「青森県産」の商品が店頭には並んでいない記憶がない。アンテナショップとはいっても、一般庶民には情報がないし、遠くのショップまでわざわざ買い物に行くほど、魅力的な商品があるように思えない。もっとアピールしてみてもいいかな、と思う。時々欲しいな、と思っても売られてる場所など知らないので買えないと言うのが本音。</p> <p>初めに、りんご以外、全然浮かばなかったですが、書いてあるのを見て、いっぱい果物とかが産品としてあるのがわかりました。関西ではあまり流通しているところをりんご以外では感じたことが無かったので、もっと分かるような具合だったら嬉しいです</p> <p>青森=りんごのイメージが強すぎて、他のものは影が薄い。</p> <p>青森というと、にんにく、林檎しか浮かびませんでした。</p> <p>にんにくに關しては、中国産は嫌なので、国産を探していたら青森産のをよく見かけ、愛用しています。</p> <p>青森県に対して、イメージがあまりないので県産品もよくわからない、というのが本当のところ。青森県のイメージがはっきり伝わってきたら、もっと県産品について知りたくなるかもしれません。</p> <p>全体的に県産品を目にすることがない。特産品として知っている物しか買う機会がない。</p> <p>地理的に離れているので正直あまりイメージがありません。具体的にはりんごくらいしか思い浮かばない。</p> <p>都心部のデパートでは県産品展などをするけれど自宅近くではみかけないので、スーパーで購入する食材で青森産という「りんご」くらいしかない。</p>

「イメージ先行・食品無関心層」

寒い土地ならではのおいしい食べ物がいろいろありそう
 アピール不足とかあまり頭に思い浮かびません
 にんにくとりんごは良く聞くけどあとはよく知らない。
 りんごのイメージが強い
 リンゴ以外の県産品は近畿地方にはほとんど流通してないような疎遠なイメージがあります。
 格安ツアーなども無く青森県へ向う機会が無いので情報も乏しく、テレビの旅番組や「秘密のケンミンショー」などのバラエティー番組で名物を知るぐらいなので、近畿のデパートでは圧倒的に「北海道物産展」が多いですが、「青森県物産展」とか積極的にやっていただけるともう少し馴染みが湧くと思います。
 遠すぎてあまりイメージがわからないが、寒い地方なので、りんごやお米などはおいしいと思う。
 近くにあつたら行ってみたいです。
 県産品をあまり知らないのも、もっと宣伝してほしい。
 実は、りんごやサクランボ以外あまり知らないのも、もっとPRしてほしい。(ねぶた漬とか、南部せんべいとか...)
 青森でしか手に入らないものを安く手に入れたい
 青森県と言えぱりんごしか思いつかないので百貨店だけでなくよく行くスーパーでも特産品を集めた催しを開催してもらえば買ってみようと思います。
 青森県の物産展があればぜひ立ち寄りたと思う
 昔、友達が居たので良く魚類を送ってもらったりしていました。
 すごく魅力はあると思います。
 大阪で手にはいりやすいと嬉しいかも
 大阪には距離が遠いためか、青森産品が少ない気がします。
 東北地方一括でのイメージが強いので、青森とゆう感じが少なく感じる。秋田の方がアプローチが多いせいかなとは思う。
 美味しい物、期待してます。
 美味しそう

「無関心層」

東京ばかりでなく全国あるいは世界に向けて、販売拡大したほうが良い。この前TVで見て、りんごなどは世界販売しているようだが、他の農産物や加工品も世界進出したほうが良い。
 「りんご」と「にんにく」くらいしか知らないで何とも言えない。広報力、宣伝力が弱い？
 PR不足でしょうか？あまり青森産ということ意識して買い物したわけではないのですが、設問により「南部せんべい」は青森だったんだな、と気づきました。
 あまりPRされていないように感じる。
 あまりにも知らないの
 コメントできません
 あまりメジャーでない
 いちごに関しては、TVで見たことがあり、1度食べて見たいと思う
 おいしいりんごのイメージが強いです
 すみませんが、りんご以外の名産品を知らなくて。前ページの名産品を見ても、特に魅力に感じるものもありませんでした。
 ぜひ青森の県産品を食べてみたい。
 デパートなんかで売っていることがありますか。目立つ広告でイベントがあれば見に行きたいです。
 なかなかりんごぐらいしか食べる機会がありませんが、機会があつたら他の特産品も食べてみたいと思います。
 ネットで直接購入したい。
 ねぶた祭りとりんご、八戸市のイメージくらいしかないので、意見が浮かびません。
 リンゴ、お米は知っていたのですが、他の特産物をもっと一般の方にわかるようPRしていただければとおもいます。
 りんご、まぐろ以外知らなかった。
 りんごとにんにくは食べたことがあり、美味しいです。
 他の物は、他県の県産品と比べておいしいのかどうかわからない。
 りんごとねぶたぐらいしか浮かんできません。
 沖縄の県産品のように、もっとアピールしていけば日本国中に知られる物が出てきて、売り上げも上がると思います。
 近畿ではあまりPRされていないような気がする。
 東北といえば、秋田も青森も変わらない気がしてしまう。
 見かけることが少ない
 最近近所の食品スーパーで宮崎県産の商品を特売しています。そのおかげで、宮崎県産の商品にとっても詳しくなりました。青森県産のものも、もっとスーパーでたくさん見かけるようになれば、買いたいと思うものがたくさんあると思います。ぜひもっと身近で買えるようになって欲しいと思います！
 手軽に手に入るようになれば、是非買ってみたい。
 身近に手に入る場所がないし、情報も少ないので、良いものがあるならもっとPRして欲しい
 身近に無いので手に取る機会も無く、コレといった名産品も思い浮かばない
 青森県は何度か訪れたことがありとても好きです。残念なことに関西方面では知名度が低く、県産品などを見かけることはあまりありません。
 もっと身近なところに流通していればいいなと思います。
 全く情報が入ってこないのどういものが県産品なのかが知らないです。
 素材だがあじわいがある

関西	50代	「ターゲット層」	<p>デパートでの、北海道物産セールにはよく遭遇するが、青森県産セールには遭遇した事が無いので、なかなか口にはし難い。珍しい者がたくさん有りそうだし、そんな催し物があれば行ってみたいです。</p> <p>かつてとても印象的だったのが ねぶたラベルのりんごジュースです。</p> <p>アメリカにいた時期は日本人マーケットで限定新鮮wholeやまいもに感激しました。そのとき、もっともってアメリカのマーケットに普及すればいいのにと思いました。とても個人的な食材と思います。もっと日本料理店のメニューに使ってもらうとかアメリカバージョンのテレビのアイアンシェフ番組の食材に選んでもらえるといいですね。</p> <p>ホタテがおいしかったのを思い出しました。</p> <p>心齋橋にお店があるのわかったので、行ってみたいです。</p> <p>もっと身近な所で、いろいろな種類の県産品を手にとって見てみたい。</p> <p>りんごは特に美味しく、こちらで売っているのは食べれない。</p> <p>リンゴや長芋はスーパーでもよく見かけるが、そのほかはあまり青森産を意識していなかった</p> <p>今年りんご等被害にあわれ商品の傷物が多かった様に思いますが、りんごはスーパー及び通販でも購入して美味しく頂きました。色々の特産品がありますが、美味しい物が多いので羨ましいです。頑張ってください。</p> <p>身近で見かけることもないし、手に入れる機会もないので残念です。</p> <p>素朴で、大切に、育てられている、感じが、する。</p> <p>漬物が美味しいイメージ。</p> <p>特産品はたくさんあると思いますがりんご、大間のマグロのイメージが強すぎてよくわからない。</p> <p>PRの仕方を考える必要があると思う。</p> <p>北海道や九州の特産物のアピール度は高いが、青森県のアピール度が低い気がする。県を挙げてもっとアピールするべきである。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>ていうか、アンケートが長すぎて、やり始めたことを後悔しています・・・</p> <p>ブランドにはこだわらないので、安価で質が良ければ食べてみたいと思う</p> <p>りんごと大間のマグロぐらいしか思いつきませんが、美味しいものがほかにたくさんありそうですね。</p> <p>一般スーパーでも売って欲しい</p> <p>遠い所というイメージが強く、リンゴだけが有名な感じで(私が知らないだけだと思いますが・・・)輸送分、価格が高いような気がする。(実際は分かりませんが)</p> <p>何が有るの分からない</p> <p>秋田県の者は、お米でも秋田小町やなべなど、よく聞かすが、青森県は私がいつも気に入って買うのは、ニンニクとリンゴとリンゴジュースです。</p> <p>リンゴやジュースはとても気に入っています。ニンニクは私の買うどのスーパーでも、中国産か青森産しかなくて、そのため絶対に青森産を高くても買います。味もよいし、安心だからです。もっとピーアールして、青森産のものを売ってほしいと思います。</p> <p>新鮮</p> <p>青森県を意識して買い物をしていく訳ではないので、無意識で買っているものは他にも多くあると思いますが、よく覚えていないので、もっとアピールしたほうが良いと思います。</p> <p>青森県産のりんごと記載されていると食べてみたいと思うのですが、その他の製品についてほとんど知らないも同然です。でも何かしら美味しそうというイメージはあります。</p> <p>特産品などを手頃な価格帯で4半期ごとに神戸近辺のデパートで物産展など試みてはいかがでしょうか。北海道、鹿児島などはよく出くわすことがあり、特産品は身近になっています。</p> <p>輸送距離・コストを考えると関西より関東に照準を合わせたほうが良いと思います。</p>
		「イメージ先行・食品無関心層」	<p>特産品はどこのも魅力あるものがあるのでいろいろ頂いて見たいです</p> <p>もっとアピールしてください</p> <p>りんごしか知りません。知らずに食べているかもしれません。</p> <p>県で通信販売</p> <p>青森の特産品をもっと増やし、身近な所で買えるようにショップも増やして 欲しいです。</p> <p>特産品を活かした製品を作り続けて欲しい。</p> <p>薬とらずのリンゴジュースがとてもおいしい。母がとても気に入っているので、毎年夏にネットで注文して贈っています。</p>
		「無関心層」	<p>スーパーであまり見かけない</p> <p>もっと身近に買えるところが増えると嬉しい。</p> <p>デパートやインターネット上で、もっと積極的に販売してほしい。CMをTVで流すなど、また新聞紙上でも宣伝があれば、私たちにも流れ良く伝わってくるのではないのでしょうか。</p> <p>私の情報源としては、狭いのですが、TVのバラエティー番組・昼の番組に、たまたま出会うことがあれば見るくらいのもです。</p> <p>青森県の県産品としても、宮崎県の知事さんのように、どうにか宣伝に力を入れ、日本全国に知ってもらえるようにしたらよいのでは・・・と思います。</p> <p>青森の人が、普段、どの位の価格で、青森県産品を購入しているのか、知りたいと思う。送料等が、どの程度加算されるのか、知りたい。</p>

関西	60代	「ターゲット層」	青森・・・一度是非行ってみたいです。 我々の地方では、青森産の食品が広く出回っていないようなので、もっともっとと広告宣伝して、青森産の食品の素晴らしいところをPRしてほしいと思います。 やはり真っ先に林檎。これを機会にアンテナショップに立ち寄りてみたいと思います。 身近で買いたい
		「ターゲット予備層」	海産物など美味しい物が多くありそうですが、なかなかないし、あっても高価 リンゴくらいしか知らないし、売っているところも知らない。 大間のまぐろ、高いのでめったに口に出来ない。他の特産物を、もう少し宣伝してくれれば 買うと思う。 行って見たい さくらんぼを高いなあ～と思いながら買ったのが、美味しく無く 実家が青森県の知人に頂いたさくらんぼとっても美味しかった 美味しい見分け方知りたい 修学旅行に行った時の印象しかなく奥入瀬溪流しか覚えていないだけ。 大阪では青森県物産展のような催しがあり目につかない。
		「イメージ先行・食品無関心層」	珍しい物がある 青森県はリンゴ生産日本1位です。
		「無関心層」	関西にはなじみが薄いのでは?と思いますが どの県でも今はすぐ特徴がないと買ってみたいとおもわないので、寒さを前面に売り出した商品はどうか
九州	20代	「ターゲット層」	もっと身近で購入できたら、うれしいです。 にんじんやじゃがいもやりんごは、普通のスーパーにあってもその横に、特産品が数点置いてあるだけで、身近に存在する感じがします。 りんごに変わる有名な品作り 地方の食材を使った食べ方があると思うので、そういうのを、教えて頂けたらもっと青森にも興味がわいて、現地に行ってみたいと思う。
		「ターゲット予備層」	りんごくらいしか知らないのも、もっとPRしてもらっているような特産品を知りたいと思う。 もう少しPRしないと知らない人はたくさんいると思う。
		「イメージ先行・食品無関心層」	結構種類があるのにイメージがりんごしかない
		「無関心層」	PRされているところをあまり見ることがない。林檎くらいしかイメージがない。
30代	30代	「ターゲット層」	私は北九州市在住なので、もっと近くに専門ショップがあれば、もっと購入したいと思います。 あまりメディアではみない。PRが薄いかんじる とてもおいしい とても美味しそうですね。 食べてみたいです。 リンゴ以外あまりあおもり産をみかけないですが もっと見かけたら買うと思います。 とにかく、りんごがおいしいというイメージ にんじくは地元産または青森産を使用してます!! デパートなどでの県産品展などがあると足を運んでみたいと思います。 やはり、りんごがおいしいという印象です。 りんご以外思いつかなかったが、ごぼうもよく購入している事に気づいた。 気軽に手に入るとうい 見た目が素朴だがその分安心して食べられるような気がする。特ににんじくやりんごが気に入っている 私の知っているもの以外にたくさんの食品の産地なのだなと思いました。やはり、季節の厳しい寒さなどで、とれるものもひきしまる様な感覚ではありますが、おいしいものであると思います。 色々食べてみたいけど、売ってるところを知らない。 青森の特産品に関して、リンゴ以外にあまりパッと思いつかない。 アンテナショップでもうちよつとじっくり見たいと思う。 ただ、その時に試食などがあればいいと思う。 商品にも、生産者の情報などがあればいいと思う。 青森産のものはほとんど知らなかった。 素材の味を生かした、特産品をこれからも作り続けてほしい。 素朴で温かみがあると思う 体にいいものを提供してほしいです。 値段が高いような感じがする 値段が高かった 美味しい。 林檎のイメージがつよすぎるのでほかもアピールしていったらいいと思う

「ターゲット予備層」	<p>・りんごのプレゼントキャンペーンを行ってほしいです。</p> <p>・青森県の企業に、株主優待品に青森県りんごなどを優待品に採用してもらえるように働きかけてみてはどうでしょうか？</p> <p>「にんにく」「りんご」はおいしいし、普段よく購入するが、他はこれといって印象に残っていない、という感じ。</p> <p>あまりイメージがわからない。</p> <p>あまり身近ではないので…よくわかりません。(北海道の物産展などはよく催されているので身近に感じるのですが)食べてみたことがあまりないので、おいしいというイメージがありません。食べてみたいです。</p> <p>おいしいものが野菜・果物のほかに、それらを利用したグルメが少ないような気がしますので開発する必要があると思います。</p> <p>もっといろんなところで手にすることができればありがたいのですが。</p> <p>もっと身近に感じられたらいいな</p> <p>りんごおいしいです</p> <p>りんごジュースは、美味しかった</p> <p>りんごシロップを常用しています。料理にも使えるのでお勧めです!</p> <p>りんごのイメージしかない</p> <p>りんごはとても美味しかったです。そのまま味わえる特産品はいいと思いますが、加工食品は九州の人間には味が合わないと思います。以前スタミナ源たれを使ってみましたが、濃すぎて無理でした。気候が違うので仕方ないことですが…。</p> <p>私の住んでいる地域ではあまりPRが目立ちません。</p> <p>私自身がりんごとマグロの名産地ということしか知らなかったのも、積極的にアピールしてもっと宣伝していけば良いと思う。</p> <p>青森=りんごのイメージしかありません。</p> <p>青森は正直リンゴくらいしか知らなかった。</p> <p>最近ではテレビの「けんみんショウ」でいちご煮とか出て、少しずつ認知度も上がってはきてるけど、長崎では話にもあがらない。</p> <p>今はネットショッピングも盛んになって、日本だけでなく世界中でいろんな物が買える時代なので、もう少し都会だけではなくて地方にもPRした方がいいと思う。</p> <p>味が濃そう</p>
「イメージ先行・食品無関心層」	<p>PRが少なすぎる。前質問であんなに県産品があるとは思わなかった。</p> <p>おいしいものがたくさんある、青森県!!どどんアピールしてください!!そして、もっと、身近で手ごろな値段で購入できればうれしいです。</p> <p>とつてもいいものがあるのに(とくに工芸品)、なかなか手に入らないし、でも現地に行くたびつくりするような安い値段でうっているのうれしい。もっと日本の経済が悪くなったら、ある意味、青森のいいモノのよさがわかる日本人になったらいいなとおもう。</p> <p>もっと身近に手に入れば食べてみたい</p> <p>りんごしか有名じゃないので、他の県産品もアピールすべき。</p> <p>りんごジュースがすごく甘くておいしいのでよく購入する。</p> <p>リンゴジュースをいろんな店において欲しい。</p> <p>実際色々な物を知らないうちに食べているのかもしれないが、青森県と言えば、りんご位しかすぐに思い浮かべる事が出来ない。きっと美味しい物がたくさんあるのだから、もっとアピールするべきだと思う。</p> <p>青森といえば、リンゴのイメージが強いのでりんごそのものは勿論、りんごの加工品なども食べてみたいです。</p> <p>青森県には行ったことないので、すべてが興味深い。</p> <p>農産物がおもしろそう</p>
「無関心層」	<p>あまりPRされてないのでは？</p> <p>アンテナショップに行く機会もなく、青森県産品に触れる機会がほとんどないので、意見がありません。</p> <p>アンテナショップをいろいろな場所に設置してほしい</p> <p>お菓子がおいしい。りんご関係が多い…。</p> <p>どの県も県産品県産品と同じようなことをまねしているように見え</p> <p>あまり好感が持てない。(青森に限らずです)</p> <p>にんにくや林檎などの食材は身近に手に入るが、青森名産の加工食品などは知らないし、売ってないのでどどん促販し、アピールすれば手に入りやすくなると思う。</p> <p>もっとPRしても良いと思う。</p> <p>もっと身近に販売していたら、買うかもしれない。</p> <p>りんごくらいしか思いつかない。</p> <p>りんごしかイメージがないのですが、機会があれば見てみます。</p> <p>りんごのイメージが強いがその他は印象がない。</p> <p>りんごの印象しかない</p> <p>リンゴやお米しか知らないのも、もっと色々な食べ物を知りたい。</p>

九州	30代	「無関心層」	<p>りんご以外特産品と言われて思いつくものがないので、どんな物があるのか興味はあります。</p> <p>遠いので、宅配しても鮮度が落ちそう</p> <p>興味がないわけではないが、あまり情報を目にしないような気がする。デパートなどは滅多に行かないので、ネットでもっと色々展開してくれることを期待します。</p> <p>興味はあるが、アンテナショップ等に行く機会があまりないため、ピンと来ない。</p> <p>極端な言い方をすれば「りんご」のイメージしかないなので、意見を出せるほど知っているわけではないのが実情です。</p> <p>私自身ほとんど知らないなので、もっと宣伝などのアピールをしたらいいと思います。</p> <p>自然の物を使ってる感じがして、体に良さそうとは思</p> <p>青森といえりんごか思い浮かばなかったの、こんなにたくさんあることを知って驚いた。</p> <p>青森と聞くと大自然をイメージする私ですが一度も青森には行った事がないので、一度は行ってみたいです</p> <p>青森県の県産品と言うと、スーパーではにんにくと林檎が一番身近だと思います。</p> <p>ケンミンショーなどご当地品を紹介するような番組でも見かけるので、南部せんべいやいちご煮も耳にはしますが、まだまだ身近ではないです。</p> <p>お取り寄せしてまで・・・とは思うものの気になる商品はあるので、手にとって見やすい所で販売していただけると嬉しいです。</p> <p>アンテナショップももっと目立って欲しい。</p> <p>青森県を意識したことがないので県産品を買おうと思わない。</p> <p>特にひかれるものはない</p> <p>余りなじみが無いが興味はあるので、見かけたら食べてみたい。</p>
	40代	「ターゲット層」	<p>青森の「甘い赤飯」も特産品であればよいと思う。</p> <p>PRしていることは良く知っていますが、あえて青森産でなくてもいいかな...と思ってしまいます。福岡産、九州産も美味しい物がたくさんあるので。</p> <p>あまり馴染みが無いし、特に魅力的な商品も無いように思います。</p> <p>コンビニにおいてほしい。</p> <p>その地へいかずとも食べられるのが何よりうれしい</p> <p>にんにくは、かならず青森県産しか買わない。高くても信頼できるし美味しい。</p> <p>もっと青森のアピールを佐賀でする機会を増やして下さい。</p> <p>リンゴがいつも美味しいと思う。にんにくも大きくて美味しいけれど、こっちのものとは比べると高いかなと思う。</p> <p>りんごときりたんぽくらいしか浮かばない</p> <p>りんごのイメージが強い</p> <p>リンゴ以外のもの、知らずに食べているものは多いかと思</p> <p>特に野菜はなるべく地元のものと思っています。</p> <p>魚介類や果物がおいしいイメージがある</p> <p>佐賀県とは距離があるせいか、なかなか青森県産の食材を目にする機会はないのですが、りんご以外の果物も是非食べてみたいと思</p> <p>自然、天然な感じがする</p> <p>自然が豊かなので安心で、安全な美味しい食品が豊富そうなので</p> <p>手軽に手に入るなら是非食べてみたい</p> <p>青森の県産品はりんごしか知らないの、おいしいものがほかにいろいろありそうなので、もっと知りたいと思った。</p> <p>素材というイメージから高級品というイメージに変わってきたと思う。</p> <p>福岡県の県産品もおいしいものがたくさんあり事足りているし、身近で青森県産品に接する機会がないのでなにがおいしいのか有名なかわからない。</p> <p>わざわざアンテナショップに向いてまで欲しいものがないし、わからない。にんにくやりんご、お米などはスーパーで手に入るしおいしいのでよく買います。北国の食べ物魚介類にしても野菜にしてもおいしそうという印象はあります。</p> <p>物産展などをもっと積極的にしてPRすればよいと思う。</p> <p>九州では北海道物産展などが有名で青森県は影が薄い</p>
		「ターゲット予備層」	<p>ローカルのメディアでの露出が増えると良いと思う。</p> <p>お料理コーナーで曜日別にアンテナショップおすすめ県産品をつかうとか・・・</p> <p>あまりイメージがわからない</p> <p>あまり有名ではない。身の回りで青森産だからおいしそうと思えるのはりんごぐらいかなと思</p> <p>ほとんど周知されてないように思</p> <p>すぐ思いつくものが、りんごしかないです。</p> <p>もっとPRされていれば、買うかもしれない。</p> <p>もっとPRしてください。</p> <p>もっと身近な場所で「青森フェア」を大々的にやって欲しい。そんな場でもっと青森の商品をどんどんアピールしたらいいと思う。</p> <p>りんごぐらいしか思いつかない</p> <p>リンゴのイメージしかない</p> <p>りんごをおもいだします。アップルパイとかたべたいです。</p> <p>りんご以外、身近にないので何が特産なのかわからない</p> <p>リンゴ加工品とか、麦芽水あめくらいしか知りません。</p> <p>物産展など、普通のスーパーでもやってくればわかりやすかもしれません。</p> <p>意識して、買ったことがないので、これからは気をつけてみたいと思</p> <p>遠く離れた九州では、青森のイメージはりんご位で、情報量が絶対的に少ないと思</p>

	<p>加工食品のほとんどは味が濃いので、食べたくはない。お土産にもらったときも味を付け直したことがある。野菜や魚介類などの生鮮食品もわざわざ遠いところから運ばなくても地元で十分事足りる。輸送費の分だけコストが増え、環境を破壊するのどうかなと思う。</p> <p>海産物・農産物ともにおいしそうなので機会があれば食べてみたい。</p> <p>近くに商品を置いている店があったら手にとってみてみたいです</p> <p>九州においては、PR不足なのではないでしょうか？</p> <p>厳しい気候の中で生活をする地元の方々の知恵が生かされた物が沢山あるイメージがあります。このアンケートによってまた買いに行ってみようと思いました。アンテナショップに並んでいるものは県産品の一部だと思いますのでもっと色々なものを紹介して欲しいです。</p> <p>減農薬を期待</p> <p>生のにんにくは必ず青森県産のものを買っている。福岡県郊外に住んでいるが、近所のある食品スーパーには何故か青森と沖縄の県産品コーナーが常にある。興味はかなり持っているが値段が結構高いのでなかなか日常の買物では手が出ない。その青森コーナーではにんにく風味のポテトチップスを買ったことがあるぐらい。百貨店やアンテナショップのある場所には滅多に行かない。ジャスコやダイエーなど休日の移動圏にある総合スーパーの催事場でフェアをやっていたら何か1つぐらい買う。道の駅では時々地元が近いエリアのものを買うことがある。青森県産に限らず、道の駅であまりに遠いエリアの産品があると「なんで？」と感じる。催事場のフェアと変わらないはずなのに、何故かフレッシュではないような気がするから不思議だ。</p> <p>青森からは、遠い九州に住んでるのでりんご以外は殆ど無知である。</p> <p>生鮮食品に関しては(果物や野菜等)興味があるが加工品に関しては九州の味とはかなり違うと思うのでなかなか買う気にはならない。</p> <p>青森に知り合いもいないので、なかなか接する機会がない。県産品を置いてある店には日常的にいかないので目にする機会もない。青森と聞いてりんごしか思い浮かばない。</p> <p>素材でおいしそうなのがいろいろ</p> <p>大きな会場で青森物産展が開催されたら(福岡で)行って見たいと思います。</p> <p>知っているようで知らないものもあるなという感想です。インターネットでお歳暮として送ってもらったりんごは好評でした。</p> <p>天神へは主にデパートに用事があっておくことが多いので、みちのく夢プラザの場所がイムズの中とか地下街にあると行きやすいです。今の場所では多分今後行くことはないと思います。</p> <p>北海道と比べて どうなんだろう</p>
「イメージ先行・食品無関心層」	<p>とにかく情報が不足しているので、ピーアールをする必要があると思う</p> <p>県特産のものを良い品質、手ごろな値段で提供してください。</p> <p>とにかくおいしい物がたくさんありそう!!食べてみたい!!</p> <p>もっとアピールすると利用者が増えると思う。青森県産品にどんなものがあるか分からない人が多いと思う。デパートなどで催し物として物産展などをするといいのでは。</p> <p>九州から見ると遠いですよね。新鮮なまま、鮮魚を送ってもらっても、冷凍されてると思うし(北海道からはすべて冷凍で送ってもらってます)、果物は、寝かせたおいしくなるものなので、関係ないとは思いますが、適材適所だと思います。人参は採ってすぐの方がおいしいと思うので、わざわざ青森の人参な買わないと思う。でも、りんごは青森のりんごが長野産よりおいしいですね。</p>
「無関心層」	<p>北海道市のように、大掛かりな物産展を開いて、特産物を紹介してほしい</p> <p>あまりなじみがない。</p> <p>ジャスコなど物産展などしてくれたら身近に感じる</p> <p>デパートの歳暮品売場で 青森のりんごジュースを試食し とてもおいしかったのを覚えています</p> <p>とくになし、なじみがないのでパッと出てこない</p> <p>とっても美味しいんじゃないかと思うぐらい有名ですし、悪い噂も聞かないです。</p> <p>なかなか福岡市内まで行かないのでよくわからない</p> <p>TVでお店があるのは紹介されていたような気がする</p> <p>もっとアピールしてほしい。</p> <p>よく分からないが、地味かも。</p> <p>りんごしか思い浮かばないのでPR不足かな</p> <p>りんご以外イメージがわからない</p> <p>りんご以外はよく知らないのもっと知名度を高めてほしい</p> <p>何が県産品なのかよくわかりません。</p> <p>九州なので、あまり宣伝してほしい。</p> <p>りんごしか、知らない。m(_)_m</p> <p>九州にすんでいると東北は各県の違いがあやふやで、「青森の」と言われてもなかなか思い浮かばない。一番に思いついたのが大間のまぐろ。</p> <p>県産品について、知らないのでコメントの書きようがありません。</p>

九州	40代	「無関心層」	<p>現在、住んでいるところが福岡。 青森は遠すぎて、県産品に何があるのかも知りませんし、あまり知りたい(購入したい)と思わないのが本音です。 (やはり地元に着があるの) しかし、県産品のPR情報を目にする機会があれば、青森にはこんなものがあるんだと知ることができ、興味が出ると思います。 青森ではりんごが有名なのはよく知っていますので、青森産だと買ってみようと思います。 〇〇は青森・・という風に、強く定着するものがあるといいですね。 行ったことが無いので想像つかない 食べた記憶がないので特に意見もないのですが、1度は何か食べてみたいと思います。 新鮮でおいしそうないイメージです。と言いますか、りんごくらいしかイメージ出来ませんが・・・ 身近で気軽に買えるところがないので知らない商品が多い 青森といえばりんご以外浮かばないのでもっともっと宣伝すべきです。特に野菜やお肉などの生鮮食はスーパーなどにおいてあれば購入するのでおいて欲しいです。 青森と言えばやはり「りんご」を一番に思いつきます。 清酒もいいですね。 青森の産品はりんごくらいしか、口のすることがないので、身近なところで、食べる機会がほしい 青森県=りんご のイメージしかない。 北海道物産展のように、青森物産展もあつたら接することができるのに。</p>
	50代	「ターゲット層」	<p>デパートでの販売は高くなるのでなるべくアンテナショップで販売してほしい。大きなスーパーで展示販売してほしい。何年前かに台風でりんごがものすごく落下してキズものとして販売したことがあるがおいしかったのでもっと販売してほしい。 りんごが美味しかった りんごじゅーす、りんご、ほたてがおいしい。大間のまぐろは一度は食べてみたい。 近くにアンテナショップがあるのなら行って見たい。 九州から遠く離れているのでもっとPRしたほうがいいのではないかと思う 九州なので、東北、というだけで貴重な物産という感じがする。たまにアンテナショップに行くとおもしろい。最近には行ってないので、行ってみたい。林檎のイメージが強いが、他にもいろいろありそうなので、今度は注意してみようと思った。 小都市にも物産展を開いて欲しい 食べて見たい物はたくさんあるが、手に入らないのが現状です。主人と二人でゆっくり旅行し、青森の食材、観光を満喫したいと思っています。 青森のお酒を飲んだことがあり、それがすごくおいしかったので、ぜひこちらでも手ごろな価格で購入できるようになればいいと思います。 青森はりんごって感じ おいしいものがいっぱいって感じ 青森県と言えばりんごくらいしか思い当たる物が少ないため、他の事はわかりませんね 素朴、安全 大間のまぐろが有名で、一度食べてみたい。 農産物で青森県ならではのものがたくさんありそうです。アンテナショップだけでなく、スーパーなどで特産品コーナーもしくは期間限定でもいいので物産展をして近くで青森のものが買えるようにしてほしい 福岡から遠いので異色の食品があるような気がする。</p>
		「ターゲット予備層」	<p>りんごだけは昔から知っているけど、他は何も思いつかない 特産品であり、美味しいものが多いと思いますが、身近な所で、目にしないのでもう少しPRをして下さい。 りんご以外に知りませんでした。寒いところなので冬野菜が美味しそうな気がします。 天神のアンテナショップに行ったことがあります。長崎にもそういうところがあると、青森の県産品にふれることができるので、いいと思います。 南部せんべいや、食べたことがないものが、普通にスーパーで手に入れられると、試してみたいです。近くの天神に県産品が置いてることを今日初めて知りました。 イメージ的には魚介類が多いのかなと思う。新鮮な物を安価で買えるショップが近くにないのが残念。</p>
		「イメージ先行・食品無関心層」	<p>近くなどでは手にはいらないけど機会があれば買いたいです。 私の青森県の県産品に対するイメージは米とりんごです。 どちらも美味しく大好きです。 テレビだけの情報なので、こちらも田舎です。産品についてはかぶるものがあるので特別に魅力を感じない。 ブランド色が強くて、比較的高額に感じる 青森産のごぼうや長いものはよく買っています。</p>

九州	50代	「無関心層」	長崎ではあまり見かけない
			どこの地域でも、ブランドを作ろうとしているが、無理をしてもすぐに駄目になると思う。本当に良いものならば、どこでも支持されると思う。
			にんにくが美味しい。九州で取れるものより白くて大きい。
			りんご、まぐろ、にんにくのイメージが強い。他は、東北の他の県のものと思っていた。
			りんご以外に知らないのでPRが必要
			遠くの県なので輸送料金が高くコスト高になっている
			寒い地方の米はおいしいと思う
			宮崎のように、もっと県産品をアピールしないと、リンゴくらいしか知らない
			近頃スーパーの野菜売り場で青森産の野菜を見かけます。
			中国産の野菜が減ってきて国産の野菜が増えているので嬉しいです。
生蛸が食べたい			
青森がどこにあるかとかはわかるのですが、食べ物などは全くわかりません。知らないうちに買ってるかもしれませんが大きく青森シールか、青森のものだとわかるようなネーミングとかだとわかりやすいかも・・・。			
青森県の県産品はにんにくは有名ですけど、なかなか思い出せません。			
宣伝が足りないと思う			
宣伝が足りないように感じます			
知りたいと思う			
長野オリンピックの頃、3年間長野在住でした。リンゴの好敵手「青森」と意識していました。郷里福岡に戻ってから感じるのは、長野リンゴより青森リンゴの方が普及率が高く、値ごろ感があると言うこと。リンゴは長野の友人達からたっぷり頂いてスーパーで買うことは無いのですが、潤沢なリンゴの生活に豊かさを感じて長野以外の友人へのお歳暮には青森のリンゴを贈ったこともあります。が、今年は山形のリンゴの評価が高くて、山形産にしました。青森の情報は山形に遅れを取っていたと思います。頑張れ!			
不良品を捨てないでほしい			
豊富な感じがするが、知るチャンスがないので、残念。			
夢プラザで買くと、意外と高い。近くのスーパーに出ている(いつもあるわけではないが)ものを買ったほうが安くおいしい。遠くから来るのに、新鮮なものが多い。			
余り口にすることがないのでよく分からない。			
旅行で訪れたときには買ったが、取り寄せてまでも買おうと思ったものは浮かばない。			
60代	「ターゲット層」	もっとPRして、アンテナショップを増やして買いやすくして欲しい。	
		寒いところなので美味しいものが沢山取れると思います。これからは青森のものを沢山食べてみたいですね。特ににんにくが国産で信用が有りますね。にんにく大好きです。	
		たぶん、宣伝が届いてないだけだとも思います。	
		牛肉や豚肉鶏肉はこちらもおいしいのがたくさんあります。	
		果物等は、期待してます。実際に食べておいしいです!	
		美味しい物が沢山ありそうなイメージがある	
		りんごはやはり青森が1番、高いけどね。もう少し安ければね	
		青森県は行ったこともありませんし県産品もりんごやサクランボしか食べたことはありません。お米などはおいしいのではないかと思います・・・	
		もう少し青森の事を知りたいと思います。	
		たまに、ゆめプラザで買い物しますが、にんにくはスーパーより安くうれいすね。	
60代	「ターゲット予備層」	漬物が美味しい。まぐろなど魚介が美味しい。桜がきれい。	
		わたしの住んでいる長崎からは遠いので県産品を食したことがあまりありません。ネットで知り合った方からリンゴとジュースを送ってもらったことがあります。いつも従兄からもらう福島のリンゴとまた違って美味しかったのを覚えています。	
		スーパーなどで青森県産を意識しないで野菜など購入していることがあり、身近なスーパーでイベントとして加工品など味の紹介や調理法があるともっと利用できると思います。	
		南部せんべいと野菜や鍋ものの作り方などちょっと試してみたい。	
		アンテナショップではいつも同じものばかり買って、どんな味かなと思いつつながら挑戦はしていないので残念です。	
		青森県を特に意識したことはないけれどにんにくに関してはいつも高いけれど青森産を買っている。	
		デパート、スーパーなどで北海道物産展は良くあるが、青森県産品はないのでもっとPR、展示志名産品を紹介すればよいと思う。	
		先日 テレビで 青森の 事があって なるほどと思って 見たから。九州に住んでいるのであまりなじみがなくて 青森イコールリンゴしか知らない。毎日新聞のマンガで 家族で 青森に行ったら 道端にリンゴの 木があってリンゴがなっていると 驚いていたが 自分もそこへ、行けば 同じだろうと思う。健全品が何か まったく知らない。自分でも ビックリした。	
		青森と言えばりんごとニンニクが1番に思いつきます。	
		リンゴを使って目新しいスイーツやワインや漬物【アンテナショップに行ったことがありますのでもう取り扱ってるのかもしれませんがね】	
60代	「無関心層」	塩味が濃いので、薄味の製品をつくってほしい。	